

滋賀県立大学工学部棟他トイレ改修工事

図面リスト

番号	図面名称	縮尺
共通特記	共通 特記仕様書1	NOSCALE
M-01	機械設備工事特記仕様書2	NOSCALE
M-02	機械設備工事特記仕様書3	NOSCALE
M-03	共通 給排水衛生設備 衛生器具リスト	NOSCALE
	D0 管理棟	
M-04	D0 給排水衛生設備 1階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50
M-05	D0 給排水衛生設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
M-06	B0 換気設備 1階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
M-07	B0 換気設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）	1/100
	D3 研究C棟	
M-08	D3 給排水衛生設備 1階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50、100
M-09	D3 給排水衛生設備 2階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50
M-10	D3 給排水衛生設備 3階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50
M-11	D3 換気設備 1階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
M-12	D3 換気設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
M-13	D3 換気設備 3階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 2				章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項						
工事種目（●印を適用し、各一式とする。）				一般 共通 事項	D0棟			D3棟			屋 外							
建築物及び屋外					空 気 調 和 設 備			換 気 設 備			●ダクトの種別 ●ダクトの工法 ●ダクトの分岐方法			※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト ○アングルフランジ工法 ●コーナーボルト工法 給気用ダクト ○割込み工法 ○直付け工法 排気用ダクト ●割込み工法 ○直付け工法				
排 煙 設 備					自動制御設備			衛生器具設備			給 水 設 備			厨房用のダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は次による。 ダクトの長さ 4.50m以下 0.6mm 4.60m以下 0.8mm 4.60mmを超え1200mm以下 1.0mm 1200mmを超え1800mm以下 1.2mm 1800mmを超えるものは				
給 水 設 備					排 水 設 備			給 湯 設 備			消 火 設 備			排気フードの補強、支持金物、接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は次による。 ※ステンレス鋼板（補強具）				
ガ ス 設 備					雨 水 利 用 設 備			浄 化 槽 設 備			厨 房 機 器 設 備			浴室・厨房（多湿箇所）の外気取入ダクトの保温 外気取入ダクトの保温（空調を行っている室について） ※要 ○不要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温（空調を行っている室について） ※要 ○不要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温（空調を行っている室について） ○要 ※不要 上記以外で外気取入ダクトに保温を行う要：※図示による 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。				
撤 去 工 事					電気設備工事													
工事項目に建築工事及び電気設備工事を含む場合、その工事は当該図面による。																		
下記の項目は、●印のついたものを本工事に適用する。 下記の特記事項は、選択扱いとなっている場合は●印が●印のついたものを本工事に適用する。ただし、●印のないものは※印を適用する。																		
章	項目				特 記 事 項				章	項目				特 記 事 項				
一般 共通 事項	●施工基準				必要な関係諸官庁への申請手続き等は、全て発注者の負担とする。 本図は、工事の概要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。 その他関係諸法規に基づき完全に施工する。 施工に際し、施工引き書である機械設備工事施工監理チェックリスト（滋賀県土木交通建設課 令和元年版）に従う。				○施工監理チェックリスト				1. 大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令に基づき実施すること。 2. 石綿の事前調査は、建築物を有する建築物調査報告書登録規程に規程する建築物石綿含有建築物調査等有資格者によるものとする。 3. 事前調査結果は書面（※発注者に説明すること） 4. 事前調査結果を作業所に備え付け、事前調査結果及び作業内容等を表示すること。 5. 工事に係る部分の床面積の合計が90㎡以上の建築物の解体工事、積算金額100万円以上の建築物の改修工事等の事前調査を実施したときは、その結果を工事開始前までに石綿事前調査報告システムにより労働基準監督署及び県（大津市内は大津市）に報告するとともに、発注者に書面（※報告）すること。					
	○フロンの回収等				冷媒にフロンを使用している機器の撤去においては、フロン排出抑制法に基づきフロンガスを全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用しない材料、工法を用いなければならないこと。				●設備機材等				本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 但し別表1に示す設備機器等の製造者等は次の(1)から(6)の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員へ提出して承認を受けるものとする。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。					
	●機材の承諾				機材の承諾に際しては、原則として機械設備工事機材承諾図式集（令和元年版）による。 ただし、これによらない場合は監督員との協議による。				○機材などの検査及び試験				検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書又は改修標準仕様書による。					
	○電気工用電力設備の保安責任者				※事業用電気工物 ○一般用電気工物				○電気工用電力設備の保安責任者				※事業用電気工物 ○一般用電気工物					
	○保安規程				当該施設の実定保安規定を（※適用 ○準用）し、電気保安技術者が保安業務を行う。				○電気保安技術者				標準仕様書又は改修標準仕様書に規定する電気保安技術者をおくものとする。					
	○工事用電力設備の保安責任者				工事用電力設備の保安責任者として、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。 保安責任者は、適切な保安業務を行う。				○技能士				適用する技能検定の職種及び作業の種別は以下による。 ○配管（配管工事） ○建築板金（ダクト製作及び取付け） ○熱絶縁施工（保温工事） ○冷凍空調制御機器施工（チリクユニット、パッキン等空気配管の取付け及び整備）					
	●施工調査				施工計画調査は、改修標準仕様書第1編第1章1. 5. 11による。 事前調査の内容は次による。 調査項目 改修対象建築物及び同建物内設備配管・ダクト等・屋外埋設配管等埋設物 調査範囲 本工事との取り合いのある範囲及び本工事の施工により影響が及ぶ範囲 調査方法 スケール・レベル・目視による他、監督職員との協議による。				○地中埋設物等				標準仕様書又は改修標準仕様書によるほか、下記による。 施工前に、当該工事に係る地中埋設物等（建物内又は既設コンクリート内の既設配管・配線も含む）について事前調査を行う。既設設備物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、調査方法及び既設施工法を監督職員と協議する。					
	●非破壊検査				はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあり、埋設物の事前調査を行う。 施工場所は鉄筋探検機（透視レーダー法）により探検し、鉄筋及び配管等の位置に差し出しを行うものとし、費用は本工事とする。放射線透過検査を用いる場合は監督職員と協議するものとし、費用は別途とする。 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及びそれらに関する官公署への請求手続き等の費用は、発注者の負担とする。				○工事用電力・水その他				本工事に必要な工事用電力、水等の費用及びそれらに関する官公署への請求手続き等の費用は、発注者の負担とする。					
	●工事用仮設物				構内にくることが ※できる ○できない ○設ける（規格：○10 ○20 ○35 ○ ）m2 程度 ※設けない 仕上りの程度は、下表を標準とする。				○監督職員事務所									
	○交換誘導員				別契約の関係発注者が定置したものは、無償で使用する。 ※本工事で行ける場合は標準仕様書第2編第4章第1節4. 1. 1又は、改修標準仕様書第1編第2章第2節2. 2. 1によるほか、足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。 また足場の種別については次による。なお、管足場、枠組足場を用いる場合における設置箇所については図示による。 内部足場 ※A種、B種、C種、D種 ○E種（単管足場） ○F種（くさび緊結式足場） ○G種（枠組足場） 外部足場 ※A種（枠組足場） ○B種（くさび式緊結足場） ○C種（単管足場） ○D種（管桁足場） ○F種（管桁作業足場）				○足場・枠組類									
	○仮設開仕切り				屋内に仮設開仕切りを行う場合は、改修標準仕様書第1編第2章第2節2. 2. 3による。 工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、標準仕様書第1編第1章第1節1. 1. 3又は改修標準仕様書第1編第1章第1節1. 1. 1. 3による。				●養生				養生を行う場合は、標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 1又は改修標準仕様書第1編第3章による。既存部分の養生 ※行う ○行わない 養生の方法 ※改修標準仕様書による ○（ ）※行わない 固定された備品、机、ロッカー等移動・使用 回数等（ ）※行かない					
●撤去				機器・配管・ダクト等の撤去後のアンカーボルトや釣りボルトについて、保守に支障のないよう適切等の処理を行う				○去										
●発生材の処理等				1) 標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 9又は改修標準仕様書第1編第5章による。 引抜きを要するもの ●なし ○あり（機器類・金属類等） フロン系冷媒使用機器の撤去 ●なし ○あり （上記機器類の撤去は改修標準仕様書第3編第2章第4節4. 2. 4. 2. 2. 4. 3及び同第5編第2章第3節2. 3. 2による。） 2) 冷媒については破壊処分を行う（※電気リサイクル法対象機器を除く）。 精込み ※本工事 ○別途 処分費 ※本工事 ○別途				○フレキシブルジョイント										
●溶接接合				配管の溶接接合は標準仕様書第2編第2章第5節2. 5. 15又は改修標準仕様書第2編第2章第3節2. 3. 16による。 また、溶接部の非破壊検査は、※適用しない ○適用する（○放射線透過検査 ○透過探検検査又は超音波探検検査） ※既設配管を含む部分の試験 ※要（試験項目は監督職員の指示による）				○配管材料等										
●一般用弁								○伸縮管接手										
○フレキシブルジョイント				図中、フレキシブルジョイントの略式記号は下記による。 FJB、フレキシブルジョイント（ベロス封） FJG、フレキシブルジョイント（合成ゴム製） 配管の溶接接合は標準仕様書第2編第2章第5節2. 5. 15又は改修標準仕様書第2編第2章第3節2. 3. 16による。 また、溶接部の非破壊検査は、※適用しない ○適用する（○放射線透過検査 ○透過探検検査又は超音波探検検査） ※既設配管を含む部分の試験 ※要（試験項目は監督職員の指示による）				●配管材料等										
●配管材料等								○配管材料等										
○伸縮管接手								○フレキシブルジョイント										
●溶接接合								○配管材料等										
●既設配管接合部の試験								○配管材料等										

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 3		章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																	
別表1<機械> <table><tr><th>品目</th><th>細目</th></tr><tr><td>ボ イ ラ ー</td><td>鋼製簡易ボイラー 鑄鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー</td></tr><tr><td>温 水 発 生 機</td><td>真空式温水発生機（鋼製・鑄鉄製） 無圧式温水発生機（鋼製・鑄鉄製）</td></tr><tr><td>冷 凍 機</td><td>チリングユニット 吸収冷凍水機 吸収冷凍水機ユニット 遠心冷凍機</td></tr><tr><td>冷 却 塔</td><td>冷却塔</td></tr><tr><td>空 気 調 和 機</td><td>ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット パッケージ形空気調和機 コンパクト形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機</td></tr><tr><td>空 気 清 浄 装 置</td><td>エアフィルター（パネル形、折込み形） 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器</td></tr><tr><td>全 熱 交 換 器</td><td>全熱交換器（回転形、静止形）</td></tr><tr><td>送 風 機 類</td><td>遠心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機</td></tr><tr><td>ポ ン プ 類</td><td>横形遠心ポンプ 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用） 立形遠心ポンプ</td></tr><tr><td>ダ ク ト 付 属 品</td><td>風量ユニット（定風量、変風量）</td></tr><tr><td>自 動 制 御</td><td>自動制御システム</td></tr><tr><td>衛生器具ユニット</td><td>衛生器具ユニット</td></tr><tr><td>タ ン ク</td><td>F R P 製パネルタンク 密閉形隔膜式膨張タンク（空調用・給湯用） ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形） ステンレス鋼板製パネルタンク（ボルト組立形）</td></tr><tr><td>消 火 装 置</td><td>スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム</td></tr><tr><td>厨 房 機 器</td><td>厨房システム</td></tr><tr><td>鑄 鉄 製 ふ た</td><td>マンホールふた・弁棚ふた</td></tr></table>		品目	細目	ボ イ ラ ー	鋼製簡易ボイラー 鑄鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー	温 水 発 生 機	真空式温水発生機（鋼製・鑄鉄製） 無圧式温水発生機（鋼製・鑄鉄製）	冷 凍 機	チリングユニット 吸収冷凍水機 吸収冷凍水機ユニット 遠心冷凍機	冷 却 塔	冷却塔	空 気 調 和 機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット パッケージ形空気調和機 コンパクト形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	空 気 清 浄 装 置	エアフィルター（パネル形、折込み形） 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器	全 熱 交 換 器	全熱交換器（回転形、静止形）	送 風 機 類	遠心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機	ポ ン プ 類	横形遠心ポンプ 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用） 立形遠心ポンプ	ダ ク ト 付 属 品	風量ユニット（定風量、変風量）	自 動 制 御	自動制御システム	衛生器具ユニット	衛生器具ユニット	タ ン ク	F R P 製パネルタンク 密閉形隔膜式膨張タンク（空調用・給湯用） ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形） ステンレス鋼板製パネルタンク（ボルト組立形）	消 火 装 置	スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム	厨 房 機 器	厨房システム	鑄 鉄 製 ふ た	マンホールふた・弁棚ふた								
品目	細目																																										
ボ イ ラ ー	鋼製簡易ボイラー 鑄鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー																																										
温 水 発 生 機	真空式温水発生機（鋼製・鑄鉄製） 無圧式温水発生機（鋼製・鑄鉄製）																																										
冷 凍 機	チリングユニット 吸収冷凍水機 吸収冷凍水機ユニット 遠心冷凍機																																										
冷 却 塔	冷却塔																																										
空 気 調 和 機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット パッケージ形空気調和機 コンパクト形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機																																										
空 気 清 浄 装 置	エアフィルター（パネル形、折込み形） 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器																																										
全 熱 交 換 器	全熱交換器（回転形、静止形）																																										
送 風 機 類	遠心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機																																										
ポ ン プ 類	横形遠心ポンプ 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用） 立形遠心ポンプ																																										
ダ ク ト 付 属 品	風量ユニット（定風量、変風量）																																										
自 動 制 御	自動制御システム																																										
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット																																										
タ ン ク	F R P 製パネルタンク 密閉形隔膜式膨張タンク（空調用・給湯用） ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形） ステンレス鋼板製パネルタンク（ボルト組立形）																																										
消 火 装 置	スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム																																										
厨 房 機 器	厨房システム																																										
鑄 鉄 製 ふ た	マンホールふた・弁棚ふた																																										
使 用 機 材 製 造 者 指 定		本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承諾を得て使用のこと。																																									
適用機材名	製 造 業 者																																										
● 配 管 類	J I S 規格等適合品製造者																																										
● 井 類	J I S 規格等適合品製造者																																										
タ ン ク	J I S 規格等適合品製造者																																										
ポ ン プ																																											
量 水 器																																											
防 凍 継 手																																											
汚 水 貯 留 槽 (SIS)																																											
汚 水 貯 留 槽 (GL)																																											
● 排 水 金 物 類																																											
マンホール類																																											
グリストラップ																																											
● 衛 生 陶 器 類	TOTO	LIXIL																																									
消 火 栓 箱																																											
ボ イ ラ																																											
● 瞬 間 湯 沸 器	TOTO	LIXIL																																									
給 湯 器																																											
厨 房 機 器																																											
ガス集合装置																																											
ガスコック類																																											
浄 化 槽																																											
● 送 風 機	三菱	テラル	花原																																								
● 換 気 扇	三菱	ダイキン	東芝																																								
全 熱 交 換 器																																											
排 煙 機																																											
防火・防煙排煙ダンパー																																											
冷 凍 機																																											
冷 温 水 発 生 機																																											
冷 却 塔																																											
空 調 機																																											
放 熱 器																																											
ファンコイルユニット																																											
● 吹出口・吸込口	協立エアテック	空研工業	有馬製作所																																								
製 缶 類																																											
自動制御機器																																											
受 水 槽																																											

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称

滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面No.

M- 02

図面名称

機械設備工事特記仕様書3

S = NOSCALE

設計日

2025年3月

(新設) 衛生器具リスト

器 具 名	参 考 品 番	付 属 品	合計	1階												2階												3階																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				女子便所 (2-4)				男子便所 (2-5)				男女共用便所 (2-7)				女子便所 (1-1)				男子便所 (1-2)				男子便所 (1-3)				女子便所 (1-4)				男子便所 (1-5)				女子便所 (1-6)				男子便所 (1-9)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
洋風便器	CFS498BMT (フラッシュタンク式)	便座 (TCF5514＝貯湯式、擬音装置、便蓋あり、AC100V電源、消費電力314W)、センサースイッチ (HE37)、SUS製棚付2連紙巻器 (YH702)	19	1	1	1	6	2		3	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

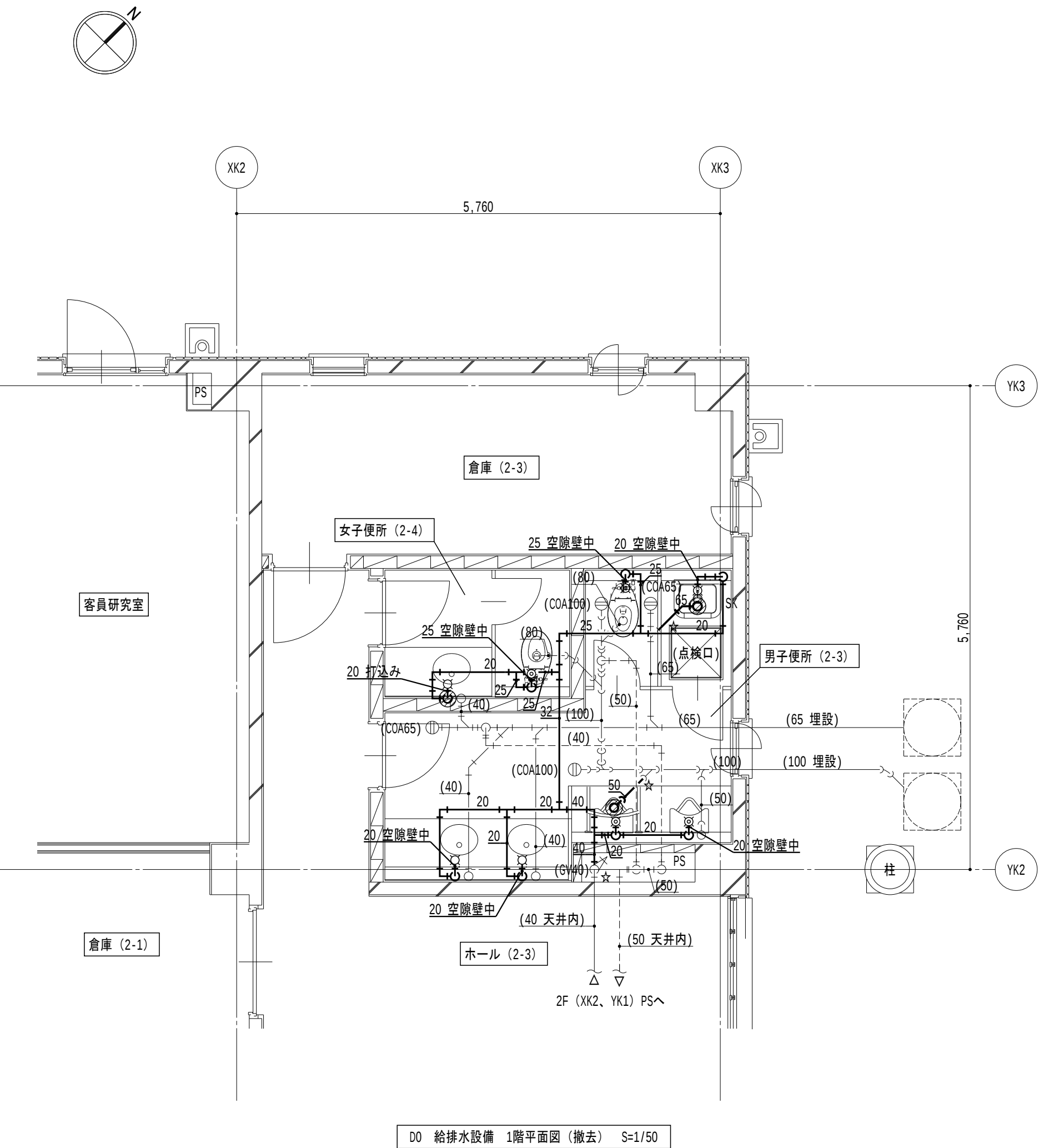
- 注記事項
- 品番は便宜上、TOTO (株) とする
 - リストに記載なき必要な付属品は標準品を設置すること
 - ライニング、カウンター等の詳細図寸法について、建築施工図を確認したうえで発注すること
 - 色の選択が可能な器具類について、発注者と協議のうえで決定すること
 - 器具取付部分の補強は建築工事とするが、補強の必要箇所及び採用メーカーの取付要領を建築工事施工業者へ提示し、調整を行うこと
 - 採用するメーカーの仕様書を電気設備施工業者へ提示し、電源供給 (器具の位置) 等の調整を行うこと

撤去

管更生

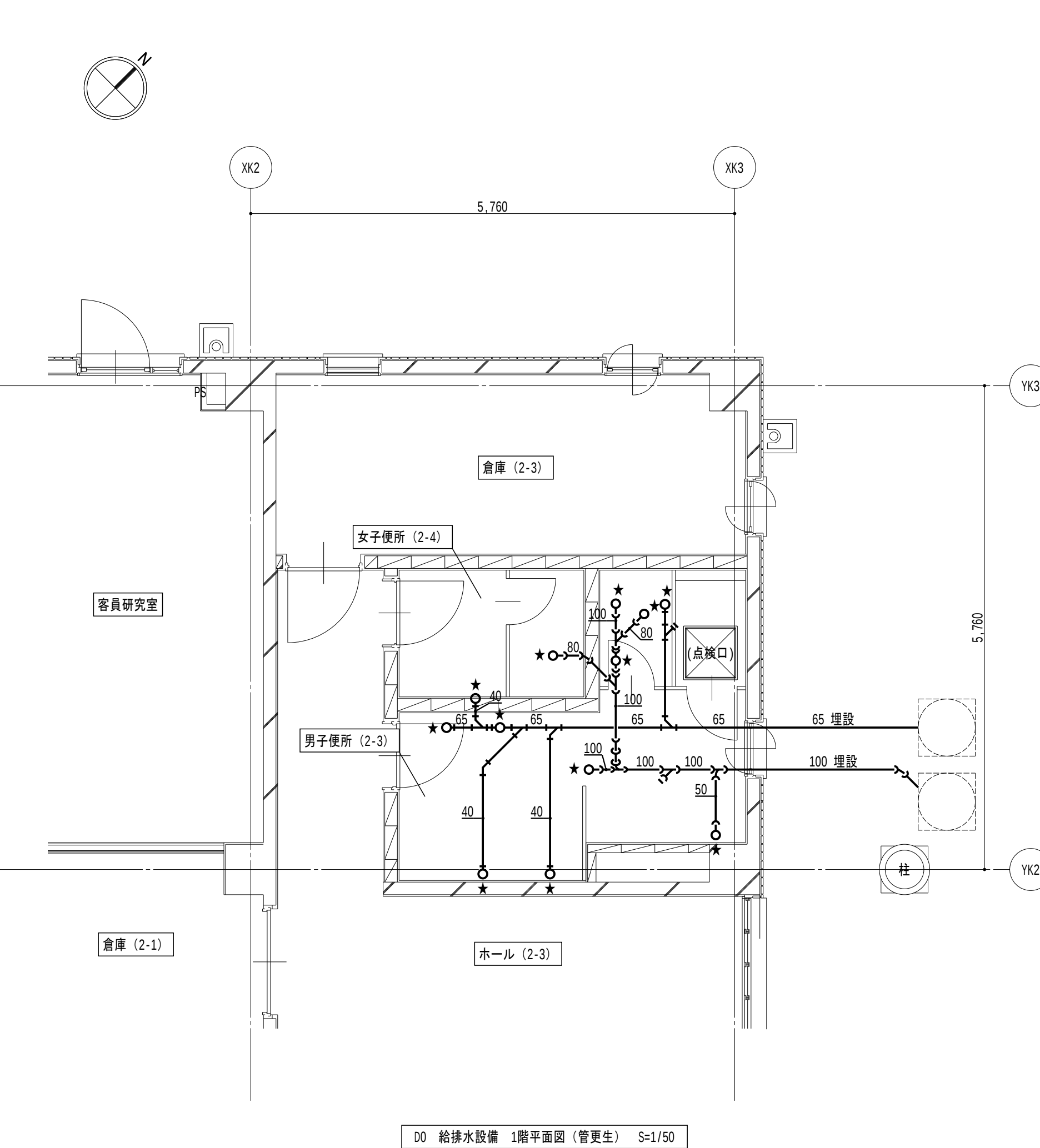
改修後

D0 1階			D0 1階		
女子便所 (2-4)		撤去・処分	男子便所 (2-3)		撤去・処分
名称	仕様	数量	名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洗面器	カウンター型 (陶器のみ)、水栓共	1	小便器	床置型	1
注記) 付属品共、場外搬出処分とする			壁掛型		
和風便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする			掃除用流し	水栓共	1
			洗面器	2連カウンター型 (陶器のみ)、水栓2個共	1
			手すり	小便器用	1
			注記) 付属品共、場外搬出処分とする		



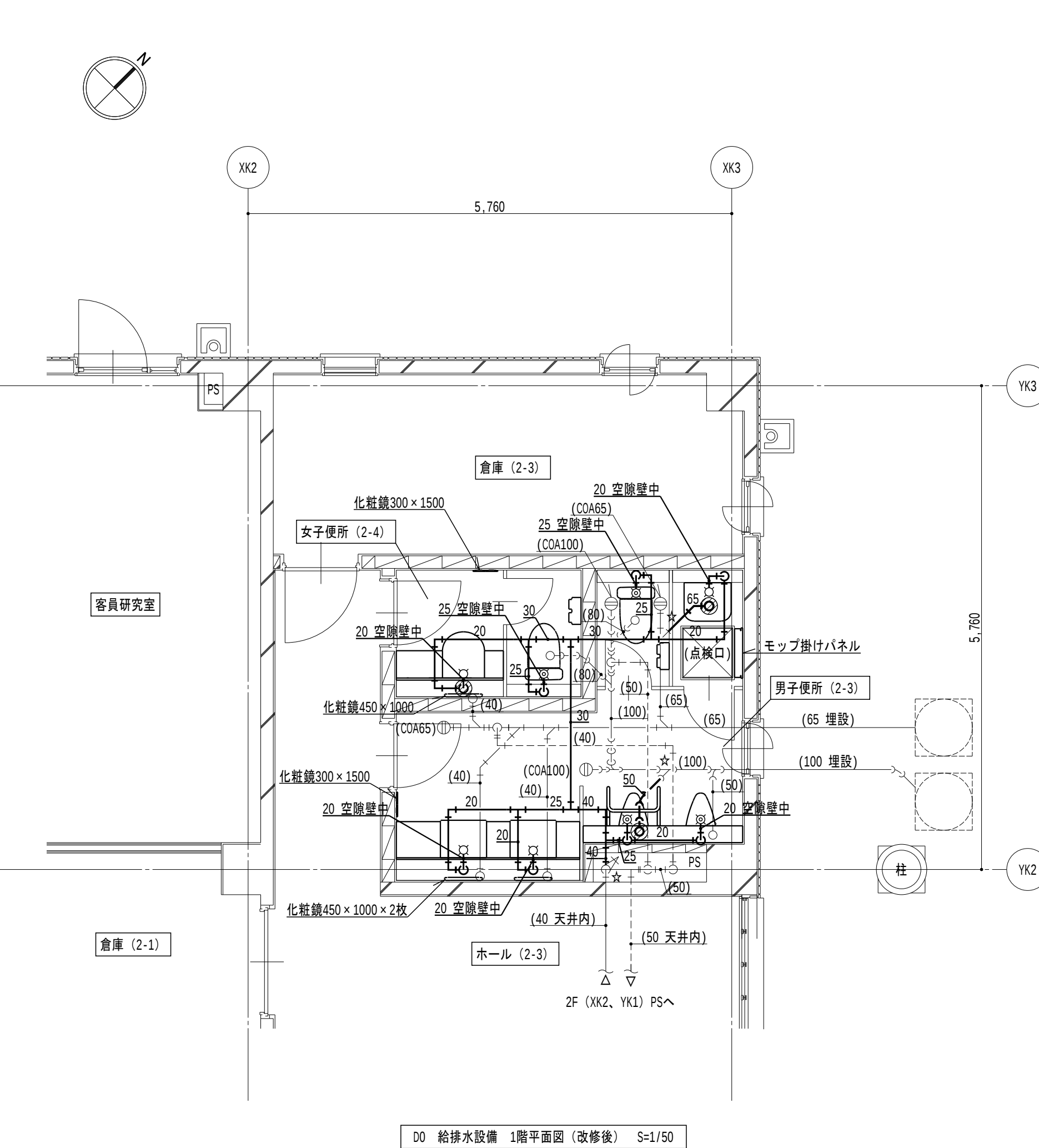
線種記号			凡例		
記号	名称	備考	記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA	☒	洗浄弁	
---	雑排水配管	DVLP	☐	水栓	
→	汚水配管	DVLP	⓪	掃除口	
- - - -	通気配管	SGP(黒)			

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊙ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す



線種記号		
記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
→	汚水配管	DVLP、管更生
- - - -	通気配管	SGP(黒)

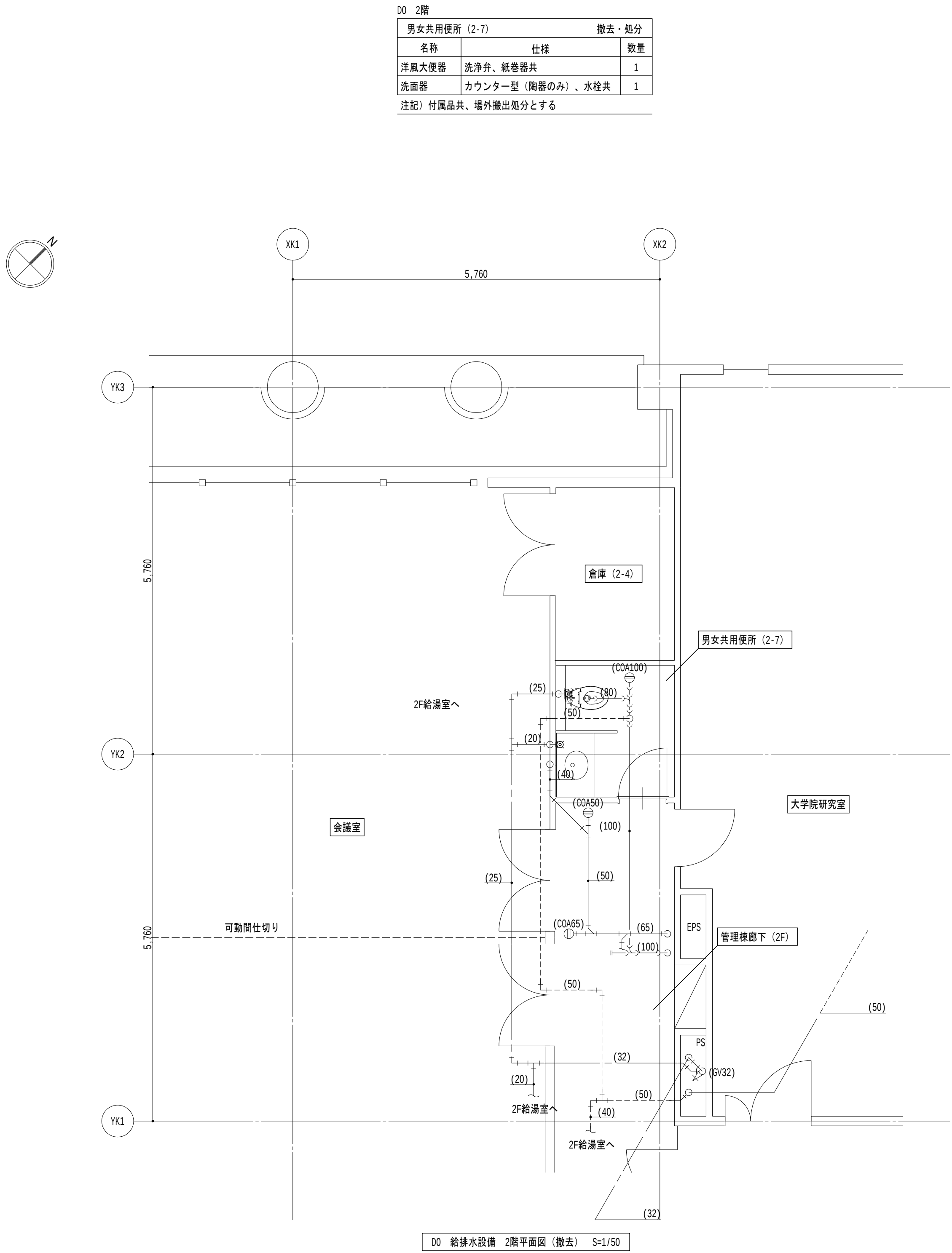
- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること



線種記号			凡例		
記号	名称	備考	記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: H1VP	☒	洗浄弁	
---	雑排水配管	既: DVLP 新: PS-VP	☐	水栓	
→	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP	⓪	掃除口	
- - - -	通気配管	SGP(黒)			

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊙ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

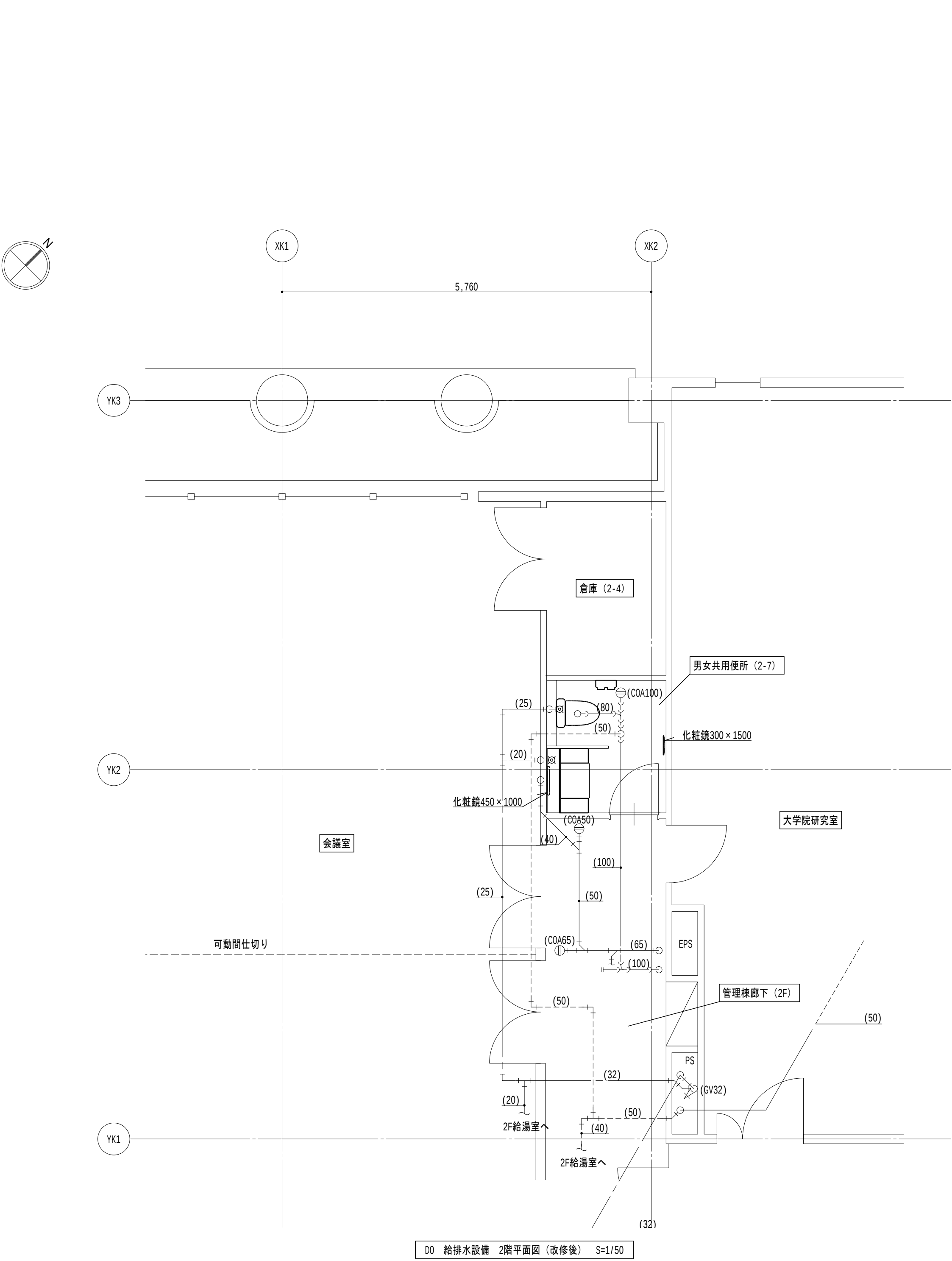


線種記号		
記 号	名 称	備 考
---	給水配管	SGP-PA
—	雑排水配管	DVLP
→	汚水配管	DVLP
----	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管は天井内、空隙壁内とする
 - ☆は切断ブラグ止め箇所を示す

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
Ⓛ	掃除口	

改修後



線種記号		
記 号	名 称	備 考
---	給水配管	既：SGP-PA 新：HIVP
—	雑排水配管	既：DVLP 新：FS-VP
→	汚水配管	既：DVLP 新：FS-VP
----	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
Ⓛ	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接（100片面）とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、空隙壁内とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面名称 D0 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去・改修後)

図面No. M-05

設計日 2025年3月

S = 1/50

撤去

改修後

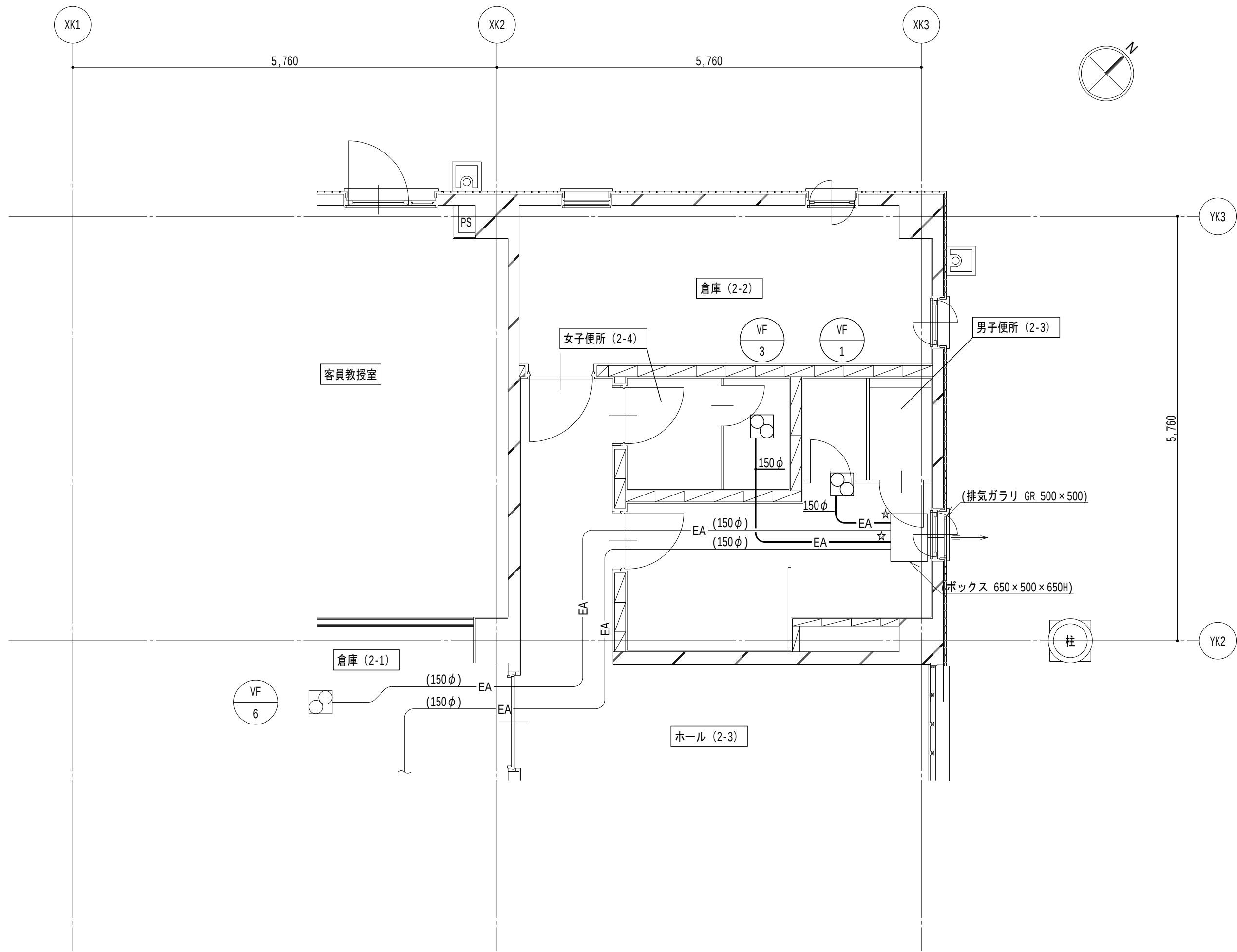
（撤去）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
VF-1	換気扇	型 式：天井埋込形 仕 様：150φ × 600m ³ /h × 98Pa	1-100	0.088	LS	1	D0 管理棟 1階 男子便所 (2-3) ×1	形状：474×474×247H 重量：10.0kg
VF-3	換気扇	型 式：天井埋込形 仕 様：150φ × 500m ³ /h × 98Pa	1-100	0.088	LS	1	D0 管理棟 1階 女子便所 (2-4) ×1	形状：380×380×263H 重量：6.3kg
注) 撤去送風機・換気扇共通事項 1.付属品共、壊外搬出処分とする								

（新設）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-6	消音ボックス付送風機	型 式：消音型 仕 様：No.1 1/4 × 510m ³ /h × 110Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.088	LS	1	D0 管理棟 1階 男子便所 (2-3) ×1	品番：（参考）BFS-50SUG2
注) 送風機・換気扇共通事項 1.電気容量は参考値とし、記載以下とする 2.ファンへの接続は、たわみ継手とする 3.機器表中記載の〇〇Paは機外静圧を示し、参考値とする 4.その他はメーカー基準とする 5.排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）								

女子便所(2-4)(新設)		男子便所(2-3)(新設)	
HS 150 × 150 [EA 120 m³/h]	1	HS 150 × 150 [EA 130 m³/h]	3
250 × 250 × 300H (保温なし)		250 × 250 × 300H (保温なし)	
注記) 制気口・ギョッス・ホワの新設を行う			



D0 換気設備 1階平面図 (撤去) S=1/50

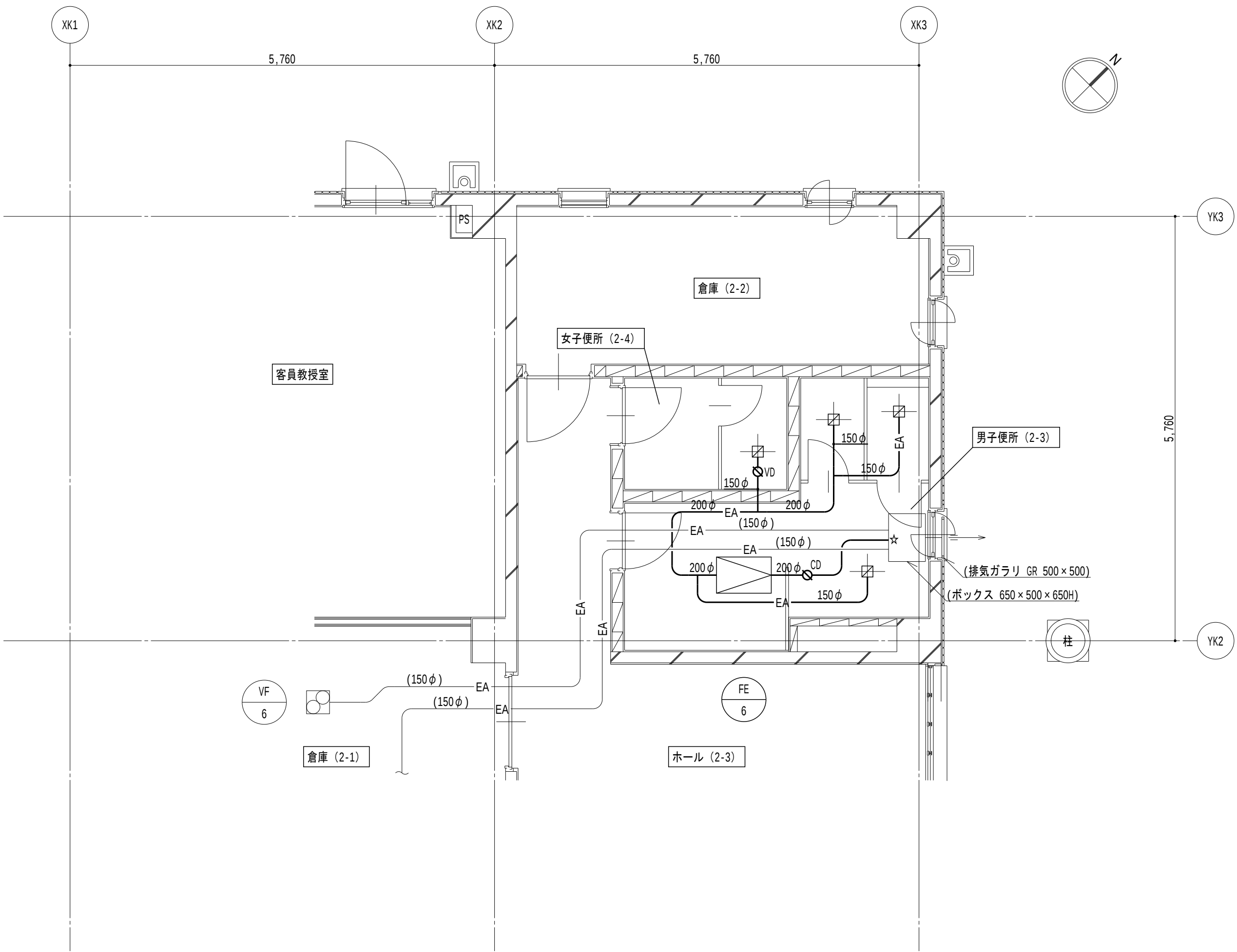
凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
□	吸込口	
←	排気ガラリ	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は切断箇所を示す



D0 換気設備 1階平面図 (改修後) S=1/50

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
□	吸込口	
←	排気ガラリ	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は接続箇所を示す

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面No. M-06

図面名称 D0 換気設備 1階平面詳細図 (撤去・改修後)

S = 1/50

設計日 2025年3月

撤去

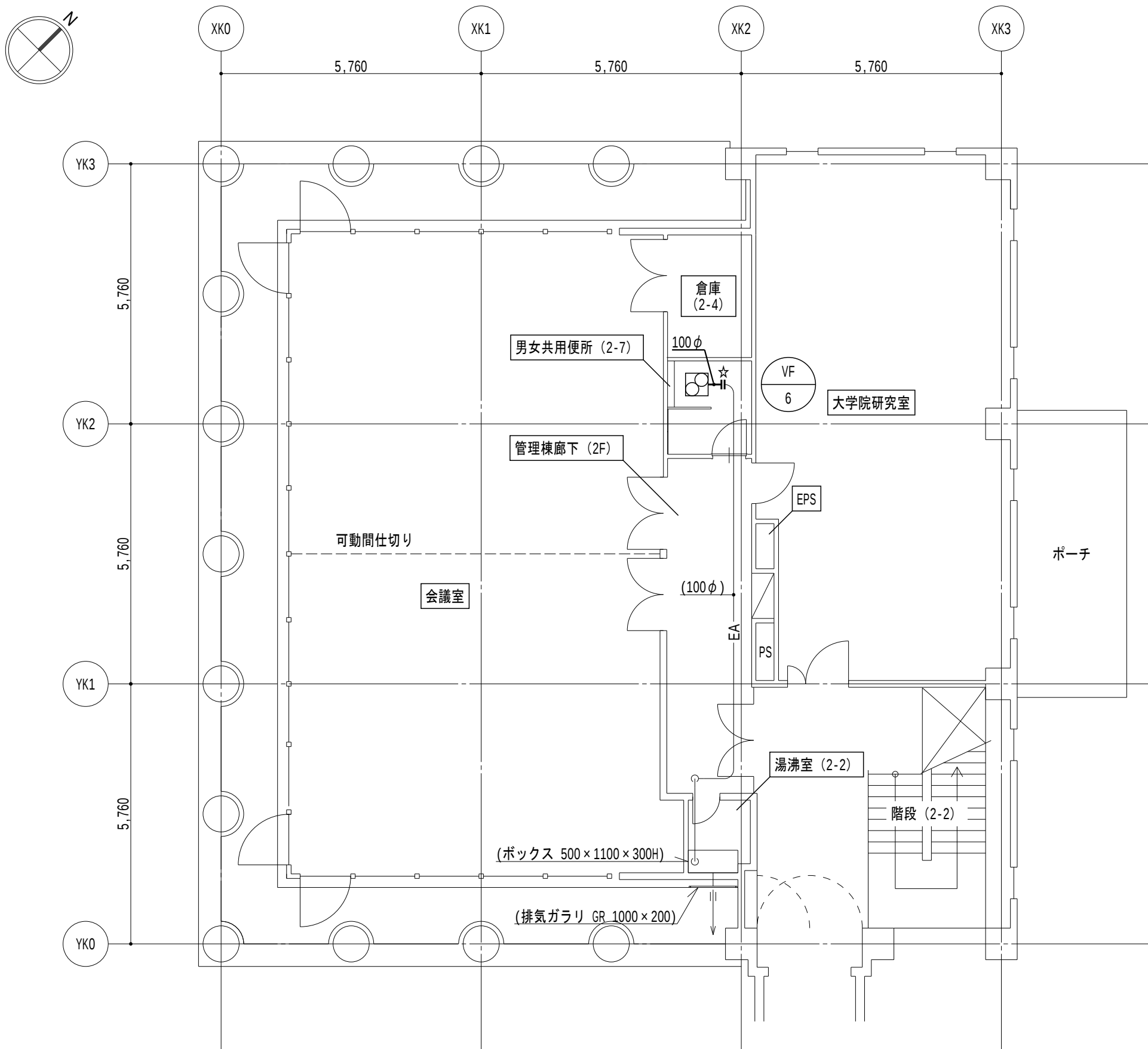
改修後

（撤去）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
VF-6	換気扇	型 式：天井埋込形 仕 様：150φ × 600m ³ /h × 98Pa	1-100	0.088	LS	1	D0 管理棟 2階 男女共用便所 (2-7) ×1	形状：334×334×258H 重量：5.7kg
注）撤去送風機・換気扇共通事項 1. 付属品共、場外搬出処分とする								

（新設）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
VF-6	換気扇	型 式：天井埋込形 仕 様：150φ × 140m ³ /h × 130Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.049	LS	1	D0 管理棟 2階 男女共用便所 (2-7) ×1	品番：（参考）VD-202C14
注）送風機・換気扇共通事項 1. 電気容量は参考値とし、記載以下とする 2. ファンへの接続は、たわみ継手とする 3. 機器表中記載の〇〇Paは機外静圧を示し、参考値とする 4. その他はメーカー基準とする 5. 排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）								



D0 換気設備 2階平面図 (撤去) S=1/100

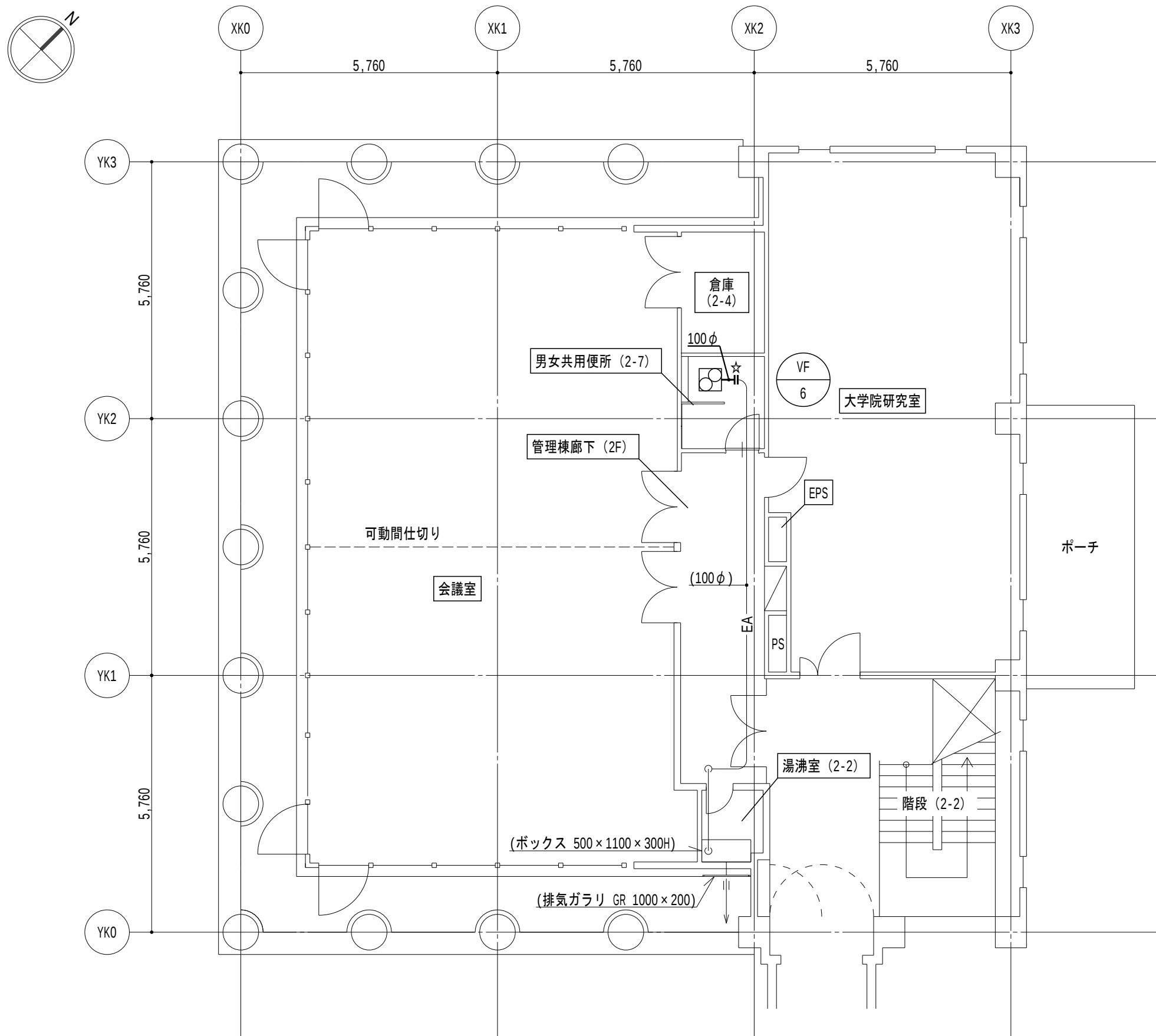
凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
⊠	吸込口	
←=	排気ガラリ	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は切断箇所を示す



D0 換気設備 2階平面図 (改修後) S=1/100

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
⊠	吸込口	
←=	排気ガラリ	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は接続箇所を示す

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課



株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称
滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面名称
D0 換気設備 2階平面詳細図 (撤去・改修後)

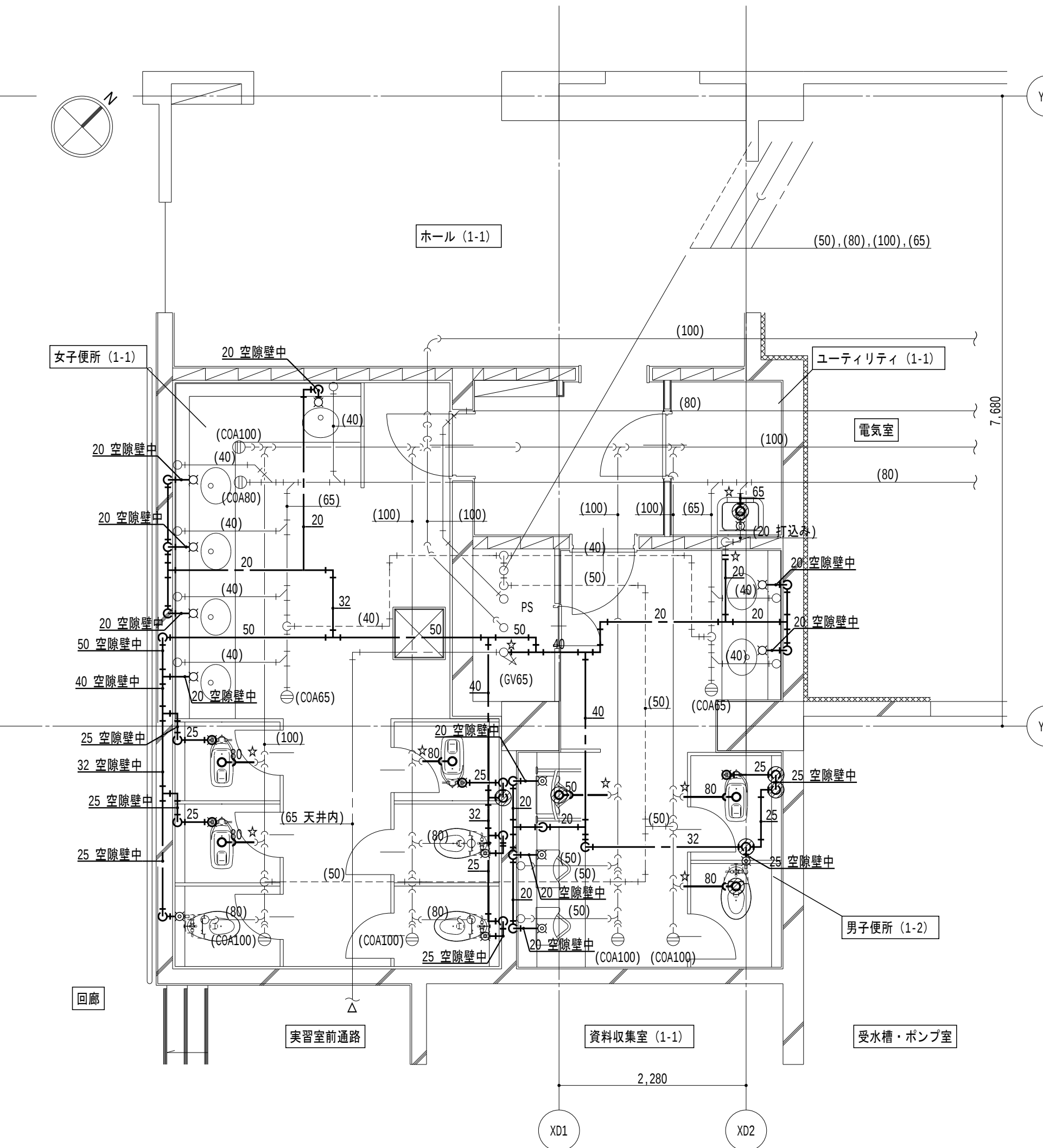
図面No.
M-07

設計日
2025年3月

S = 1/100

撤去

D3 1階			D3 1階			D3 1階		
女子便所 (1-1)			男子便所 (1-2)			ユーティリティ (1-1)		
名称	仕様	数量	名称	仕様	数量	名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	3	和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	掃除用流し	水栓共	1
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	3	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	注記) 付属品共、場外搬出処分とする		
洗面器	5連カウンタ型 (陶器のみ)	1	小便器	床置型	1			
	、水栓5個共			壁掛型	2			
注記) 付属品共、場外搬出処分とする			洗面器	2連カウンタ型 (陶器のみ)	1			
和風便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする			手すり	小便器用	1			
			注記) 付属品共、場外搬出処分とする			和風便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする		



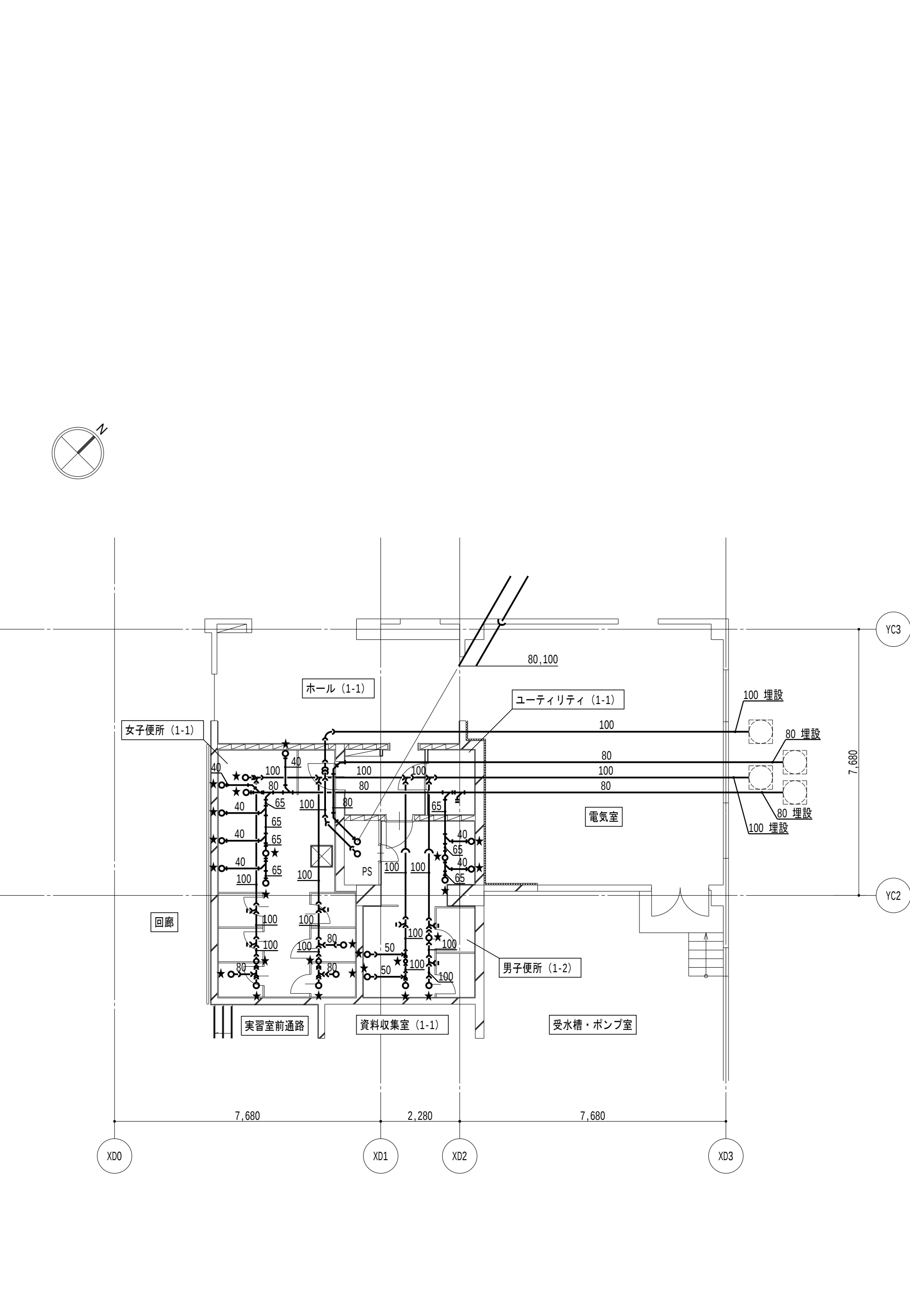
D3 給排水設備 1階平面図 (撤去) S=1/50

線種記号		
記 号	名 称	備 考
---	給水配管	SGP-PA
—	雑排水配管	DVLP
—	汚水配管	DVLP
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記 号	名 称	備 考
☒	洗浄弁	
☐	水栓	
Ⓛ	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - Ⓛ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ★は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

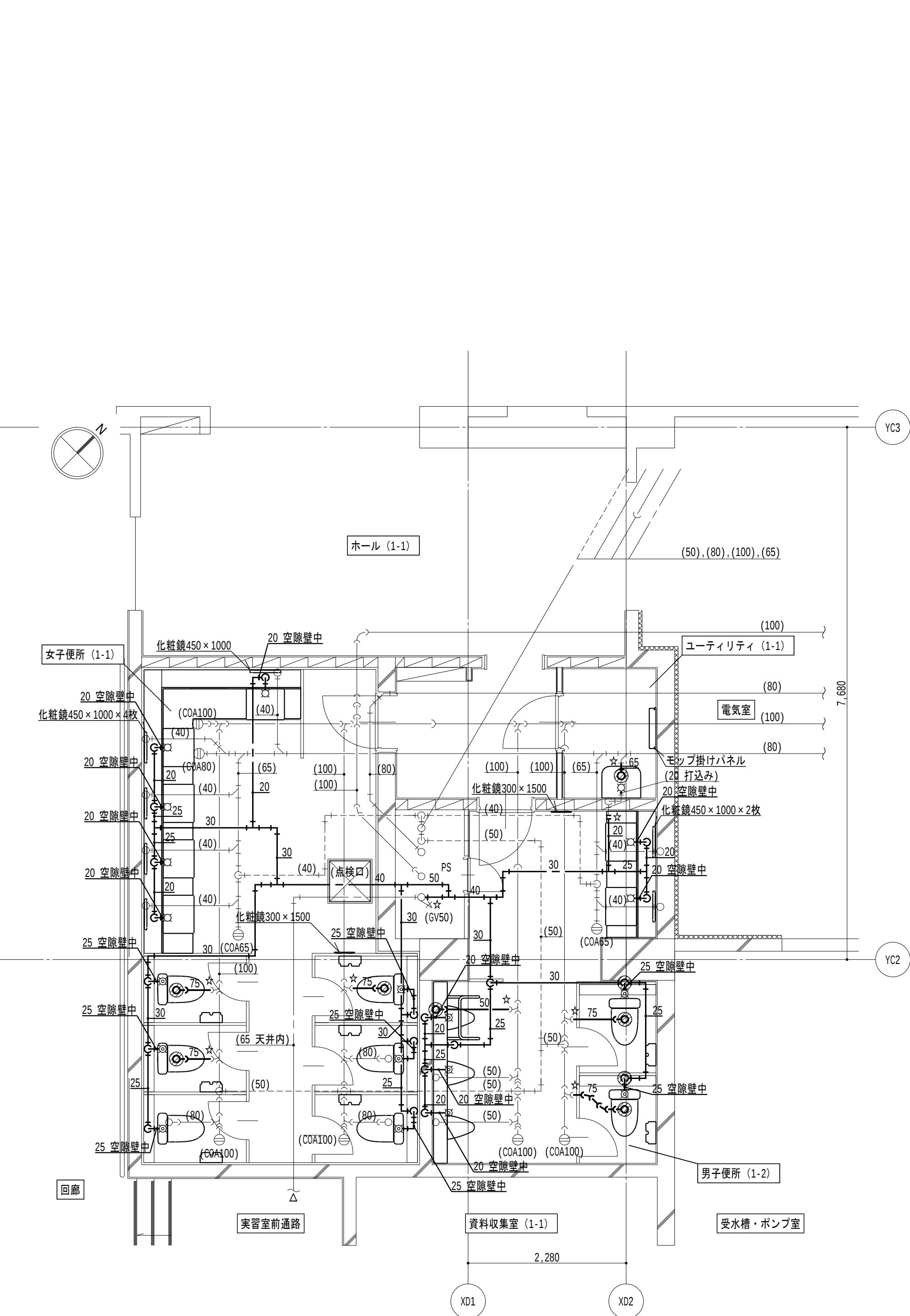


D3 給排水設備 1階平面図 (管更生) S=1/100

線種記号		
記 号	名 称	備 考
—	雑排水配管	DVLP、管更生
—	汚水配管	DVLP、管更生
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ★は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



D3 給排水設備 1階平面図 (改修後) S=1/50

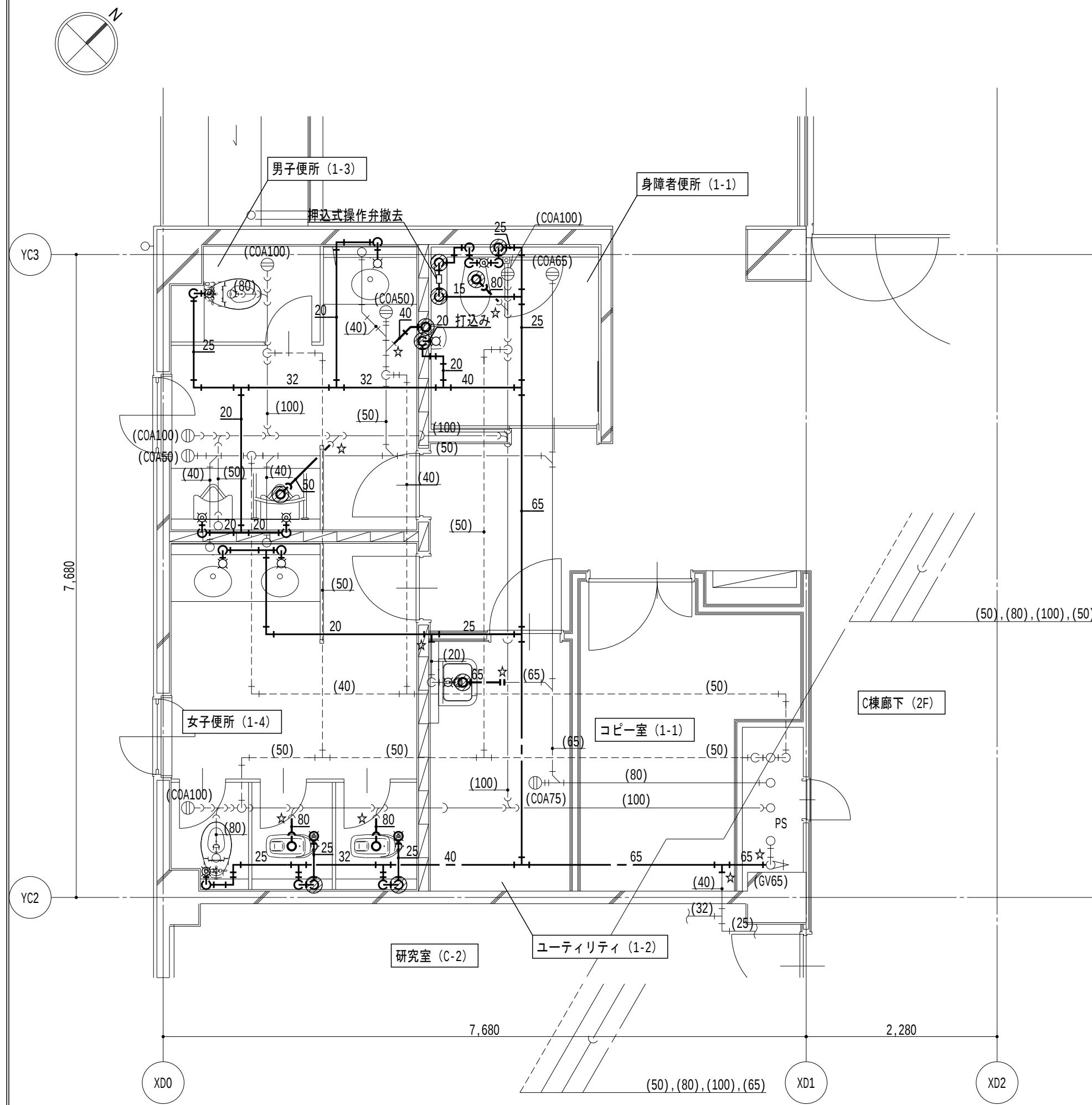
線種記号			凡例		
記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: H1VP	☒	洗浄弁	
—	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP	☐	水栓	
—	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP	Ⓛ	掃除口	
- - - - -	通気配管	SGP(黒)			

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - Ⓛ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ★は既設配管の接続箇所を示す

撤去

D3 2階			D3 2階			D3 2階		
女子便所 (1-4)			男子便所 (1-3)			身障者便所 (1-1)		
名称	仕様	数量	名称	仕様	数量	名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	2	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	小便器	床置型	1	洗面器	壁掛型、水栓共	1
洗面器	2連カウンター型 (陶器のみ)、水栓2個共	1		壁掛型	1	手すり	水平可動型	1
注記) 付属品共、場外搬出処分とする			洗面器			注記) 付属品共、場外搬出処分とする		
和風便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする			手すり			和風便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする		
			注記) 付属品共、場外搬出処分とする					

D3 2階		
ユーティリティ (1-2)		
名称	仕様	数量
掃除用流し	水栓共	1
注記) 付属品共、場外搬出処分とする		



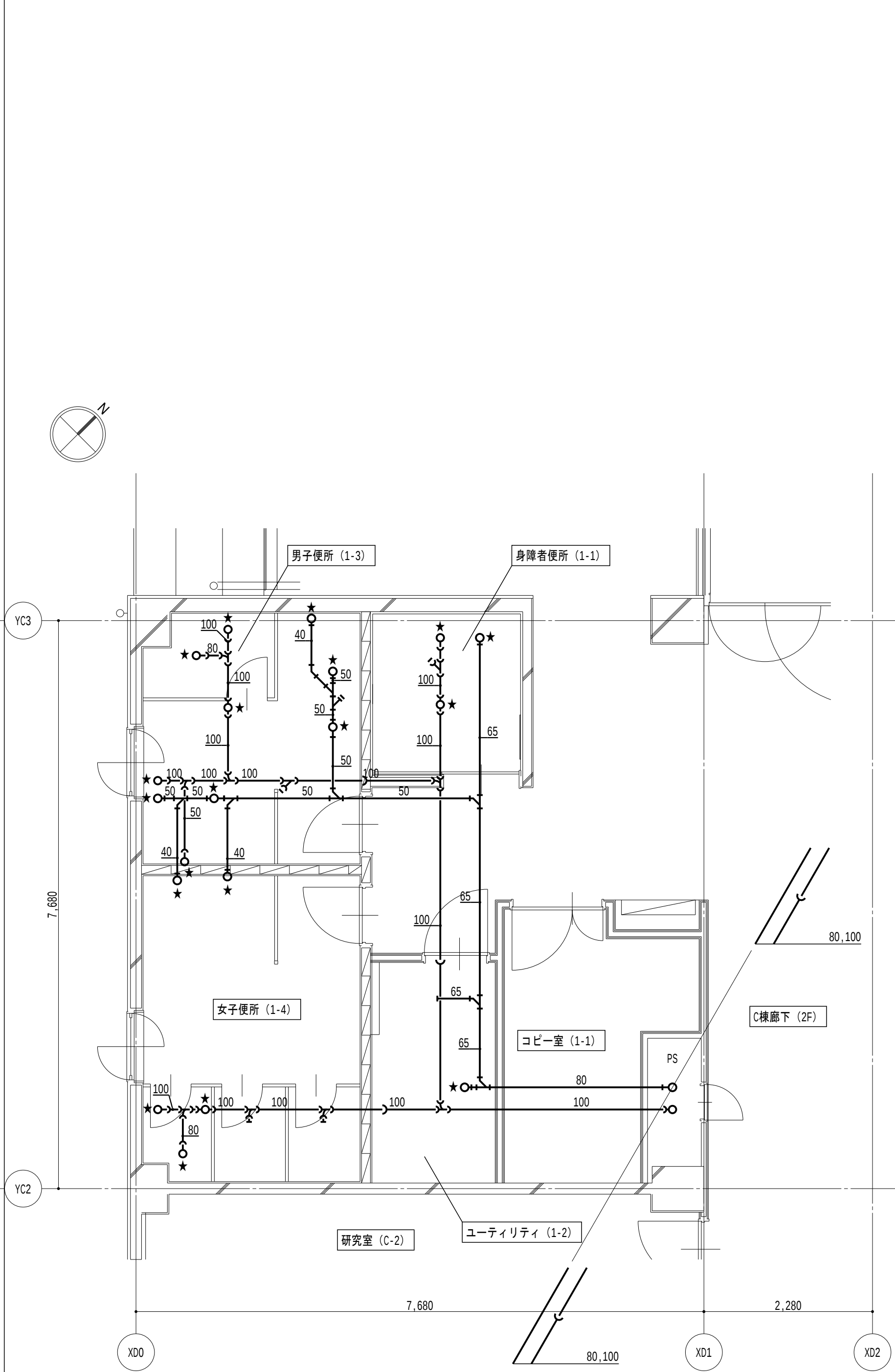
D3 給排水設備 2階平面図 (撤去) S=1/50

線種記号		
記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
→	汚水配管	DVLP
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
⓪	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管は天井内、空腔壁内とする
 - ★は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

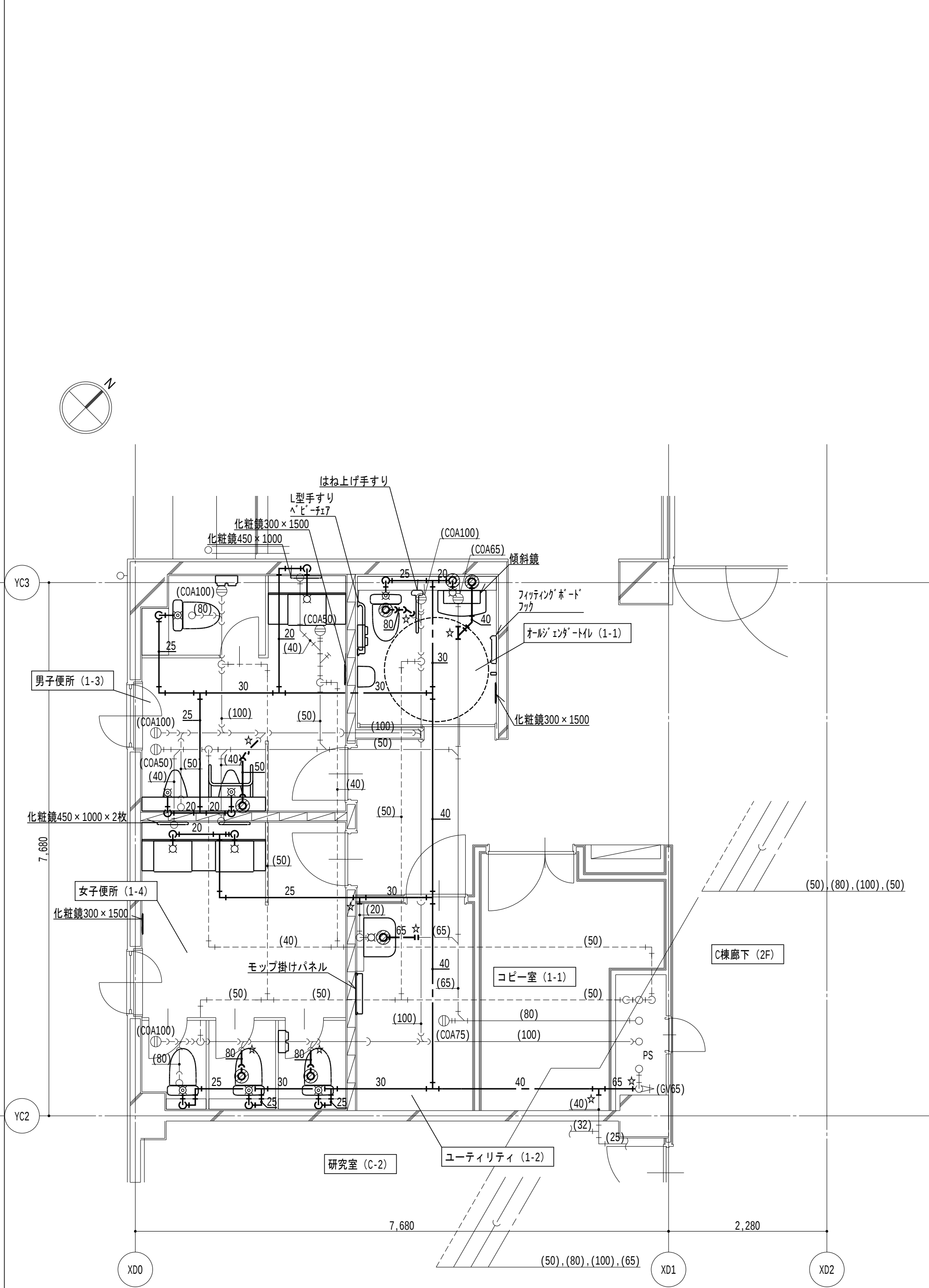


D3 給排水設備 2階平面図 (管更生) S=1/50

線種記号		
記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
→	汚水配管	DVLP、管更生
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管は天井内、空腔壁内とする
 - ★は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
- ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



D3 給排水設備 2階平面図 (改修後) S=1/50

線種記号		
記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: HIVP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: PS-VP
→	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
⓪	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
 - 鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
 - 給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、空腔壁内とする
 - ★は既設配管の接続箇所を示す

撤去

D3 3階

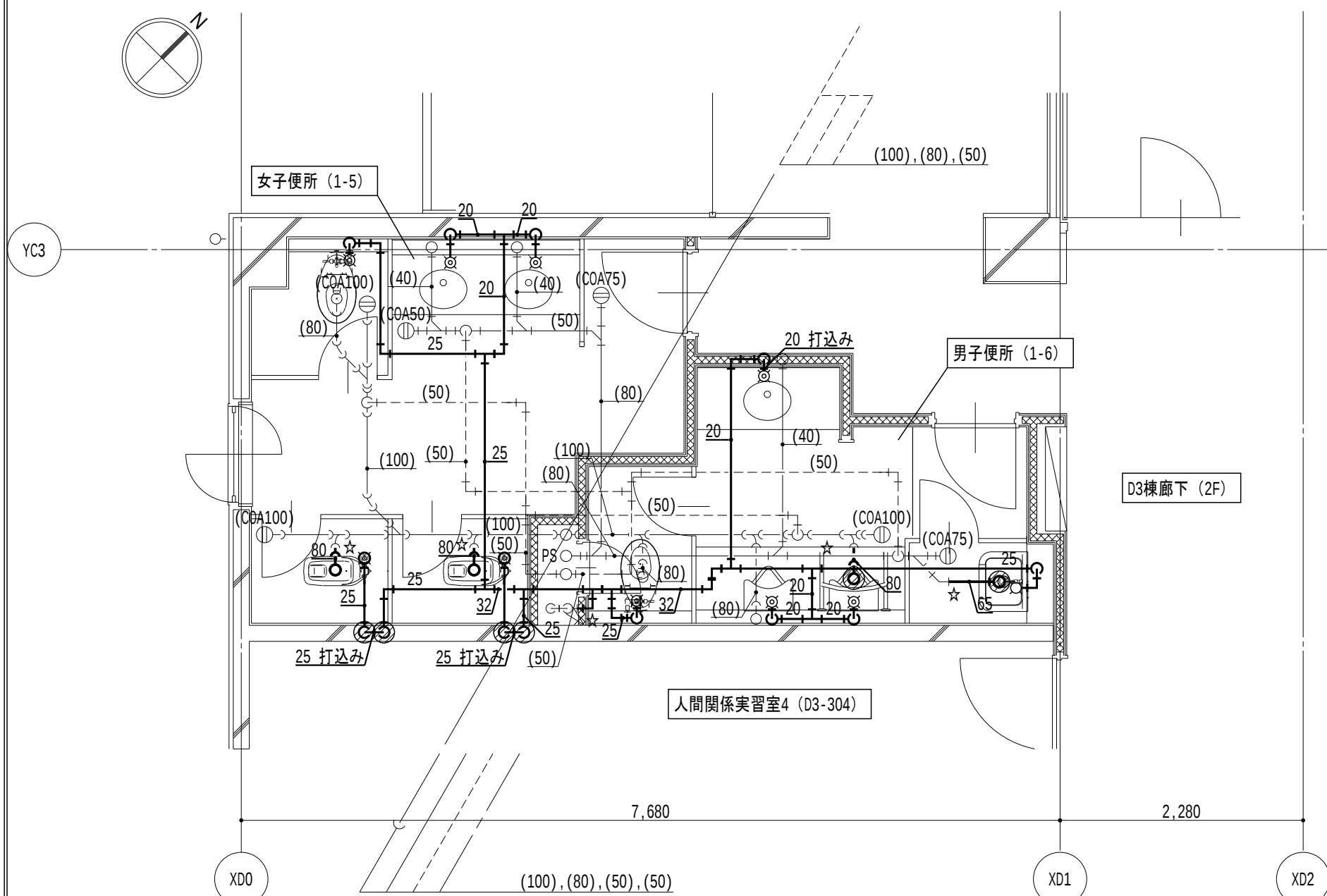
女子便所 (1-5)		撤去・処分
名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	2
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洗面器	2連カウンター型（陶器のみ）、水栓2個共	1

注記）付属品共、場外搬出処分とする
和風便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

D3 3階

男子便所 (1-6)		撤去・処分
名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
小便器	床置型	1
	壁掛型	1
洗面器	カウンター型（陶器のみ）、水栓共	1
手すり	小便器用	1
掃除用流し	水栓共	1

注記）付属品共、場外搬出処分とする



D3 給排水設備 3階平面図（撤去） S=1/50

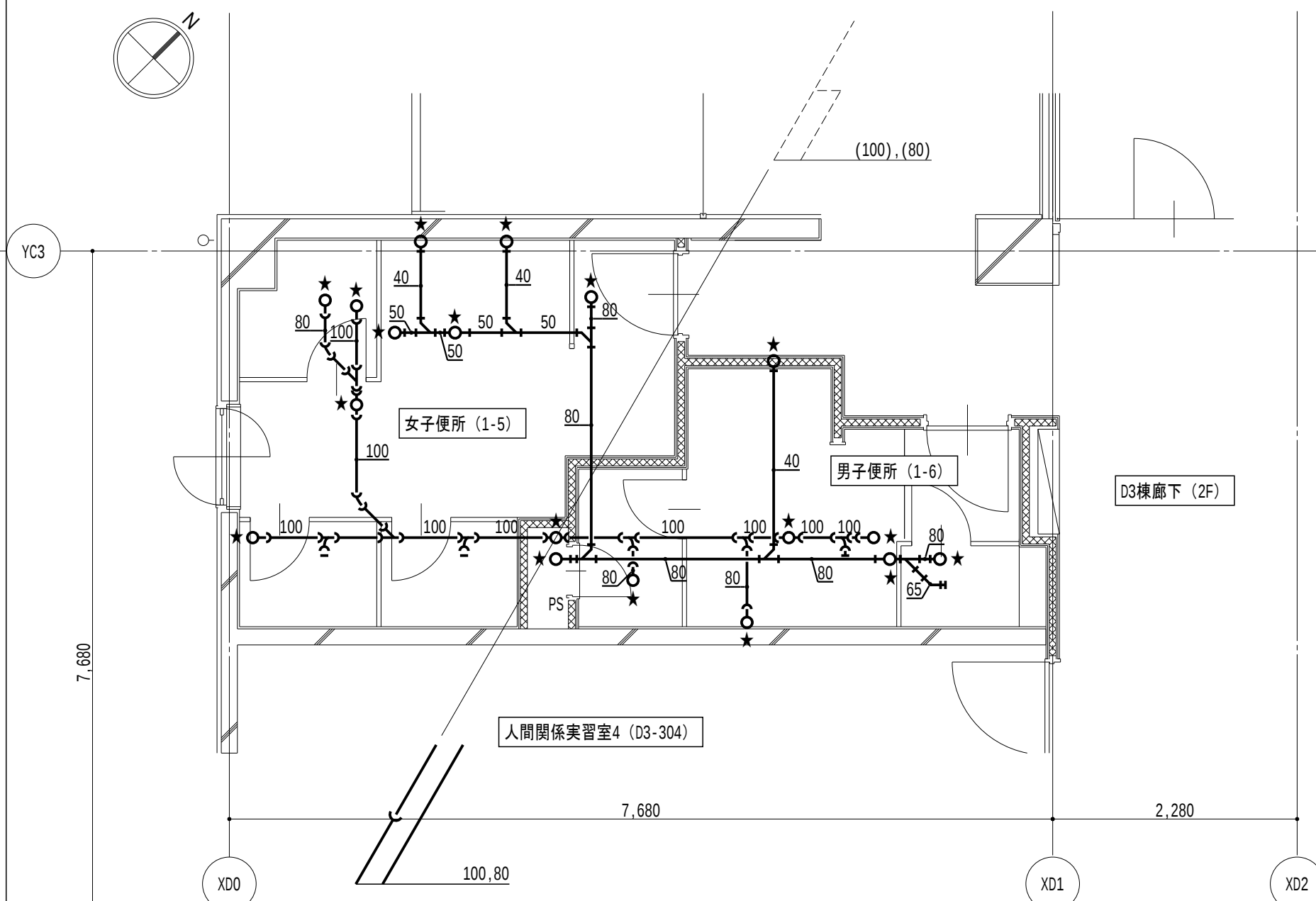
線種記号

記 号	名 称	備 考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
→	汚水配管	DVLP
----	通気配管	SGP(黒)

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
- 特記なき配管は天井内、空隙壁内とする
- ★は切断プラグ止め箇所を示す

管更生



D3 給排水設備 3階平面図（管更生） S=1/50

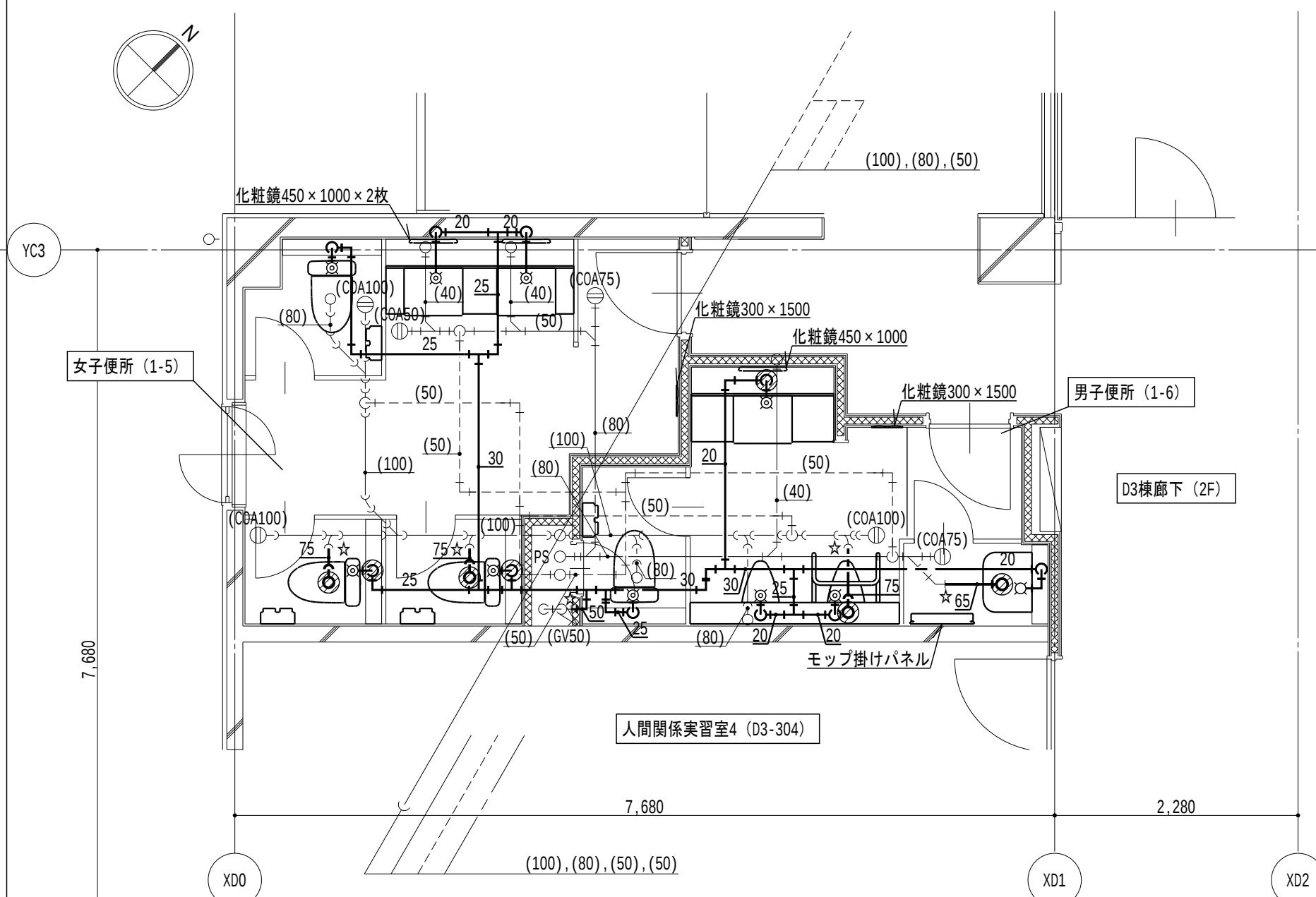
線種記号

記 号	名 称	備 考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
→	汚水配管	DVLP、管更生
----	通気配管	SGP(黒)

注記

- 太線はライニング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
- 細線は残置を示す
- 特記なき配管は天井内、空隙壁内とする
- ★は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



D3 給排水設備 3階平面図（改修後） S=1/50

線種記号

記 号	名 称	備 考
---	給水配管	既：SGP-PA 新：HIVP
---	雑排水配管	既：DVLP 新：FS-VP
→	汚水配管	既：DVLP 新：FS-VP
----	通気配管	SGP(黒)

凡例

記 号	名 称	備 考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
Ⓜ	掃除口	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接（100片面）とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
- 特記なき配管は天井内、空隙壁内とする
- ★は既設配管の接続箇所を示す

撤去

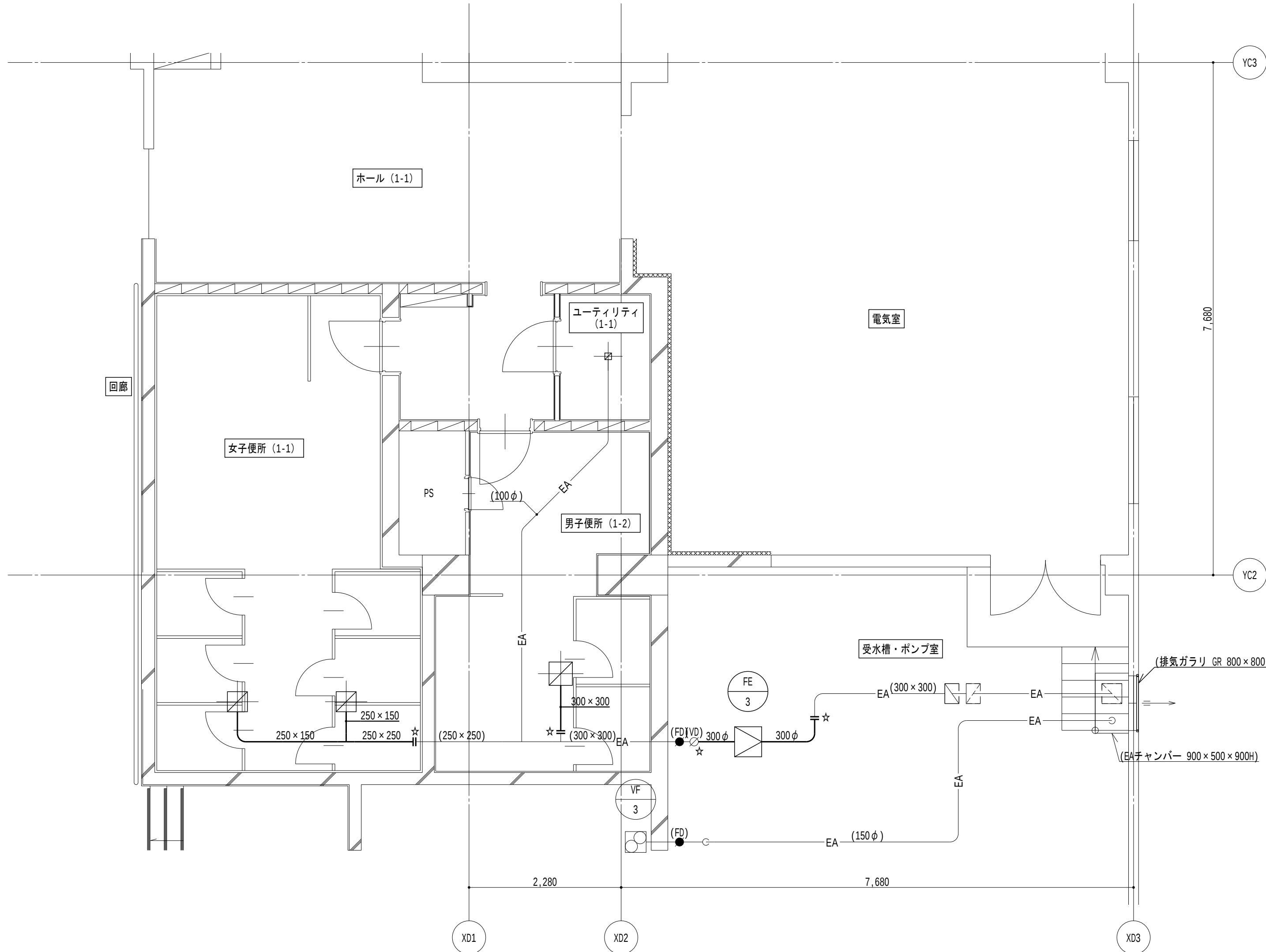
（撤去）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-3	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：300φ × 1850m ³ /h × 98Pa	1-100	0.150	LS	1	D3 研究C棟 1階 受水槽・ポンプ室 ×1	形状：550×450×550H 重量：15.0kg
注）撤去送風機・換気扇共通事項 1. 付属品共、壊外搬出処分とする								

女子便所(1-1)(撤去・処分)	
HS 300×300 [EA]	2
500×500×400H (保温なし)	
注記) 制気口・ホッパス・ベツの撤去を行う	

男子便所(1-2)(撤去・処分)	
HS 350×350 [EA]	1
550×550×400H (保温なし)	
注記) 制気口・ホヱッス・ホヱの撤去を行う	

ユーティリティ(1-1)(残置)	
HS 100×100 [EA]	1
300×300×200H (保温なし)	



D3 換気設備 1階平面図 (撤去) S=1/50

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
□	吸込口	
←	排気ガラリ	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は切断箇所を示す

改修後

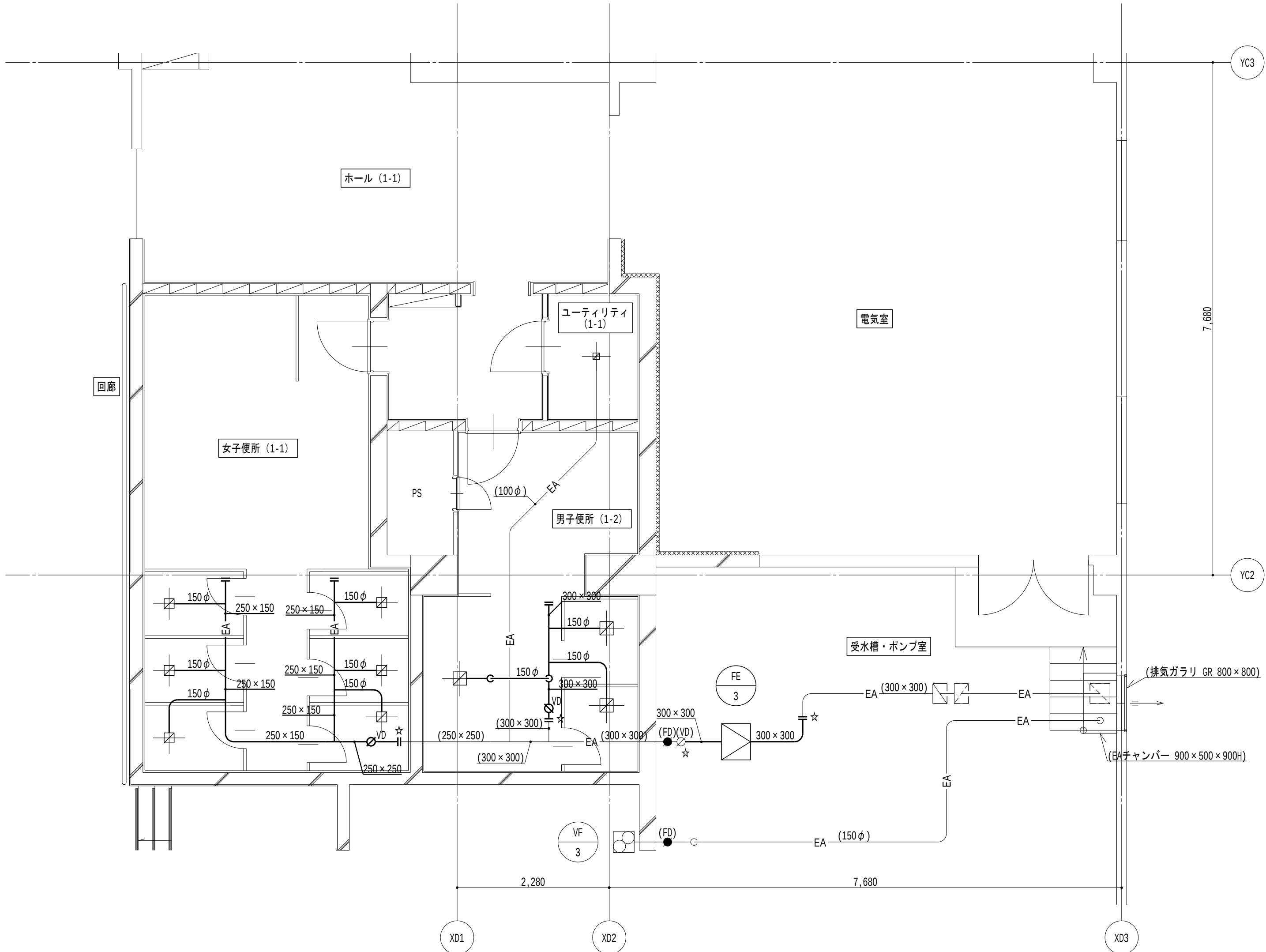
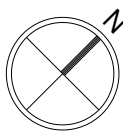
（新設）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-3	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：325φ × 1690m ³ /h × 150Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.300	LS	1	D3 研究C棟 1階 受水槽・ポンプ室 ×1	品番：（参考）JF-160SA2
注）送風機・換気扇共通事項 1. 電気容量は参考値とし、記載以下とする 2. ファンへの接続は、たわみ継手とする 3. 機器表中記載のOOPaは機外静圧を示し、参考値とする								
4. その他はメーカー基準とする 5. 排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）								

女子便所(1-1)(新設)	
HS 150×150 [EA 170 m³/h]	6
300×300×300H (保温なし)	
注記) 制気口・ボックス・ネックの新設を行う	

男子便所(1-2)(新設)		
HS 200×200 [EA 210 m ³ /h]		3
350×350×300H (保温なし)		
注記) 制気口・ダクト・排気の新設を行う		

ユーティリティ(1-1)(既設)	
HS 100×100 [EA 40 m ³ /h]	1
300×300×200H (保温なし)	



D3 換気設備 1階平面図 (改修後) S=1/50

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
□	吸込口	
←	排気ガラリ	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は接続箇所を示す

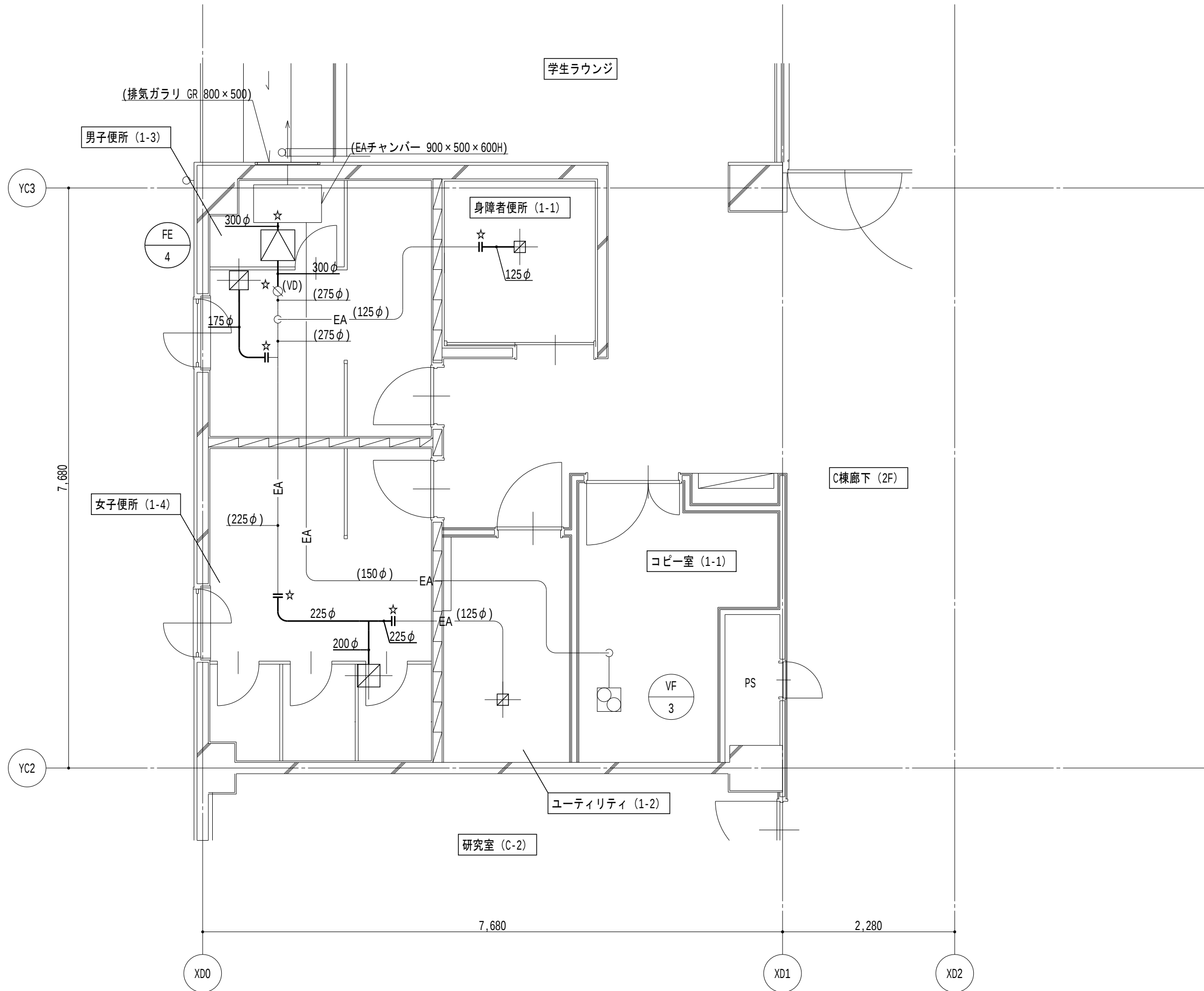
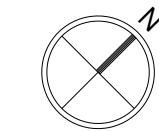
撤去

改修後

（撤去）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-4	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：300φ × 1000m ³ /h × 98Pa	1-100	0.080	LS	1	D3 研究C棟 2階 男子便所 (1-3) ×1	形状：450×400×450H 重量：15.0kg
注）撤去送風機・換気扇共通事項 1. 付属品共、壊外搬出処分とする								

女子便所(1-4)（撤去・処分） HS 300 × 300 [EA] 500 × 500 × 250H (保温なし)	1	男子便所(1-3)（撤去・処分） HS 250 × 250 [EA] 350 × 350 × 250H (保温なし)	1	身障者便所(1-1)（撤去・処分） HS 150 × 150 [EA] 350 × 350 × 200H (保温なし)	1	ユーティリティ(1-2)（残置） HS 150 × 150 [EA] 250 × 250 × 200H (保温なし)	1
注記）制気口・ダクト・配管の撤去を行う		注記）制気口・ダクト・配管の撤去を行う		注記）制気口の撤去を行う			



D3 換気設備 2階平面図（撤去） S=1/50

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
□	吸込口	
←=	排気ガラリ	

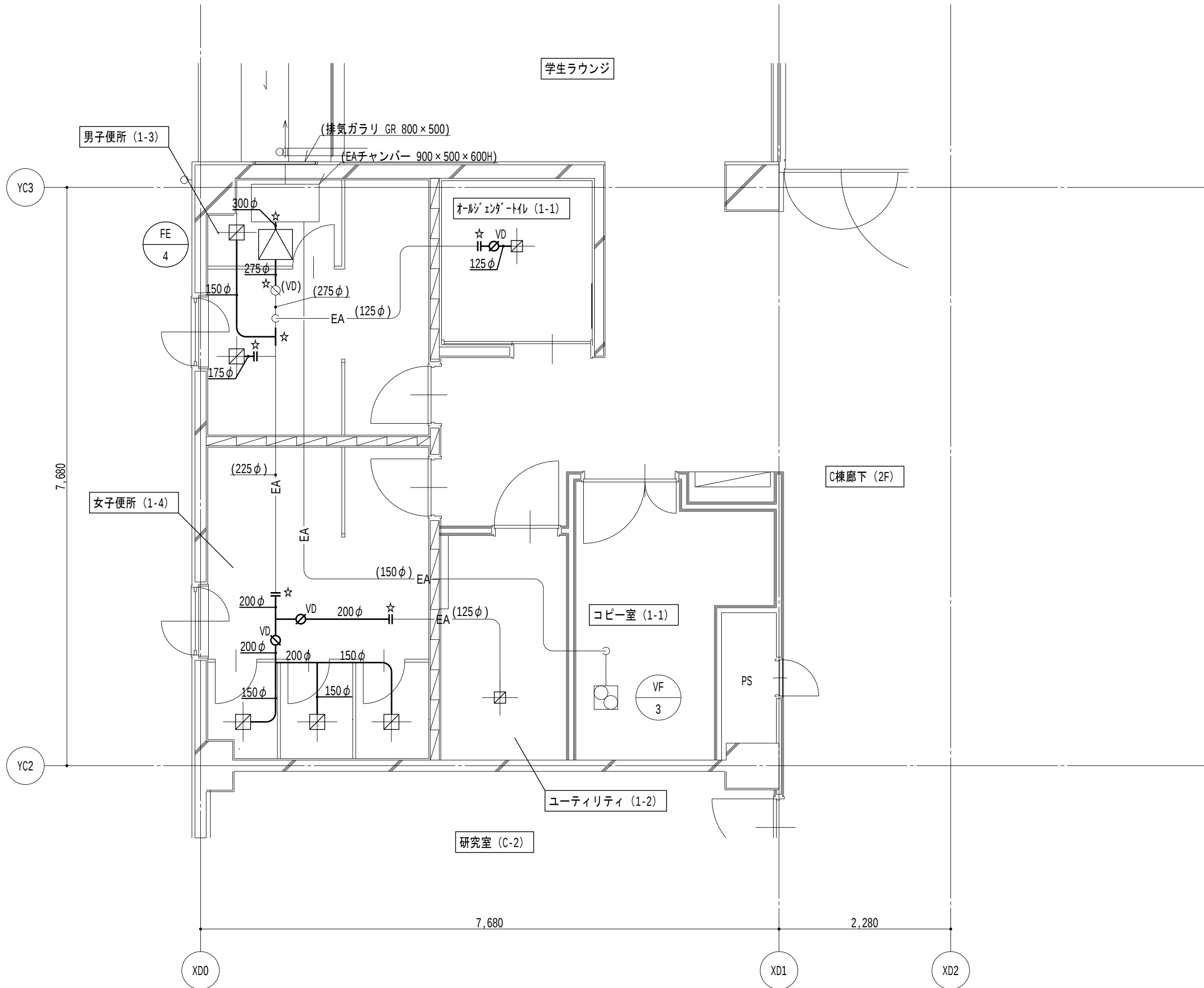
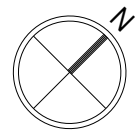
注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は切断箇所を示す

（新設）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-4	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：300φ × 1150m ³ /h × 110Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.210	LS	1	D3 研究C棟 2階 男子便所 (1-3) ×1	品番：（参考）JF-120SA2
注）送風機・換気扇共通事項 1.電気容量は参考値とし、記載以下とする 2.ファンへの接続は、たわみ継手とする 3.機器表中記載の〇〇Paは機外静圧を示し、参考値とする								
4.その他はメーカー基準とする 5.排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）								

女子便所(1-4)（新設） HS 200 × 200 [EA 180 m ³ /h] 350 × 350 × 300H (保温なし)	3	男子便所(1-3)（新設） HS 200 × 200 [EA 190 m ³ /h] 300 × 300 × 300H (保温なし) HS 200 × 200 [EA 190 m ³ /h] 300 × 300 × 350H (保温なし)	1 1	身障者便所(1-1)（新設） HS 150 × 150 [EA 160 m ³ /h] 350 × 350 × 200H (保温なし)	1	ユーティリティ(1-2)（既設） HS 150 × 150 [EA 70 m ³ /h] 250 × 250 × 200H (保温なし)	1
注記）制気口・ダクト・配管の新設を行う		注記）制気口・ダクト・配管の新設を行う		注記）制気口の新設を行う			



D3 換気設備 2階平面図（改修後） S=1/50

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
○ ^{VD}	風量調整ダンパー	
○ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
□	吸込口	
←=	排気ガラリ	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は接続箇所を示す

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課



株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面名称 D3 換気設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）

図面No. M- 12

設計日 2025年3月

S = 1/50

撤去

改修後

（撤去）換気機器リスト

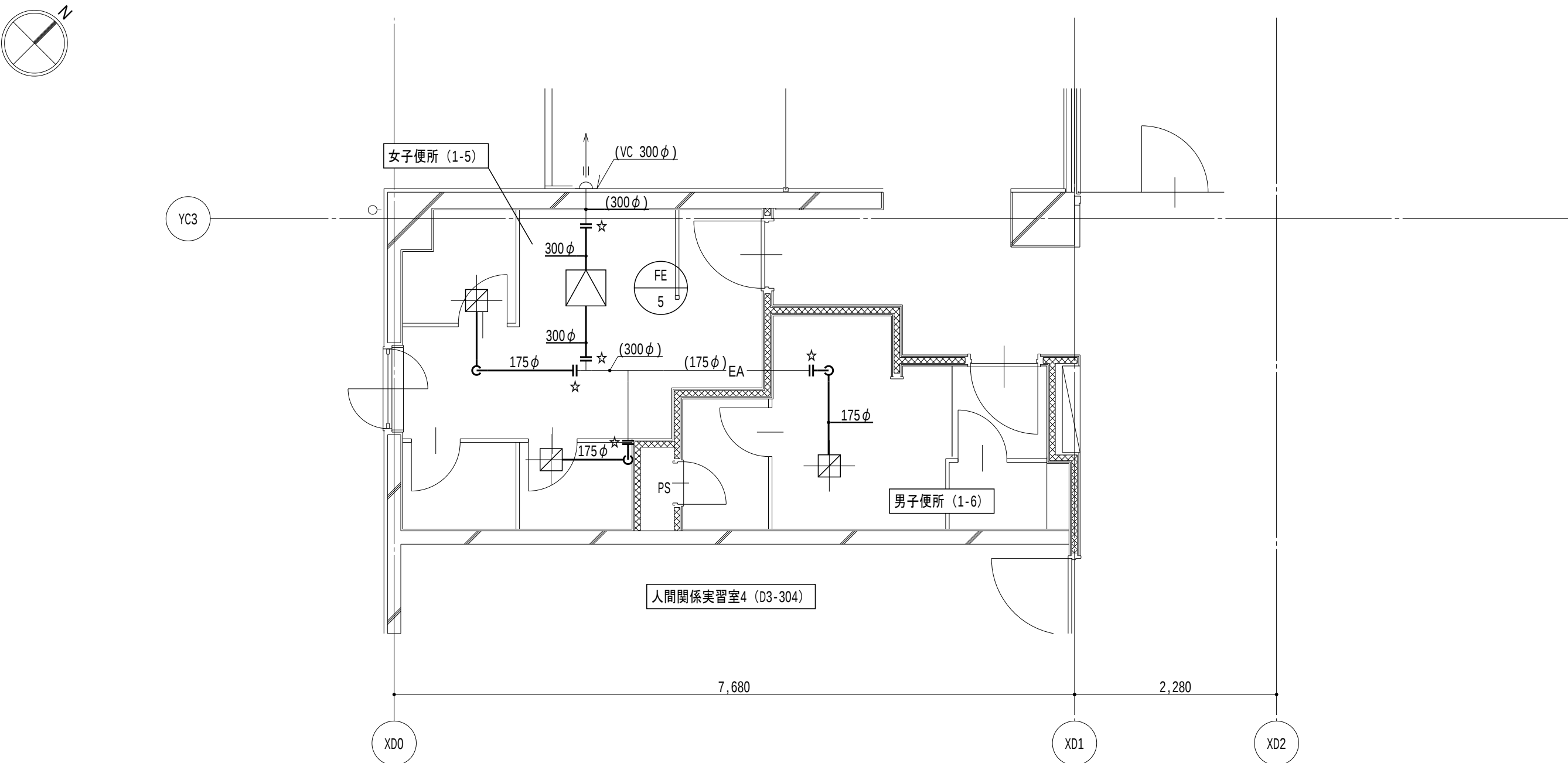
記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-5	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：300φ × 800m ³ /h × 98Pa	1-100	0.080	LS	1	D3 研究C棟 3階 女子便所 (1-5) ×1	形状：450×400×450H 重量：15.0kg
注）撤去送風機・換気扇共通事項 1.付属品共、壊外搬出処分とする								

女子便所(1・5)(撤去・処分)		男子便所(1・6)(撤去・処分)	
HS 250×250 [EA]	2	HS 250×250 [EA]	1
350×350×300H (保温なし)		350×350×300H (保温なし)	
注記) 制気口・ボックス・ツバの撤去を行う		注記) 制気口・ボックス・ツバの撤去を行う	

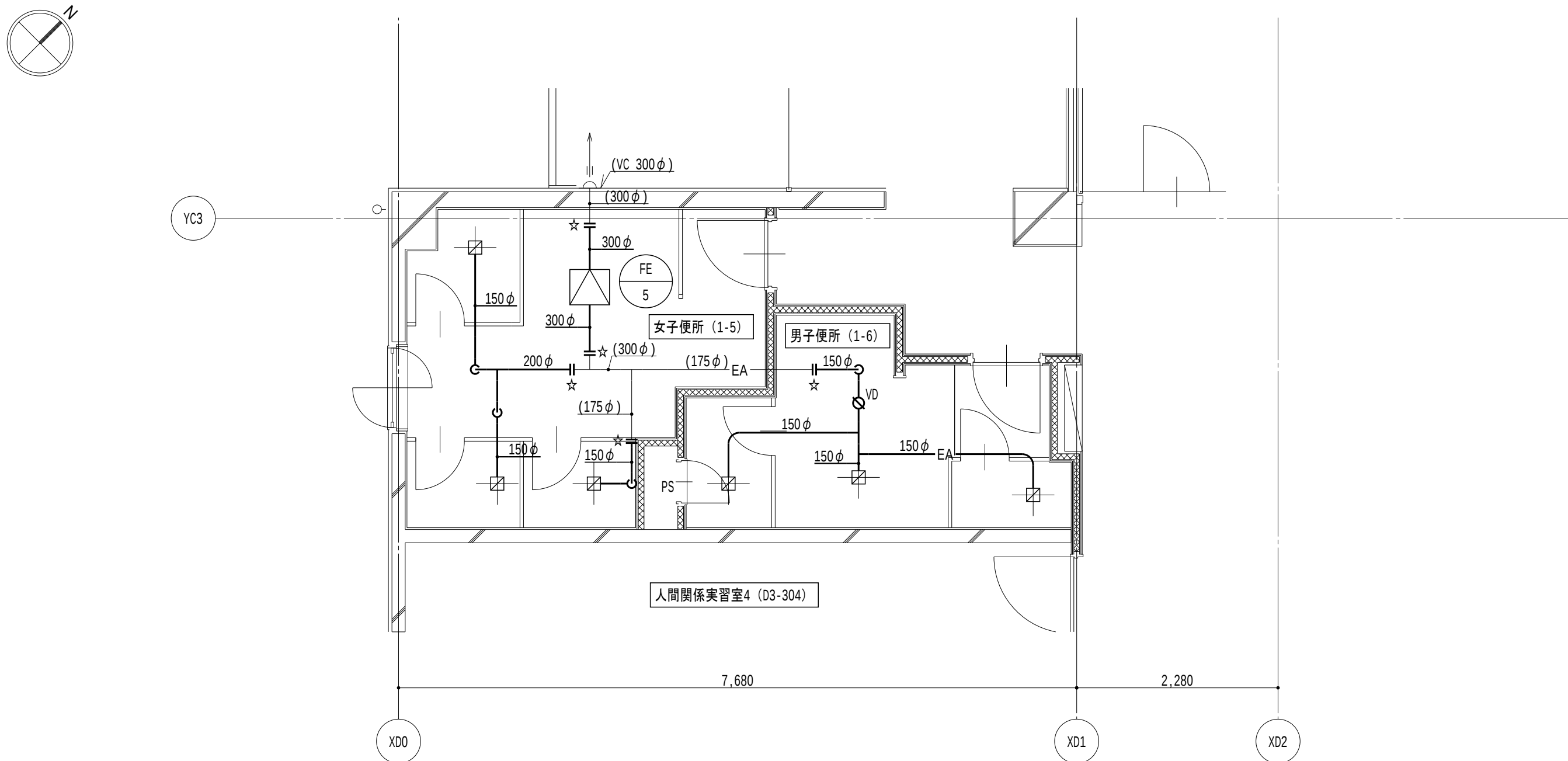
（新設）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-5	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：300φ × 840m ³ /h × 110Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.146	LS	1	D3 研究C棟 3階 女子便所 (1-5) ×1	品番：（参考）JF-90SA2
注）送風機・換気扇共通事項 1.電気容量は参考値とし、記載以下とする 2.ファンへの接続は、たわみ継手とする 3.機器表中記載の〇〇Paは機外静圧を示し、参考値とする								
4.その他はメーカー基準とする 5.排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）								

女子便所(1-5)(新設)		男子便所(1-6)(新設)	
HS 150×150 [EA 170 m³/h]	3	HS 150×150 [EA 110 m³/h]	3
300×300×300H (保温なし)		300×300×300H (保温なし)	
注記) 制気口・ﾎﾞｯｸｽ・ﾎﾞｯｸﾞの新設を行う			



D3 換気設備 3階平面図（撤去） S=1/50



D3 換気設備 3階平面図（改修後） S=1/50

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	
∅ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
⊠	吸込口	
←=	排気ガラリ	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は切断箇所を示す

凡例

記 号	名 称	備 考
—EA—	排気ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	
∅ ^{CD}	逆流防止ダンパー	
● ^{FD}	防火ダンパー	

記 号	名 称	備 考
⊠	吸込口	
←=	排気ガラリ	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- 特記なきダクトは天井内とする
- ☆は接続箇所を示す

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課



株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称
滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事
図面名称
D3 換気設備 3階平面詳細図 （撤去・改修後）

図面No.
M- 13
設計日
2025年3月

S = 1/50

滋賀県立大学工学部棟他トイレ改修工事

図面リスト

番号	図面名称	縮尺
共通特記	共通 特記仕様書 1	NOSCALE
A-01	建築改修工事特記仕様書 2	NOSCALE
A-02	建築改修工事特記仕様書 3	NOSCALE
A-03	建築改修工事特記仕様書 4	NOSCALE
A-04	建築改修工事特記仕様書 5	NOSCALE
A-05	建築改修工事特記仕様書 6	NOSCALE
A-06	工事区分表	NOSCALE
A-07	配置図 附近見取図	1/1500, 4000
A-08	人間文化学部棟 1階平面図	1/300
A-09	人間文化学部棟 2階平面図	1/300
A-10	人間文化学部棟 3階平面図	1/300
	D0 管理棟	
A-11	D0 1階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-12	D0 2階便所平面詳細図、天井伏図、展開図（改修前・改修後）	1/50
A-13	D0 1階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-14	D0 1階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-15	D0 矩計図（改修前・改修後）	1/50
	D3 研究C棟	
A-16	D3 1階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-17	D3 2階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-18	D3 3階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-19	D3 1階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-20	D3 2階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-21	D3 3階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-22	D3 1階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-23	D3 2階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-24	D3 3階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-25	D3 矩計図（改修前・改修後）	1/50
A-26	建具リスト 1	1/50
A-27	建具リスト 2	1/50
A-28	建具詳細図	1/5
A-29	ピクトサイン詳細図 (1)	1/2
A-30	ピクトサイン詳細図 (2)	1/2

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																										
仮設工事	② 1. 監督職員事務所	・ 設ける ・ 設けない ・ 構内 ・ 構外 規模 (・ 10m2 ・ 20m2 ・ 35m2 ・ 65m2 ・ 100m2) 程度 監督職員事務所の備品等 机、いす、書棚、白板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、安全帯、衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等、監督職員の指示による。	鉄筋工事	⑤ ③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手の方法等 (5 . 3 . 4) (5 . 5 . 3) (5 . 6 . 3) <table><tr><th>部位</th><th>接手の方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>柱、梁の主筋</td><td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手</td><td></td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>・ 溶接継手 ・ 重ね継手</td><td></td></tr><tr><td>その他の鉄筋 ()</td><td>・ 重ね継手</td><td></td></tr></table> 継手位置 ・ 構造関係共通事項 (配筋標準図) ・ 図示による () 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ※標準仕様書 表 5.3.2 による ・ 図示による () ・ 40d 以上 耐力壁の重ね継手の長さ ・ 構造関係共通事項 (配筋標準図) ・ 図示による ()	部位	接手の方法	呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手		耐力壁の鉄筋	・ 溶接継手 ・ 重ね継手		その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手		コンクリート工事	⑥ ① コンクリートの種類	コンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・ Ⅱ類 (6 . 2 . 1) ・ 普通コンクリート (6 . 2 . 1 ～ 4) (6 . 3 . 2) (6 . 10 . 1 . 2) <table><tr><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>スランプ (cm)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m3)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 18 (C21) ・ 24 ・ 30</td><td>・ 15 ・ 18</td><td>2.3 程度</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ 構造体強度補正值 ・ ※ (表 6.3.2) による ・ 軽量コンクリート 設計基準強度 (N/mm2) スランプ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m3) 種類 適用箇所 ・ 21 ・ ※21 ・ ・ 1 種 ・ 2 種 ・	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m3)	適用箇所	・ 18 (C21) ・ 24 ・ 30	・ 15 ・ 18	2.3 程度		・				・				ALCパネル	3. ALCパネル	ALCパネルの区分等 (8 . 4 . 2 ～ 5) <table><tr><th>区 分</th><th>単位荷重 (N/mm2)</th><th>正荷重</th><th>負荷重</th><th>厚さ (mm)</th><th>幅及び長さ</th><th>耐火性能 (時間)</th><th>構法の種別</th></tr><tr><td>・ 外壁用</td><td>・ 一般 ・ 平 ・ コーナー</td><td>・ 意匠</td><td>・</td><td>・ 100 ・ 120 ・</td><td>図示による</td><td>・ 1</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>・ 間仕切壁用</td><td>・ 一般 ・ コーナー</td><td>・ 平 ・ 意匠</td><td>—</td><td>・ 100 ・</td><td>図示による</td><td>・ なし ・ 1</td><td>・ C 種 ・ D 種 ・ E 種</td></tr><tr><td>・ 屋根用</td><td>—</td><td>—</td><td>・</td><td>・ 100 ・</td><td>図示による</td><td>・ 0.5</td><td></td></tr><tr><td>・ 床用</td><td>—</td><td>—</td><td>・</td><td>・ 100 ・</td><td>図示による</td><td>・ 1 ・ 2</td><td>※ F 種</td></tr></table> パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・ 図示による () ・ 外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (8 . 4 . 3 . 5) 耐風圧性能 () 耐震性能 () ・ 間仕切壁パネル構法 (8 . 4 . 4) 耐震性能 () パネル幅の最小限度 (mm) (8 . 4 . 3 ～ 5) ・ 300 未満 (・ 図示 ・) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと多部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8 . 4 . 3 . 4) ※10～20 ・ 図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない (8 . 4 . 3 . 4) (8 . 5 . 2 ～ 5) <table><tr><th>パネルの種類</th><th>形状</th><th>厚さ (mm)</th><th>幅 (mm)</th><th>工法の種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ F ・ D ・ T</td><td>・ 50 ・ 60 ・ 60</td><td>・ ※600 ・</td><td>・ A 種 ・ B 種</td><td></td></tr><tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ F ・ D ・ T</td><td>・ 50 ・ 60 ・ 60</td><td>・ ※600 ・</td><td>・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr></table> 注) F : フラットパネル、D : デザインパネル、T : タイルベースパネル ・ 外壁パネル工法 (8 . 5 . 3) 耐風圧性能 () 耐震性能 () ・ 間仕切壁パネル構法 (8 . 5 . 4) 耐震性能 () 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 (8 . 5 . 3 . 4) ※パネルの製造所の仕様による パネル幅の最小限度 (mm) (8 . 5 . 3 . 4) ・ 500 未満 (・ 図示 ・) パネルの相互間の目地幅 (mm) (8 . 5 . 3 . 4) 長辺の目地幅 ・ 10 以上 ・ 図示による 短辺の目地幅 ・ 15 以上 ・ 図示による 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8 . 5 . 3 . 4) ※15程度 (シーリング材を充填) ・ 図示による 溝堀及び開口部の措置 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。 <table><tr><th>パネルに孔あけを設ける場合</th><th>短辺</th><th>孔あけ及び欠き込みの大きさ</th><th>切断後のパネルの残り部分の幅</th></tr><tr><td>・</td><td>長辺</td><td>500mm 以下</td><td>150mm 以下</td></tr><tr><td>・</td><td>短辺</td><td>500mm 以下</td><td>300mm 以下</td></tr><tr><td>・</td><td>長辺</td><td>500mm 以下</td><td>300mm 以下</td></tr><tr><td>・</td><td>短辺</td><td>500mm 以下</td><td>300mm 以下</td></tr></table>	区 分	単位荷重 (N/mm2)	正荷重	負荷重	厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能 (時間)	構法の種別	・ 外壁用	・ 一般 ・ 平 ・ コーナー	・ 意匠	・	・ 100 ・ 120 ・	図示による	・ 1	・ A 種 ・ B 種	・ 間仕切壁用	・ 一般 ・ コーナー	・ 平 ・ 意匠	—	・ 100 ・	図示による	・ なし ・ 1	・ C 種 ・ D 種 ・ E 種	・ 屋根用	—	—	・	・ 100 ・	図示による	・ 0.5		・ 床用	—	—	・	・ 100 ・	図示による	・ 1 ・ 2	※ F 種	パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考	・ 外壁パネル	・ F ・ D ・ T	・ 50 ・ 60 ・ 60	・ ※600 ・	・ A 種 ・ B 種		・ 間仕切壁パネル	・ F ・ D ・ T	・ 50 ・ 60 ・ 60	・ ※600 ・	・ B 種 ・ C 種		パネルに孔あけを設ける場合	短辺	孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	・	長辺	500mm 以下	150mm 以下	・	短辺	500mm 以下	300mm 以下	・	長辺	500mm 以下	300mm 以下	・	短辺	500mm 以下	300mm 以下
	部位	接手の方法		呼び径 (mm)																																																																																																																	
	柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手																																																																																																																			
	耐力壁の鉄筋	・ 溶接継手 ・ 重ね継手																																																																																																																			
	その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手																																																																																																																			
	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)		気乾単位容積質量 (t/m3)	適用箇所																																																																																																																
	・ 18 (C21) ・ 24 ・ 30	・ 15 ・ 18		2.3 程度																																																																																																																	
	・																																																																																																																				
	・																																																																																																																				
	区 分	単位荷重 (N/mm2)		正荷重	負荷重	厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能 (時間)	構法の種別																																																																																																												
・ 外壁用	・ 一般 ・ 平 ・ コーナー	・ 意匠	・	・ 100 ・ 120 ・	図示による	・ 1	・ A 種 ・ B 種																																																																																																														
・ 間仕切壁用	・ 一般 ・ コーナー	・ 平 ・ 意匠	—	・ 100 ・	図示による	・ なし ・ 1	・ C 種 ・ D 種 ・ E 種																																																																																																														
・ 屋根用	—	—	・	・ 100 ・	図示による	・ 0.5																																																																																																															
・ 床用	—	—	・	・ 100 ・	図示による	・ 1 ・ 2	※ F 種																																																																																																														
パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考																																																																																																																
・ 外壁パネル	・ F ・ D ・ T	・ 50 ・ 60 ・ 60	・ ※600 ・	・ A 種 ・ B 種																																																																																																																	
・ 間仕切壁パネル	・ F ・ D ・ T	・ 50 ・ 60 ・ 60	・ ※600 ・	・ B 種 ・ C 種																																																																																																																	
パネルに孔あけを設ける場合	短辺	孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																																																																																																		
・	長辺	500mm 以下	150mm 以下																																																																																																																		
・	短辺	500mm 以下	300mm 以下																																																																																																																		
・	長辺	500mm 以下	300mm 以下																																																																																																																		
・	短辺	500mm 以下	300mm 以下																																																																																																																		
② 工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる (※ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない (但し現場事務所にかかものは有償)	7. ガス圧接継手	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	③ セメント	鉄筋の定着の長さ (5 . 3 . 4) ・ 構造関係共通事項 (配筋標準図) ・ 柱梁仕口の定着は 40d 以上 ・ 図示による () 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 ・ 図示による () ・ 種類	ALCパネル・押出成形セメント板工事	4. 押出成形セメント板 (ECP)	⑧ シーリング	防水改修工事	⑨ ① 改修工法																																																																																																											
③ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる (※ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない (但し現場事務所にかかものは有償)				鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む。) (5 . 3 . 5)																																																																																																																
④ 仮囲い等	図示による他、万能棚、フェンスバリケード等の仮設計画を立案し、監督職員と協議する。				⑥ 各部配筋 (5 . 3 . 7) 鉄筋の折曲げ内法直径 (90° 未満) (表 5 . 3 . 2) <table><tr><th>折り曲げ角度</th><th colspan="4">折曲げ内法直径 (D)</th></tr><tr><td></td><td>SD295、SD345、SD390</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>D16 以下</td><td>D19～D25</td><td>D29～D38</td><td></td><td></td></tr><tr><td>4d 以上 (5d 以上)</td><td>6d 以上 (6d 以上)</td><td>8d 以上 (8d 以上)</td><td></td><td></td></tr></table> SD390は () 内寸法を適用する。						折り曲げ角度	折曲げ内法直径 (D)					SD295、SD345、SD390				D16 以下	D19～D25	D29～D38			4d 以上 (5d 以上)	6d 以上 (6d 以上)	8d 以上 (8d 以上)																																																																																									
折り曲げ角度	折曲げ内法直径 (D)																																																																																																																				
	SD295、SD345、SD390																																																																																																																				
D16 以下	D19～D25	D29～D38																																																																																																																			
4d 以上 (5d 以上)	6d 以上 (6d 以上)	8d 以上 (8d 以上)																																																																																																																			
⑤ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 ・ 仮設間仕切りの種別と材質等 (・ A 種 ※B種 ・ C種) [表 2 . 3 . 1] 仮設間仕切りにおける仮設扉の材質等 (※合板張り 木製 ・)	⑦ 圧接完了後の圧接部の試験 (5 . 4 . 10) ※超音波探傷試験 ・ 引張試験																																																																																																																			
⑥ 足場等	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙 1 「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における 2 の (2) 手すり据置き方式又は (3) 手すり専用足場方式により行う。	⑧ 機械式継手 (5 . 5 . 2) 適用箇所 ・ 図示による () ・ H12建設省告示第1463号に適合する性能 ・ A級 ・ 種 類 ・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 端部ねじ加工継手 ・ モルタル充填式継手 ・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする ・ 全数 試験箇所数 1ロットに対して () 箇所 不合格となった場合の措置 ・																																																																																																																			
7. 騒音・粉じん等の対策	・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置位置 ・	⑨ 溶接継手 (5 . 6 . 3) 適用箇所 ○ 図示による () ・ H12建設省告示第1463号に適合する性能 ・ A級 溶接継手の工法 ○ 図示による () ・ 鉄筋相互のあき ・ (5.3.5(4)) による ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による () 施工完了後の溶接部の試験 ・ 外観試験 対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする ・ 全数 試験箇所数 1ロットに対して () 箇所 不合格となった場合の措置 ・																																																																																																																			
⑧ 既存部分の養生	養生方法等 ・ 既存部分 養生の方法 (※ビニールシート、合板等 ・) ・ 既存家具、既存設備等 養生方法 (※ビニールシート等 ・) ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生方法 (・ ビニールシート等 ・) ・ 保管場所 (・ 図示による ・) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示による ・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 溶接作業を行う場所については防災シートを使用し防火対策等を講ずる。	土工事	土工事	③ 型枠	⑤ 鉄筋の継手	コンクリートブロック	2. コンクリートブロック構壁及び塀	⑨ ① 改修工法	建具改修工事																																																																																																												
⑨ 交通誘導員	・ 工事車両出入口等必要な箇所に配置すること (延べ 30 人程度)	⑥ 各部配筋 ※図示による () ・ (5 . 3 . 7) 鉄筋の折曲げ内法直径 (90° 未満) (表 5 . 3 . 2) <table><tr><th>折り曲げ角度</th><th colspan="4">折曲げ内法直径 (D)</th></tr><tr><td></td><th>SD295、SD345、SD390</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>D16 以下</td><td>D19～D25</td><td>D29～D38</td><td></td><td></td></tr><tr><td>4d 以上 (5d 以上)</td><td>6d 以上 (6d 以上)</td><td>8d 以上 (8d 以上)</td><td></td><td></td></tr></table> SD390は () 内寸法を適用する。	折り曲げ角度	折曲げ内法直径 (D)					SD295、SD345、SD390				D16 以下	D19～D25	D29～D38			4d 以上 (5d 以上)	6d 以上 (6d 以上)	8d 以上 (8d 以上)																																																																																																	
折り曲げ角度	折曲げ内法直径 (D)																																																																																																																				
	SD295、SD345、SD390																																																																																																																				
D16 以下	D19～D25	D29～D38																																																																																																																			
4d 以上 (5d 以上)	6d 以上 (6d 以上)	8d 以上 (8d 以上)																																																																																																																			
土工事	1. 建設発生土の処理	・ 場内指定場所に堆積 ・ 場内指定場所に敷き均し ※場外指定場所に搬出 (運搬・処分費を含む) (3 . 2 . 5) <table><tr><th>搬出場所</th><th>受入条件</th></tr><tr><td>名称： 住所：</td><td>受入可能な土質区分： その他：</td></tr></table> 搬出場所、受入条件等は発注時点のものであるため、施工計画や実施工程により確認し、監督職員に報告する。併せて、近隣の受入先を調査の上、搬出場所、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、搬出場所について協議するものとし、必要に応じて設計変更の対象とする。 搬出後、監督職員へ搬出場所での受入を証明する資料を提出する。	搬出場所	受入条件	名称： 住所：	受入可能な土質区分： その他：	土 工 事	③ 型枠	⑤ 鉄筋の継手	コンクリートブロック	2. コンクリートブロック構壁及び塀	⑨ ① 改修工法	建具改修工事																																																																																																								
	搬出場所	受入条件																																																																																																																			
	名称： 住所：	受入可能な土質区分： その他：																																																																																																																			
	2. 埋戻し及び盛土	材料及び工法 (3 . 2 . 3) 種別 ・ A 種 ※B種 ・ C種 ・ D種 不足分は良土搬入する。 ・ 材料 () 工法 ()																																																																																																																			
4. 1. 砂利地業	材料 ※再生クラッシャーラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 (4 . 6 . 2 . 3) 砂利厚さ ※60mm ・ 図示による 範囲 ※基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・ 図示による ()																																																																																																																				
2. 砂地業	材料 ※山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 (4 . 6 . 2 . 3) 砂厚さ ※30mm ・ 図示による 範囲 ※基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・ 図示による ()																																																																																																																				
地業工事	3. 捨コンクリート地業	範囲 ※基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ・ 図示による () (4 . 6 . 4) 厚さ ※50mm ・ 図示による 設計基準強度 ※18N/mm2 ・ スランプ ※19cm又は18cm ・	土 工 事	③ 型枠	⑤ 鉄筋の継手	コンクリートブロック	2. コンクリートブロック構壁及び塀	⑨ ① 改修工法	建具改修工事																																																																																																												
	4. 床下防湿層	範囲 ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く。) (4 . 6 . 2 . 5) 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・ ・ 図示による																																																																																																																			
	⑤ 鉄筋	鉄筋の種類等 (5 . 2 . 1) ※異形鉄筋 (JIS G 3112) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ SD295</td><td>D16 以下</td><td></td></tr><tr><td>・ SD345</td><td>D19 以上</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋								種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・ SD295	D16 以下		・ SD345	D19 以上					10. 土間コンクリート補強																																																																																															
	種類の記号	呼び径 (mm)								備考																																																																																																											
・ SD295	D16 以下																																																																																																																				
・ SD345	D19 以上																																																																																																																				
2. 溶接金網	鉄線の形状等 (5 . 2 . 2) <table><tr><th>種類</th><th>網目の形状、網目、寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>・ 溶接金網</td><td>6φ 100×100 丸鉄線</td><td>保護コンクリート</td></tr><tr><td>・ 溶接金網</td><td>6φ 150×150 丸鉄線</td><td>コンクリート舗装</td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td></tr></table>	種類	網目の形状、網目、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網	6φ 100×100 丸鉄線	保護コンクリート	・ 溶接金網	6φ 150×150 丸鉄線	コンクリート舗装	・ 鉄筋格子																																																																																																										
種類	網目の形状、網目、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																																																			
・ 溶接金網	6φ 100×100 丸鉄線	保護コンクリート																																																																																																																			
・ 溶接金網	6φ 150×150 丸鉄線	コンクリート舗装																																																																																																																			
・ 鉄筋格子																																																																																																																					
令和7年 3月 日 滋賀県立大学財務課 株式会社 総合設備コンサルタント 工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事 図面名称 建築工事特記仕様書 2 NOSCALE 図面番 A-01 設計日 2025年3月																																																																																																																					

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
⑨	2. 防火戸	・指定する 適用箇所（・建具表による・） ・指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・運動させる（・建具表による・） ・運動させない	⑩	10. ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット・適用する（・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （・建具表による・） ・耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（・） 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL・鏡面仕上げ・	⑩	16. オーバーヘッド ドア	形式及び機構 [5. 1. 3. 2. 3] セクション材料による区分 風圧力による強さの区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ ・50 ・75 ・100 ・125 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（※SUS04、SUS430J1L又はSUS443J1・） 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置（設置箇所・建具表による・） 適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表による。 [3. 7][5. 1. 4. 2～4] ・合わせガラス 品種 構成種類 性 能 ・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・Ⅰ類 ・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種 類 性 能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・Ⅰ類 ・型板ガラス ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 品 種 性 能 ・熱線吸収フロート板ガラス ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・複層ガラス 品 類 断熱性 日射熱遮へい性 ・断熱複層ガラス ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 U1 U2 ・Ⅲ類 ・U-3-1 ・U-3-2 E4 ・日射熱遮へい複層ガラス ・熱線反射ガラス 品 類 日射遮へい性 耐久性 ・熱線反射ガラス 色調（・ブルー・グレー） ・高性能熱線反射ガラス 色調（・ブロンズ・シルバー） 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ・フロート倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・熱線吸収倍強度ガラス ・学校用強化ガラス ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材の種類 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製建具 ※シーリング材 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ・図示による 鋼製及び鋼製軽量建具 ※シーリング材 ・ ※建具の製造所の仕様による ・図示による ステンレス製建具 ※シーリング材 ・ ※建具の製造所の仕様による ・図示による 樹脂製建具 ※グレイジングガスケット ※建具の製造所の仕様による ・図示による ガラスブロック積み [5. 1. 3. 5] 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 クリ乳白 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・正方形 ・125×125 80 ・ ・ ※8～15 外側 ※6mm以下 ・ ※無し ・160×160 ・95 ・ ・ ※15～25 ・ ※15以下 ・ ・ ・200×200 ・95 ・ ・ ・ ・ ※10～25 ・ ・ ・320×320 95 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ※6以上 ・ ・ ・250×125 80 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・長方形 ・320×160 95 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 壁用金属枠及び補強材 ・ 図示による 化粧目地モルタルの色（・白・グレー） シーリングの種類（・SR-Ⅰ・PS-Ⅰ） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示による ・ 形状 ・図示による ・ 工法 建築基準法に基づく風圧力の（※Ⅰ・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による	⑩	② 既存床仕上材の 撤去及び下地補修 改修範囲の既存床及び下地モルタルの浮き及び欠損の補修を行うこと。 ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示による・仕上げ材の撤去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(Ⅰ)(ウ)(b)による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 びわこ材の適用 ・ ※2級 ※A種・B種・ ・ ※2級 ※A種・B種・ ・ ※2級 ※A種・B種・ ・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 含水率 保存処理 びわこ材の適用 見え掛り面 ・ ※上小節 ※A種・B種・ ・ ※小節以上 ※A種・B種・ ・ ※A種・B種・ ・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法(mm) 等級 材面の品質 含水率 保存処理 びわこ材の適用 ・ ※1等 ※Ⅰ0％以下 ・ ※A種・B種・ ・ ※1等 ※Ⅰ0％以下 ・ ※A種・B種・ ・ ※1等 ※Ⅰ0％以下 ・ ※A種・B種・ ・JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 びわこ材の適用 （ ） 造作材の場合 （※A種・B種） ・適用する ・適用しない ・A種・B種・ （ ） 造作材の場合 （※A種・B種） ・適用する ・適用しない ・A種・B種・ ・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面 見付け材面の品質 びわこ材の適用 ・ ※1等 ・2等 ・ ※1等 ・2等 ・ ※1等 ・2等 ・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 びわこ材の適用 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： ・ ※1等 ・2等 ・ ※1等 ・2等 ・ ※1等 ・2等 ・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 びわこ材の適用 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： ・ ※15%以下 ・ ・ ※15%以下 ・ ・ ※15%以下 ・ ・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 びわこ材の適用 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： ・ ※15%以下 ・ ・ ※15%以下 ・ ・ ※15%以下 ・ ・JAS 0701 に基づく製材造作用単板積層材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 びわこ材の適用 ・有り （加工・天然木化粧加工・塗装加工） ・適用する ・無し（等級：） ・適用しない ・有り （加工・天然木化粧加工・塗装加工） ・適用する ・無し（等級：） ・適用しない	
	3. 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う（建具符号：） ※行わない 建具見本製作の目的等 ・ 特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号：） ※行わない		12. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種・ 板面の品質（※広葉樹Ⅰ等・） 接着の程度（・Ⅰ種・Ⅱ種） ・天然木化粧合板 樹種名（） 接着の程度（・Ⅰ種・Ⅱ種） ・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ※プリント・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度（・Ⅰ種・Ⅱ種） ・MDF 表裏面の状態による区分（） 曲げ強さによる区分（） 接着剤による区分（） 難燃性による区分（） （） 表面板の厚さ・ ※[表5. 7. 6]による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用する ・適用しない ・かまち戸 かまち樹種（） 鏡板樹種（） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による・ ・ふすま 張りの種別（・Ⅰ型・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による・ ・戸ふすま 表面板の仕上げ ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による・		18. ガラス	⑩	③ 施工一般		
	4. 防犯建物部品	・適用する（※建具表による・） ・適用しない		16. 木製建具	⑩		18. ガラス	⑩	4. 製材		
	5. アルミニウム製 建具	性能値等 耐風圧性の等級（・） （・建具表による・） 気密性の等級（・） （・建具表による・） 水密性の等級（・） （・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（※建具表による・） ・B種（※建具表による・） ・C種（※建具表による・） 枠の見込み寸法（・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （・建具表による・） 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-Ⅰ種 ・BB-2種 ・（表14.2.1） 着色 ・標準色（） ・特注色（） 屋内の建具 種別 ・BB-Ⅰ種 ・BB-2種 ・（表14.2.1） 着色 ・標準色（） ・特注色（） 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・							5. 造作用集材材		
	6. 網戸等	[5. 2. 3. 5. 3. 3] 種類 材質 線径 網目 ・防虫網 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス（SUS316）製 ・防鳥網 ステンレス（SUS304）線材 1.5mm 網目寸法15mm							⑬ 建具用金物	⑩	③ 施工一般
⑨	7. 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級（・） （・建具表による・） 気密性の等級（・） （・建具表による・） 水密性の等級（・） （・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（※建具表による・） ・B種（※建具表による・） ・C種（※建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-Ⅰ・T-2） （・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・H-4・H-5・H-6・H-7・H-8・） （・建具表による・） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級・ 枠の見込み寸法 ・建具表による・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色（） ・特注色（） 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	⑩	14. 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ・建具表による・ 駆動装置及び検出装置の性能 ・引き戸用駆動装置 性能値 ※[表5.9.1]による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・性能値 ・車椅子使用者用便房入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※[表5.9.2]による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・引き戸用検出装置 性能値 ※[表5.9.3]による（防錆 ・適用する ・適用しない） 引き戸用検出装置の種類[表5.9.4] ※建具表による・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない	⑩	③ 施工一般				
	8. 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット・適用する（・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （・建具表による・） ・耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（・） 点検口の類のくつずりの材料 ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※[表5.4.2]による・ mm 使用箇所（・） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による・		15. 重量シャッター	⑩	③ 施工一般					
	⑨ 鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセット・適用する（・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （・建具表による・） ・耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（・） 材料 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル皮覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板		16. 軽量シャッター	⑩	③ 施工一般					
					⑩	③ 改修範囲					
					⑩	③ 改修範囲					

[illegible]

章		特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
30	セルフレベリング 材塗り	壁厚(mm) ・ [6 . 1 7 . 2 . 3]	20	フリーアクセスフロア	(2 0 . 2 . 2) 施工箇所 構造 寸法 (mm) 高さ 耐震性能 所定荷重 表面仕上材 備考 ・ 置敷式 ・ 500×500 ・ 1.06 ・ 3,000N ・ 帯電防止床 ・ 支柱 ・ 0.66 ・ 5,000N ・ タイル ・ 調整式 ・ タイルカーペット 帯電防止性能 ・ クラス1 (U≧1.2) ・ クラス2 (U≧0.6) 感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≧1×10 ⁸ Ω 構成材の材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 (仕上げ:) スロープ及びボーダー ・ 製造所の仕様による ・ 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全面積に対する設置割合 ・ 20～30パーセント 配線取り出し開口 ・ パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・ 図示 空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所: 図示)	21	表示	衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径 30mm ・) ・ 無 室名札 厚さ (mm) 材質 取付け形式 備考 ※5 ・ ※アクリル板 ・ 平付型 ・ ・ ・ 持出型 寸法 (mm) ・ 50×250 ・ 60×250 ・ 図示による ビクトグラフ (便所、車いす、階段等) ・ 厚さ (mm) 材質 取付け形式 備考 ※5 ・ ◎アクリル板 ◎平付型 ・ ・ アルミ板 ◎持出型 寸法 (mm) ・ 150×150 ◎図示による 案内板 (館内、各階、便所) ・ 厚さ (mm) 材質 取付け形式 備考 ※5 ・ ・ アクリル板 ※平付型 ・ ・ アルミ板 ・ 持出型 寸法 (mm) ・ 600×600 ・ 100×600 ・ 200×200 ・ 図示による 材質及び仕上げ ・ SUS304 (スリッ止め加工 ※あり ・ なし) 適用安全使用温度 ・ (2 0 . 2 . 1 3) 工法 ※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材) ・ (2 0 . 2 . 1 2) 形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅 (mm) ボックス・レールの材質 幅・高さ 取付箇所 ・ 横形 ・ 手動 ※ギヤ式 ※アルミニウム合金製 ※25 ※鋼製 ・ 図示による ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 電動 ー ・ 縦形 ・ 手動 ※2本操作コード式 ・ アルミスラット ・ 80 アルミニウム合金製 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 電動 ー (2 0 . 2 . 1 3) 操作方式 スクリーンの材質 その他の材料 幅・高さ 取付箇所 品質等 ・ スプリング式 ・ ガラス繊維製 ※製造所の仕様 ・ 図示による ・ チェーン式 ・ 合成・天然繊維製 ・ ・ 電動式 ・ 木製 材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 ・ 仕上げ ※アルミマイト ・ 形状 ※角形 ・ カーテン付属物 フック (ひるかん) ※鋼製 ・ 樹脂製 (2 0 . 2 . 1 4) 満幅×深さ (mm) ・ 材質 ・ 集成材 (仕上げ:) ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 種類 (表14.2.1) による種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 色合い ・ 標準色 () ・ 特注色 () ・ 鋼製 (仕上げ:) (2 0 . 3 . 3 . 4) 材料 寸法 形式 外枠 内枠 ◎アルミニウム製 ◎450×450 ・ 一般形 ◎屋内外用 ・ 額縁タイプ ・ 額縁タイプ ・ ・ 600×600 ・ 密閉形 ・ 屋内用 ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ ・ ・ ・ 気密形 密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。
		① 材料 [7 . 1 . 3] 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) ② 下地調整 [7 . 2 . 1 ~ 7] ※既存塗膜への付着状況が不明な場合は塗装の密着性試験を行うこと。 塗替えて下地調整の種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・ 図示による ③ 素地ごしらえ [7 . 3 . 2 ~ 7] 下地面等 種類 木部 ※ 不透明塗料塗りの場合はRB種 ・ 鉄鋼面 ※ RB種 ・ 垂れめっき鋼面 ※ RB種 ・ 垂れめっき鋼面 (鋼製建具等) ※ RB種 ・ モルタル及びせつこうプラスター面 ※ RB種 ・ コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 ※ RB種 ・ 押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 コンクリート面 (DPのみ) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 せつこうボード面及びその他ボード面 ※ RB種 ・ ④ 錆止め塗料塗り [7 . 4 . 2 . 3] 錆止め塗料塗りの種別 素地面 塗装の種類 塗装の種別 工程の種別 SOP 塗替え A種 ※C種 ・ (工程の種別は表7.4.3) 新規見え掛け A種 ※A種 ・ 鉄鋼面 塗替え A種 ※B種 ・ EP-G 塗替え ※B種 ・ A種 ※C種 ・ (工程の種別は表7.4.3) 新規見え掛け ※B種 ・ A種 ※A種 ・ DP 塗替え 7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整RB種) (工程の種別は表7.4.4) (b)による。 ・ C種 (下地調整RC種) 新規 7.4.2(1)(イ)(a)による。 ・ A種 垂れめっき鋼面 SOP 塗替え ※A種 ・ B種 ※C種 ・ (工程の種別は表7.4.5) 新規 鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ※A種 ・ EP-G 塗替え C種 ※C種 ・ (工程の種別は表7.4.5) 新規 鋼製建具等 C種 ・ ※B種 ・ DP 塗替え B種 ・ (工程の種別は表7.4.6) 新規 B種 ・ ⑤ 塗装 [7 . 5 . 2 ~ 7 . 1 3 . 2] 塗装の種類 塗装面 工程 ◎合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※ B種 ・ ※ A種 ・ 木部屋内 ※ B種 ・ ※ B種 ・ 鉄鋼面 ※ B種 ・ ・ B種 ・ A種 垂れめっき鋼面 (鋼製建具) ※ A種 ・ ※ B種 ・ 垂れめっき鋼面 (鋼製建具以外) ※ B種 ・ ※ B種 ・ ・ クリヤラッカー塗り (CL) ※ B種 ・ ※ B種 ・ ・ A種 ・ A種 (着色塗料の種類:) (着色塗料の種類:) ・ A種 ・ A種 ※ B種 ・ A種 ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種 ・ 耐候性塗料 鉄鋼面 上塗り等級 () 級 ・ 塗り (DP) 垂れめっき鋼面 上塗り等級 () 級 ・ コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ ・ A-1種 ・ B-1種 ・ B種 ・ ・ B種 ・ A種 ・ つや有合成樹脂 エマルションペイント塗り (EP-G) 屋内の鉄鋼面 ※ B種 ・ ※ A種 ※ A種 ・ A種 ・ ※ A種 ・ B種 ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) ※ B種 ・ ・ B種 ・ A種 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ※ B種 ・ ※ B種 ・ A種 ・ ステン塗り ・ ビグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り (OS) ・ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種 ・ 木材保護塗料塗り (WP) つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せつこうプラスター面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のみし止め ※B種又はC種の場合は、[表7.9.1]の工程1の下塗りをしし止めシーラーとする 合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のみし止め ※B種又はC種の場合は、[表7.10.1]の工程1の下塗りをしし止めシーラーとする クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤: ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・ 適用する ・ 適用しない オイルステイン塗りの工程等 ・			② ユニット及びその他工事 2. 可動間仕切 (2 0 . 2 . 3) 構造形式 構成基材の種類 表面仕上材 パネル表面仕上げ 遮音性 (dB/500Hz) 防火性能 ・ スタッド式 (内蔵) ・ メラミン樹脂 ・ 0 ・ 不燃 ・ スタッド式 (露出) 焼付又はアクリル脂肪焼付 ・ 12 ・ スタッドパネル式 ・ 20 ・ パネル式 ・ 壁紙張り ・ 28 ・ ・ 36 パネル内に取付ける建具 ・ あり (※図示による) ・ なし パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、メーカー標準仕様とする パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (2 0 . 2 . 4) 走行方向 操作方法による種類 パネル圧接装置の操作方法 総厚さ (mm) パネル表面材 遮音性 (dB/500Hz) ・ 平行方向 ・ 手動式 ・ プッシュ式 ・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 36未満 ・ 移動式 ・ 電動式 ・ ハンドル式 ・ ・ 壁紙張り ・ 36以上 ・ 二方向 ・ 部分電動式 ・ ・ ・ 移動式 ・ あと施工アンカー ・ 使用する 種類: 材質: 寸法: ・ 使用しない (2 0 . 2 . 5) ④ トイレブース 表面材の材料 脚部 形状 ドアエッジ 材質 ◎メラミン樹脂系化粧板 ・ 脚金物タイプ ・ 標準 ・ 製造所の仕様 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・ R ・ アルミニウム製 ・ ・ ・ ステンレス製 ・ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512 により F☆☆☆☆以上 (1 1 . 2 . 2) (1 9 . 2 . 2) 施工箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 屋内 種類 ・ 塩化ビニル製 ・ 300×300 ・ ・ 7.0 ・ ・ セラミックタイル ・ 300×300 ・ ・ ・ ・ レジンコンクリート製 ・ 300×300 ・ ・ ・ ・ コンクリート製 ・ ・ ・ ・ セラミックタイル ・ 300×300 ・ ・ ・ ・ レジンコンクリート製 ・ 300×300 ・ ・ ・ ・ コンクリート製 ・ ・ ・ ブロックパターンはJIS T 9251 による (2 0 . 2 . 6) 材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 (表面処理 ※HL程度 ・) ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※(表14.2.2)による種別 () 種) ・ アル			

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																													
舗装工事	1. 路床	路床の材料 (22.2.2.2.3.5)(表22.2.1) <table><tr><th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種 ・B種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td><td>・図示による</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>・再生クラッシャー ・クラッシャー ・切込み砂利 ・砂(表21.2.2)による</td><td>・図示による</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>※砂(表22.2.3(3))による</td><td>・図示による</td></tr></table> (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量 ・kg/m ³ (CBR・3以上)	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による	・凍上抑制層	・再生クラッシャー ・クラッシャー ・切込み砂利 ・砂(表21.2.2)による	・図示による	・フィルター層	※砂(表22.2.3(3))による	・図示による	舗装工事	8. 砂利敷き	種別 ・A種(施工範囲:※通路 ・B種(施工範囲:※建物周囲その他 ・図示による	石綿含有建材の除去等	7. 石綿含有建材除去後の仕上げ工事	・図示による																																	
	種別	材料	厚さ(mm)																																																		
	・盛土	・A種 ・B種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による																																																		
	・凍上抑制層	・再生クラッシャー ・クラッシャー ・切込み砂利 ・砂(表21.2.2)による	・図示による																																																		
	・フィルター層	※砂(表22.2.3(3))による	・図示による																																																		
	2. 路盤	路盤の厚さ ・図示による 路盤材料(表22.3.1)による種別) ・クラッシャー ・粒度調整碎石 ※再生クラッシャー ・再生粒度調整碎石 ・クラッシャー鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	9. 路面標示用塗料	路面標示用塗料は JIS K 5665 による。 <table><tr><th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅(mm)</th><th>塗布厚さ(mm)</th></tr><tr><td>※3種1号</td><td>溶融</td><td>粉体状</td><td>・白 ・</td><td>・150 ・100</td><td>・1.0 ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	※3種1号	溶融	粉体状	・白 ・		・150 ・100	・1.0 ・														① 一般仕様	本特記仕様書及び図面による他、建設省監修日本建築センター発行「既存建築物の吹付アスベスト粉塵飛散防止処理技術指針・同解説」、厚生労働省「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」による。	ユニット及びその他の工事	① 天井点検口	材 質 アルミニウム製(※経緯タイプ ・目地タイプ) 〇450mm角 ・600mm角																		
	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)																																															
※3種1号	溶融	粉体状	・白 ・	・150 ・100	・1.0 ・																																																
3. アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト(・60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)	② 技術管理	建設省労働災害防止協会「建築物の解体工事における石綿粉じんのばく露防止マニュアル」を参考とする。 厚生労働省「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.20版]」を参考とする。	② 床点検口(化粧蓋)	材 質 オールステンレス製 600mm角 ポルト固定式 密閉型(防水・防臭型)																																																
4. コンクリート舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>コンクリート舗装</td><td>車路及び駐車場 歩行者用通路</td><td>・図示による ・図示による</td><td>・ ※70</td></tr></table> 寒冷地の縁部立下り寸法等 ・図示 材料 コンクリート ・(表22.5.1)による 早強セメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 ※(表22.5.3及び表22.5.1)による ・図示	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場 歩行者用通路	・図示による ・図示による	・ ※70	③ 請負人の責任	受注者は、アスベストの撤去及び処分に当たっては、本特記仕様書に基づき完全に履行する事。関係法令を遵守し、労働安全及び環境汚染の防止に努める事。又、関係官庁へ必要な届出を遅延なく行う事。	③ 壁点検口	材 質 塩ビ製 300mm角 ケンドン式																																								
舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																																		
コンクリート舗装	車路及び駐車場 歩行者用通路	・図示による ・図示による	・ ※70																																																		
5. カラー舗装	・加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ・図示による 加熱系混合物の結合材 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量(%) 添加剤 着色骨材 (自然石 (・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法(配合その他) (・塗布工法(配合その他) (着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	④ 石綿含有建材の事前調査	※石綿含有建材の事前調査 1. 大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令に基づき実施すること。 2. 石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規程に規定する建築物石綿含有建材調査者等有資格者によるものとする事。 3. 事前調査結果は書面で発注者に説明すること。 4. 事前調査結果を作業場に備え付け、事前調査結果及び作業内容等を提示すること。 5. 工事に係る部分の床面積の合計が90㎡以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修工事等の事前調査を実施したときは、その結果を工事開始前までに石綿事前調査報告システムにより労働基準監督署及び県(大津市内は大津市)に報告するとともに、発注者に書面で報告すること。	④ パブリック用手摺	本体:機械設備工事 取付下地補強:本工事																																																
6. 透水性アスファルト舗装	舗装の構成 ・図示による 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト(・60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)	⑤ 石綿粉じん濃度測定	分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロンドライト、トレモライト 分析方法 <table><tr><th>採取箇所</th><th>部位</th><th>材料名</th></tr><tr><td></td><td>・壁 ・天井 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・壁 ・天井 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・壁 ・天井 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・壁 ・天井 ・</td><td></td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 工事前の調査、分析等 <table><tr><th>種別</th><th>調査範囲</th><th>調査、分析結果概要等</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	採取箇所	部位	材料名		・壁 ・天井 ・			・壁 ・天井 ・			・壁 ・天井 ・			・壁 ・天井 ・		種別	調査範囲	調査、分析結果概要等													⑤ 室名札・ビラサイン	室名札 ・面付型 ・点字型 ※文字書入共																		
採取箇所	部位	材料名																																																			
	・壁 ・天井 ・																																																				
	・壁 ・天井 ・																																																				
	・壁 ・天井 ・																																																				
	・壁 ・天井 ・																																																				
種別	調査範囲	調査、分析結果概要等																																																			
7. ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 <table><tr><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr><tr><td>・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)</td><td>・300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>※砂 ・モルタル</td><td>・表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td></tr></table> クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 普通平板は(再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は(透水性コンクリート)とする。 ・インターロッキングブロック舗装 <table><tr><th>種類</th><th>部位</th><th>形状寸法</th><th>厚さ(mm)</th><th>曲げ強度(N/mm2)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>車路</td><td>・図示 ・</td><td>※80 ・</td><td>※5.0 ・</td><td>表面加工 ・</td></tr><tr><td>※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>歩行者用通路</td><td>・図示 ・</td><td>※60 ・</td><td>※3.0 ・</td><td></td></tr></table> クッション材 ※砂 ・空練りモルタル	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	・表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示 ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示 ・	※60 ・	※3.0 ・		⑥ 石綿含有建材の処理	作業主任者の選出 [9.1.2(2)] 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 [9.1.2(3)] 作業者は、終業時に石綿則第27条に基づく教育を受けたものとする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受信したのとし、肺機能に異常のないものとする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 [9.1.2(4)] 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。 表示及び掲示 [9.1.2(6)] 作業従事者が見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※石綿含有建材の有無の事前調査結果の概要 ※石綿を取り扱う作業場であること ※石綿の人体に及ぼす作用 ※石綿撤扱い上の注意事項及び使用すべき保護具 ※喫煙及び飲食の禁止 ※関係者以外の立入禁止	⑥ 養生方法	除去した石綿含有仕上塗材(下地調整材含む)の除去 吹付タイル、吹付リシン除去 除去対象範囲 <table><tr><th>材料名</th><th>使用箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>処理を行う範囲</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※図示 ・全て</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※図示 ・全て</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※図示 ・全て</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※図示 ・全て</td></tr></table> 除去工法 国立研究開発法人建築研究所 「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」に示される下記撤去工法より選定する。 ・水洗い工法 ・手工具ケレン工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・超高圧水洗工法(100MPa以上) ・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・同時吸引式 ・超音波ケレン工法 ・超音波ケレン工法(HEPA フィルター付き掃除機併用) ・剝離剤併用手工具ケレン工法 ・剝離剤併用高圧水洗工法(30～50MPa程度) ・剝離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上) ・剝離剤併用超音波ケレン工法 ・ディスクグラインダーケレン工法 ・集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法 ・ ・ 養生方法 ・ ・	材料名	使用箇所	厚さ(mm)	処理を行う範囲				※図示 ・全て				※図示 ・全て				※図示 ・全て				※図示 ・全て
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																																	
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	・表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																																	
種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考																																																
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示 ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・																																																
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示 ・	※60 ・	※3.0 ・																																																	
材料名	使用箇所	厚さ(mm)	処理を行う範囲																																																		
			※図示 ・全て																																																		
			※図示 ・全て																																																		
			※図示 ・全て																																																		
			※図示 ・全て																																																		

工事区分表

下記の項目は○印部分を区分して施工する。但し図面その他に特記のあるものは、それに従う。

N o	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考	N o	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考
1	躯体貫通スリーブ入・箱入、躯体貫通コア抜き、開口新設	○	○	○				・貫通コア抜きは鉄筋探索実施後施工すること	47	電気錠の操作盤・制御盤							
2	躯体貫通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め	○	○	○					48	電気錠の電源・配管・配線							
3	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋	○							49	昇降機の一次側配管配線							
4	A L C板の補強を要しない貫通用の穴開け								50	昇降機の出入口・三方枠・カゴ内インターホン取付・制御盤・二次側配管配線							
5	A L C板の設備貫通用の開口補強、機器取付用下地補強								51	鉄骨構造階の出入口三方枠、敷居・押しボタン等の固定用鋼材の設置							
6	L G S壁下地の設備貫通用の開口補強、機器取付用下地補強	○						手摺・衛生器具取付下地補強含む	52	鉄骨構造階の出入口機器と壁面の耐火処理							
7	地下ビットの躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ並びに連通管								53	鉄骨構造階における中間ビームの設置							
8	点検口の製作取付（床、壁、天井）	○							54	鉄骨構造階におけるレールブラケット・ポストアングル固定用ファスナの設置及び錆止め塗装							
9	吹出口、吸込口等の埋込器具取付のための墨出し								55	昇降機のインターホン用配線							
10	吹出口、吸込口等の埋込器具取付のための孔開・補強								56	昇降機のインターホン用配管（シャフト内）							
11	建物外壁に取付く給・排気ガラの製作取付								57	昇降機のインターホン用配管（シャフト外）							
12	建具ガラの製作取付	○							58	昇降機監視室等のインターホン取付調整							
13	機械・機器類の基礎（建築図面記載のものに限る）								59	昇降機監視用モニターの設置							
14	機器用アンカーボルト（〃）								60	昇降機ビット内点検用コンセント							
15	消火用充水槽								61	昇降路・ビットモルタル防水仕上げ							
16	受水槽・消火用充水槽基礎								62	昇降機機械室内ホイスティングフック							
17	流し台								63	昇降機各出入口・インジケーター押ボタン等の孔明工事							
18	便所廻りの手摺			○				取付下地補強建築工事補強はメーカー仕様による	64	昇降機機械室床嵩上げコンクリート打設及び防塵塗装							
19	換気機器			○					65	空調機への電源配管配線工事							
20	同上取付枠								66	同上内～外機への渡り配線（冷媒配管共巻き）							
21	天井扉・ダクト・ガラリ・ベントキャップ			○					67	空調機及び全熱交換器のリモコン用配線・取付・調整							
22	フードの製作・取付	○	○					取付は建築工事	68	既設土間コンクリートはつり、復旧	○						設備図記載のものは除く。
23	電動シャッターの一次側配管配線								69	犬走り・側溝部分の撤去及び復旧							
24	電動シャッターの二次側配管配線・調整								70	設備配管改修に伴う下階既設天井仕上の撤去、復旧	○						
25	防火・防煙シャッターの煙感知器・連動装置・制御盤								71	建具に設置する換気扇取付または配管貫通用のアルミパネル							(建)…配管貫通用アルミパネル(開口共) (機)…換気扇取付
26	防火扉の一次側配管配線								72	既存換気扇開口部の閉塞							
27	防火扉の二次側配管配線・調整、開放装置								73	機械警備用空配管（既設配管利用）							
28	同上煙感知器・連動装置・制御盤								74	構内舗装の撤去及び仮復旧	○						
29	液面電極棒の取付及び調整（消火用充水槽）								75	構内舗装復旧	○						
30	加圧ポンプユニット 電源配管配線								76	既存汚水貯留槽 汚泥抜き取り・清掃消毒							
31	同上 制御・警報用配管配線								77	既存浄化槽 機器・配管・槽撤去							
32	給湯設備の一次側配管配線及びリモコン用配管								78	既存グリストラップ 土工事・躯体撤去							
33	同上二次側配管配線及びリモコン用配線・調整								79	既存浄化槽 一次側電源撤去							
34	洗面カウンター	○						取付下地補強建築工事補強はメーカー仕様による	80	諸官庁等検査・申請手続き及び、それに伴う費用	○	○	○				
35	洗面カウンター用洗面器			○					81	監督員事務所							
36	消火ポンプユニット 電源配管配線								82	工事範囲の仮囲い、ゲート及び敷き鉄板等	○						
37	同上 制御・警報用配管配線								83	工事中に於ける水道、下水、ガス、電気の使用料金	○						現場事務所のみ適用
38	照明器具・配管、ライティングダクト等吊ボルト用インサート		○						84	既設高圧受変電設備・非常用発電機廻りフェンス工事							
39	ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート			○					85	生使用仮設トイレ本体工事							
40	厨房器具								86	生使用仮設トイレ照明器具及び電源工事							
41	同上接続配管・電源接続工事								87	生使用仮設トイレ給排水配管及び接続工事							
42	消火器								88								
43	消火器ボックス								89								
44	化粧鏡（一般単体鏡 既製品）			○				新設全て	90								
45	化粧鏡（大型鏡）	○						新設全て									
46	電気錠の取付																

設備用の開口補強数量表

1. 設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

1) 梁貫通補強筋（貫通孔D／3以下、梁巾＝400以下の場合、Dは梁せい）

貫通内径（φ）	数 量	備 考
100<H≦200		
200<H≦300		
300<H≦400		

※貫通内径100φ未満の時は補強を必要としない。 H：貫通内径mm

2) スラブ開口補強筋

開口面積（㎡）	数 量	備 考
A≦0.3		
0.3<A≦1.0		
1.0<A≦2.5		

※スラブ筋を切断しない場合は補強を必要としない。 A：開口面積㎡

3) 壁開口補強

開口寸法（mm）	数 量	備 考

※壁面を切断しない場合は補強を必要としない。

2. 設備用下地材開口補強

1) 壁開口補強 軽量鉄骨下地、木軸等

開口寸法（㎡）	数 量	備 考
0.0 ～ 0.5（床）		
0.0 ～ 0.5（壁）		
1.1 ～ 1.5		
1.6 ～ 2.0		
2.0 ～ 2.5		

2) 天井開口補強

開口面積（㎡）	数 量	備 考
0.0 ～ 0.5	54	埋め込み照明（ダウンライト）
0.0 ～ 0.5	7	埋め込み照明
0.0 ～ 0.5	25	機械設備用
0.6 ～ 1.0		埋め込み照明
1.1 ～ 1.5		天井カセットエアコン
600×600 天井点検口		
450×450 天井点検口	8	

特記事項

1. この表（工事区分表）及び図面その他に記載がなく工事区分が不明なもの、または必要な工事については、協議の上監督員の指示により区分を決定する。 この場合、工事費の増減の対象とはしない。

■特記事項

- ・本工事は滋賀県立大学の「人間文化学部棟 D0棟」「人間文化学部棟 D3棟」にある便所の改修工事を行うものとする。
- ・本工事は校内、開校中の工事となるため、学生、職員、来客者、の安全管理に十分留意すること。
- ・施工計画において、作業曜日、作業開始時間、終了時間等の工程計画、工事場所の仮設間仕切り等、施設側と十分協議の上、作業計画を立てること。
- （必要に応じ休日、夜間工事も含めた立案とすること。）
- ・施工計画に際し、大学運営、学生、職員、来客の安全及び、騒音・振動が出る工事、埃が出る工事については最優先に考慮し、対策を講じ、施設側と協議すること。
- ・内容については、施工場所の学生、大学職員、来客の動線及び工事場所以外の職員作業室の確保等を必要に応じ計画に含むものとする。
- ・滋賀県立大学、監督職員と工程を含め施工計画を作成し関係者の承諾を得ること。
- ・本工事による便所以外の他部屋の給排水設備への影響を極力及ぼさぬよう、現地調査を十分に行い、計画すること。
- ・本工事により、既設建物・舗装等に損傷を与えた場合は、本工区内、請負者の責任において現況復旧を行うこと。
- ・工事が完了した部分から、都度仕様承諾等にて、請負者と大学側で執り行い、利用できるよう協力すること。

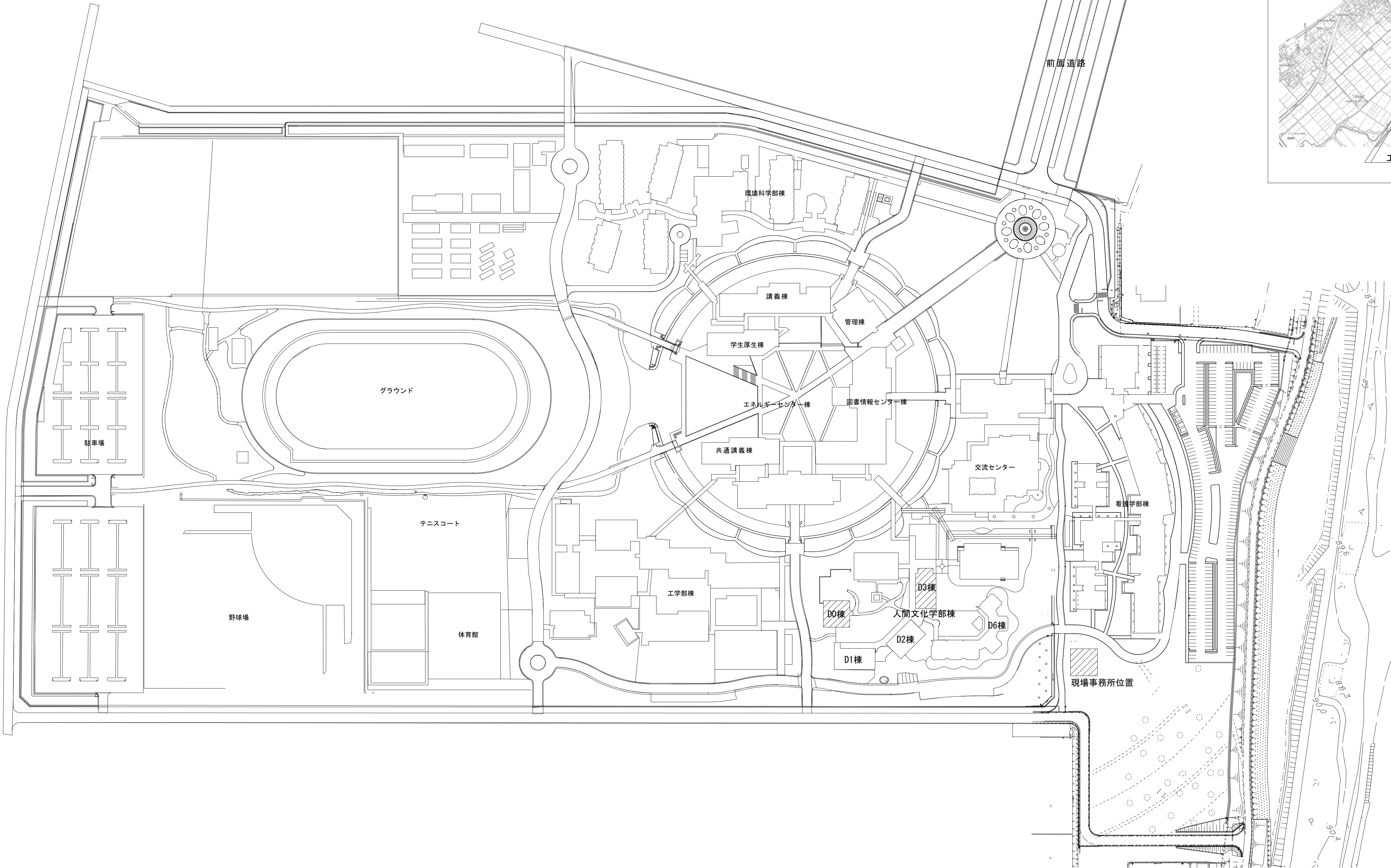
【工事概要】

- ・人間文化学部棟 D0棟の1階男・女便所及び2階男女共用便所の改修を行う。
- ・人間文化学部棟 D3棟の1～3階男・女便所、1、2階の17/17f～及び2階の身障者便所の改修を行う。
- ・上記に付随する機械設備・電気設備工事。



工事場所：滋賀県立大学
彦根市八坂町2500

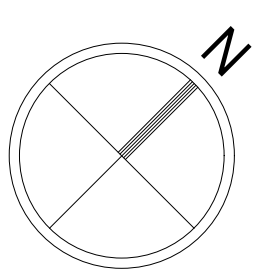
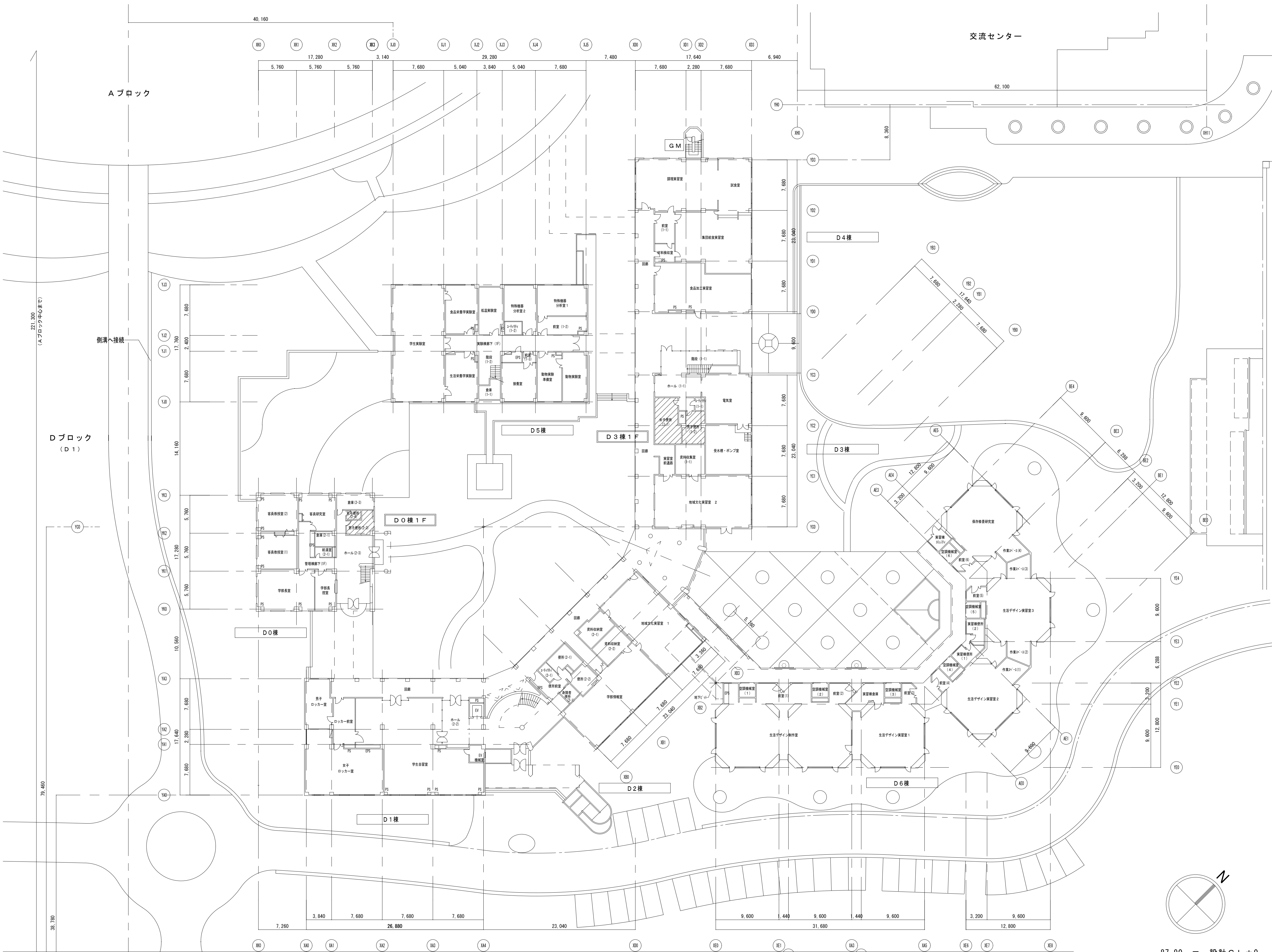
附近見取図 1/4000



配置図 1/1500

：改修様を示す

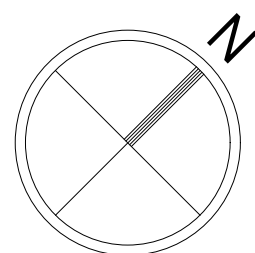
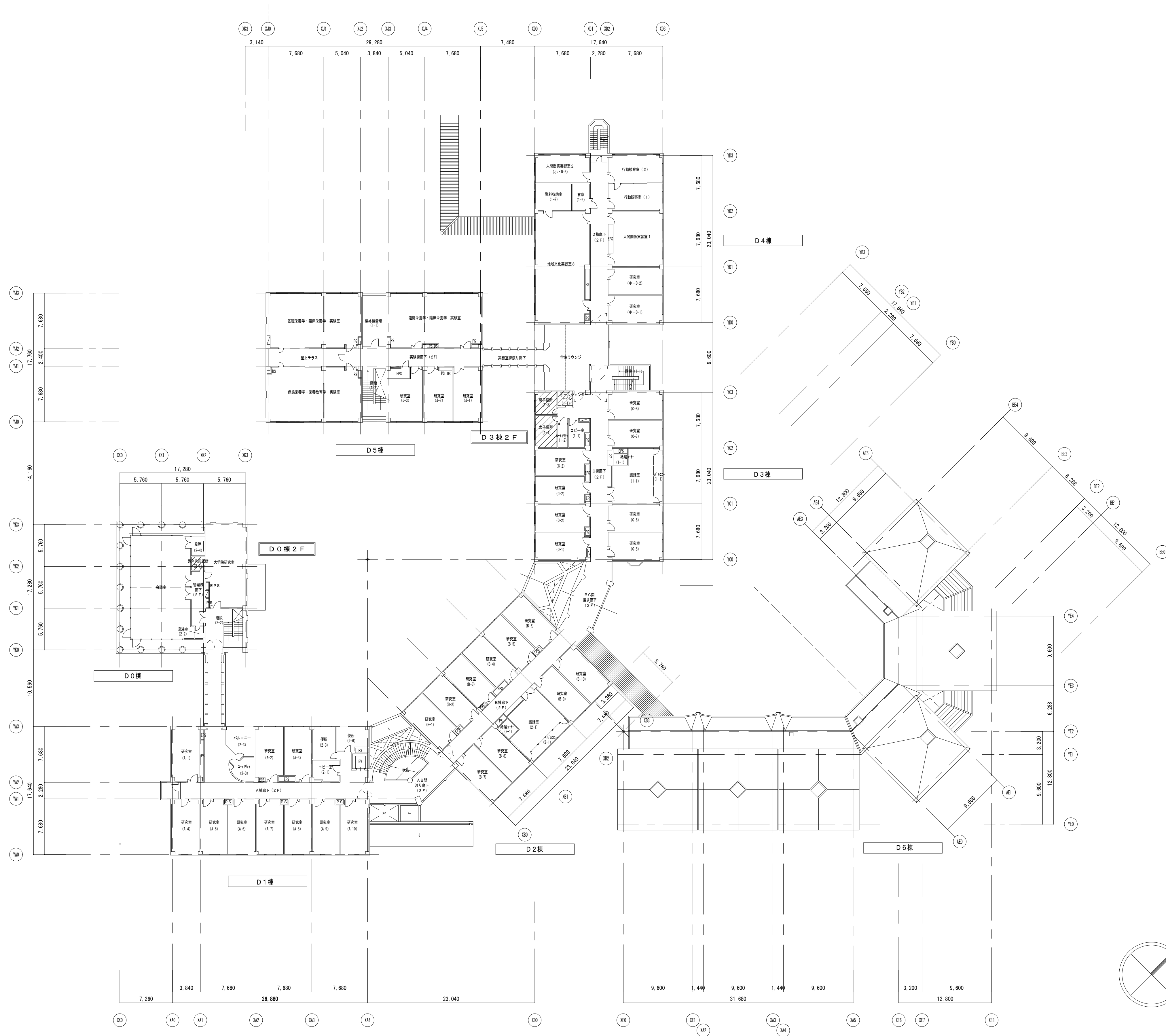
令和7年 3月 日	滋賀県立大学財務課					 株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事	図面No. A-07
							図面名称 配置図 附近見取図	設計日 2025年3月



87.90 = 設計 G L ± 0

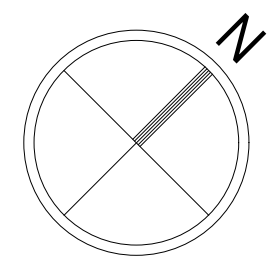
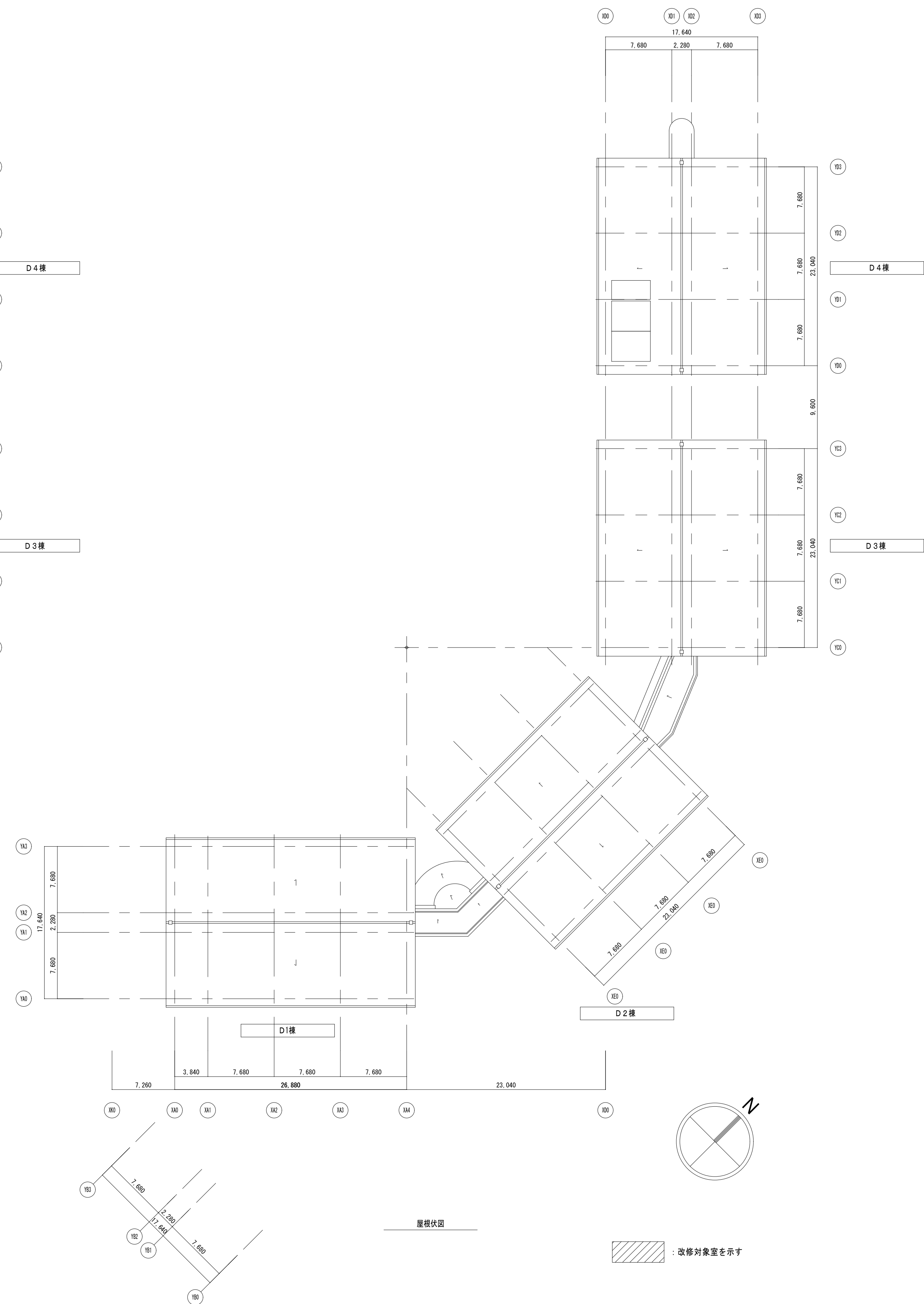
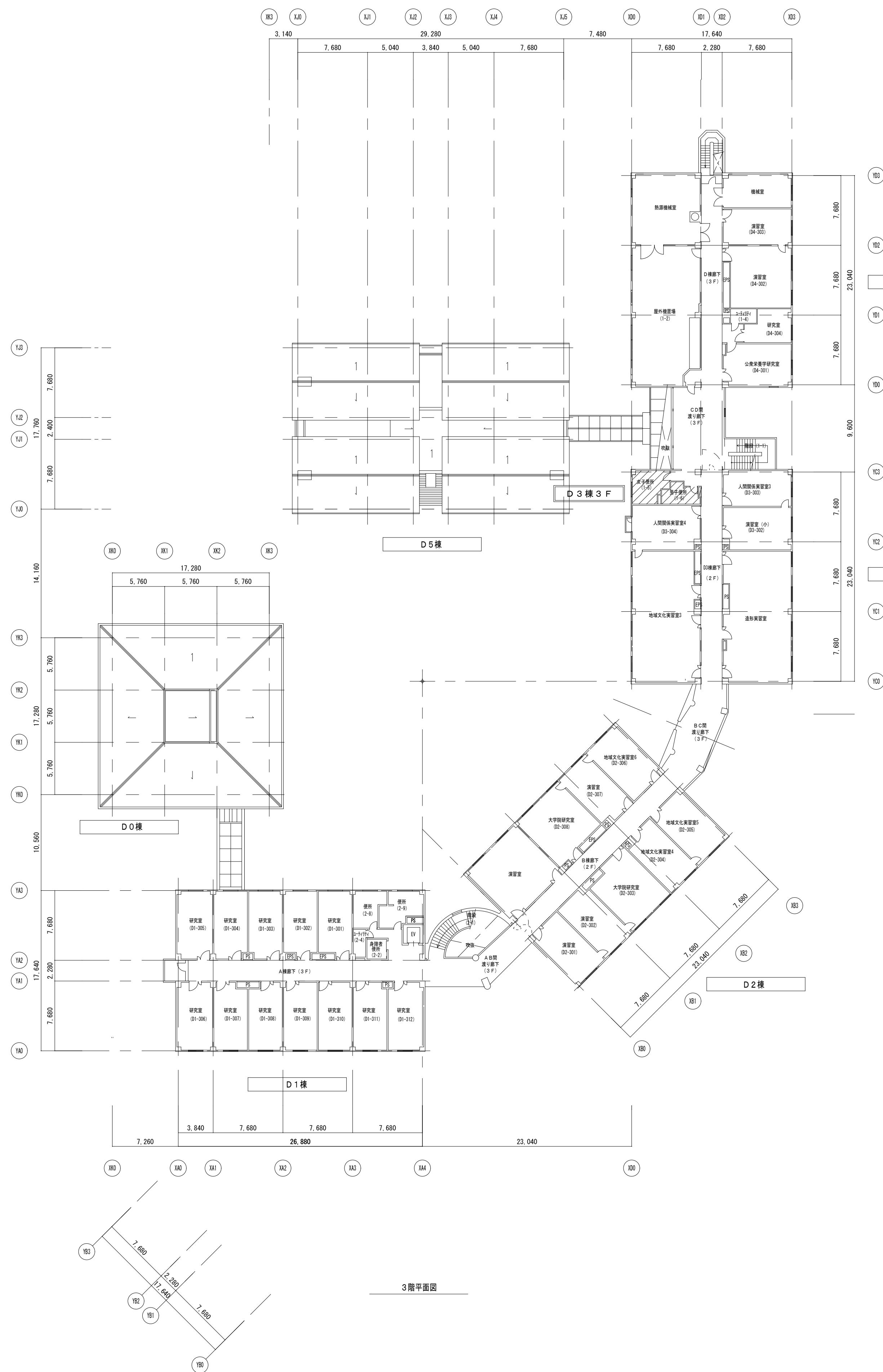
 : 改修対象室を示す

令和7年 3月 日	滋賀県立大学財務課				 株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称	滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事	図面No.	A-08
						図面名称	人間文化学部 1階平面図 S =1/300	設計日	2025年3月



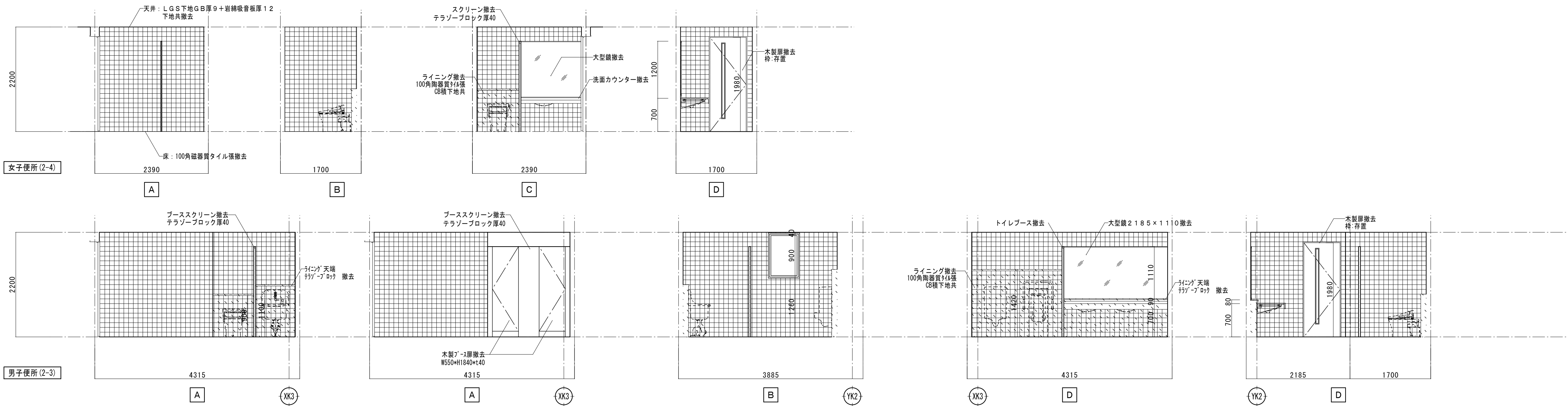
：改修対象室を示す

令和7年 3月 日	滋賀県立大学財務課				 株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称	滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事	図面No.	A-09
						図面名称	人間文化学部 2階平面図	設計日	2025年3月



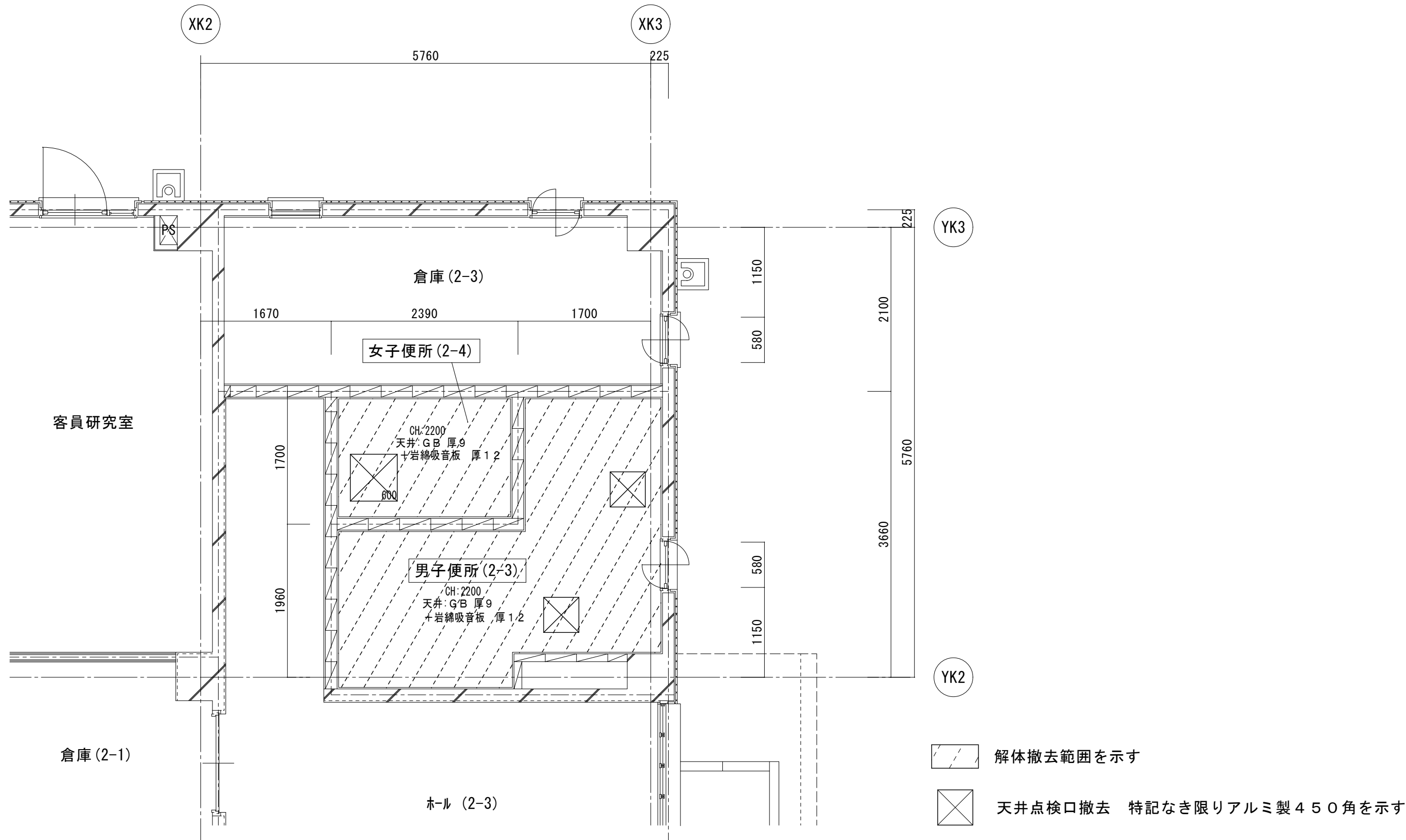
：改修対象室を示す

令和7年 3月 日	滋賀県立大学財務課					 株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称	滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事	図面No.	A-10
							図面名称	人間文化学部 3階平面図	設計日	2025年3月

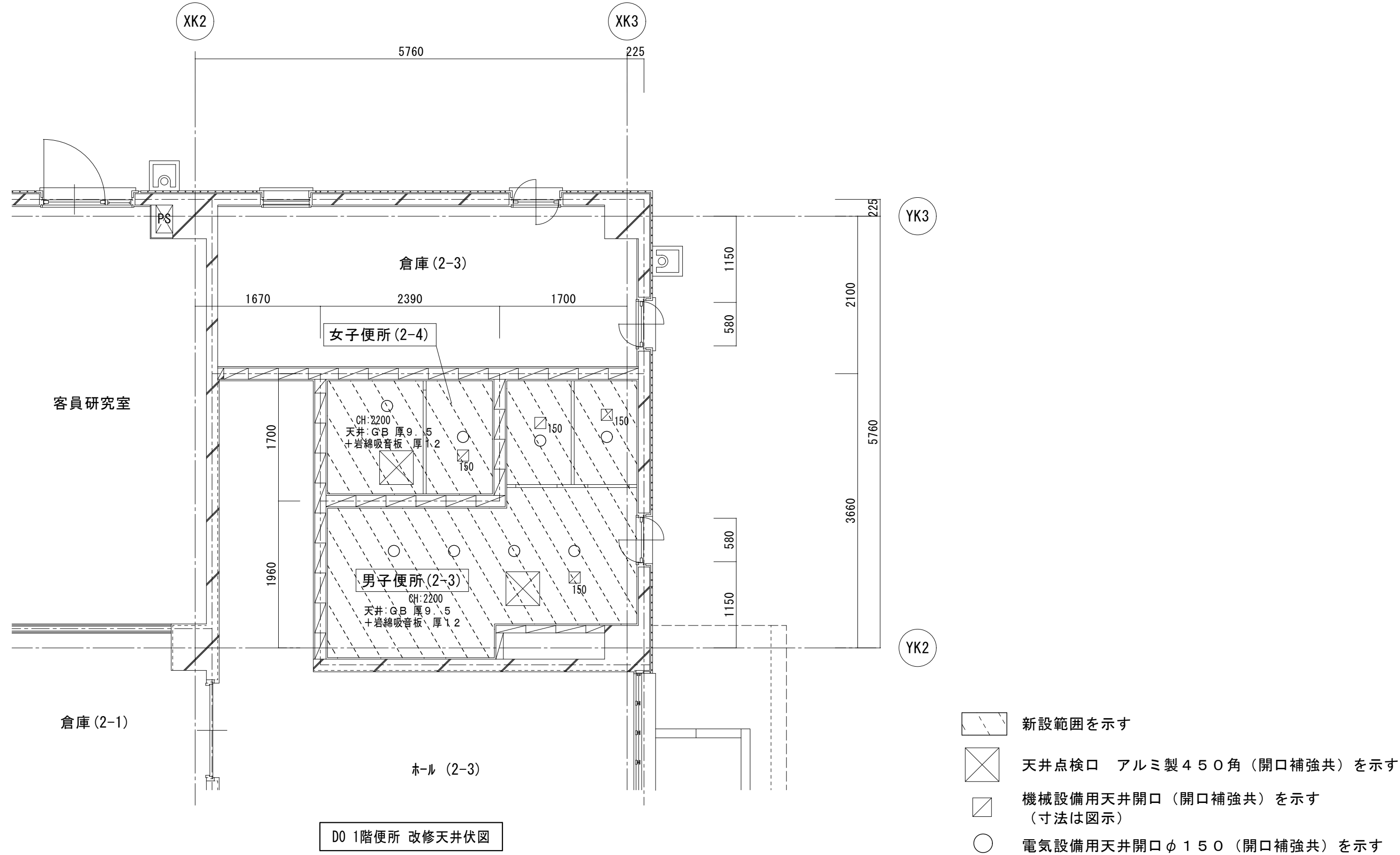
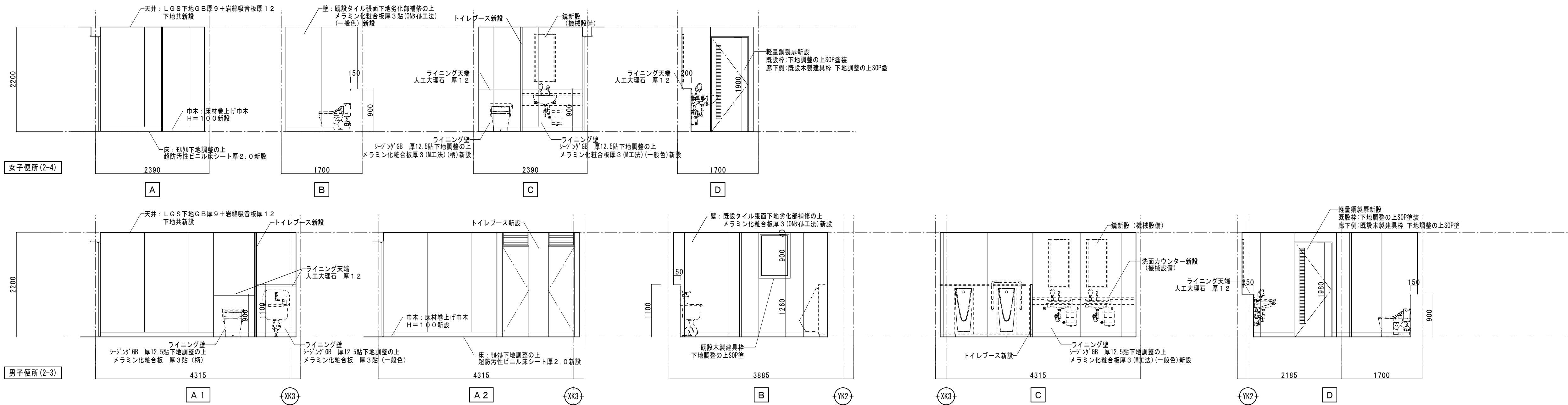


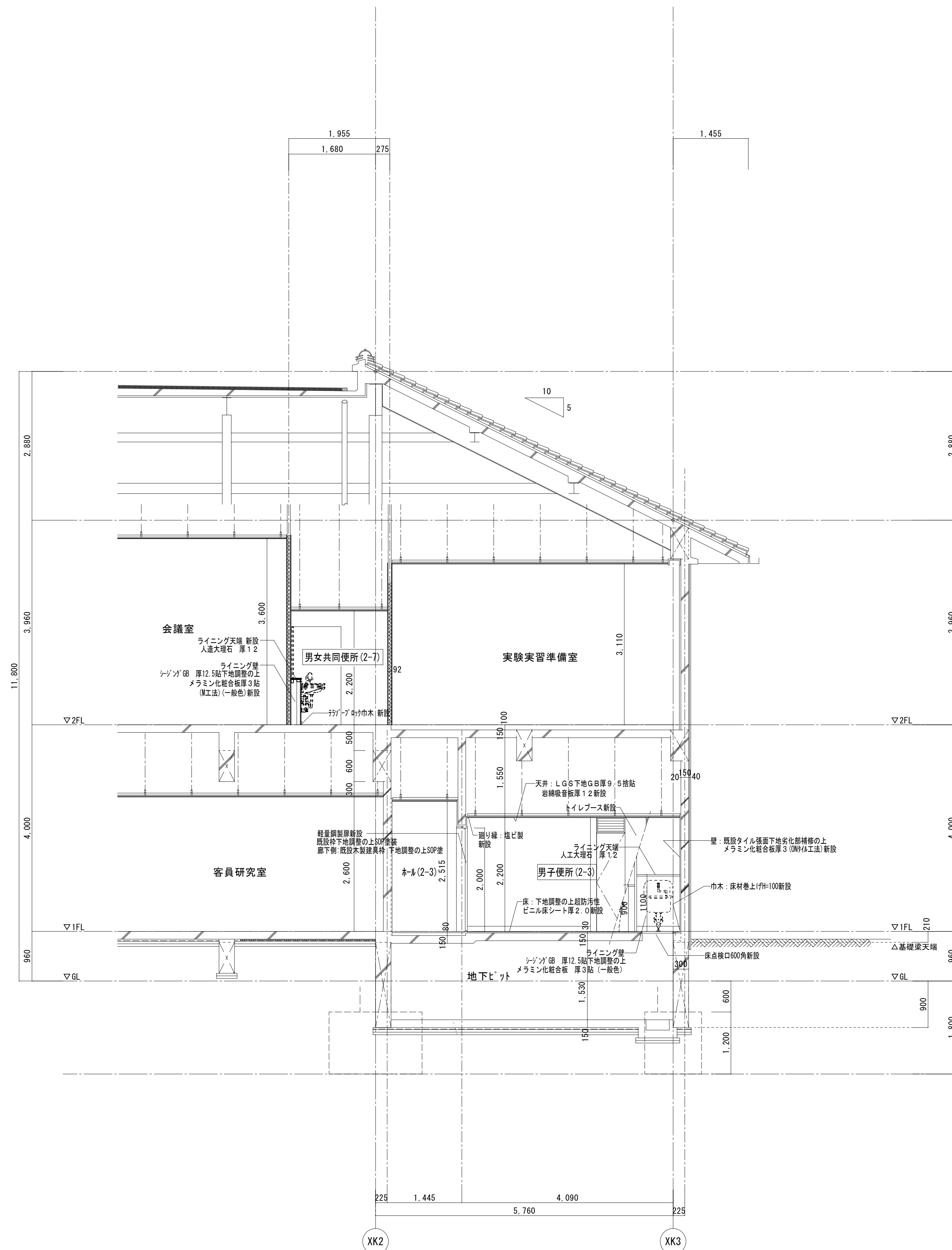
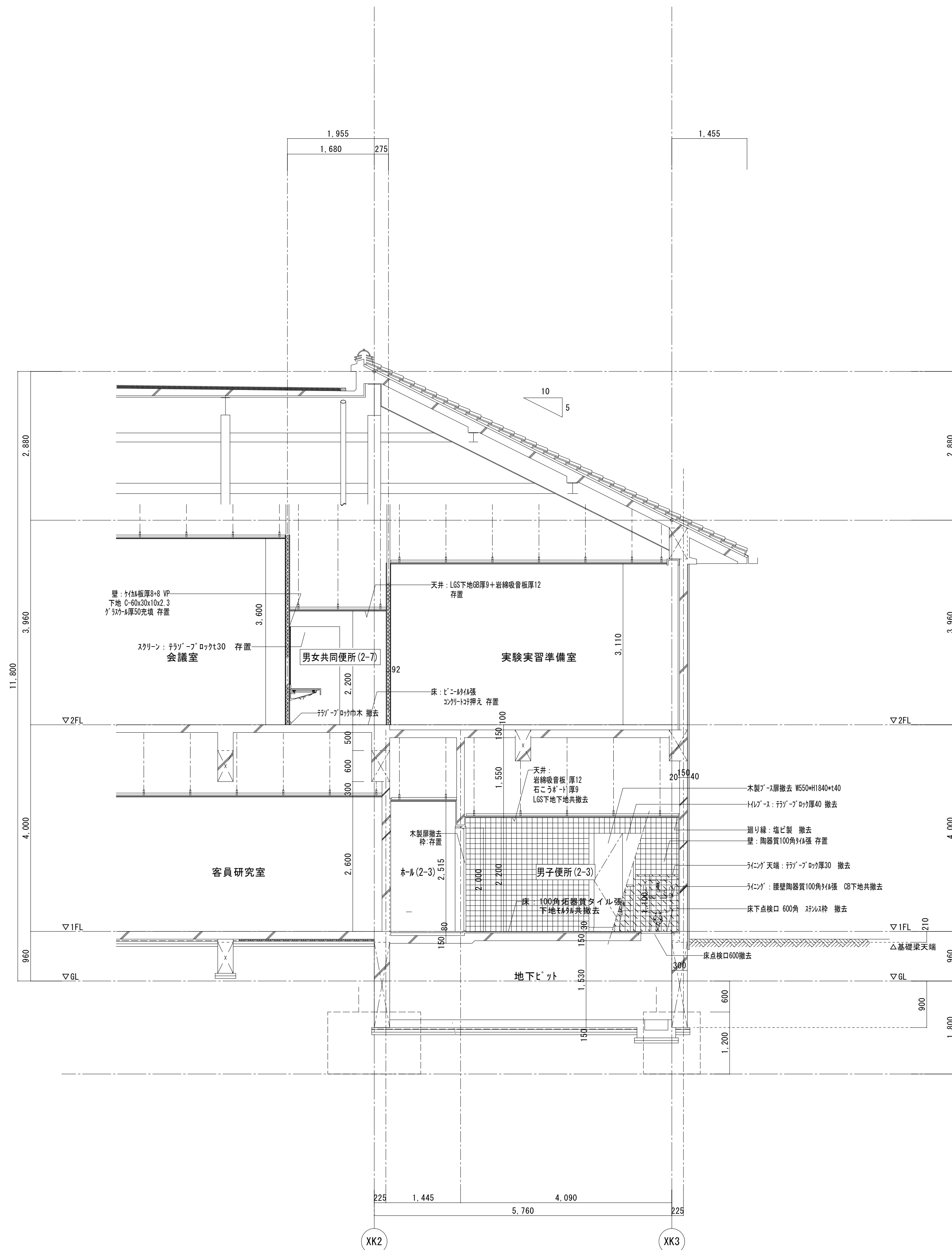
ライニング 腰壁撤去: 天端人工大理石、GB厚100下地

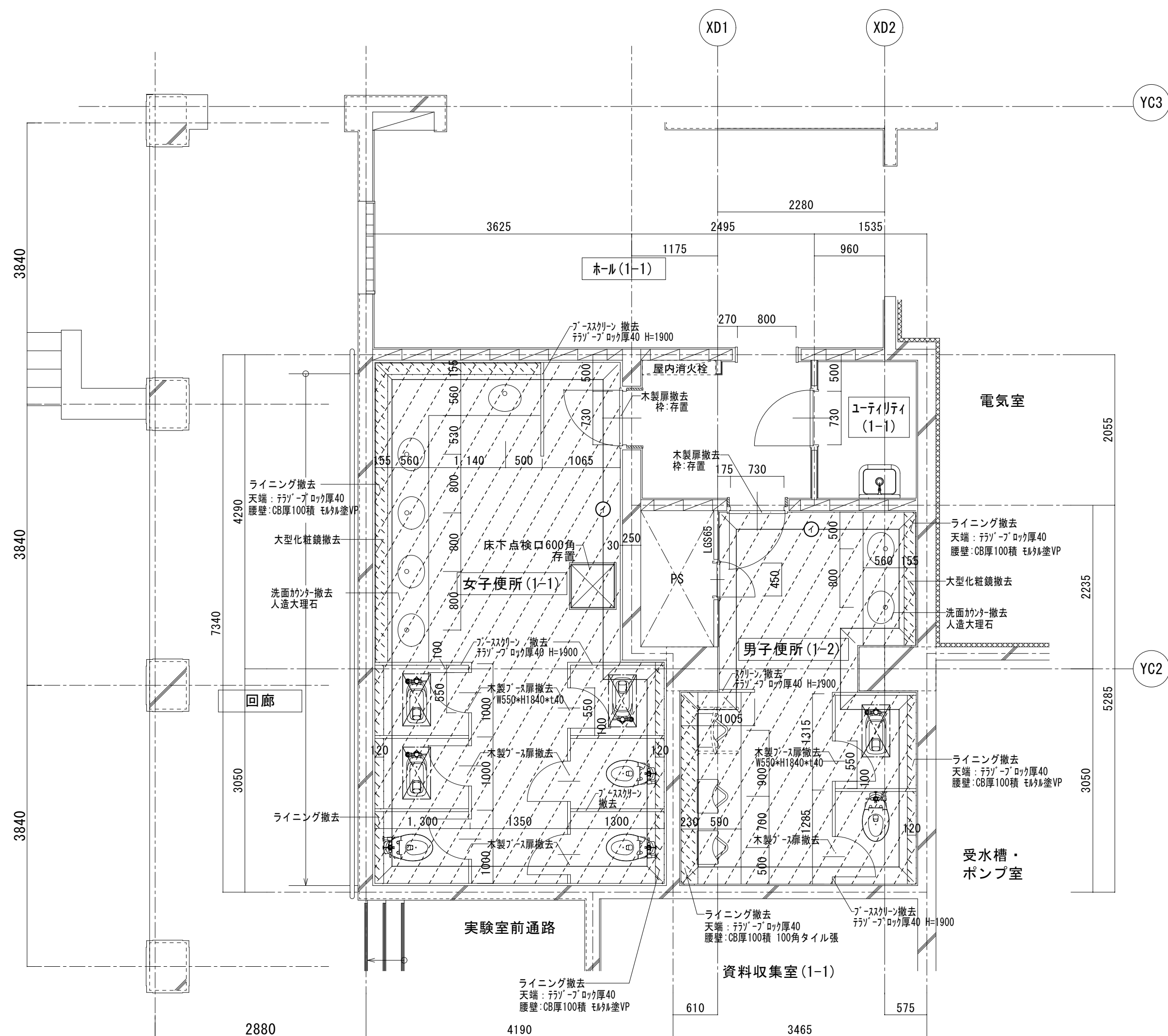
- ※トイレブースは全撤去、洗面カウンター、大型鏡撤去
- ※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺)
- ※照明器具等撤去(電気設備)



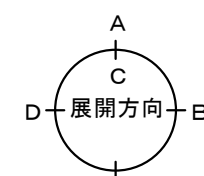
D0 1階便所 現況天井伏図







D3 1階便所平面詳細図（改修前）



略号表示

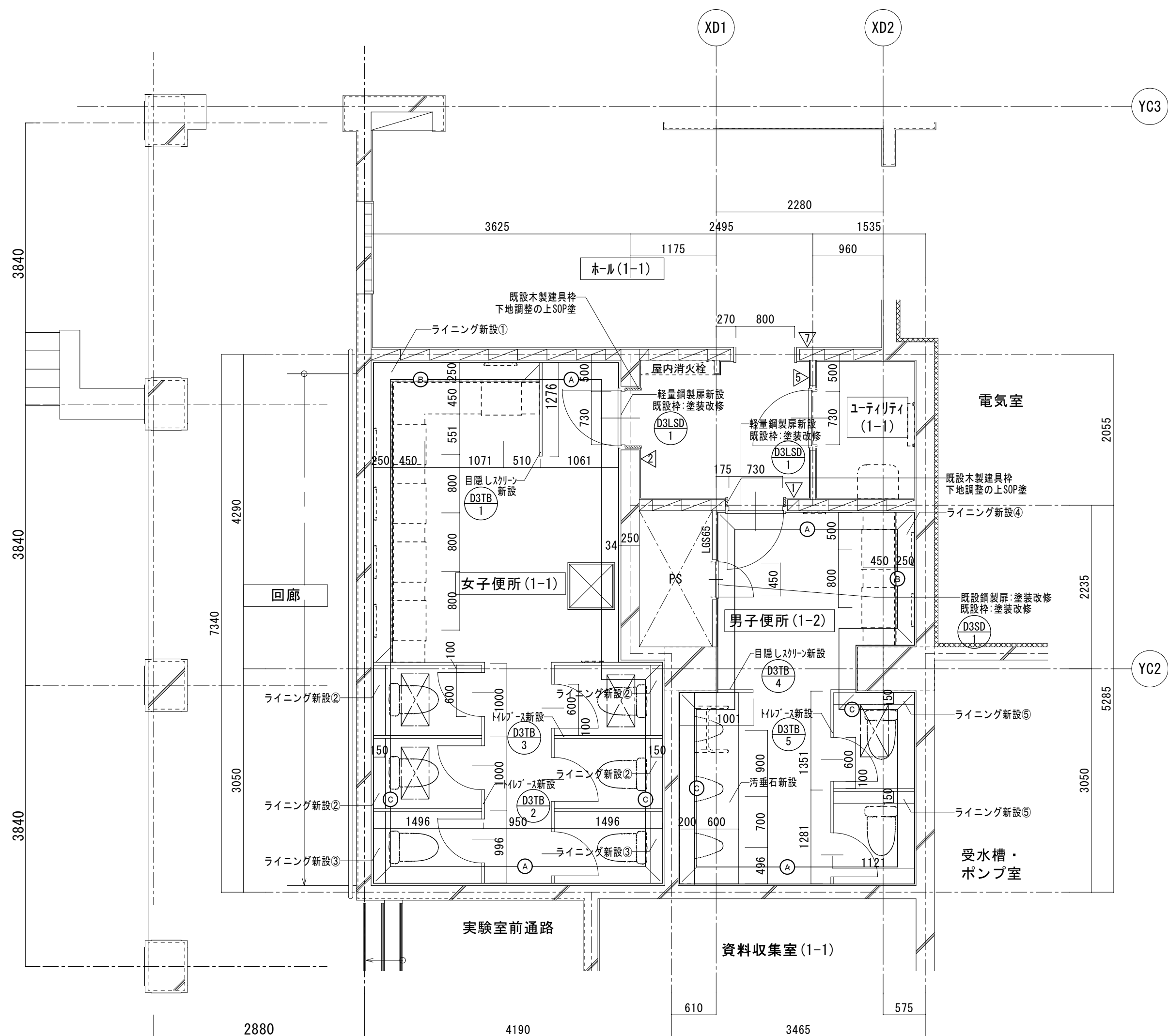
① VP塗(塗膜除去)

 解体撤去範囲を示す

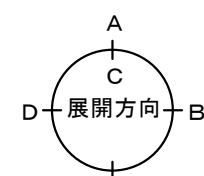
5cm厚腰壁撤去：天端人工大理石，GB 厚120下地

 和便器撤去部
コンクリートスラブ 厚150 研り撤去
(710×380)を示す(四周カッター切)

※トレップ全撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去
※衛生器具等撤去（機械設備）
（衛生陶器、配管、手摺）
※照明器具等撤去（電気設備）
※仮設間仕切壁（LG50 GB-R t12.5程度）、
工事用出入口を係員と協議の上適宜設置する事
※電気室の工事用として、棚足場（床高と6.0m、4.0m×1.5m程度）を
見込むこと



D3 1階便所平面詳細図（改修後）



略号表示

- (A) 壁下地調整の上マニ化琺合板 厚3貼(一般色)(新設)
 (B) 壁下地調整の上マニ化琺合板 厚3貼(指定色)(新設)
 (C) 壁下地調整の上マニ化琺合板 厚3貼(柄)(新設)

※ライニング新設

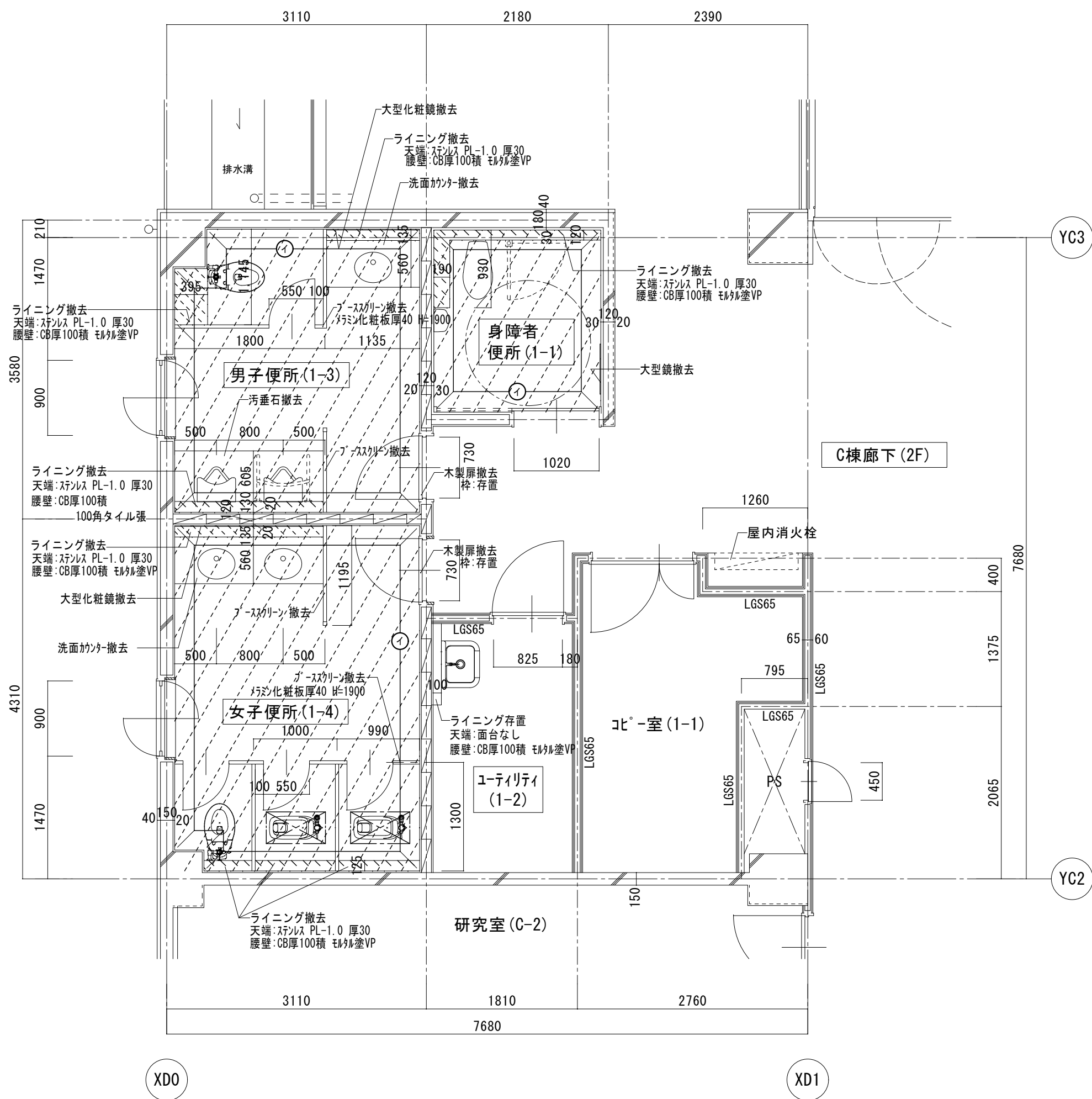
- ① $2261 + 4091 \times 250 \times H$ 900 $\times 1$ 箇所
- ② $960 \times 150 \times H$ 900 $\times 4$ 箇所
- ③ $976 \times 150 \times H$ 900 $\times 2$ 箇所
- ④ $1812 \times 250 \times H$ 900 $\times 1$ 箇所
- ⑤ $1001 \times 150 \times H$ 900 $\times 2$ 箇所

 サイン設置位置を示す（サイン詳細図参照）

和便器撤去部開口閉塞 (710×380)

後施工アンカー（差筋アンカー D13薬液固定型）@200（1ヵ所につき14本）

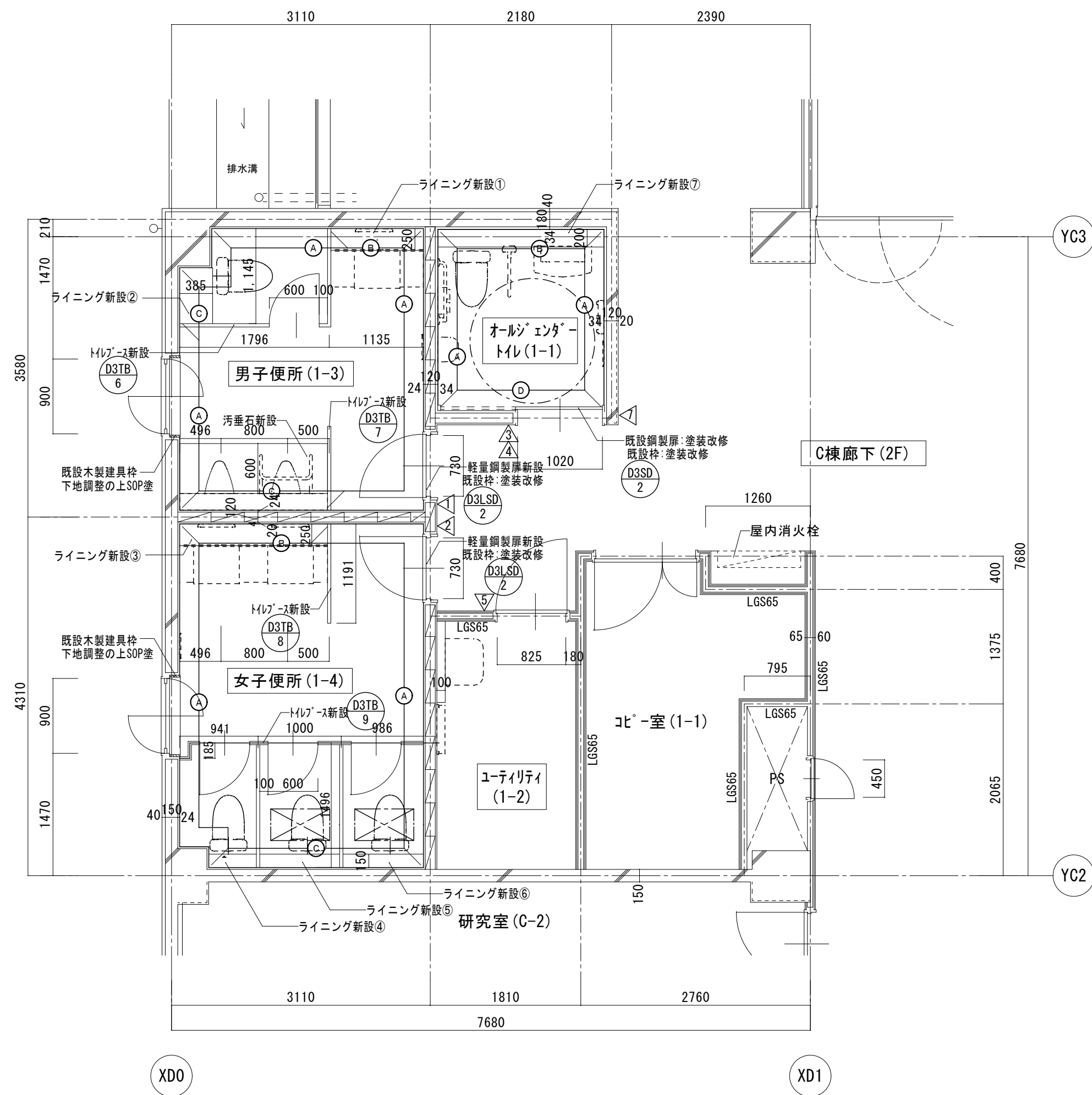
内部仕上表																	
階数	室名		床高	天井高	床		巾木	腰壁		壁		天井		廻り縁	室名		備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上			
1階	女子便所(1-1)	改修前	±0	2,400	MO	ビニールシート厚2.8(撤去)				MO	VP(塗装撤去) パーライトモルタル VP(塗装撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6 VP(撤去)	塩ビ製(撤去)	女子便所(1-1)		建築：トイレ・ス撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去、ライニングCB積敷撤去 機械設備：衛生器具撤去
		改修後	±0	2,400	MO	超防汚性ビニ床シート t=2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 h=100(新設)			下地調整	メシ化複合板 厚3貼 M工法(新設)	LGS(新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)		建築：ライニング天板 人工大理石甲板t12、トイレ・ス新設 機械設備：衛生器具	
	男子便所(1-2)	改修前	±0	2,400	MO	ビニールシート厚2.8(撤去) 小便器下:花崗岩工座を130			MO	VP(塗装撤去) パーライトモルタル VP(塗装撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6 VP(撤去)	塩ビ製(撤去)	男子便所(1-2)		建築：トイレ・ス撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去、ライニングCB積敷撤去 機械設備：衛生器具撤去、小便器取手指撤去	
		改修後	±0	2,400	MO	超防汚性ビニ床シート t=2.0貼(新設) 小便器下:汚重石(新設)	床材巻上げ巾木 h=100(新設)			下地調整	メシ化複合板 厚3貼 M工法(新設)	LGS(新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)		塩ビ製(新設)	建築：ライニング天板 人工大理石甲板t12、トイレ・ス新設 機械設備：衛生器具、小便器取手指	
	回廊	改修前	±0	3,110	C							LGS(撤去)		木製OSGL(一部撤去)	回廊		
		改修後	±0	3,110								LGS(新設)		木製OSGL(一部新設)			
下地凡例					防火材料認定番号(認定番号は参考)					特記事項							
C	コンクリート下地				EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585			床既設面下地調整については、遠隔型調整材にて下地を行うこと。		内装仕上げ材は、F☆☆☆☆仕様とする。		メシ化複合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。 メシ化複合板貼端部及び巾木取合部には7mm製見切りを取り付けること。 平目地はシリコンとする		【メシ化板 M工法】 既設タイル面及びボード系下地の仕上塗装等を撤去の上、プライマー処理を行いメシ化板の施工にあたること。		
MO	モルタル塗				石膏板・ド(GB-R) 厚9.5	準不燃 QM-9828			塩ビ製廻り縁はコ型タイプとする。		天井裏・小部屋の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする。						
LGS	軽量鉄骨下地				石膏板・ド(GB-R) 厚12.5	不燃 NM-8619			衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。		手洗・S・K部ライニング腰壁 シェンク GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧合板 厚3貼(一般色)						
CB	コンクリートロタ				岩綿吸音板 厚12	不燃 NM-8599			天井点検口 内部450角とし、適宜設けること。		大便器部ライニング腰壁 シェンク GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧合板 厚3貼(柄)						
SL	セリアベリク				メラミン化粧板 厚3.0	不燃 NM-2183											
W	木下地								令和7年 3月 日 滋賀県立大学財務課		株式会社 総合設備コンサルタント				工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事 図面名称 D3 1階便所平面詳細図(改修前・改修後) S = 1/50 図面No. A-16 設計日 2025年3月		



D3 2階便所平面詳細図（改修前）

略号表示
○ V P 塗（塗装撤去）

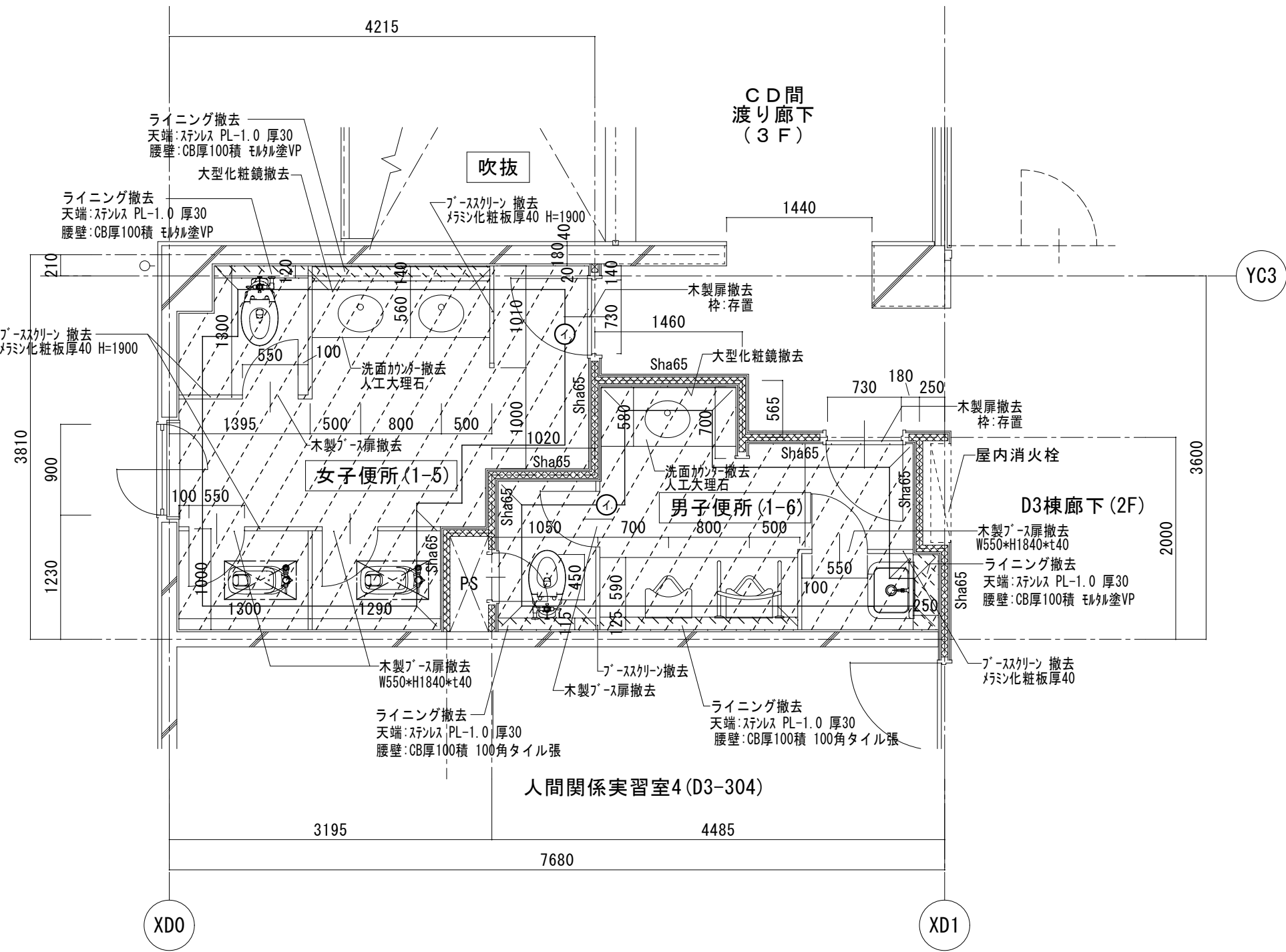
- 解体撤去範囲を示す
- 5mm厚 腰壁撤去：天端人工大理石、CB 厚120下地
- 和便器撤去部
コナリ137 厚150新り撤去
(710×380)を示す（四角カッター切）



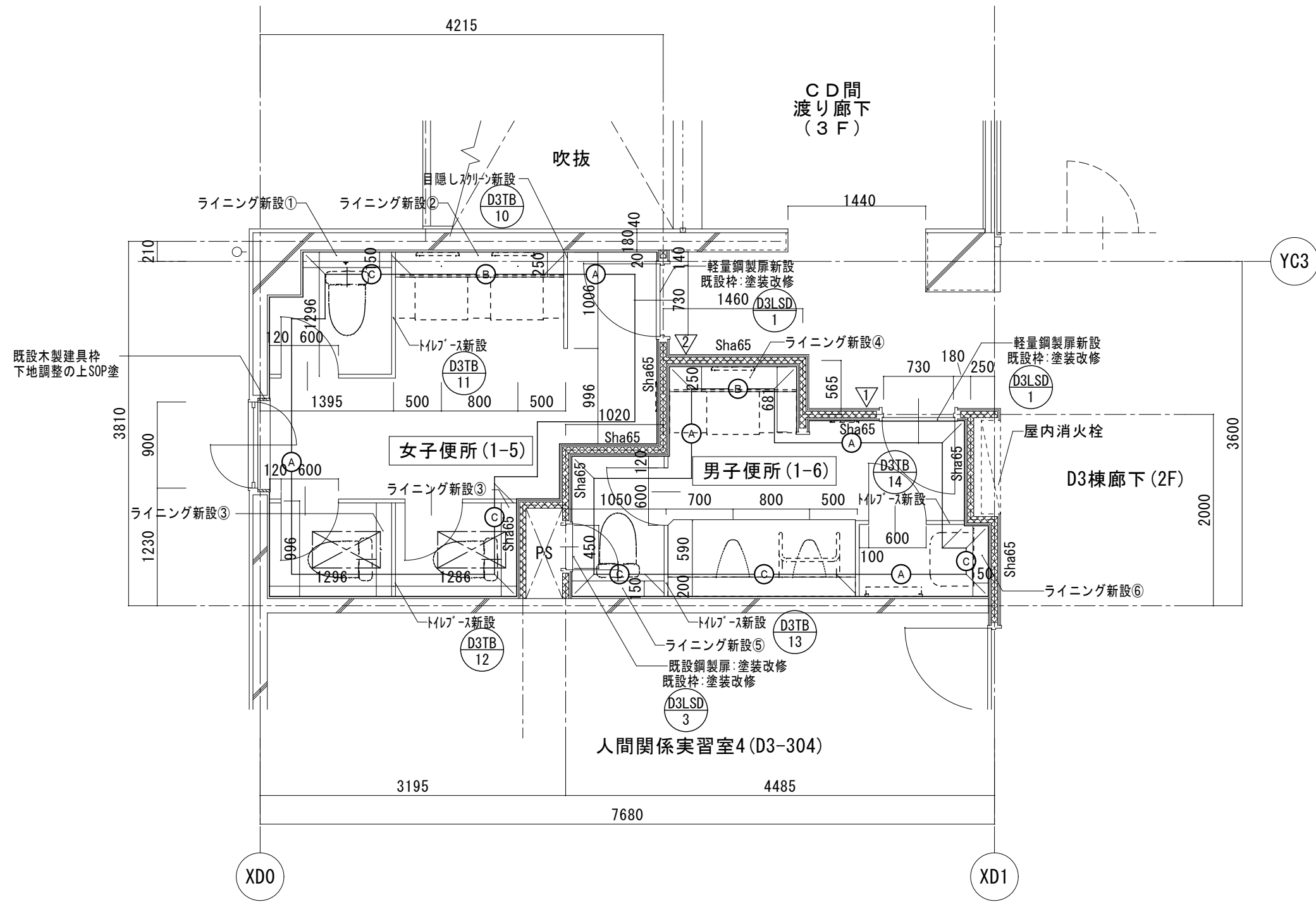
D3 2階便所平面詳細図（改修後）

- 略号表示
- Ⓐ 壁下地調整の上リシ化粧合板 厚3貼（一般色）（新設）
 - Ⓑ 壁下地調整の上リシ化粧合板 厚3貼（指定色）（新設）
 - Ⓒ 壁下地調整の上リシ化粧合板 厚3貼（柄）（新設）
 - Ⓓ 壁下地調整の上化粧シート貼（新設）
- ※ライニング新設
- ① 1111×250×H 900 ×1箇所
 - ② 671×385×H 900 ×1箇所
 - ③ 1776×250×H 900 ×1箇所
 - ④ 571×150×H 900 ×1箇所
 - ⑤ 960×150×H 900 ×1箇所
 - ⑥ 966×150×H 900 ×1箇所
 - ⑦ 1992×200×H 900 ×1箇所
- △ サイン設置位置を示す（サイン詳細図参照）
- 和便器撤去部開口閉塞（710×380）
コナリ（21N/m3）厚150直挿え
後施工アンカー（差筋アンカー D13素液固定型）@200（1ヵ所につき14本）

内部仕上表														廻り縁		室名		備考																							
階数	室名		床高	天井高	床		巾木		腰壁		壁		天井		仕上																										
		改修前	基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	塩ビ製(撤去)																											
1階	男子便所(1-3)	改修前	±0	2.400	MO	ビニールシート厚2.8(撤去) 小便器下:花崗岩水磨き t.30	スチン2PL-1.5H=60(撤去)	MO	小便器前:100角タイル貼(撤去)	MO	パーライトモルタル V P (塗装撤去) 一部 V P (塗装撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6 V P (撤去)	男子便所(1-3)		建築:トイレバス撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去、ライニング CB積撤去 機械設備:衛生器具撤去、小便器用手摺撤去																									
		改修後	±0	2.400	MO	超防汚性ビニ床シート t=2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	フッ化樹脂合板 厚3貼 M工法(新設)	LGS(新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)		塩ビ製(新設)	建築:ライニング天板 人工大理石甲板t12、トイレバス新設 機械設備:衛生器具、小便器用手摺																									
	女子便所(1-4)	改修前	±0	2.400	MO	ビニールシート厚2.8(撤去)	スチン2PL-1.5H=60(撤去)	-	-	MO	パーライトモルタル V P (塗装撤去) 一部 V P (塗装撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6 V P (撤去)	女子便所(1-4)		建築:トイレバス撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去、ライニング CB積撤去 機械設備:衛生器具撤去																									
		改修後	±0	2.400	MO	超防汚性ビニ床シート t=2.0貼(新設) 小便器下:汚重石(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	フッ化樹脂合板 厚3貼 M工法(新設)	LGS(新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)		塩ビ製(新設)	建築:ライニング天板 人工大理石甲板t12、トイレバス新設 機械設備:衛生器具																									
	身障者便所(1-1)	改修前	±0	2.200	MO	ビニールシート厚2.8(撤去)	スチン2PL-1.5H=60(撤去)	-	-	MO	パーライトモルタル V P (塗装撤去) 一部 V P (塗装撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6 V P (撤去)	身障者便所(1-1)		建築:トイレバス撤去、大型鏡撤去、ライニング CB積撤去 機械設備:衛生器具撤去、可動手摺撤去																									
	オールジェンダートイレ(1-1)	改修後	±0	2.200	MO	超防汚性ビニ床シート t=2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	フッ化樹脂合板 厚3貼 M工法(新設)	LGS(新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)	オールジェンダートイレ(1-1)		建築:ライニング天板 人工大理石甲板t12 機械設備:衛生器具撤去、可動手摺																								
	C棟廊下(2F)	改修前	±0	2.285 2.400	CO	コ押さえリリウムシート	ビニル巾木H=100	-	-	MO LGS	E P、 PB厚15+15 E P	LGS	P B 厚9+岩綿吸音板厚12	C棟廊下(2F)		建築: 機械設備: 建築: 機械設備:																									
		改修後	±0	2.400	-	既設のまま	既設のまま	-	-	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま		既設のまま																										
下地凡例														防火材料認定番号(認定番号は参考)														特記事項													
C	コンクリート下地					EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585				床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。	内装仕上げ材は、F☆☆☆☆仕様とする。	フッ化樹脂合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。	【フッ化樹脂 M工法】 既設モルタル面及びボード系下地の仕上塗装等を撤去の上、プライマー処理を行いフッ化樹脂板の施工にあたること。																											
MO	モルタル塗					石膏ボード(GB-R) 厚9.5	準不燃 QM-9828				塩ビ製廻り縁はコ型タイルとする。	天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする。	フッ化樹脂合板貼端部及び巾木取合部には7mm製見切りを取り付けること。 平目地はシリコンとする																												
LGS	軽量鉄骨下地					石膏ボード(GB-R) 厚12.5	不燃 NM-8619				衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。	手洗・S K部ライニング腰壁 シーリング GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧合板 厚3貼(一般色)																													
CB	コンクリートロック					岩綿吸音板 厚12	不燃 NM-8599				天井点検口 内部450角とし、適宜設けること。	シーリング GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧合板 厚3貼(柄)																													
SL	セムラベリンク					フッ化樹脂板 厚3.0	不燃 NM-2183																																		
W	木下地																																								
令和7年 3月 日		滋賀県立大学財務課																	工事名称		滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事				図面No	A-17															
																			図面名称		D3 2階便所平面詳細図(改修前・改修後)				S = 1/50	図訂日	2025年3月														



D3 3階便所平面詳細図 (改修前)



D3 3階便所平面詳細図 (改修後)

※トイレ・ス全撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去
※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺)
※照明器具等撤去(電気設備)
※仮設間仕切壁 (LGS50 GB-R t12.5程度) 、
工事用出入口を係員と協議の上適宜設置する事

略号表示

① V P 差 (塗膜除去)

解体撤去範囲を示す

ライング 壁撤去: 天端:人工大理石、CB 厚120下地

和便器撤去部
コクリート厚150新設
(710×380)を示す(四周カッター切)

Sha** 既設遮音仕様壁を示す (**は壁厚)
[- 30×60×10×2.3 グラスウール厚50充填]

略号表示

① 壁下地調整の上パシ化化粧板 厚3貼 (一般色) (新設)
② 壁下地調整の上パシ化化粧板 厚3貼 (指定色) (新設)
③ 壁下地調整の上パシ化化粧板 厚3貼 (柄) (新設)

※ライング新設

① 926×150×H 900 ×1箇所
② 1760×250×H 900 ×1箇所
③ 976×150×H 900 ×2箇所
④ 1327×250×H 900 ×1箇所
⑤ 963×150×H 900 ×1箇所
⑥ 734×150×H 900 ×1箇所

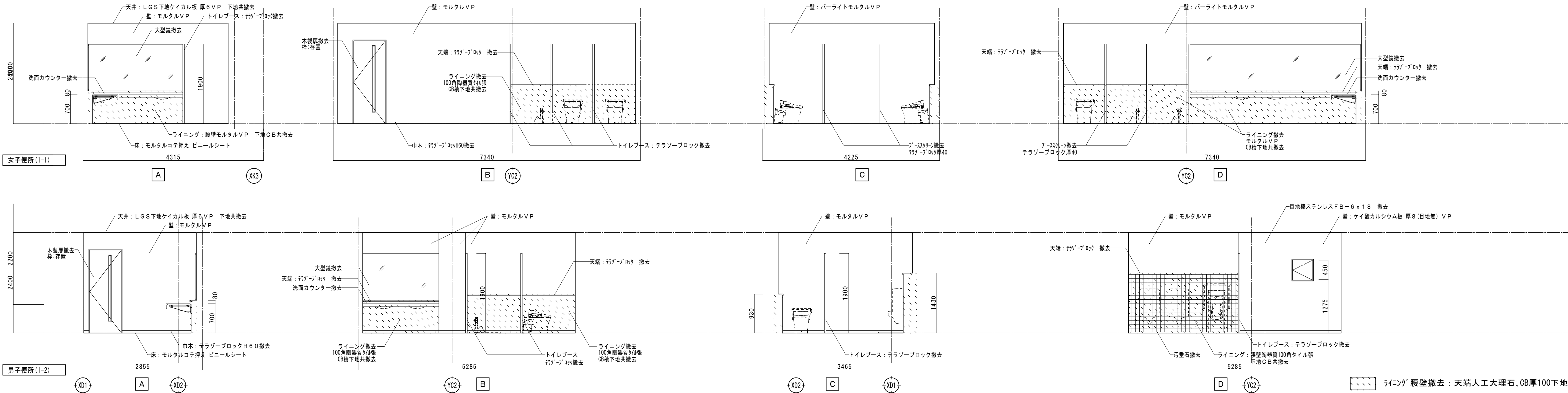
△ サイン設置位置を示す (サイン詳細図参照)

和便器撤去部開口閉塞 (710×380)
コクリート(21Wn3)厚150直押え

後施工アンカー (差筋アンカー D13薬液固定型) @200 (1カ所につき14本)

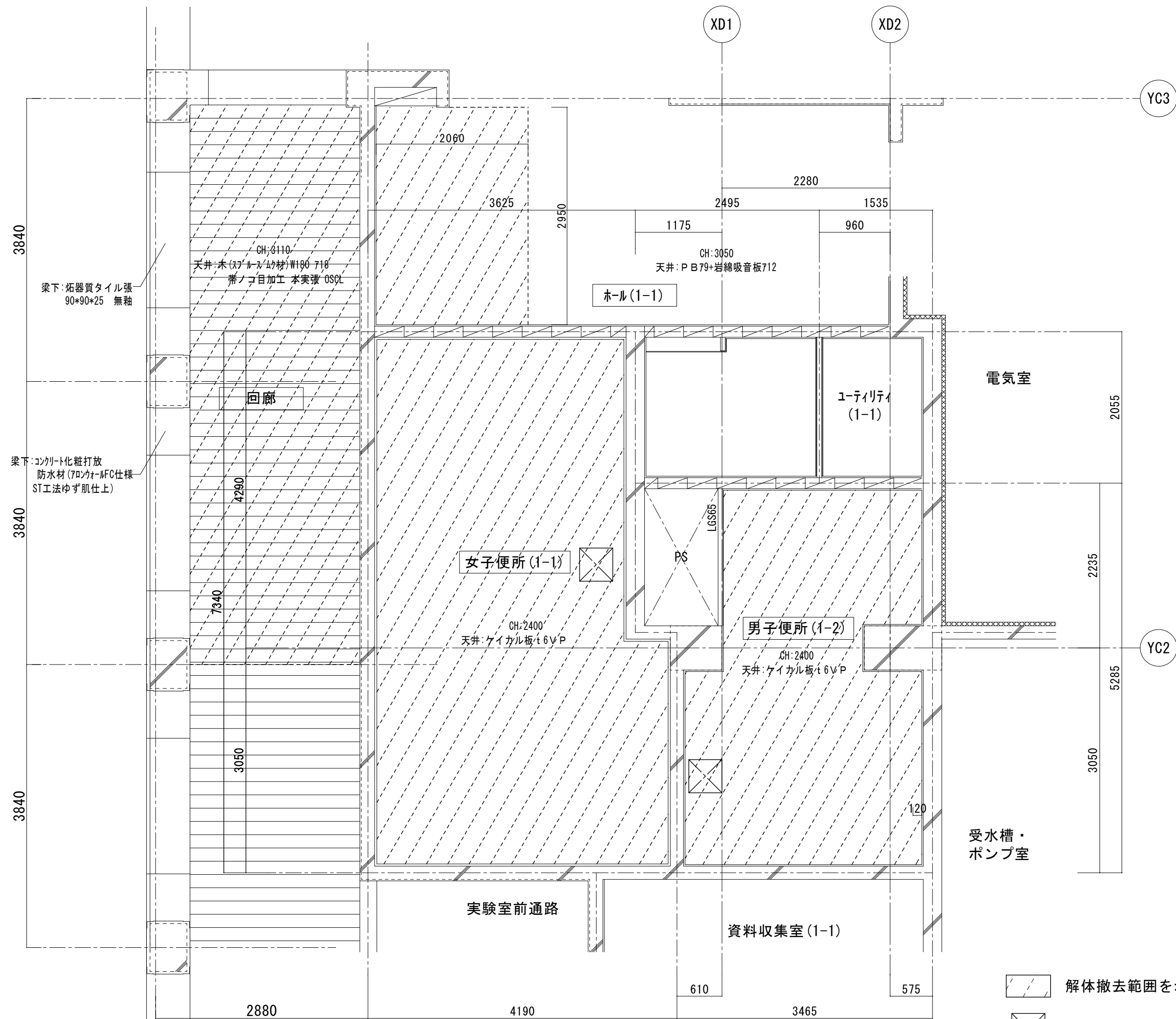
Sha** 既設遮音仕様壁を示す (**は壁厚)
[- 30×60×10×2.3 グラスウール厚50充填]

内部仕上表																				
階数	室 名		床 高	天井高	床		巾 木		腰 壁		壁		天 井		廻り縁	室 名		備 考		
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上						
3 階	女子便所 (1-5)	改修前	±0	2,400	C	ビニ床シート 厚2.0貼 (撤去)	スチルスPL-1.5H=60 (撤去)	MO	—	MO	モヘアV.P. (塗装撤去) ハードモヘアV.P. (塗装撤去) 化粧板厚8.V.P. (塗装撤去) グラスウール厚50充填	LGS (撤去)	ケイカル板 厚6.V.P. (撤去)	塩ビ製 (撤去)	女子便所 (1-5)		建築: トイレ・バス撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去、ライング CB積撤去 機械設備: 衛生器具、手摺撤去			
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニ床シート 厚2.0貼 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	—	—	下地調整	パシ化化粧板 厚3貼 M工法 (新設)	LGS (新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12 (新設)	塩ビ製 (新設)			建築: ライング 天板 人工大理石甲板t12、トイレ・バス新設 機械設備: 衛生器具			
	男子便所 (1-6)	改修前	±0	2,400	C	ビニ床シート 厚2.0貼 (撤去) 汚垂石 磁器買り込 (撤去)	スチルスPL-1.5H=60 (撤去)	MO	小便器前: 100角タイル貼 (撤去)	MO	モヘアV.P. (塗装撤去) コクリート化粧打放し V.P. (塗装撤去) 化粧板厚8.V.P. (塗装撤去) グラスウール厚50充填	LGS (撤去)	ケイカル板 厚6.V.P. (撤去)	塩ビ製 (撤去)	男子便所 (1-6)		建築: トイレ・バス撤去、洗面カウンター撤去、大型化粧鏡撤去、ライング CB積撤去 機械設備: 衛生器具、手摺撤去			
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニ床シート 厚2.0貼 (新設) 汚垂石 (新設)	床材巻上げ巾木 H=100 (新設)	—	—	下地調整	パシ化化粧板 厚3貼 M工法 (新設)	LGS (新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12 (新設)	塩ビ製 (新設)			建築: ライング 天板 人工大理石甲板t12、トイレ・バス新設、目隠しスクリーン新設 機械設備: 衛生器具、小便器手摺			
下地凡例					防火材料認定番号 (認定番号は参考)					特記事項										
C	コクリート下地					EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585			床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。			内装仕上げ材は、F☆☆☆☆仕様とする。		パシ化化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。			【パシ化化粧板 M工法】 既設モヘア面及びボード系下地の仕上塗装等を撤去の上、プライマー処理を行いパシ化化粧板の施工にあたること。		
MO	モヘア塗					石膏ボード (GB-R) 厚9.5	準不燃 QM-9828			塩ビ製廻り縁はコ型タイプとする。			天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする。		パシ化化粧板貼端部及び巾木取合部には7A仕様見切りを取り付けること。 平目地はシリコンとする					
LGS	軽量鉄骨下地					石膏ボード (GB-R) 厚12.5	不燃 NM-8619			衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。			手洗、S.K部ライング腰壁 シンキング GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧板 厚3貼 (一般色)		パシ化化粧板貼端部及び巾木取合部には7A仕様見切りを取り付けること。					
CB	コクリートボード					岩綿吸音板 厚12	不燃 NM-8599			天井点検口 内部450角とし、適宜設けること。			大便器部ライング腰壁 シンキング GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧板 厚3貼 (柄)							
SL	モヘアレベリング					パシ化化粧板 厚3.0	不燃 NM-2183													
W	木下地																			
令和7年 3月 日										滋賀県立大学財務課						株式会社 総合設備コンサルタント				工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事 図面名称 D3 3階便所平面詳細図 (改修前・改修後) 図面No: A-18 設計日 2025年3月



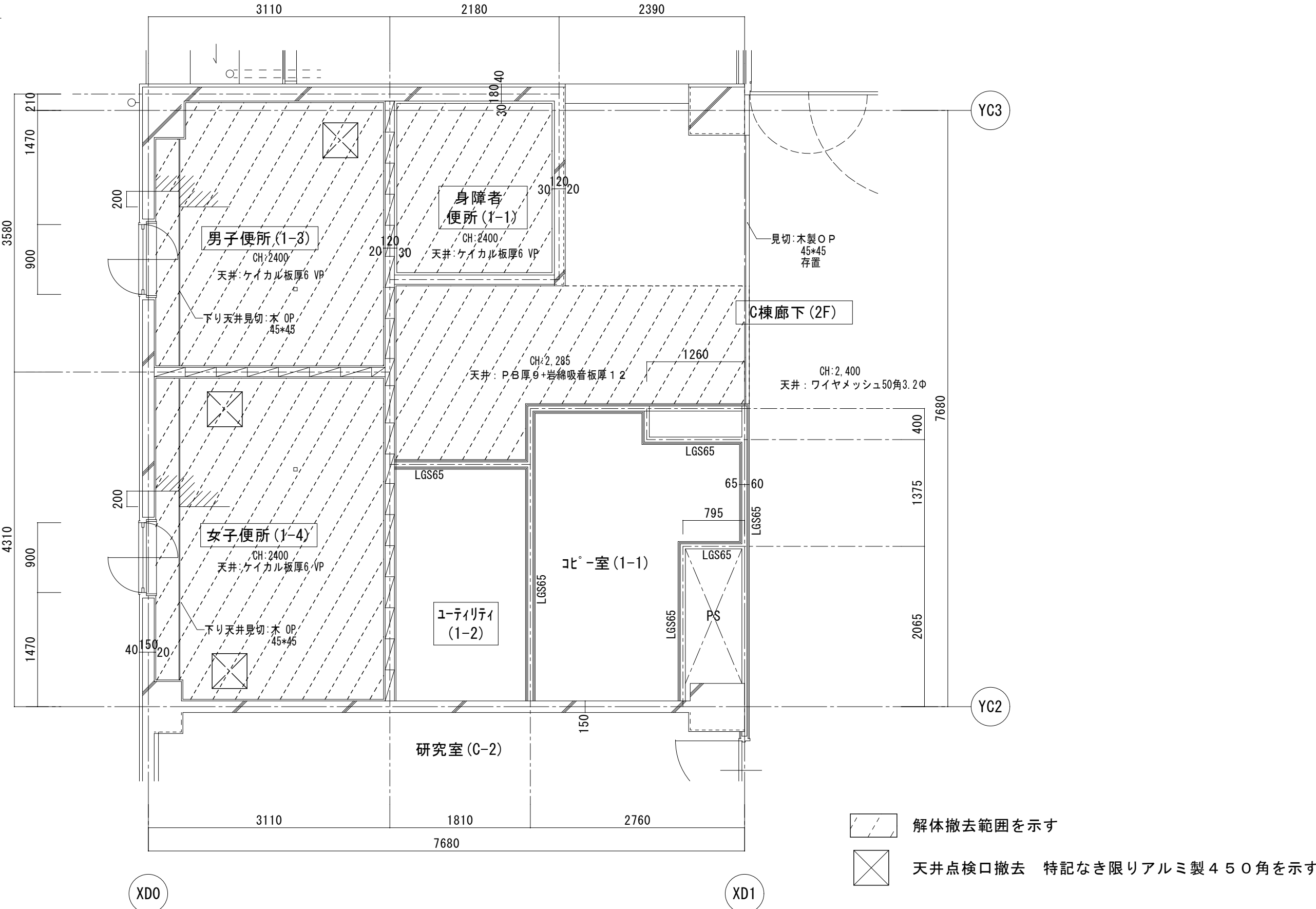
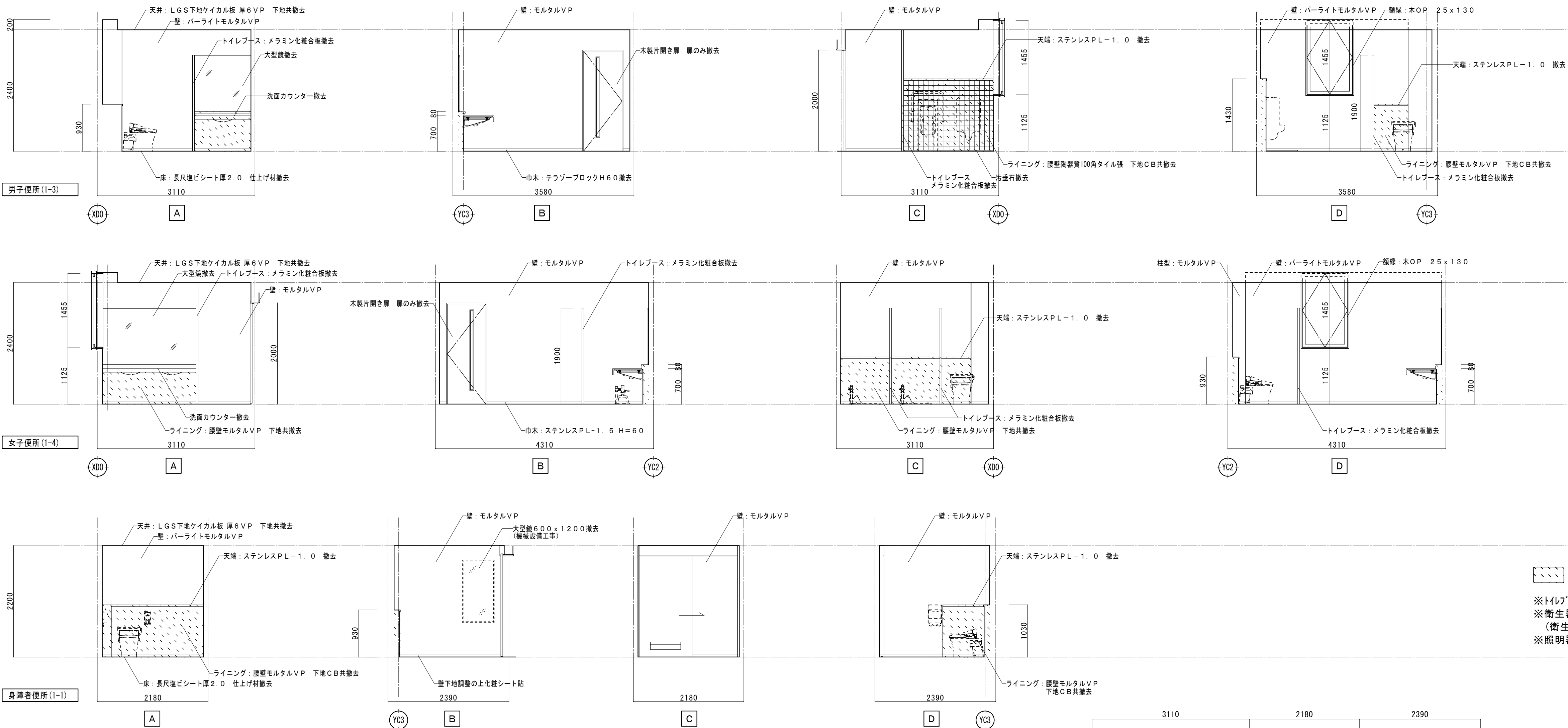
--- ライニング 腰壁撤去：天端人工大理石、CB厚100下地

- ※トイレブースは全撤去、洗面カウンター、大型鏡撤去
- ※衛生器具等撤去（機械設備）
（衛生陶器、配管、手摺）
- ※照明器具等撤去（電気設備）

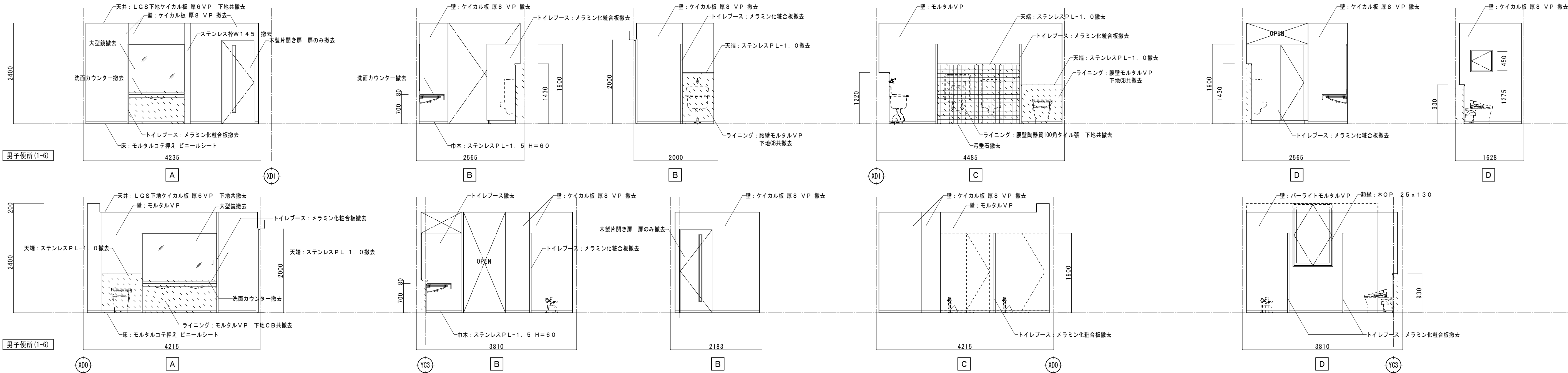


- 解体撤去範囲を示す
- 天井点検口を示す（特記なき限り450角）

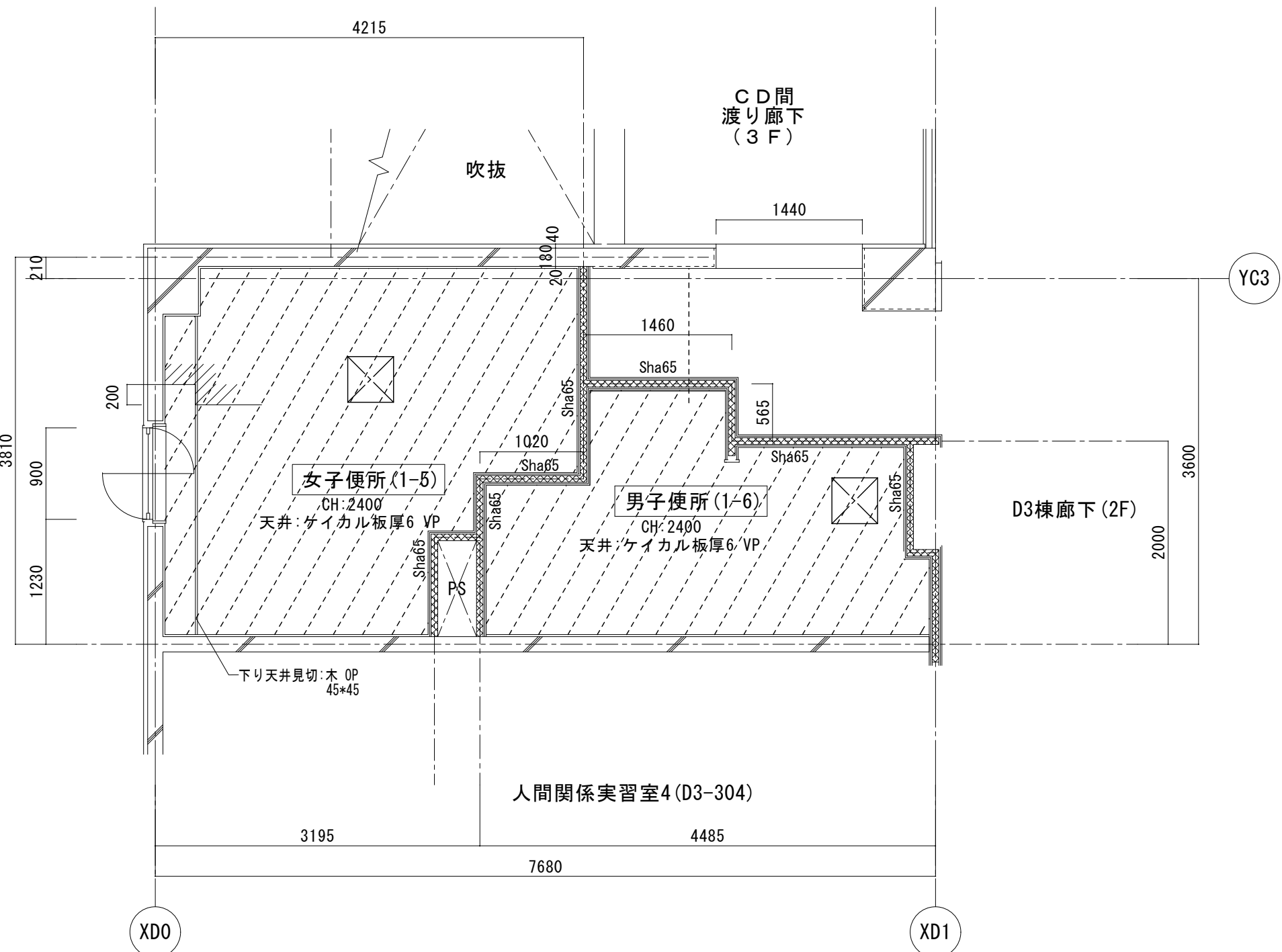
D3 1階便所平面詳細図（改修前）



D3 2階便所平面詳細図 (改修前)

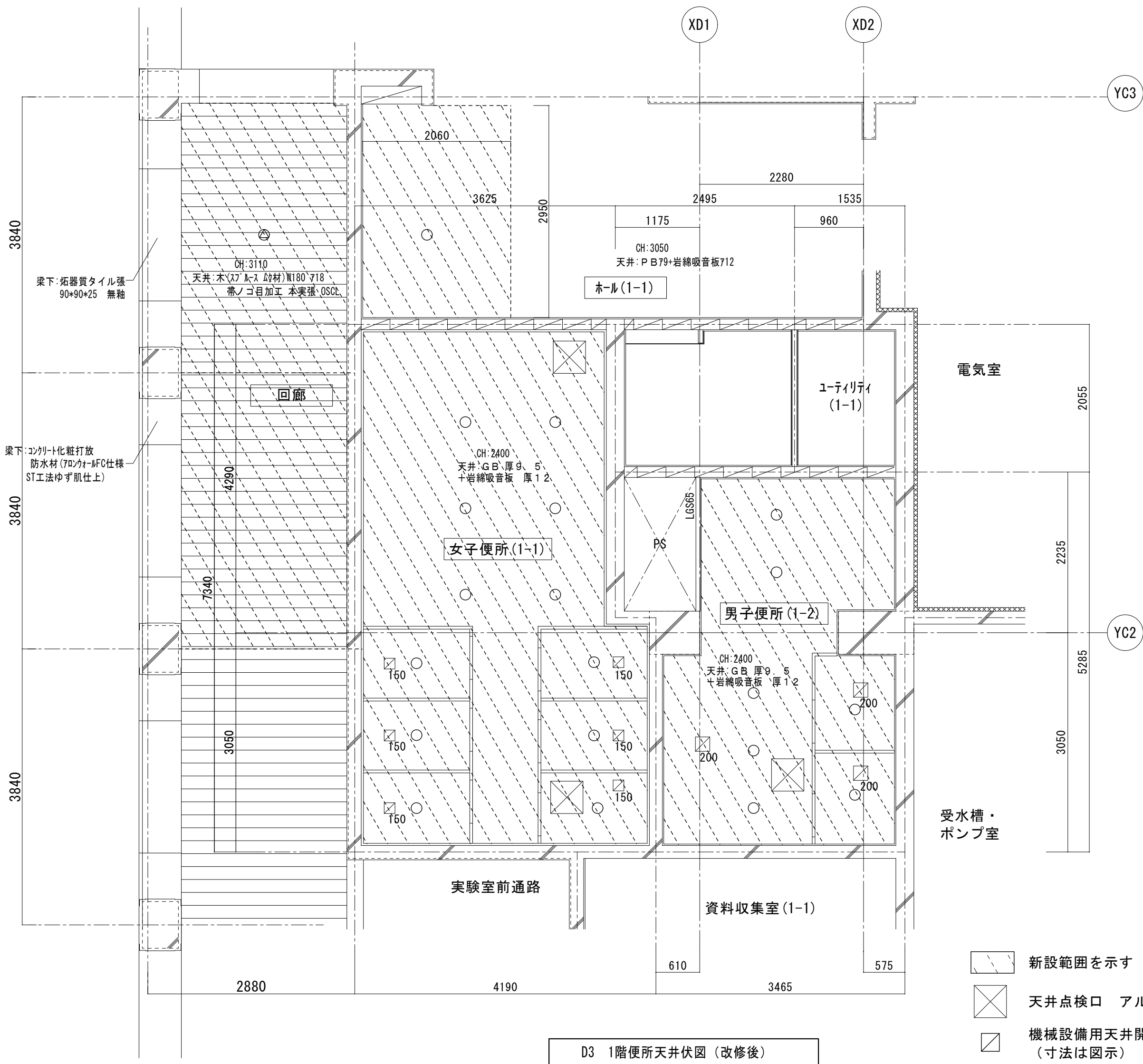
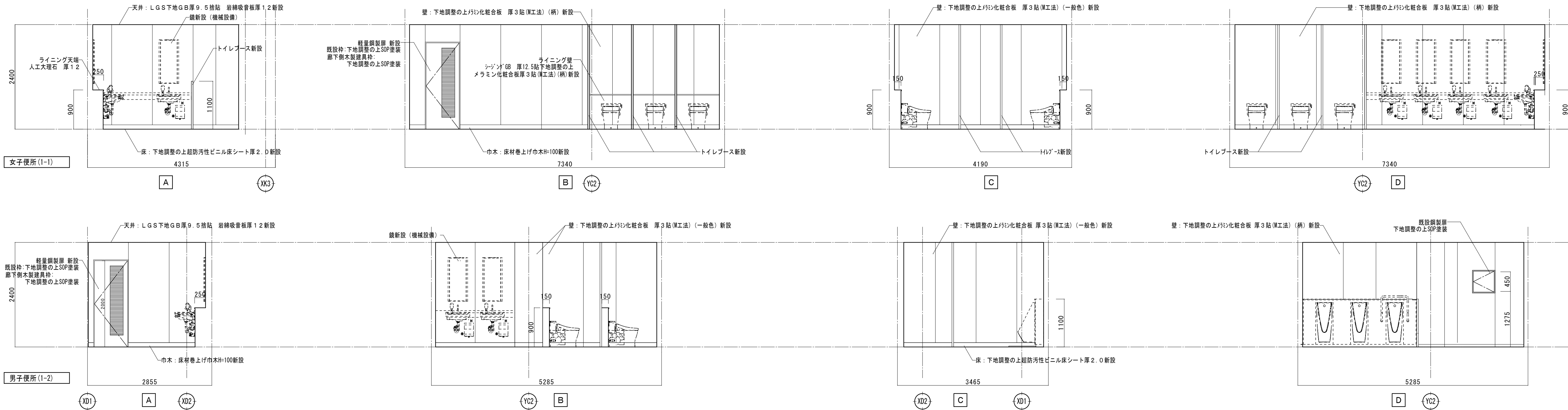


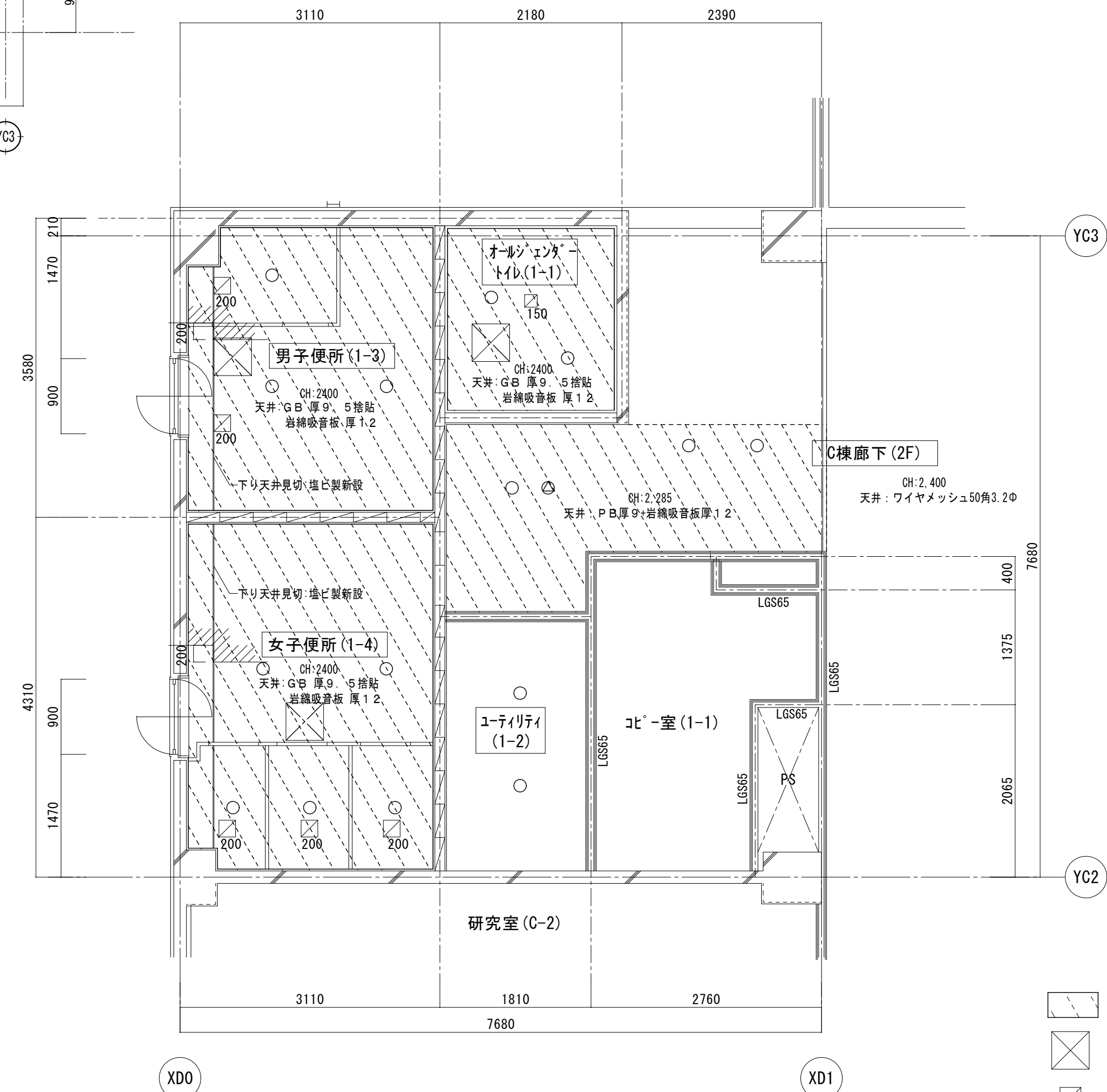
- ライング 腰壁撤去：天端人工大理石、CB厚100下地
- ※トイレは全撤去、洗面カウンター、大型鏡撤去
- ※衛生器具等撤去（機械設備）
（衛生陶器、配管、手摺）
- ※照明器具等撤去（電気設備）



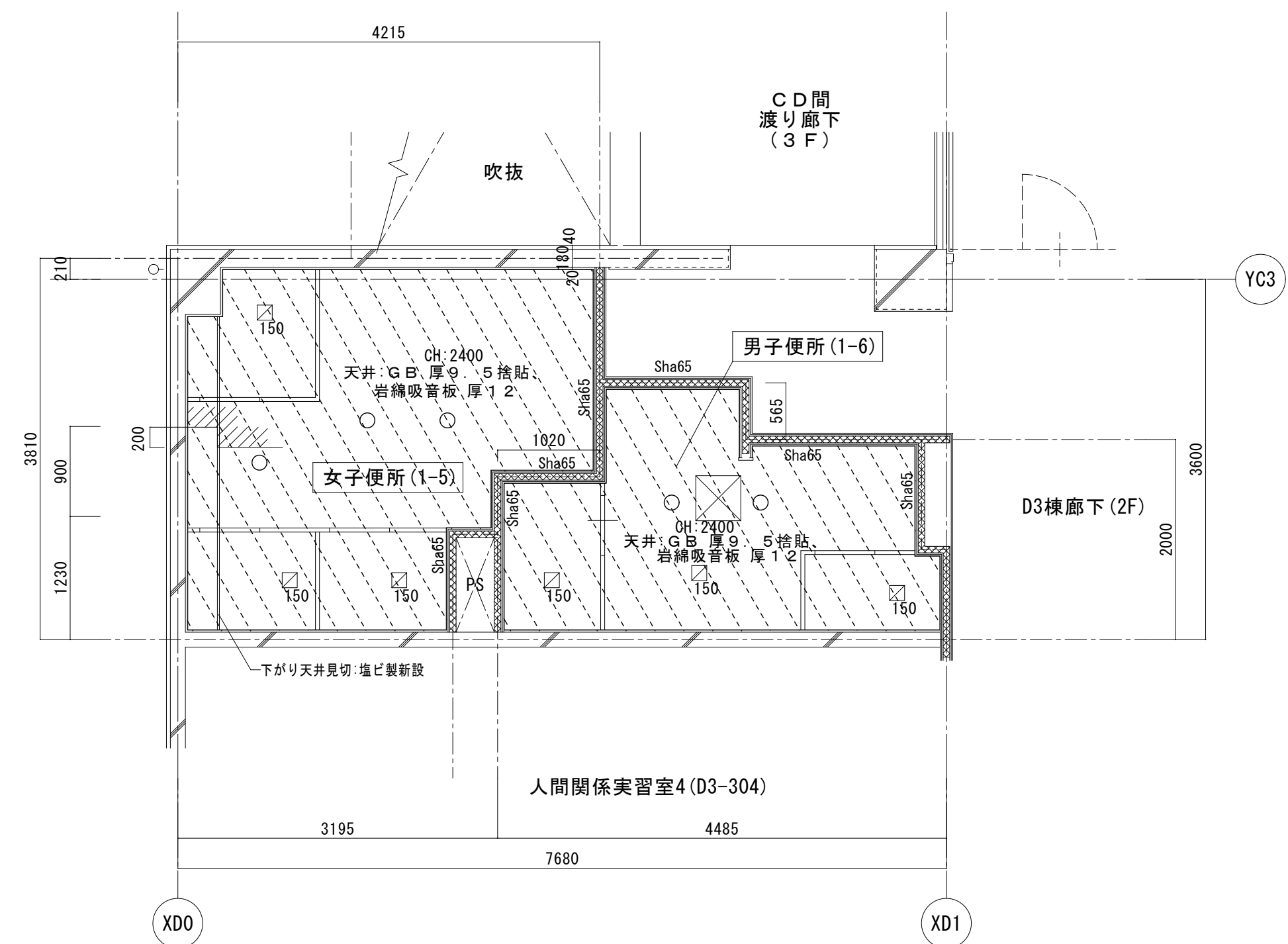
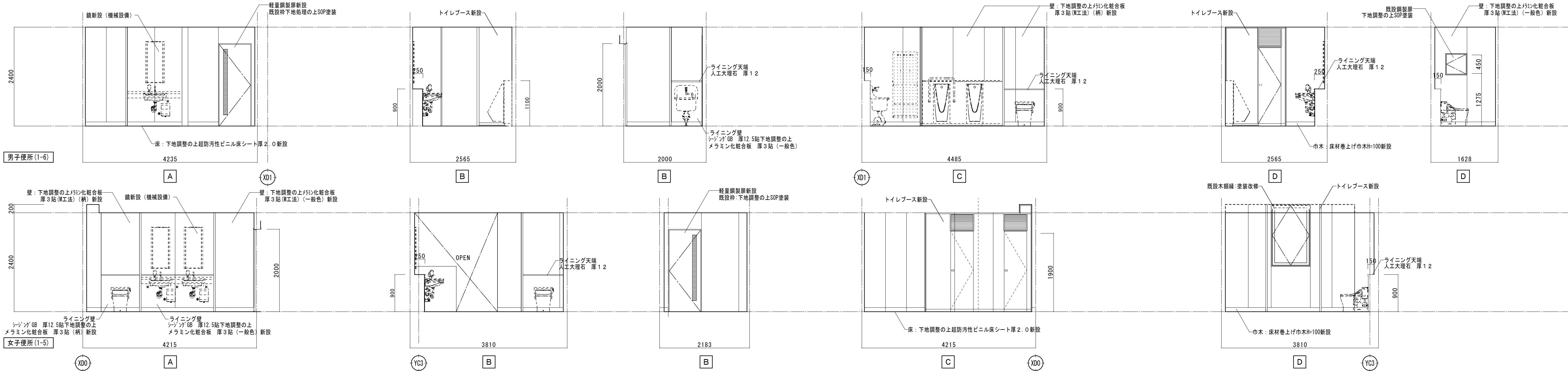
- 解体撤去範囲を示す
- 天井点検口撤去 特記なき限りアルミ製450角を示す
- Sha** 既設遮音仕様壁を示す（**は壁厚）
[- 30*60*10*2.3 グラスウール厚50充填

D3 3階便所平面詳細図（改修前）



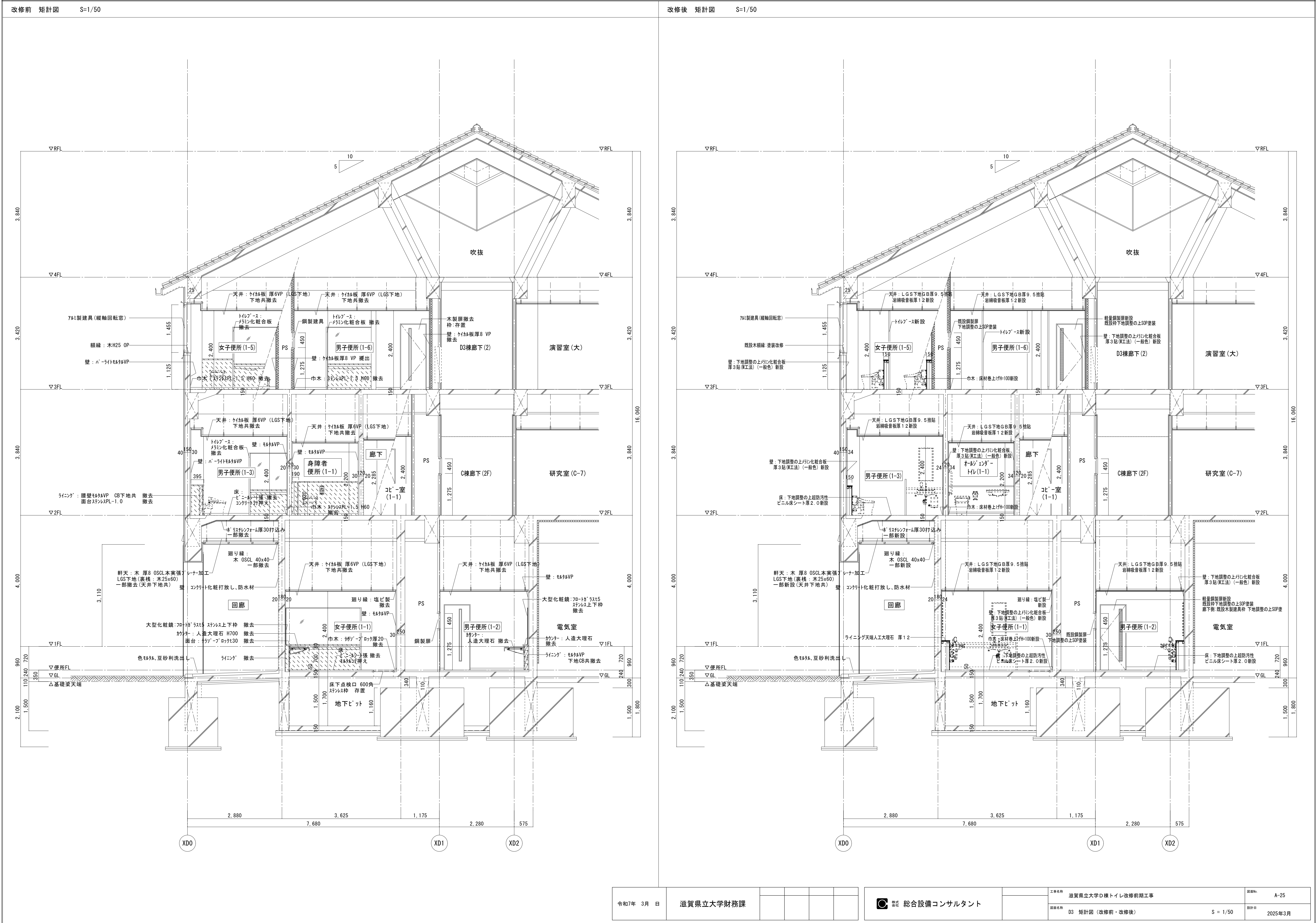


D3 2階便所天井伏図（改修後）



- 新設範囲を示す
- 天井点検口 アルミ製450角（開口補強共）を示す
- 機械設備用天井開口（開口補強共）を示す（寸法は図示）
- 電気設備用天井開口φ150（開口補強共）を示す
- Sha** 既設遮音仕様壁を示す（**は壁厚）
[- 30*60*10*2.3 グラスウォール厚50充填]

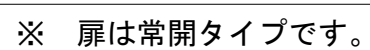
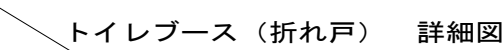
D3 3階便所天井伏図（改修後）



[illegible]

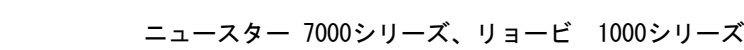
符 合 ・ 数 量		D3TB-4		1ヶ所		D3TB-5		1ヶ所		
形 式 ・ 使用箇所		トイレブース		D3 1階男子便所 (1-2)		トイレブース		D3 1階男子便所 (1-2)		
装 図										
	見 込		40							
	材 質 ・ 仕 上		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN 扉: K-6600KN					
	ガ ラ ス		—		—					
	金 物		天井レール・目板 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品		天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品					
備 考										
符 合 ・ 数 量		D3TB-6		1ヶ所		D3TB-7		1ヶ所		
形 式 ・ 使用箇所		トイレブース		D3 2階男子便所 (1-3)		トイレブース		D3 2階男子便所 (1-3)		
装 図										
	見 込		40		40		40			
	材 質 ・ 仕 上		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN 扉: K-6600KN		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN 扉: K-6600KN			
	ガ ラ ス		—		—		—			
	金 物		天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品		天井レール・目板 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品		天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品			
備 考		小松ウオール工業 TB-TP 同等品		小松ウオール工業 TB-TP 同等品		小松ウオール工業 TB-TP 同等品				
符 合 ・ 数 量		D3TB-10		1ヶ所		D3TB-11		1ヶ所		
形 式 ・ 使用箇所		トイレブース		D3 3階女子便所 (1-5)		トイレブース		D3 3階女子便所 (1-5)		
装 図										
	見 込		40		40		40			
	材 質 ・ 仕 上		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN 扉: K-6600KN		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF2.5T) パネル: K-6600KN 扉: K-6600KN			
	ガ ラ ス		—		—		—			
	金 物		天井レール・目板 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品		天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品		天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール 小松ウオール工業 TB-TP 同等品			
備 考		小松ウオール工業 TB-TP 同等品		小松ウオール工業 TB-TP 同等品		小松ウオール工業 TB-TP 同等品				
符 合 ・ 数 量										
形 式 ・ 使用箇所										
装 図										
	見 込									
	材 質 ・ 仕 上									
	ガ ラ ス									
	金 物									
備 考										
符 合 ・ 数 量										
形 式 ・ 使用箇所										

トイレブース（一般） 詳細区



折れ戸 詳細図 1/5

LSドア 開き戸 リペアワークドア
サポート工法 (t 40) 片開き (スチール目板)



DCブラケット補強 納まり詳細図

ニュースター 7000シリーズ、リヨービ 1000シリーズ

DCブラケット補強 納まり詳細図

◇仕様表

項 目	部 材	材 料 (板厚mm)
枠	枠組材	一般鋼通用圧延鋼板 4.5mm (焼付塗装仕上げ)
	食物受け付材料	一般鋼通用圧延鋼板 4.5mm (焼付塗装仕上げ)
	ストライカカバー	亜鉛めっき鋼板 1.6mm、2.3mm (焼付塗装仕上げ)
扉	パネル裏面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm (焼付塗装仕上げ)
	芯 材	ベーパーコア
	目 板	亜鉛めっき鋼板 1.2mm (焼付塗装仕上げ)
食物	ロック	一長条 参照
	ドアクロザー	ニュースター 7000シリーズ、リヨビ 1000シリーズ
	吊り金具	鋼下金 (ステンレス)
	フランス金具	鋼フランス金具 (ステンレス)
	戸鎖引	炭付付戸鎖引
切欠 ガラリ	切欠・ガラリ	アルミ押出型材 (焼付塗装仕上げ)
	ガラス板	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚さ(4mm・6mm・8mm・10mm)

LSドア 開き戸 リペアワークドア
サポート工法 片開き ドアクローザー補送詳細

滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面リスト

番号	図面名称	縮尺
共通特記	共通 特記仕様書1	NO SCALE
E-01	電気設備特記仕様書2	NO SCALE
E-02	共通 分電盤リスト・照明器具参考姿図・トイレ呼出機器参考姿図	NO SCALE
	D0 管理棟	
E-03	D0 電灯設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-04	D0 電灯設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-05	D0 コンセント設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-06	D0 コンセント設備 1階平面図（改修後）	1/50
E-07	D0 コンセント・弱電設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-08	D0 弱電設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
	D3 研究C棟	
E-09	D3 電灯設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-10	D3 電灯設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-11	D3 電灯設備 3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-12	D3 コンセント設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-13	D3 幹線・弱電設備 1階平面図（改修後）	1/50
E-14	D3 コンセント設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-15	D3 コンセント設備 2階平面図（改修後）	1/50
E-16	D3 コンセント設備 3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-17	D3 コンセント・弱電設備 3階平面図（改修後）	1/50
E-18	D3 弱電設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-19	D3 弱電設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-20	D3 弱電設備 3階平面詳細図（改修後）	1/50

工事種目 (●印を適用し、各一式とする。)						
工事種目	建物及び屋外	D3棟	D3棟			屋 外
電 灯 設 備	●	●	○	○	○	
動 動 設 備	○	○	○	○	○	
電 気 自 動 車 用 充 電 設 備	○	○	○	○	○	
電 熱 設 備	○	○	○	○	○	○
雷 保 護 設 備	○	○	○	○	○	
受 変 電 設 備	○	○	○	○	○	○
電 力 貯 蔵 設 備	○	○	○	○	○	
発 電 設 備	○	○	○	○	○	
構 内 情 報 通 信 網 設 備	○	○	○	○	○	
構 内 交 換 設 備	○	○	○	○	○	
情 報 表 示 設 備	○	○	○	○	○	
映 像 音 響 設 備	○	○	○	○	○	
拡 声 設 備	●	●	○	○	○	
誘 導 支 援 設 備	●	●	○	○	○	
テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	○	○	○	○	○	
テ レ ビ 電 波 隠 害 防 除 設 備	○	○	○	○	○	
監 視 カ メ ラ 設 備	○	○	○	○	○	
駐 車 場 管 制 設 備	○	○	○	○	○	
防 犯 ・ 入 退 室 管 理 設 備	○	○	○	○	○	
火 災 警 知 設 備	○	○	○	○	○	
中 央 監 視 制 御 設 備	○	○	○	○	○	
撤 去 工 事	●	●	○	○	○	○
撤 設 備 工 事	○	○	○	○	○	
構 内 配 電 線 路	(外灯も含む)					○
構 内 通 信 線 路						○

工事項目に建築工事及び機械設備工事を含む場合、その工事は当該図面による。

下記の項目は、●印のついたものを本工事に適用する。
下記の特記事項は、選択肢となっている場合は●印がついたものを本工事に適用する。ただし、●印のないものは※印を適用する。

項目		特 記 事 項	
一般共通事項	● 施 工 基 準	必要な関係官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とする。 本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。 その他施設は施工期に完全に対応する。	
	● 施工監理チェックリスト	施工に際し、施工工程と書きある電気施工用施工監理チェックリスト（滋賀県土木交通建設課 令和元年版版）に従う。	
	● 石綿含有建材の事前調査	1. 大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令に基づき実施すること。 2. 石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規程に規程する建築物石綿含有建材調査者等有資格者によるものとする。 3. 事前調査結果は書面で発注者に説明すること。 4. 事前調査結果を作業指示書に備付し、事前調査結果及び作業内容を指示すること。 5. 工事に係る部分の床面積の合計が90㎡以上の建築物の解体工事、修繕金総額100万円以上の建築物の改修工事等の事前調査を実施したときは、その結果を事前調査通知書とともに石綿事前調査報告システムにより労働基準監督署及び県（大津市内は大津市）に報告するとともに、発注者に書面で報告すること。	
	○ 電気保安技術者の仕様書適用範囲	構仕または改修構仕に規定する電気保安技術者をおくものとする。 ○ 構修仕様書 ※（全部） ○ 庁舎 ○ ○ ○ ○ 改修仕様書 ※（全部） ○ 別館 ○ ○ ○（屋外） ※事業用電気工事 ○ 一般用電気工物	
電気工事	○ 保安規程	当該施設で定める保安規定 ※（適用） ○ 準用し、電気保安技術者が保安業務を行う。 なお、これは改修仕様書に規定する電気保安規定を参照することができる。 なお、準用する場合、各書類等の規程は主任技術者が総監理官に読み替えるものとする。	
	○ 電気工事士	最大電圧が 0.6kV 以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。	
	○ 工事用電力設備の保安責任者	工事用電力設備の保安責任者として、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。 保安責任者は、適切な保安業務を行う。	
	○ 著作権等	施工工事の著作権に際する当該施設に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。	
設備機材等	○ 設備機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。また、別記に示す設備機材等の製造業者等の（1）から（6）の事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、次の（1）から（6）すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 とができる。 1) 品質及び性能に関する試験データを準備していること。 2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取っていること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。	
	○ 施工調査	改修仕様書様式によるほか、下記による。 ○以下の撤去する機器類等の廃棄処理の P.C.B 混入の有無について調査し、監督職員に報告する。 ○型式調査：○照明器具の交換処理 ○ 変圧器 ○ 高圧分圧機 ○ 高圧分圧機 ○ 交流変圧器 ○絶縁油分析調査：変圧器 台 高圧分圧機/台 高圧分圧機/台 交流変圧器 （分析は「絶縁油中の微量 P.C.B に関する簡易測定法マニュアル」（環境省大臣官庁廃棄物リサイクル対策部産業廃棄物課）により行うものとし、分析費用は工事とすること。） ○以下の撤去する機器類等へのアスベスト含有の有無について調査し、監督職員に報告する。 ○型式調査：○配線用遮断器 ○事前調査（事前確認は改修標準書による。） 調査項目 ○（既存資料調査 ○ ） 調査範囲 ○（図示 ○ ） 調査方法 ○（図示 ○ ）	
	○ 埋 設 物 等	改修仕様書様式によるほか、施工前に、当該工事に係る地下埋設物等（建物内又は既設コンクリート内の既設設備と合わせて）について事前調査を行う。既設埋設物の位置及び既設設備配管の経路等が不明な場合は、探査方法及び試験方法を監督職員と協議する。	
	○ 非 破 壊 検 査	はつり、穴開け及び試験方法等の施工にあり、埋設物の事前調査を行う。 施工場所を鉄線探検機（電磁波レーダ法）により探査し、鉄筋及び配管等の位置に差し出しを行うものとし、費用は工事とすること。放射線透過検査が必要な場合は監督職員と協議するものとし、費用は別途とすること。	
適用区分	○ 適用区分	建築基準法に基づき定める（3）及び（4）の構造区分（3）は次の表を用いる。 ○風圧力： 風速V ₀ ○（3.0 ○ 3.2 ○ 3.4） 地表相対区分（Ⅰ ○ Ⅱ ○ Ⅲ ○Ⅳ） ○積雪荷重： 平成12年5月31日建設省告示第145号における区域 別表（3.2）	
	○ 風 圧 力 及 び 積 雪 荷 重 の 検 討	以下の検討に關して建築基準法に定めるところによる風圧力及び積雪荷重と一致し、構造耐力上安全である旨の検討（計算）を行い、監督職員に報告し承認を受ける。 ○変圧器及び1号以下分巻機 ○ 太陽電池パネル及び後継箱 ○ 風車発電装置 ○テレビ共同受信アンテナ及びアンテナマスト ○ 太陽電池パネル形屋外時計 ○	
	○ 発 生 材 の 処 理 等	工事補足説明事項によるほか、以下の無。 （1）引渡しを要するもの ※無 ○有（○金属類） ○金属機器類 ○鋼線、ケーブル ○鉛蓄電池 ○（ ） （2）特別管理産業廃棄物 ※無 ○有（○P.C.B含有機器） ○掘削鉛蓄電池（廃酸） ○廃油 ○石綿 ○（ ） （通称・処分費は ○本工事（P.C.B含有機器を除く） ※別添） P.C.Bを含有する電気機器等は、「ポリ塩化フルオロ炭素化合物の適切な処理の推進に関する特別措置法（平成13年法律第65号）」に定めるほか、P.C.Bが流出しない保管容器に収納し、特別管理（保管容器、※別添） （3）放射性物質を含むイオン化放射線機器 ※無 ○有（濃縮・処分費は ※本工事 ○別添）（製造業者又は販売業者による処分。） （4）六ふっ化硫黄（S F 6）ガス ※無 ○有（濃縮・処分費は ※本工事 ○別添）（ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等、変電機器に含まれる S F 6 ガスは、製造業者又は回収業者による再使用又は資源還元。） （5）再生资源化を図るもの ○特定建設資材（工事補足説明事項による。） ○重炭ラップ、H1Dラップ（濃縮・処分費は ※本工事 ○別添） ○小型二次電池（濃縮・処分費は ※本工事 ○別添）	

項目	特記事項																																		
	(6) 建設発生土 ※構外搬出適切処理（運搬・処分費は ※本工事 ○別途） ○構内指示の場所に敷きならし ○構内指示の場所にはたい積 <table><tr><th>掘出場所</th><th>受入条件</th></tr><tr><td>名称：</td><td>受入可能な土質区分：</td></tr><tr><td>住所：</td><td>受入時間：</td></tr><tr><td></td><td>その他：</td></tr></table> 掘出場所、受入条件等は発注時点のものであるため、施工計画や実施工程により確認し、監督職員に報告する。併せて、近隣の受入先を調査の上、掘出場所、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、掘出場所について協議するとともに、必要に応じて設計変更の対象とする。 掘出後、監督職員へ掘出場所での受入を証明する様子を提出する。 (7) その他 作業方法 工事補足説明事項による。(※契約費用 kW 期間 〇ヶ月 月を見込む) 本受渡後の、基本料金は受注者の負担とする。(※契約費用 kW 期間 〇ヶ月 月を見込む) 構内につくるときの(○)でできる (○)できない ※受注者の負担とし 取付した上で使用する場合は、改修標準仕様書によるか、他機状況を確認後に取付ける。 なおお機器等の重量が大きい部分は、洗剤を使用するなど十分に清掃を行うこと。	掘出場所	受入条件	名称：	受入可能な土質区分：	住所：	受入時間：		その他：																										
掘出場所	受入条件																																		
名称：	受入可能な土質区分：																																		
住所：	受入時間：																																		
	その他：																																		
● 基本料金	本受渡後の、基本料金は受注者の負担とする。(※契約費用 kW 期間 〇ヶ月 月を見込む)																																		
● 工事用仮設材	構内につくるときの(○)でできる (○)できない ※受注者の負担とし																																		
● 再利用機材	取付した上で使用する場合は、改修標準仕様書によるか、他機状況を確認後に取付ける。 なおお機器等の重量が大きい部分は、洗剤を使用するなど十分に清掃を行うこと。																																		
● 監督職員事務所	※設けない ○設ける (規模：O10 O20 O35 ○平米 程度) 仕上の程度は、下表を標準とする。 <table><tr><th>部位等</th><th>仕上げ</th></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td>合板又はせうこボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>塗装溶融垂れどろり鋼板張り、又は鉄板張り、脂合ペント塗り</td></tr></table> 監督職員事務所の商品等 ※設ける (種数及び数量は監督職員の指示による) ○設けない	部位等	仕上げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板又はせうこボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り	屋根	塗装溶融垂れどろり鋼板張り、又は鉄板張り、脂合ペント塗り																										
部位等	仕上げ																																		
床	合板張り又はビニル床シート張り																																		
内壁・天井	合板又はせうこボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り																																		
屋根	塗装溶融垂れどろり鋼板張り、又は鉄板張り、脂合ペント塗り																																		
● 交通誘導員	延べ 人・日 を見込む																																		
● 餐食	既存分の養生 ※行方 養生の方法 (※Dポット、合板等 ○) ○行わない 固定された品名、量、ローカル輸送車(台) ○数量等 () ※行わない																																		
● 足場・作業機台	別契約の関係受注者が定めたものは、無償で使用できる。 本工事で行う場合には改修標準仕様書第1編 2、2.2に示すほか、足場の設置については、「手すり先行方式」による足場の組立て等に関する告示における(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行う。 内部足場 ※網立足場 (網立及び足場板の組合せによる。) ○移動式足場 (H-リグ) カ- ○移動式昇降足場 ○高所作業車 ○管架足場 ○さき緊結式足場 ○枠組足場 外部足場 ※〇様 (仮設D) A は二様 (移動式足場) A ×様 (枠組足場) B ×様 (くさき緊結式足場) ○様 (単管足場足場) ○高所作業車 ○防護シー-養生 A様、B様、C様の設置場所は図面による。																																		
● 耐震施工	1) 設備機器の固定は、施設の種類並びに施設の類別、重要度及び設置箇所に応じて、次の設計用水平地震力と設計用鉛直地震力により、移動、転倒、破壊等を生じないように検討 (計算等) をを行い、監督職員に報告し承認を受ける。 ・設計用水平地震力：設計用標準水平地震力、建築物の重量 (kN) を乗じたものとする。 ・設計用鉛直地震力：設計用水平地震力の1/2とし、設計用水平地震力と同様に働くものとする。 ・設計用標準水平地震力 (※表による) ○図示による) <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="3">特定の施設</th><th colspan="3">一般の施設</th></tr><tr><th>重要</th><th>一般</th><th>機器</th><th>重要</th><th>一般</th><th>機器</th></tr><tr><td>上層部、屋上及び塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>2.0</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td><td>0.6 (1.0)</td></tr><tr><td>下層部</td><td>1.0 (1.0)</td><td>1.5</td><td>0.5 (1.0)</td><td>0.5 (1.0)</td><td>1.0</td><td>0.4 (0.6)</td></tr></table> 注) ① 〇以内の範囲は、防犯性の機能の確保に適する。 2) 上層部と12～6階建の場合は上層部、7～6階建の場合は上層部2階、10～12階建の場合は上層部3階、13階以上の場合には専ら上層とする。 3) 中間階とは地盤、1階を除く上層部に該当しないものとする。 4) 屋外に設置する機器は、建築物の耐震安全性能の分類に準ずる。 5) 重要機器 (水槽類含む) は、下記による。(水水槽にはオイルタンク等を含む。) ○配電室 ○発電装置 (防災用) ○潮流電源装置 ○交流無停電電源装置 ○構内交換装置 ○自動火報知受信機 ○中央監視装置 ○	設置場所	特定の施設			一般の施設			重要	一般	機器	重要	一般	機器	上層部、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	下層部	1.0 (1.0)	1.5	0.5 (1.0)	0.5 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)
設置場所	特定の施設			一般の施設																															
	重要	一般	機器	重要	一般	機器																													
上層部、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)																													
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)																													
下層部	1.0 (1.0)	1.5	0.5 (1.0)	0.5 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)																													
	2) 横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。																																		
● 建物への配置	地震変位への対応 (想定最大変位) ○小規模 〇. 2m以下 ○中規模 〇. 6m以下 ○大規模 1. 0m以下)																																		
● あと施工安全考	性能保証書 国土地交通大臣官庁警備部警務部の建築改修工事監理指針 (下巻) (令和元年度) 試験方法 ⑧ 12. 7性能保証試験) による。																																		
● 施工上の前置事項等	施工後検査試験 ●行方 行方を行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通大臣官庁警備部の公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (平成31年版) 「R8. 12. 7性能保証試験) による。 確認通知 監督職員との協議による。 イ 電線管について、図示しない限り屋内露出配管はねじなし電線管 (E管)、屋内いんべい配管は合成樹脂製と電線管 (P管)、屋外露出配管は鋼線鋼電線管 (PP管)、屋外埋設配管は波打硬質ポリエチレン管 (PE管) を使用する。なお、高压配線の地下埋設配管については、ポリエチレン樹脂電線管 (P管) とする。 ロ 図示しない限り電線管プレートは新金属製またはステンレス製とする。 ハ スイッチが多数量ある場合には監督職員と協議し、ホームシステムを使用する。 ニ 建物EPJ部分及び機器接箱箇所使用する可とう電線管は、ビニル被覆付きとする。 ヘ 照明器具は原則として、LED器具及び公共施設用器具とする。 ホ 将来予備空配管には、ビニル被覆径約 (1.6mm) を入れ直し、名札を添付する。 ト ループボックスは工場製品を使用する。 チ 次に示す箇所以外露出配管は、全て塗装する。(機械室、電気室内の塗装 要、否) リ 露出配管を行う場合は、施工前に素地にて (ラッピングテープ等) と下取りを行い、配管施工後に仕上作業を行う。 ヌ 機器据付・設置については、「建築設備新設設計・施工指針PS準拠箇所の内装 要、否) リ 当該工事を行い、既設設備・既設埋設配管があった場合は、監督職員の指示により正回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また、撤去工事は、特に既設設備の行先を調査確認の上、安全に処理する。 オ 環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。 ① グリーン購入法に基づくエコマーク商品 ② 建設リサイクル法により再生資源化されたリサイクル品 ③ 遊楽廃リサイクル製品認定制度に基づく遊楽廃リサイクル製品																																		
● 電線	特記すべきものは E-ME-1 などとする。 EM線種、E-Mケーブル規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。																																		
● 電線管	① 電線管表示 (19) (25) ～ (75) でない場合は、ねじなし電線管とする。 ② フランジ接続型 (P22) であり、(P22) 以下、(E25) 以下とする。 ③ 上層部又は中間階において、でもその上層部又は中間階の防水の構造、埋込配管を行わない。 ④ その他機器類に適合して、寸法は、寸法とする。																																		
● 寸法	分電盤、制御盤、端子箱等の2次側以降の埋込配管経路、配線架、配線架、配線架、管径等は、図面と相違して差支えない。ただし、相違する場合は監督職員と相談を受ける。																																		
● 電線本数、管路等	樹根箇所の場合は、合成樹脂製ボックスポイント使用する。(耐火阻切部 (軽重量骨下地) は図示による。)																																		
● ボックス	1) 新設分電盤が埋込型の場合、予備の配線用遮断器が4個以上の空配管 (25) を1本、5個以上の場合 (25) を2本天井内まで立ち上げる。																																		
● 予備配管	① ケーブルトラップの床天吊り面貫通部、(51) を1本以上設ける。 ② 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ○樹脂製																																		
● フラッシュプレート	床用化粧扉の形状は以下による。(図面特記のあるものを除く。)																																		
● 床用配線器具等	二床床 ※ワンターナー ○飛び出し形 ○内部固定型 ○外部固定型 ○外部固定型 ○外部固定型 (フロッグテープは水平高低調整式 (空圧防止用リング付) ※定金製 アルミ製 とする。)																																		
● 機選取付高さ	図面に特記なき場合は、表2による。																																		
● 機器内配線ケーブル	下記の機器内配線ケーブルについては、EM線種及びE-Mケーブルを使用する。(高圧主回路配線は除く。) 分電盤 ○A型 無電盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式電盤 高圧スイッチギヤ 直流電源装置 交流無停電電源装置 (無停電を除く)																																		
● 屋外盤・開閉器箱	屋外の盤架・開閉器箱・フルボックスの材質は、以下による。(図面特記のあるものを除く。) 材 質 ※ステンレス鋼板 ○溶融亜鉛めっき ※(HD235 OH245) 鋼板 表面仕上げ ※造漆者標準 ○指定色塗装 ※開閉器箱・フルボックスは除く。 ○全て																																		
● 屋外露出配管	屋外の露出配管は以下による。(図面特記のあるものを除く。) ※鋼製電線管は指定色塗装を行う。(※塗装は指定色塗装を除く ○全て) ○鋼線電線管に溶融亜鉛めっき (亜鉛付重量300g/m ² 以上) を施したものと、指定色塗装を行う。(※塗装は指定色塗装を除く ○全て)																																		

項目

特記事項

電灯設備

●照明制御装置
○多重伝送制御システム
○LED制御装置の種類
●分電盤等

照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。
○センサー設定器を1個 附属すること。
多重伝送制御システム（照明制御）の設定は、監督職員の指示による。
○システム設定器を1個 附属すること。
図面記載があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあつては、LX型とし、その他は、LXD型とする。
○木工場の分電盤、O.A盤、実験室で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JIS C8201-2-1「低圧開閉装置及び制動装置-第2部」、回路遮断器（配線用遮断器及びその他の遮断器）」同付属書JC電圧分電盤用協約回路遮断器」、JIS C8201-2-2「低圧開閉装置及び制動装置-第2部」：漏電遮断器」、同付属書JC電圧分電盤用協約回路漏電遮断器)による1種サイズのものとする。
○OSPD分離器（配線用遮断器）は警報接点付きとする。
○OSPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPDと一体化することができる。
○OA盤の端子盤部に（※過電圧 O 冷却ファン）を設ける。（端子盤部が端子のみの場合を除く。）
○照明制御用多重伝送信号送り端子を設ける。（照明回路のあるものに限る。）
○制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。
○インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けられる場合、開扉時に冷却装置を停止させる。
○インバータ発熱対策用冷却装置の故障時、警報接点の一端を含む。
自動火災警報受検装置及びガス濃度火災警報受検装置と連動して制御盤や空調機を停止させる。
可変速運転用V/V装置の機械的効率はその値以上とする。

動力設備

○制御盤
○火災センターロック
○インバータ装置の機械的効率

電動機出力 (kW)

0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規効率 (%) 200V	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5
規効率 (%) 400V	87.0	90.5	93.5	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.0	95.0	95.5	95.5	95.5

注1) 規効率は、JEM-TR 245「汎用インバータの規効率の算出方法」により算出した値とする。
2) 0.4kWの効率は、JIS C 4212 「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V（上段）400V（下段）、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
3) 0.4～0.75kWの効率は、JIS C 4213 「低圧三相かご形誘導電動機-トッパランナーモーター」の定格電圧200V、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

電気設備

○大粒針形鉛酸蓄電池組立機
○変圧器の規格

構造体重量の20%の大粒鉛蓄電池のみのための支柱及び非鉛蓄電池用支柱を構造体下部に設置する。
1) 変圧器（スウェッチ）結線検査機、モールド変圧器は、绝缘材料を使用するもの、一次電圧が低下または特別電圧のものを除く。これは、ブレーン購入による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。
2) デジタル温度計は、最高精度計針とする。

受電設備

●キュービクル式高圧受電設備

○屋内型は、押しボタン、ランプ、計器類を外観の見やすい位置に配置する。（前面保守形を除く。）
○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。（前面保守形の場合は図面特記による。）
○充電指示器は、断路器の1次側の適切な場所に設ける。
○換気扇を設ける場合は回転センサー等の独立した検知装置をもつ故障警報装置を設け（盤面表示共）、盤内にサーモスタット（30℃~40℃可変形、35℃以下設定）及びヒューズ（自動・手動・断）を設ける。また、外部換気装置（※強制排気口）を設け、サーモスタットと連動させる。
○予備直流通入ケーブル収容機器一式を入れ、盤内に収納する。

消防設備

○過放電防止保護装置
○太陽電池アレイの架台

直流電流発生時の過放電防止保護装置（直流入不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。
架台の材質が鋼板の場合は、JIS H 8641「溶融鋁めっき」による（※H D Z 35 QHDZ 45 QHDZ 55）以上の溶融鋁めっきを施したものは又同等以上の耐食性を有するものとする。

警報設備

○保安器用接地
○区画時計
○自動放送
○スピーカ
○テレビジョンホン
○トイレ呼出装置
○テレビ受信調査
○消火ケーブルの始動

電話回線引込用保安器は別表（※本工事 ○別途工事）とする。
特記なき時計は、SWA33-G-gPB2 とする。
自動放送はアッテネータを経由した回路とする。
※区間内開放、局外音1号消火及び2号消火栓） 〇消火柱箱内貯タンク（1号消火栓）
○空価機と連動（緊急通報に自動表示灯を設ける。）

防火報知設備

○自動閉鎖装置

○防戸用（DC24V 〇、6A以下 電阻式またはラッチ式）
○防護用（ラッチ）（別途工事 瞬時通電式または電磁式DC24V 〇、6A以下、遠方停機機構（電磁式）DC24V 〇、6A以下）
○防火シャッター用（別途工事 DC24V 〇、6A以下 警報通電）

構内配電設備

○地中管溝の埋没深さ
○区分開閉器

特記なき場合は、GL（舗装がある場合は、舗装下面）から300mm以上とする。
外箱 ステンレス鋼板製 ※遮断器内蔵 S O g 新塗装 ※縦外形（ステンレス鋼板製収納箱・横付） 〇屋外用埋込型

電気録

○マンホール及びハンドホール
○高圧ケーブル

構造、寸法は（※様式図）〇図示）による。 〇の用途表示は（※電力/通信 〇 ）とする。
ハンドホールにおいてもケーブル支保材を設ける。（通信用は除く）
〇屋外に使用する時-H型多脚折りポリエチレンケーブル JIS 4395「660kV 架構用ポリエチレンケーブル（3脚押出し）」に之をよるとする。

照明設備

○装柱
○屋外灯

〇屋外の高圧ケーブルの端末処理材は（○一層外用 〇二層外用 〇重組形）とする。
〇屋外の高圧ケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合には、破壊の回避対策を施す。
〇高圧ケーブルは、受電設備までの配線経路中、1箇所以上で3m程度の余長を見込む。
〇照明のがいしは（○一層外用 〇重組形）とする。

接地設備

○接地棒

基礎 ※本工事 ○別途工事
〇照用用ボルの材質が鋼板（SPC）の場合で特記がない場合は、JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するH D Z 35を施し、指定色塗装とする。
〇照用用ボルトに配線用遮断器（引外れタイプ）又はかつり止め（素通しタイプ）を設ける。
接地棒の材料は、特記がなければ別表3を標準とする。

使用機材製造者指定

本工事に使用する機材材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承諾を得て使用のこと。

適用	機材名	製造者
●	電線類	JIS規格等適合品製造者
	ケーブル類	JIS規格等適合品製造者
	電線管類	JIS規格等適合品製造者
	気中開閉器	
	ガス開閉器	
	遮断器	
	高圧開閉器	
	高圧遮断器	
	変圧装置	
	コンデンサ	
○	キュービクル	
	配分電盤	パナソニック 日清 内丹電機 大正電機製造
	配線用遮断器	
	照明器具	パナソニック 東芝ライテック 三菱環境照明
	配線器具	
	放電機器	
	電話装置	
	時計	
	インターホン	
	表示器	パナソニック ケコム アイホン
●	テレビ監視機器	
	火災報知機器	
	ガス漏れ警報器	
	防火戸自閉機構	
	漏電計	
	自家発電機	
	蓄電池	
	コンクリート柱	JIS規格等適合品製造者
	マンホール蓋	

図記号				
	2	EM-EEF1. 6-2C		照明器具 一般回路
	3E	EM-EEF1. 6-3C		照明器具 発電機回路
	2E	EM-EEF1. 6-3C		照明器具 発電機回路
	3E	EM-EEF1. 6-2C×2		照明器具 発電機回路
	4E	EM-EEF1. 6-2C+3C		照明器具 発電機回路
	2F2E	EM-EEF2. 0-3C		照明器具 発電機回路
	CF3E	EM-EF2. 0-2C×2		照明器具 発電機回路
	2F2E	EM-FP-E-E1. 2-1P		照明器具 発電機回路
	FP2	EM-FP-E-E1. 2-1P (※数字は左数を示す)		照明器具 発電機回路
	FP2	EM-FP-E-E1. 2-1P (※数字は左数を示す)		照明器具 発電機回路
	2F2E	EM-FP2. 0-2C (※数字は左数を示す)		壁貫通補修 (D=100φ, 150mm)
	FP2	EM-AE1. 2-2C (※数字は左数を示す)		防火区画処理 (D=100φ)
	HP3	EM-HP1. 2-3C (※数字は左数を示す)		壁(100φ)と防火区画壁貫通処理 (D=100φ, 150mm)
	2. 0 (PF16)	2. 0×2 E1. 6 (PF16)		
	2. 0 (E19)	2. 0×2 E1. 6 (E19)		
	塗装あり	塗装あり (金属管露出配管の場合)		

品目	細目	適用範囲
LED照明器具		一般屋内用
照明制御装置		
可変速運転用インバータ装置		
盤類	分電盤	
	制御盤	
	キュービクル式配電盤	
	高圧スイッチギア (DW形)	
	高圧スイッチギア (PW形)	
高圧機器	高圧交流遮断器	
	高圧進相コンデンサ	
	高圧限流ヒューズ	
	高圧負荷開閉器	
	高圧変圧器（特定機器）	
交流無停電電源装置		
太陽光発電装置	パワーコンディショナ 及び系統連系保護装置	
監視カメラ装置		
中央監視制御	監視制御装置	

名 称	取 附 点	取 付 高 (mm)
電力共通	取引用計器	床・上～窓中心 1,800～2,200
	引込開閉器	床・上～中心 1,800～2,200
電 灯	分電盤・壁掛け形制御盤	床・上～中心 1,500（上1,900以下）
	スイッチ（一般）	床・上～中心 1,300
	スイッチ（多目的使用等）	床・上～中心 1,100
	スイッチ（自動用）	床・上～中心 1,700
	コンセント（一般）	床・上～中心 300
	コンセント（和室）	床・上～中心 150
	コンセント（台上）	台・上～中心 150～300
	コンセント（車椅子用）	床・上～中心 900
	コンセント（機械室・車庫）	床・上～中心 800～1,300
	ブラケット（一般）	床・上～中心 2,100～2,300
動 力	ブラケット（扇機）	床・上～中心 2,000～2,500
	ブラケット（機上）	機・上端～下端 50
	開閉器箱	床・上～中心 1,500
	操作用スイッチ	床・上～中心 1,300
雷保護	試験用接続端子箱	床・上～下端 500
	接地端子箱	地・上、床・上～中心 800
受変電	給油口ボックス	上～給油口 1,100
	壁付アウトレット（一般）	床・上～中心 300
構内情報通通信	壁付アウトレット（和室）	床・上～中心 150
	壁掛け端子箱（室内）	床・上～下端 200
	通信保安器箱	天井下～上端 200
	壁掛け電話機	床・上～中心 1,300
構内交換	壁付アウトレット（一般）	床・上～中心 300
	壁付アウトレット（和室）	床・上～中心 150
	壁掛け親時計	床・上～中心 1,500（上1,900以下）
	子時計	床・上～中心 (天井高) × 0.9
	情報・出表示装置	床・上～中心 (天井高) × 0.9
	壁付発信器	床・上～中心 1,300
拡 声	壁・ガラス・チャイム	床・上～中心 (天井高) × 0.9
	壁掛けスピーカ	床・上～中心 (天井高) × 0.9
	壁付アンプネータ	床・上～中心 1,300
	外部受付け用インターホン（子機）	-
誘導支援	障害者用インターホン（子機）	床・上～中心 1,000～1,100
	壁付インターホン（上記以外）	床・上～中心 1,300
	壁付呼出表示器（トイレ等呼出）	床・上～中心 1,500
	壁呼出ボタン（トイレ付）	便器前面～中心 400～550（JIS S 0026による）
	（トイレ等呼出）	床・上～中心 400（便器前面方設置）
	壁呼出表示灯（トイレ等呼出）	床・上～中心 (天井高) × 0.9
	壁付導線ボックス（トイレ等呼出）	床・上～中心 1,300
テレビ共同受信	機器収納箱	天井下～上端 200
	テレビ端子・直列ユニット（一般）	床・上～中心 300
火災報知	テレビ端子・直列ユニット（和室）	床・上～上端 150
	受信機・計受受信機・連動制御器	床・上～操作部 800～1,500
	機器収納箱	床・上～操作部 800～1,500
	発信機	床・上～中心 800～1,500
	警報ベル	床・上～中心 2,300
	表示灯	床・上～中心 2,100
	警報ガス検知器（都市ガス用）	天井下～上端 300
その他	警報ガス検知器（液化石油ガス用）	床・上～上端 300
	接地標準埋設機	地・上～中心 600

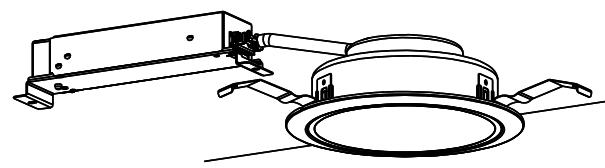
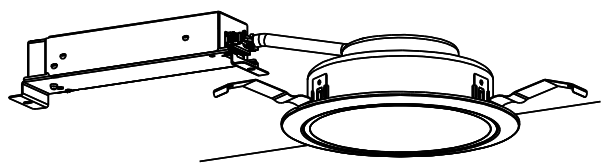
別表3 接地極一覽表			
種	類	接地抵抗	規格・数量
A種（共同接地を含む）	E A E A、C、由 A、D	10Ω以下	E B=D=14、1500 3連・2組
B種	E B	10Ω以下	E B=D=14、1500 2連・2組
C種	E C	10Ω以下	E B=D=14、1500 3連・2組
D種	E D	100Ω以下	E B=D=10、1000 1連・1組
D種（E L C B用）	E D（E L B）	500Ω以下	E B=D=10、1000 1連・1組
測定用補助	E O		E B=D=10、1000 1連・1組
避雷器用	E L H	10Ω以下	E B=D=14、1500 3連・2組
交換機用	E T	10Ω以下	E B=D=14、1500 3連・2組
電話（通信用）	E T	10Ω以下	E B=D=14、1500 3連・2組
電話（通話用）	E d T	100Ω以下	E B=D=10、1000 1連・1組
電話引込み口の保安器	E L t	100Ω以下	E B=D=10、1000 1連・1組
雷保護用接地極			雷保護設備平面図による

令和7年 3月 日	滋賀県立大学財務課
-----------	-----------

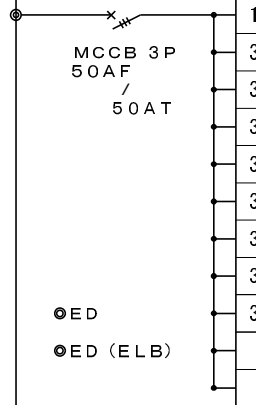
株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称	滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事	図面No.	E-01
図面名称	電気設備特記仕様書2	S = NO SCALE	設計日 2025年3月

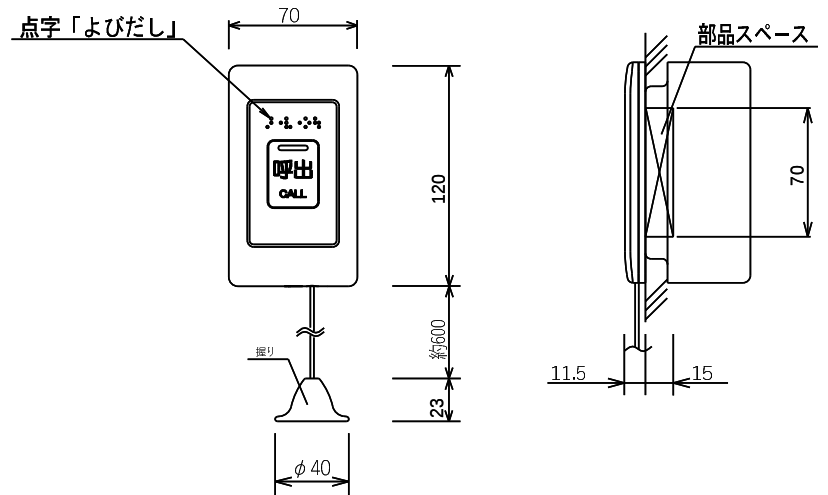
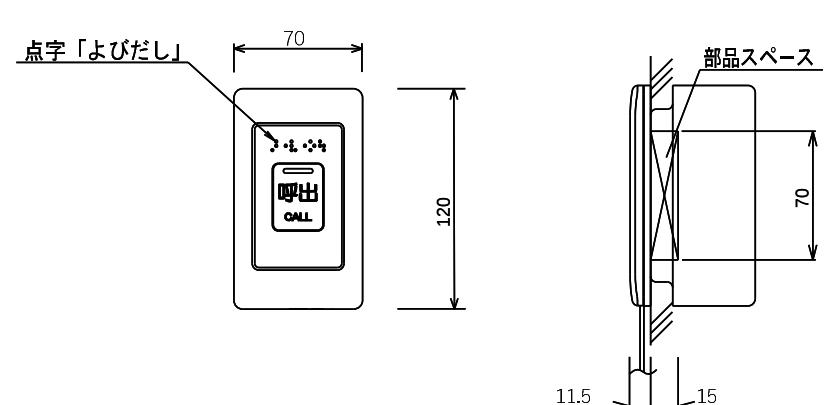
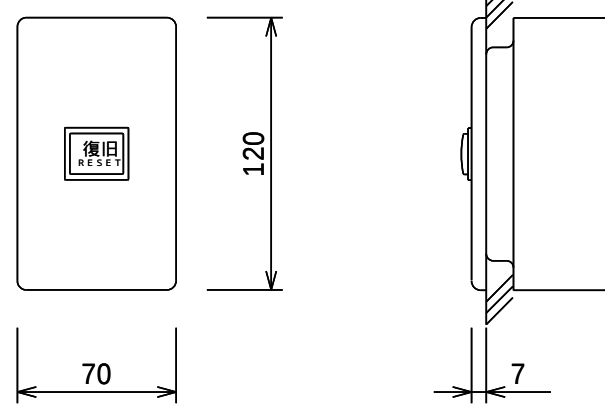
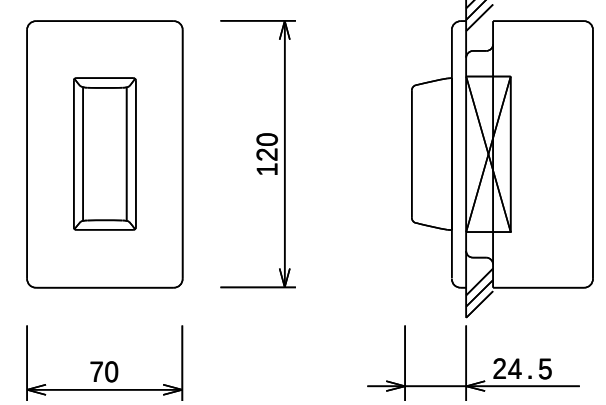
照明器具姿図

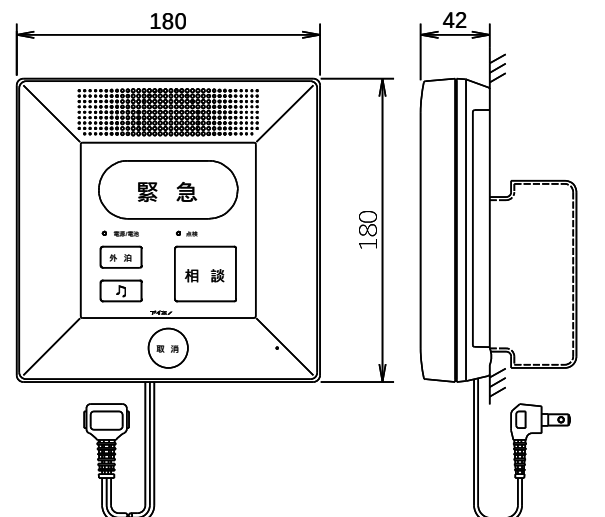
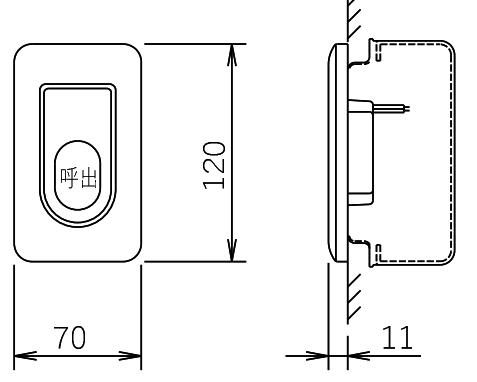
○	X 1	LEDダウンライト	○	X 2	LEDダウンライト プース内収納内
パナソニック XND1567SA LE9			パナソニック XND1067SA LE9		
					
φ 1 5 0			φ 1 5 0		
LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、高演色タイプ 5 0 0 0 K、Ra 9 5、拡散タイプ 光源遮光角 3 0 度、光源寿命 4 0 0 0 0 時間（光束維持率 8 5 %） 器具光束：1 3 7 5 1 m、消費電力：1 1 . 6 W、電圧：1 0 0 - 2 4 2 V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴 φ 1 5 0			LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、高演色タイプ 5 0 0 0 K、Ra 9 5、拡散タイプ 光源遮光角 3 0 度、光源寿命 4 0 0 0 0 時間（光束維持率 8 5 %） 器具光束：8 4 5 1 m、消費電力：7 W、電圧：1 0 0 - 2 4 2 V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴 φ 1 5 0		

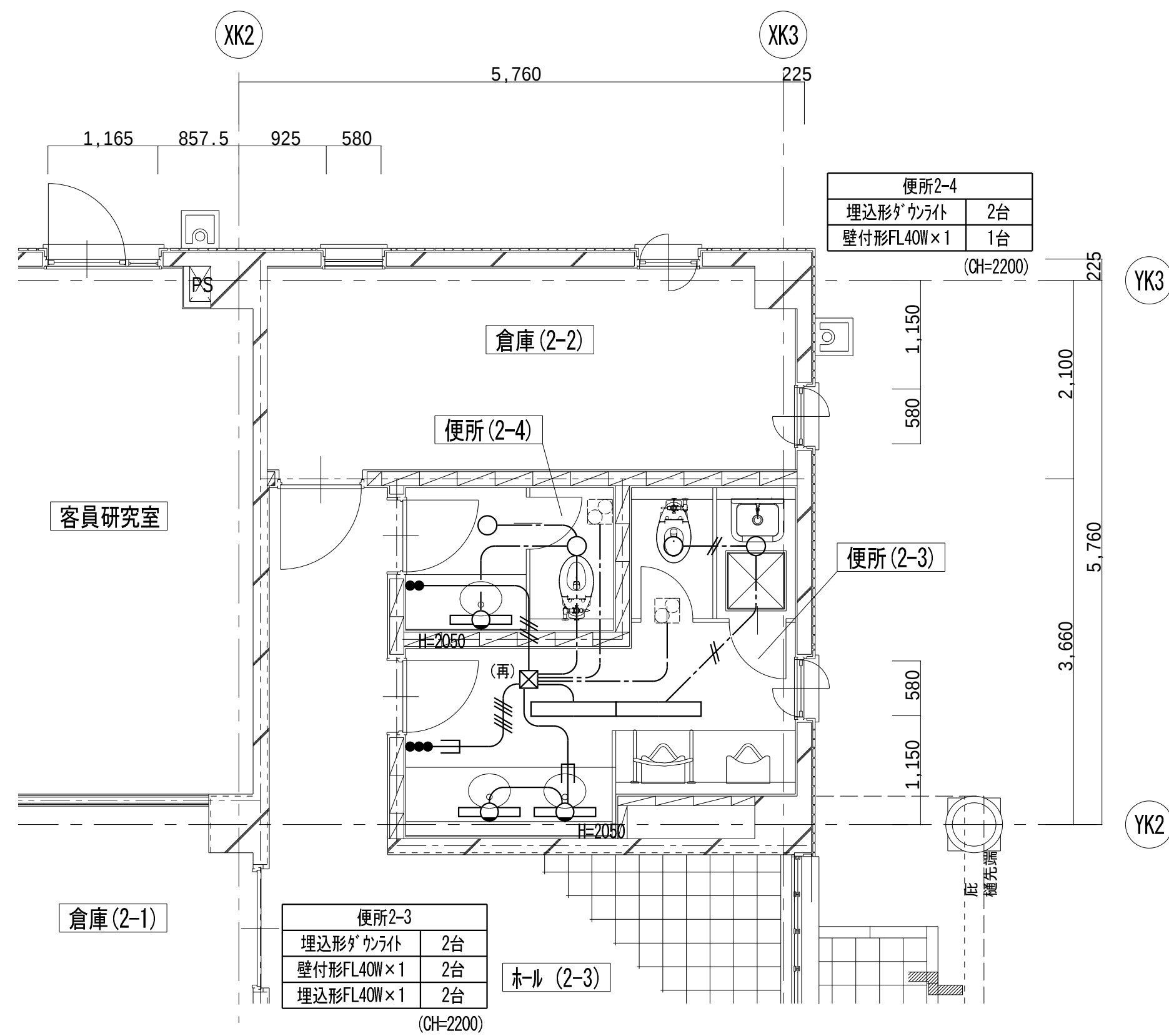
D3 (1F) 盤図

型 名 称	結 線	回路 番号	分 岐 開 閉 器					電 圧 (V)	容 量 (VA)	R・RY M g s	負 荷 名 称	備 考
			MCCB	ELCB	P	AF	AT					
C=C1L-1-1 女子便所(1-1) EM-CET22W												
L-AC 163W 200/100V												
計：8.437kVA		101	○		2	50	20	100	510		男子・女子便所 電灯・排気ファン	
		301	○		2	50	20	100	1,200		女子便所 電気温水器、自動水栓	
		302	○		2	50	20	100	1,200		女子便所 電気温水器、自動水栓	
		303	○		2	50	20	100	1,228		女子便所 便座、電気温水器、自動水栓	
		304	○		2	50	20	100	1,256		女子便所 便座、自動水栓	
		305	○		2	50	20	100	1,200		男子便所 電気温水器、自動水栓	
		306	○		2	50	20	100	643		男子便所 便座、自動水栓	
		307	○		2	50	20	100	(600)		予備	
		308	○		2	50	20	100	(600)		予備	
			○ED		2	50	20	100			予備スペース	
			○ED (ELB)		2	50	20	100			予備スペース	
			○		2	50	20	100			予備スペース	
												L= 510 VA
												C= 6,727 VA
												予備= 1,200 VA
												合計= 8,437 VA

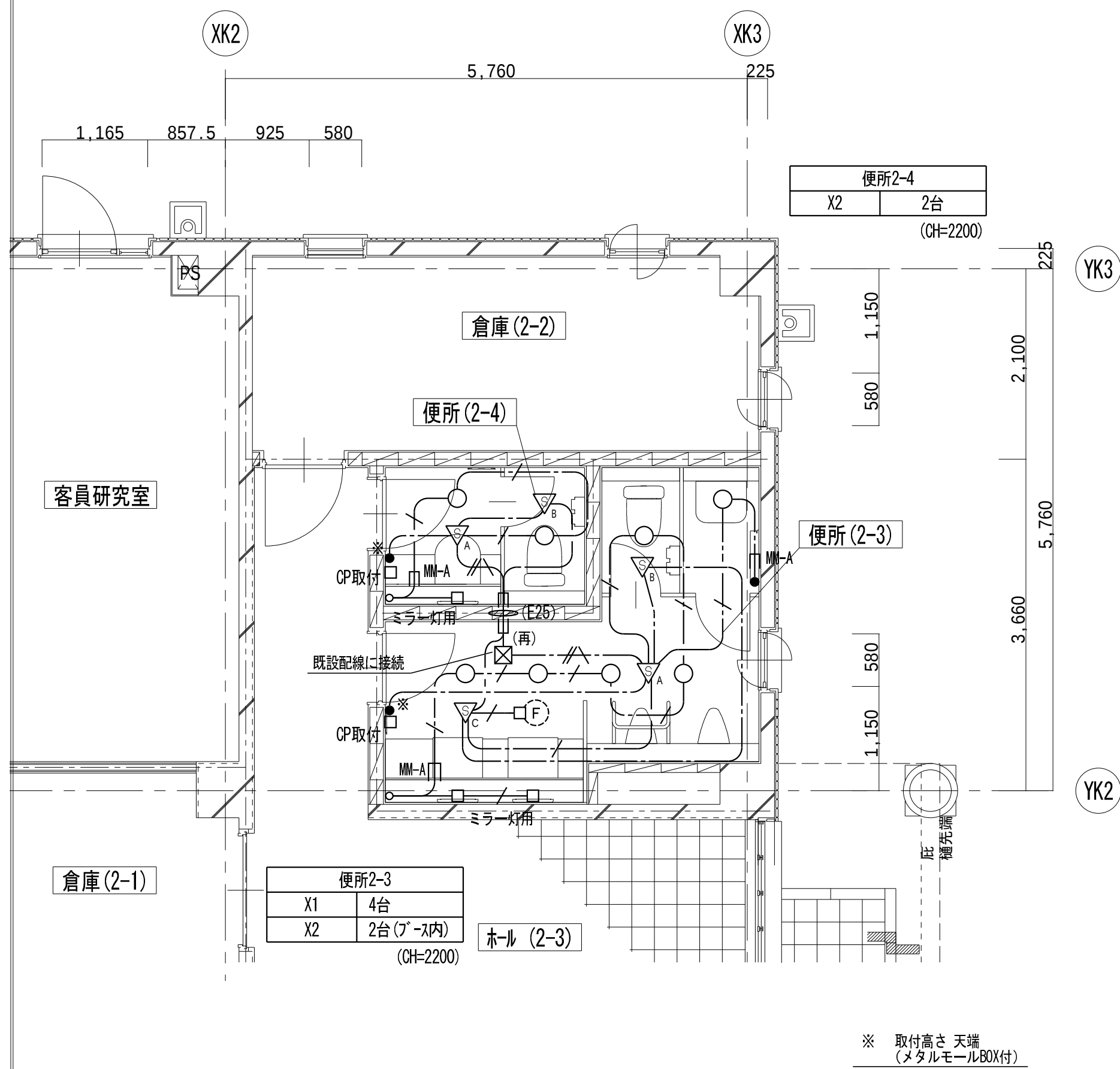
トイレ呼出機器姿図

Np		トイレ呼出ボタン ひも付き		取付高さ H=900		N		トイレ呼出ボタン		取付高さ H=1500		●		復旧ボタン		取付高さ H=1300		○		廊下灯		取付高さ H=2000	
ケアコム BT-312ZR (参考型番)						ケアコム BT-311ZR (参考型番)						ケアコム BR-302RAU (参考型番)						ケアコム BT-673U/8 (参考型番)					
																							
形 状		壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)				形 状		壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)				形 状		壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)				形 状		壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)			
プレートノ握り		抗菌樹脂				プレートノ握り		抗菌樹脂				プレート		新金属				プレートノ握り		新金属			
確認灯		LED (赤)				確認灯		LED (赤)				表示灯		ノンロック式				表示灯		表示灯			
呼出ボタン		ノンロック式				呼出ボタン		ノンロック式										表示灯		LED (赤) , DC8V			
点 字		よびだし				点 字		よびだし															
備 考		JIS C-0920 1P×5 (防噴流形) 適合				備 考		JIS C-0920 1P×5 (防噴流形) 適合															

	緊急通報装置		E	通報用ボタン	取付高さ H=1500
アイホン FE-M (参考型番)		アイホン QEW-BNW (参考型番)			
					
電源電圧	AC100V 50/60Hz	形 状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材 質	自己消火性樹脂
形 状	据置・壁取付型 (JIS1個用スイッチボックス)	備 考	ノンロック式		
材 質	自己消火性樹脂		防沫形		
通報先登録数	5カ所				
備 考	ワイヤレス機器 登録数 最大16個				



D0 1階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



D0 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
●	埋込スイッチ 1P15Ax1
⋮	埋込スイッチ 1P15Ax3
□	アウトレットボックス
☒	ブルボックス
■	電灯分電盤
(再)	取外し再取付を示す
(残置)	残置を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	——・—— VV-F 2.0-2C	(PF22)
	—— VV-F 2.0-3C	(PF22)
	——・—— VV-F 2.0-2C x2	(PF22)
	——・—— VV-F 2.0-3C x2	(PF22)x2
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
——	天井内隠蔽配管配線工事	—— 天井内ころがし配線工事
——	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
——	ケーブルラック配線工事	

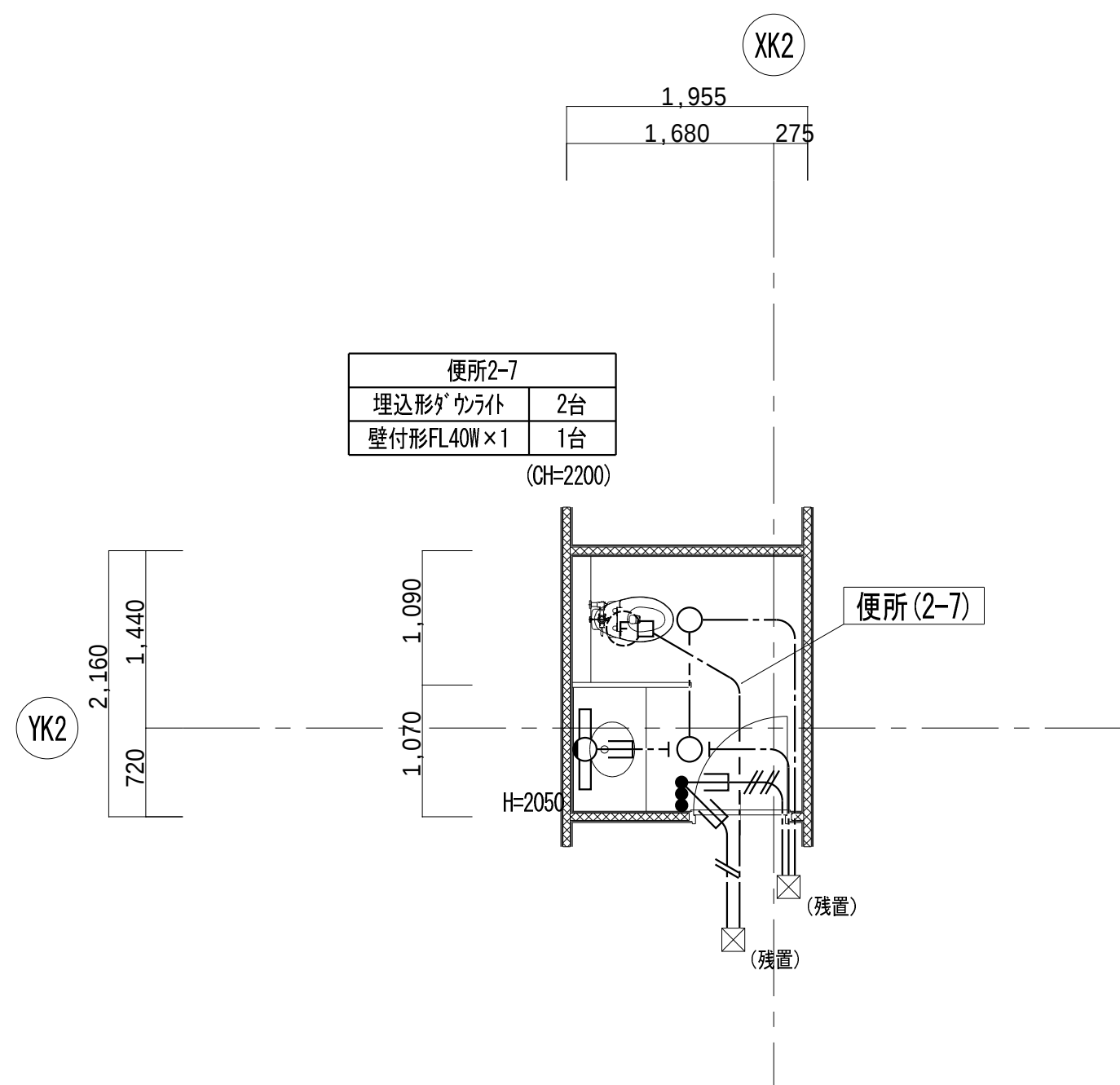
凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
⋮	埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・微動検知形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・微動検知形
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
▨	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)
□ CP取付	カバープレート取付
□	アウトレットボックス
☒	ブルボックス 200 x 200 x 200
■	電灯分電盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

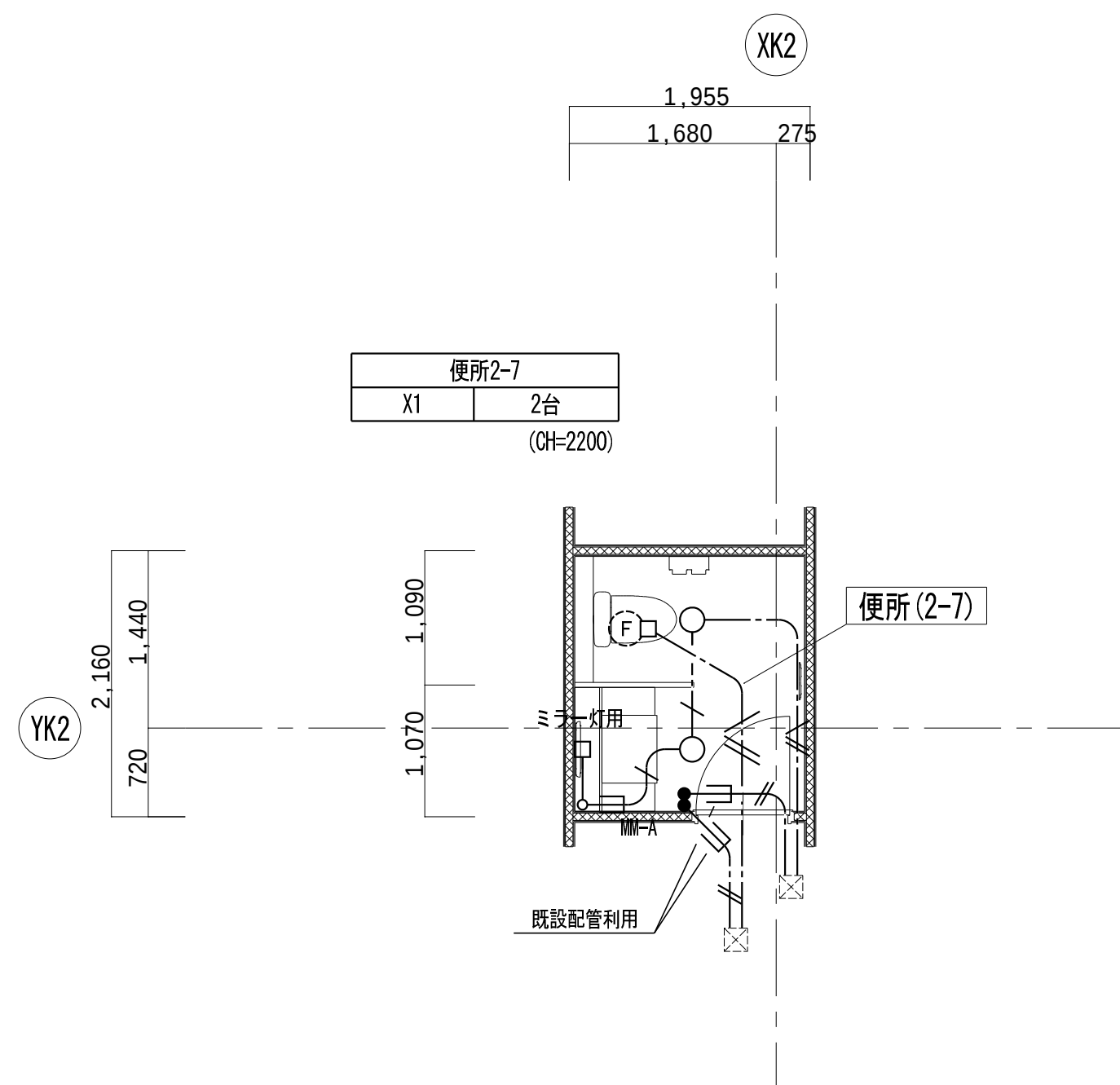
特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
電 灯 回 路	——・—— EM-EEF 1.6-2C	(PF16)	
	——・  EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)	
	——・  EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）			
貫通穴はコンセント共用とする。			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
——	天井内隠蔽配管配線工事	——	天井内ころがし配線工事
——	床内隠蔽配管配線工事	-----	露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事		

改修前



D0 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50

改修後



D0 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
●	埋込スイッチ 1P15Ax1
⬮	埋込スイッチ 1P15Ax3
□	アウトレットボックス
⊠	プルボックス
■	電灯分電盤
(再)	取外し再取付を示す
(残置)	残置を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
電 灯 回 路	———//———	VV-F 2.0-2C (PF22)	
	———	VV-F 2.0-3C (PF22)	
	———//———	VV-F 2.0-2C x2 (PF22)	
	———//———	VV-F 2.0-3C x2 (PF22)x2	
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）			
配管配線種別			
———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事	—————	露出配管工事
———	ケーブルラック配線工事		

凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
⬮	埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・微動検知形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・微動検知形
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)
□ _{CP} 取付	カバープレート取付
□	アウトレットボックス
⊠	プルボックス 200 x 200 x 200
■	電灯分電盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
電 灯 回 路	—— ———	EM-EEF 1.6-2C (PF16)	
	—— ———	EM-EEF 1.6-3C(1E) (PF22)	
	—— ———	EM-EEF 2.0-3C(1E) (PF22)	
二重天井内配線はケーブルこrogし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）			
貫通穴はコンセント共用とする。			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
—— ———	天井内隠蔽配管配線工事	—— ———	天井内こrogし配線工事
—— ———	床内隠蔽配管配線工事	-----	露出配管工事
—— ———	ケーブルラック配線工事		

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

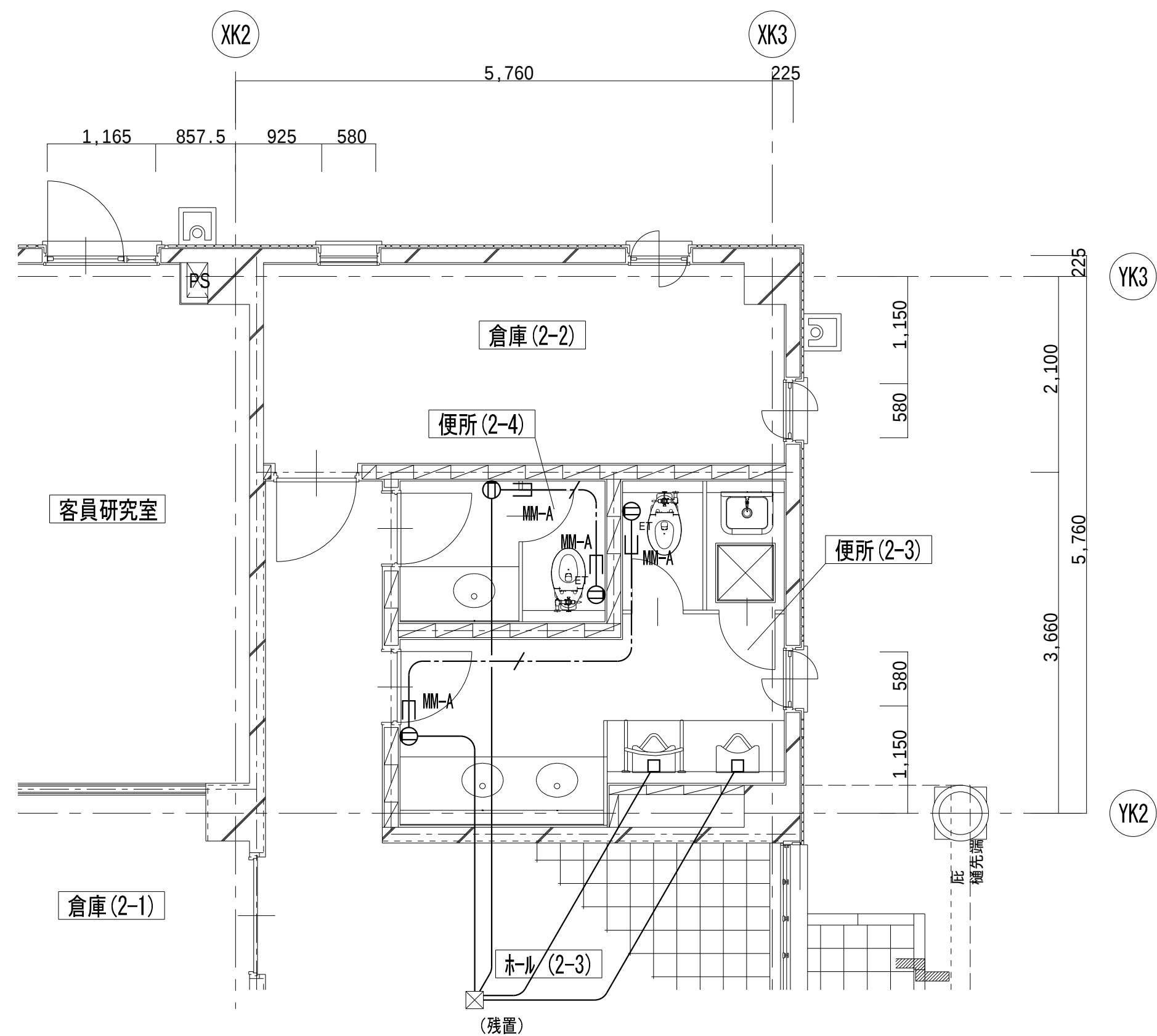
工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面名称 D0 電灯設備 2階平面詳細図 (改修前・改修後)

図面番号 E-04

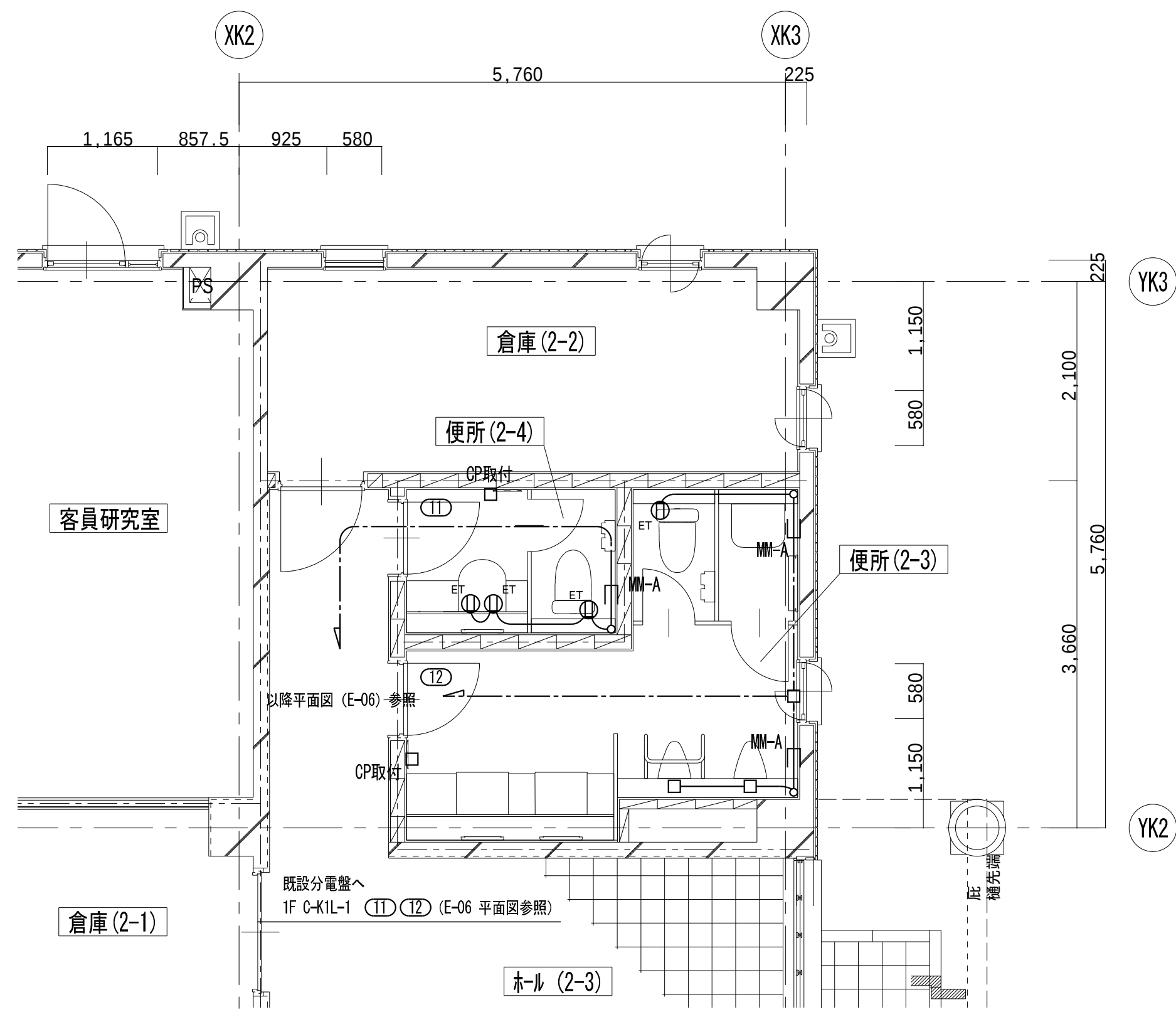
設計日 2025年3月

改修前



D0 1階平面詳細図 (改修前) S = 1/50

改修後



D0 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称	
①	防雨形コンセント (抜け止め)	2P15Ax1
① ²	露出コンセント	2P15Ax2
① ^{ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
① ^{2ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax2
① ^{EET}	露出コンセント (接地極接地端子付)	2P15Ax1
□	アウトレットボックス	
⊠	プルボックス	
▀	電灯分電盤	
(再)	取外し再取付を示す	
(残置)	残置を示す	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路	----- VVF 2.0-2C E2.0	(PF22)
	----- EM-EEF 2.0-3C	(PF22)
二重天井内配線はケーブルこrogし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内こrogし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	

凡 例

記 号	名 称	
① ^{ET}	埋込型コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
▨	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)	
□	アウトレットボックス	
□ ^{CP取付}	カバープレート取付	
⊠	プルボックス 200 x 200 x 200	
▀	電灯分電盤 (既設)	
(再)	取外し再取付を示す	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	----- EM-EEF 2.0-3C (1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルこrogし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内こrogし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

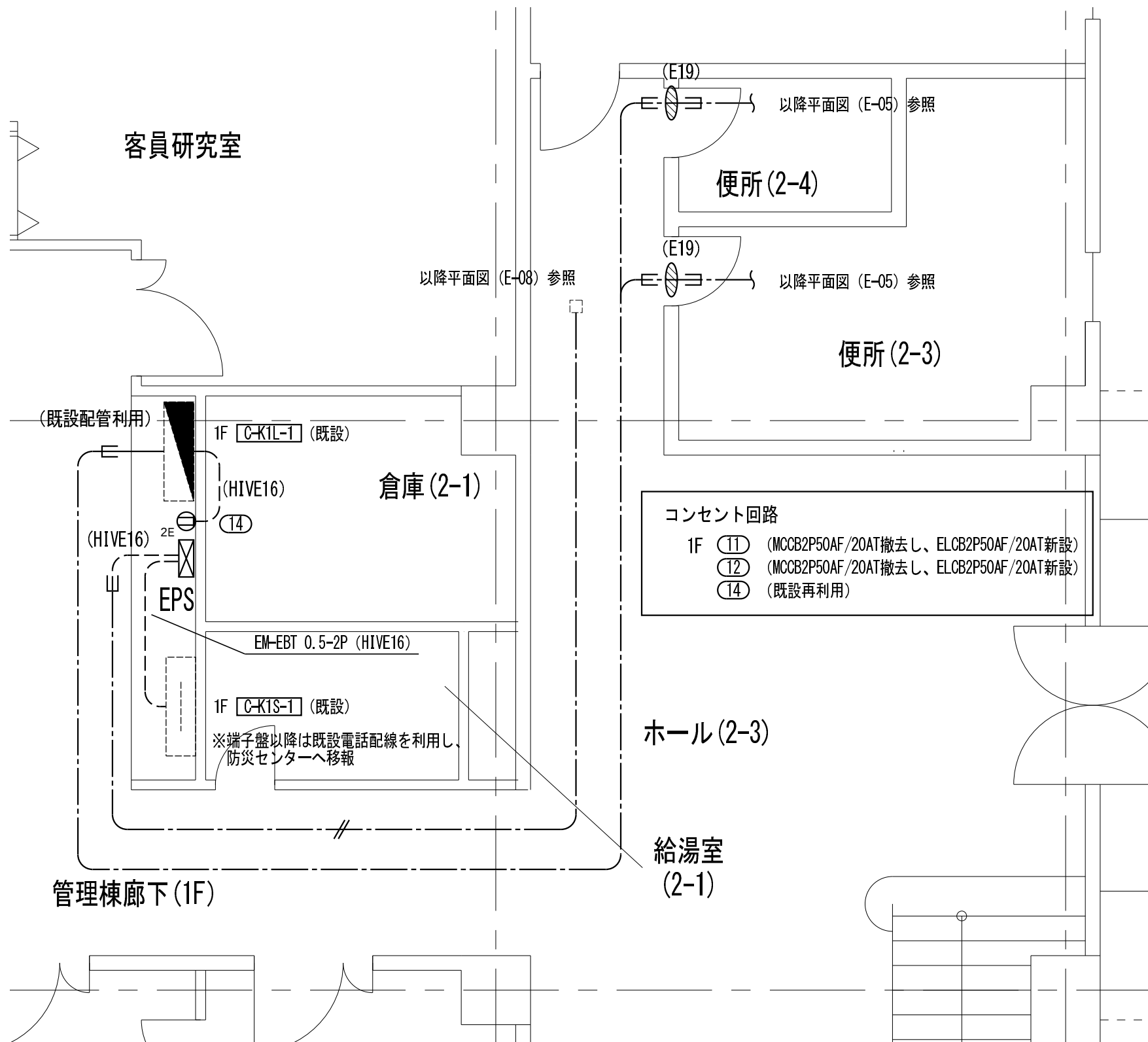
工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面番号 E-05

図面名称 D0 コンセント設備 1階平面詳細図 (改修前・改修後)

S = 1/50

設計日 2025年3月

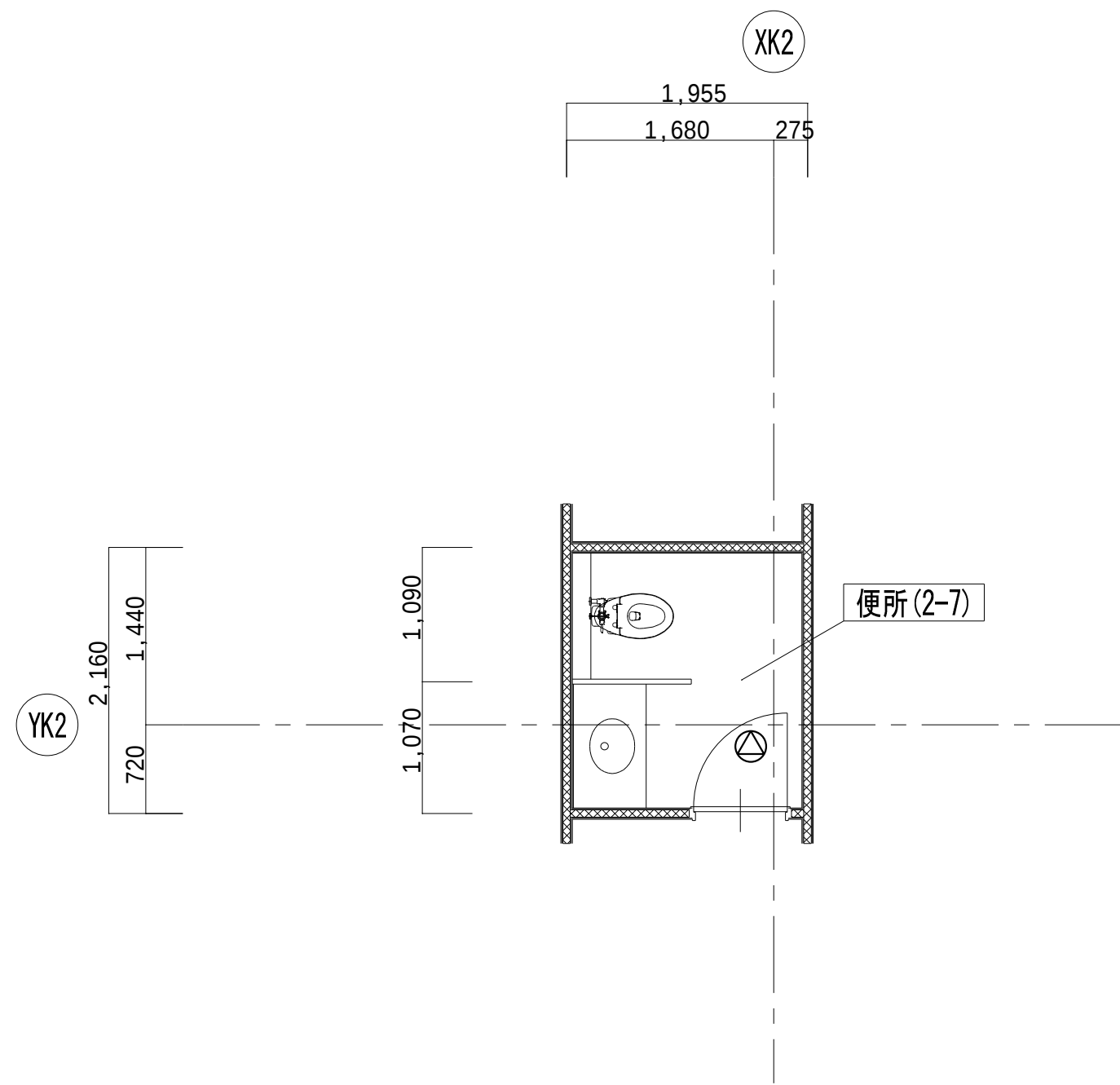


D0 1階平面図 (改修後) S = 1/50

凡 例	
記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通報用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SCgH1-3V3-M)
	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	弱電端子盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

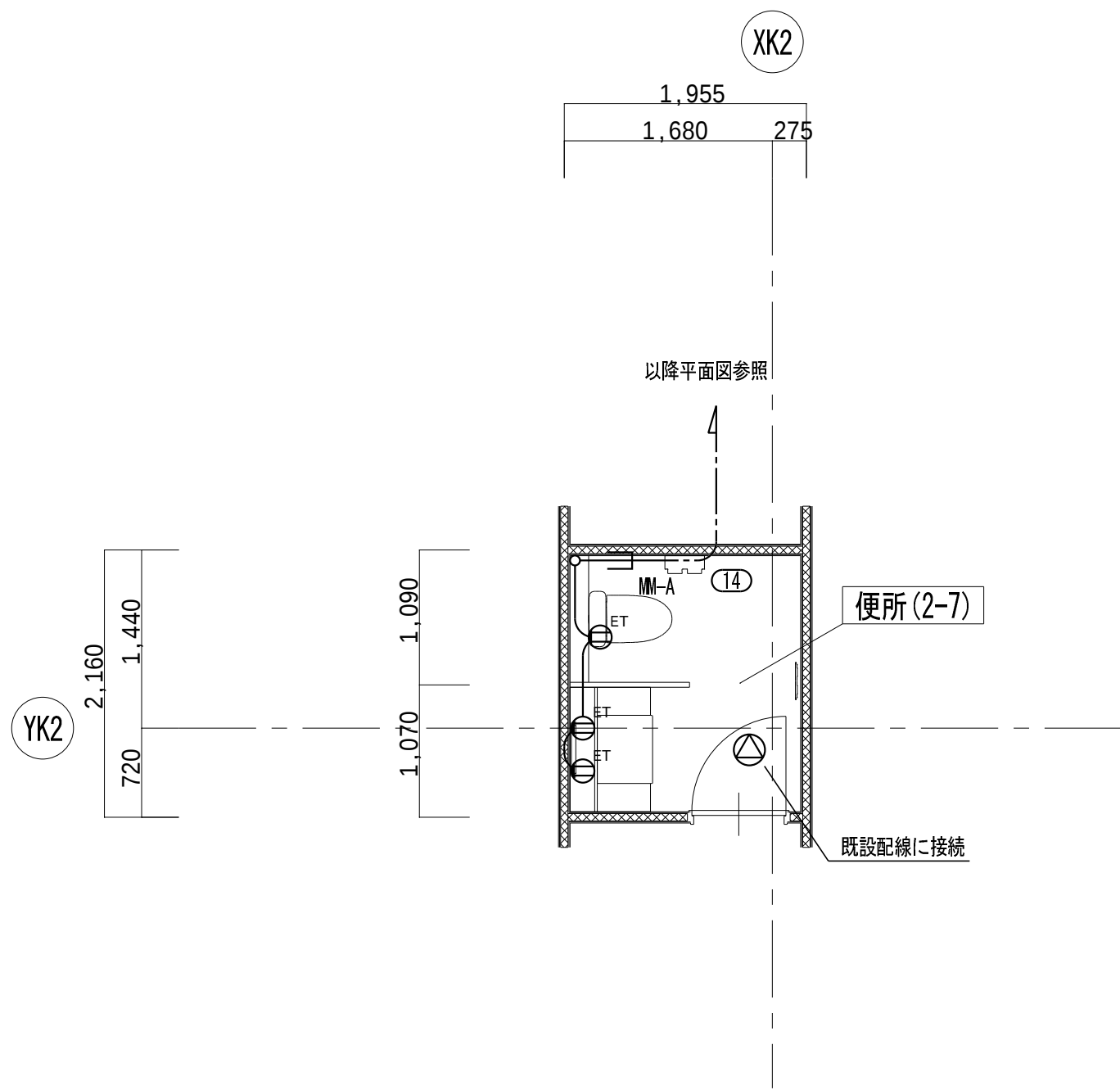
特 記 事 項		
呼 出 回 路	特記なき配管配線は下記とする。	保護管
	——・——・—— EM-AE 1.2 - 2C	(PF16)
	——・——・—— EM-AE 1.2 - 3C	(PF16)
	——・——・—— EM-AE 0.9 - 2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
——	天井内隠蔽配管配線工事	——・——・—— 天井内ころがし配線工事
——	床内隠蔽配管配線工事	————— 露出配管工事
——	ケーブルラック配線工事	

改修前

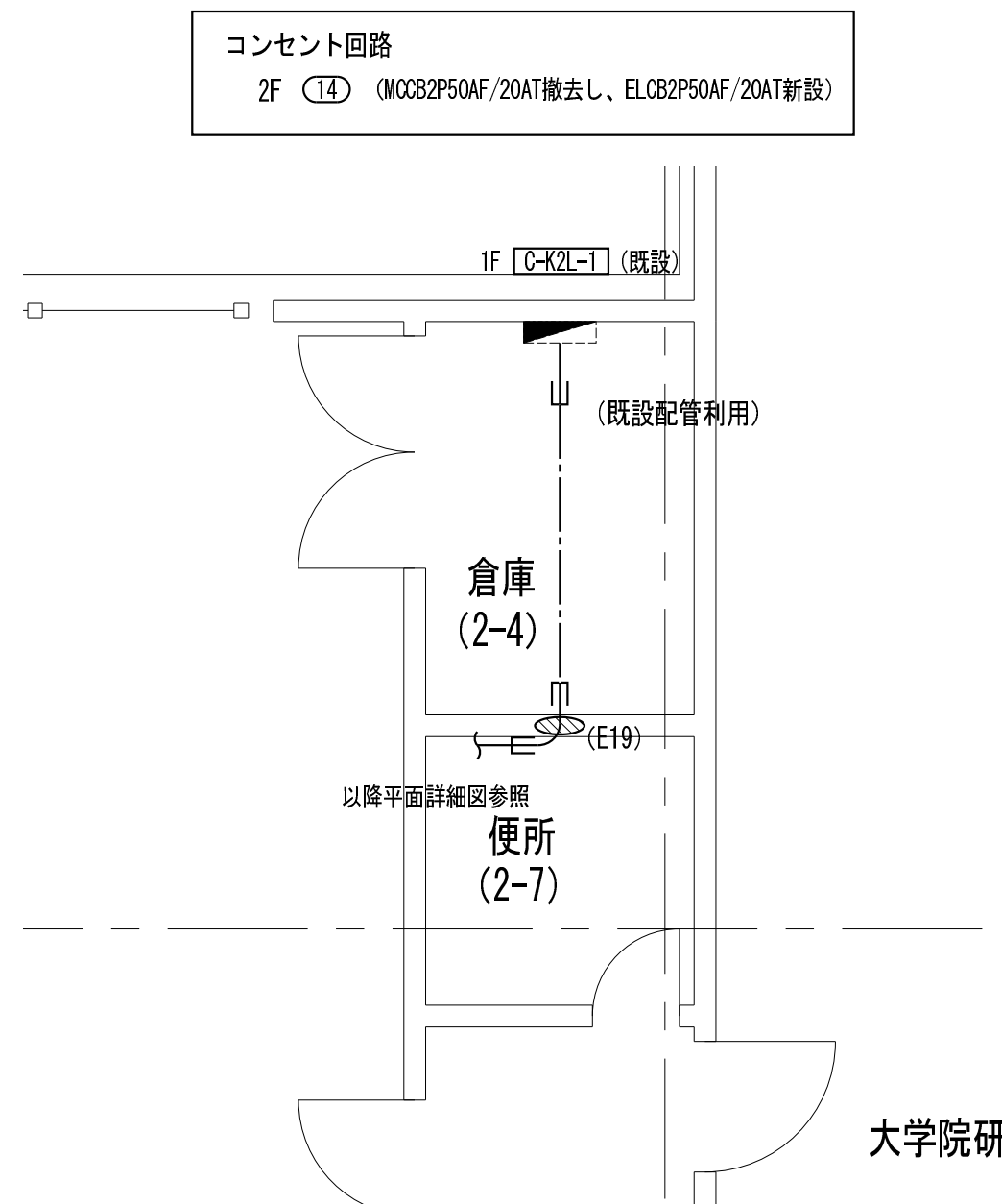


D0 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50

改修後



D0 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50



D0 2階平面図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	廊下灯
	復旧ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W
	アウトレットボックス
	弱電端子盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	IV 1.2 × 2	(PF16)
	IV 1.2 × 3	(PF16)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
天井内隠蔽配管配線工事	天井内こがし配線工事	
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事	
ケーブルラック配線工事		

凡 例

記 号	名 称
	埋込型コンセント (接地端子付) 2P15Ax1
	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1・3V3・M)
	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	電灯分電盤 (既設)

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
天井内隠蔽配管配線工事	天井内こがし配線工事	
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事	
ケーブルラック配線工事		

令和7年 3月 日

滋賀県立大学財務課

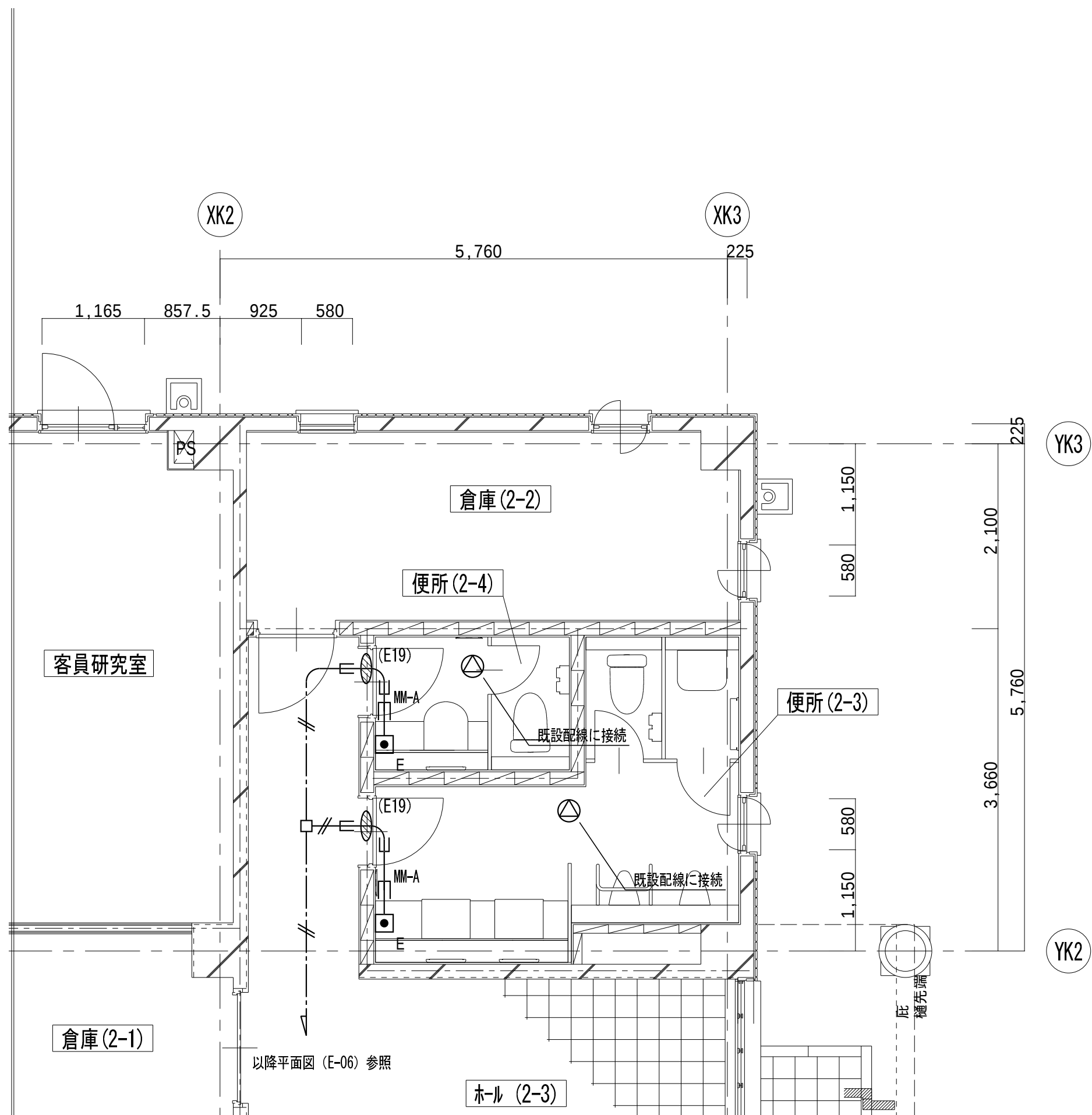
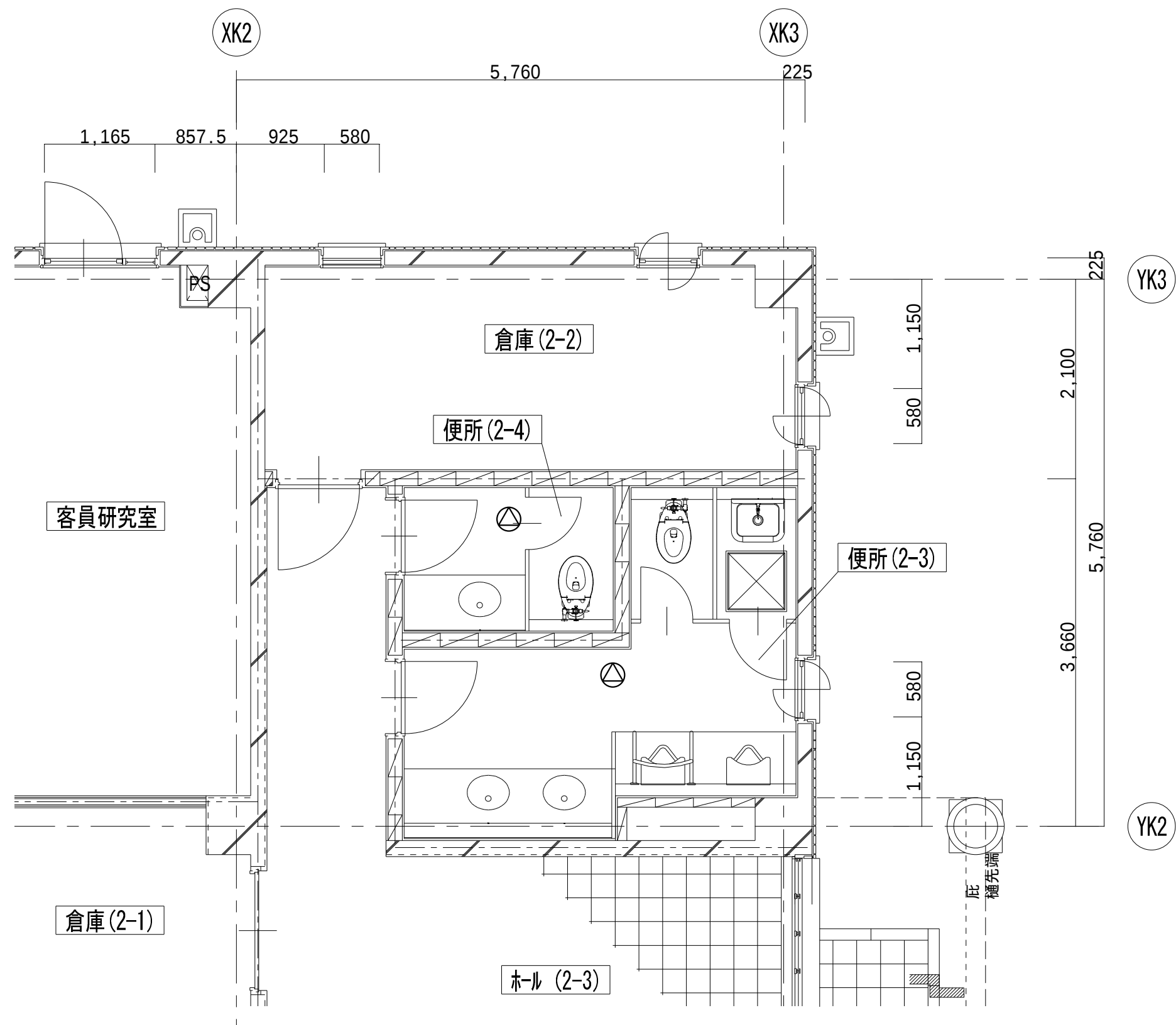
株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学D棟トイレ改修前期工事

図面番号 E-07

図面名称 D0 コンセント・弱電設備 2階平面詳細図 (改修前・改修後) S = 1/50

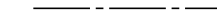
設計日 2025年3月



凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	廊下灯
	復旧ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W
	アウトレットボックス
	弱電端子盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

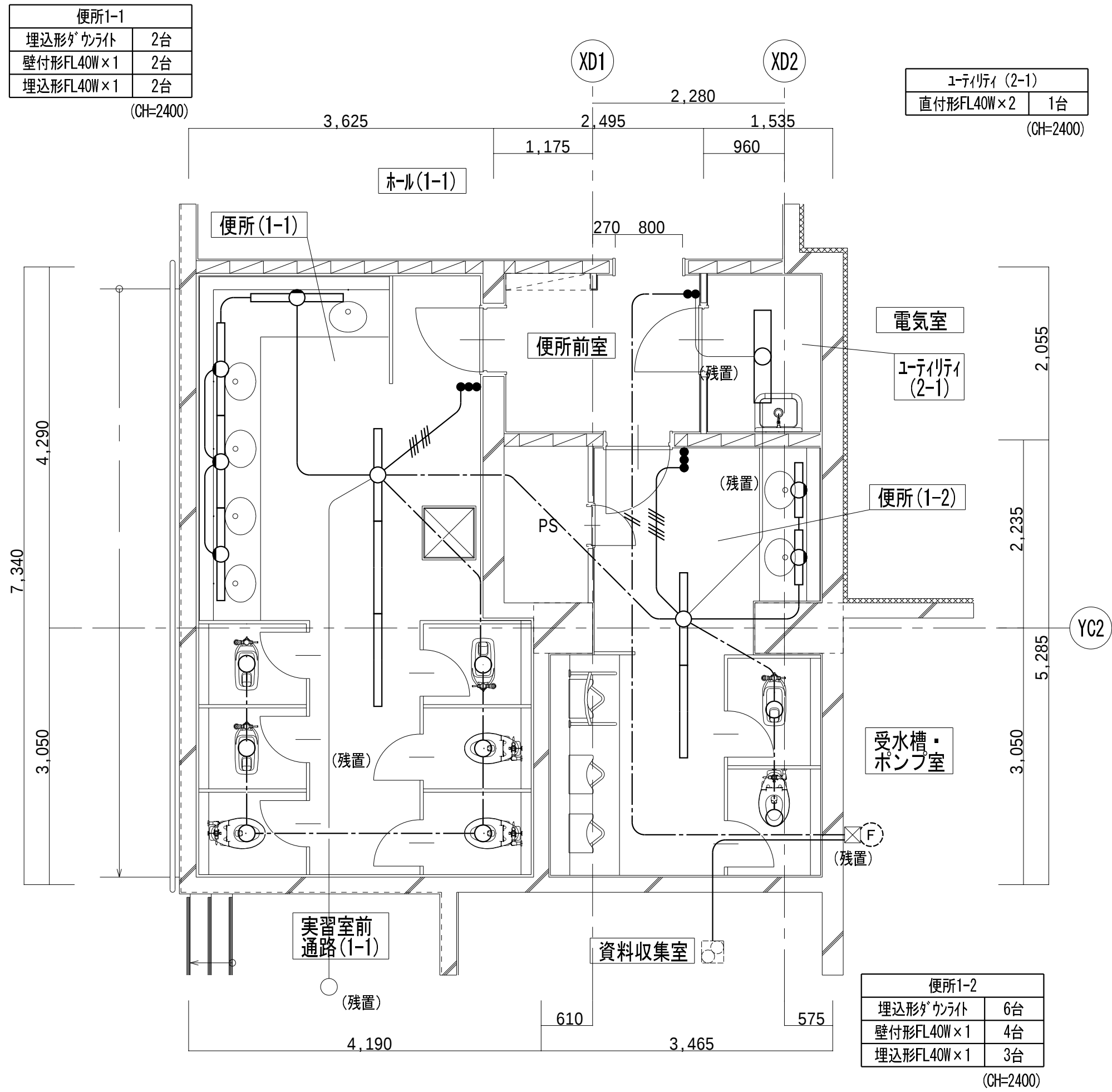
特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	 AE 1.2 × 2	(PF16)
	 AE 1.2 × 3	(PF16)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	 天井内こがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

凡 例

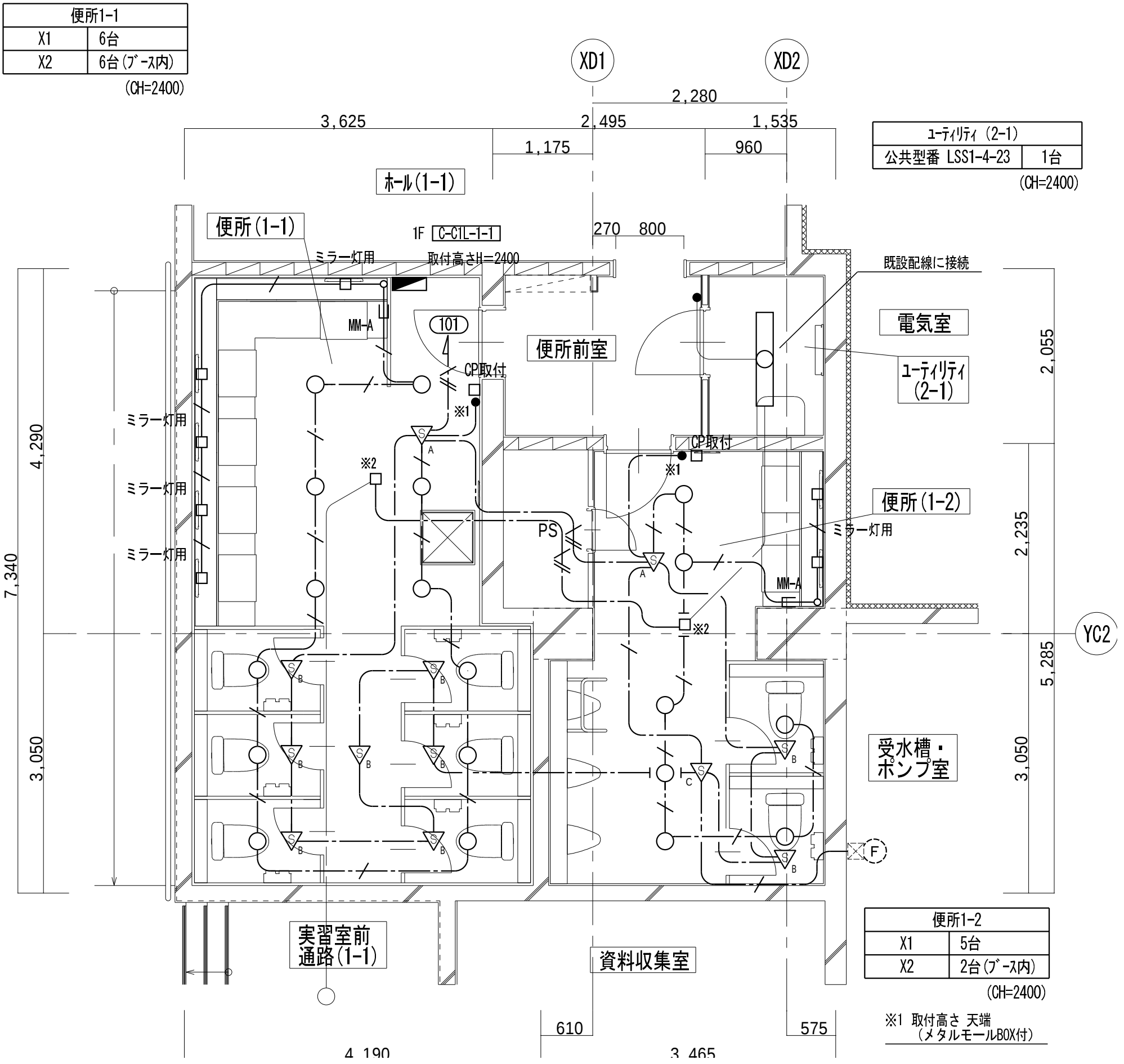
記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通報用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1・3V3・M)
	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	弱電端子盤(既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	----- EM-AE 1.2 - 2C	(PF16)
	----- EM-AE 1.2 - 3C	(PF16)
	----- EM-AE 0.9 - 2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内こがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	



D3 1階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



D3 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
●	埋込スイッチ 1P15Ax1
⋮	埋込スイッチ 1P15Ax3
□	アウトレットボックス
⊠	ブルボックス
■	電灯分電盤
(再)	取外し再取付を示す
(残置)	残置を示す

特 記 事 項

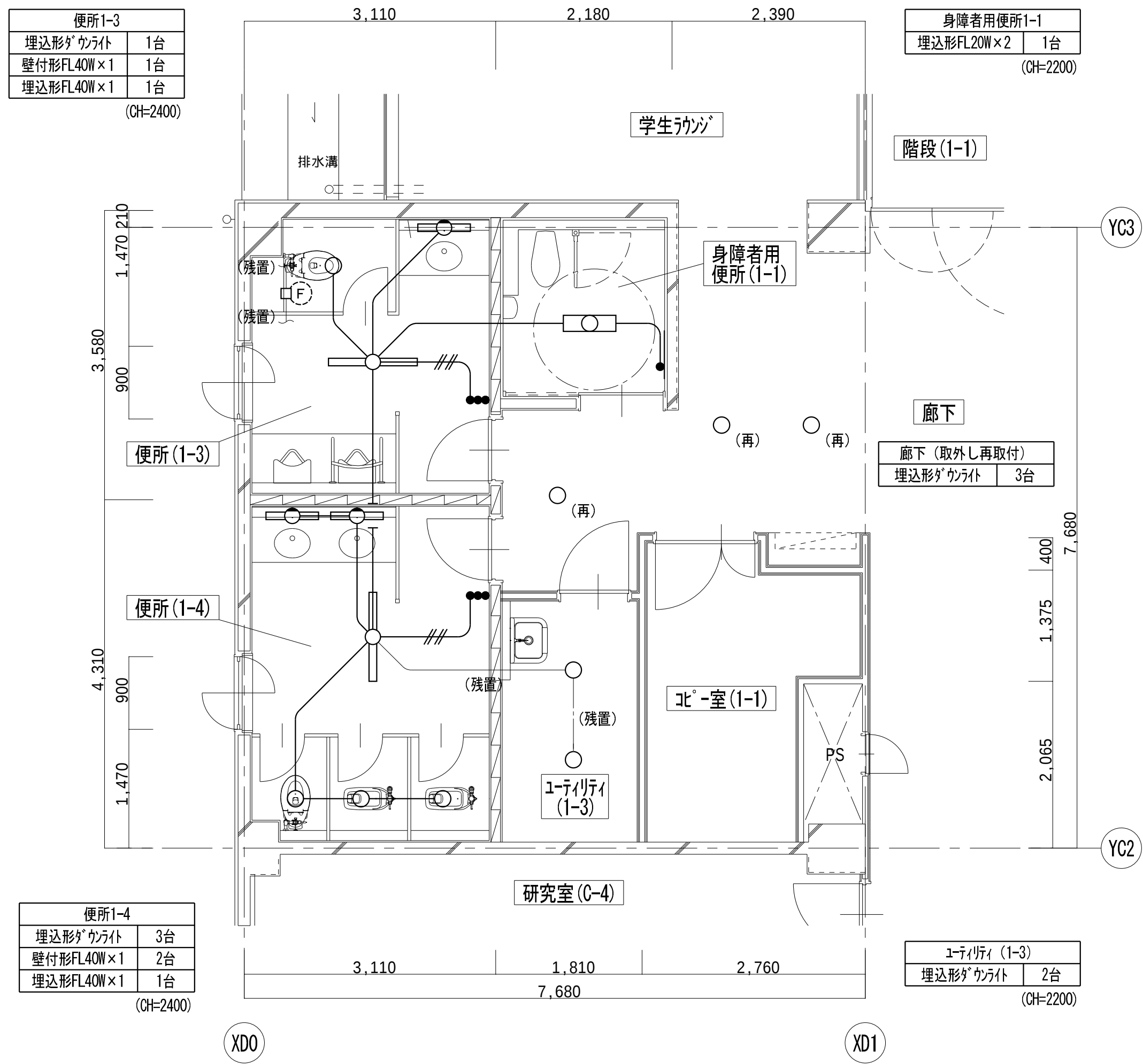
特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	——・—— VV-F 2.0-2C	(PF22)
	—— VV-F 2.0-3C	(PF22)
	——・—— VV-F 2.0-2C x2	(PF22)
	——・—— VV-F 2.0-3C x2	(PF22)x2
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
——	天井内隠蔽配管配線工事	—— 天井内ころがし配線工事
——	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
——	ケーブルラック配線工事	

凡 例

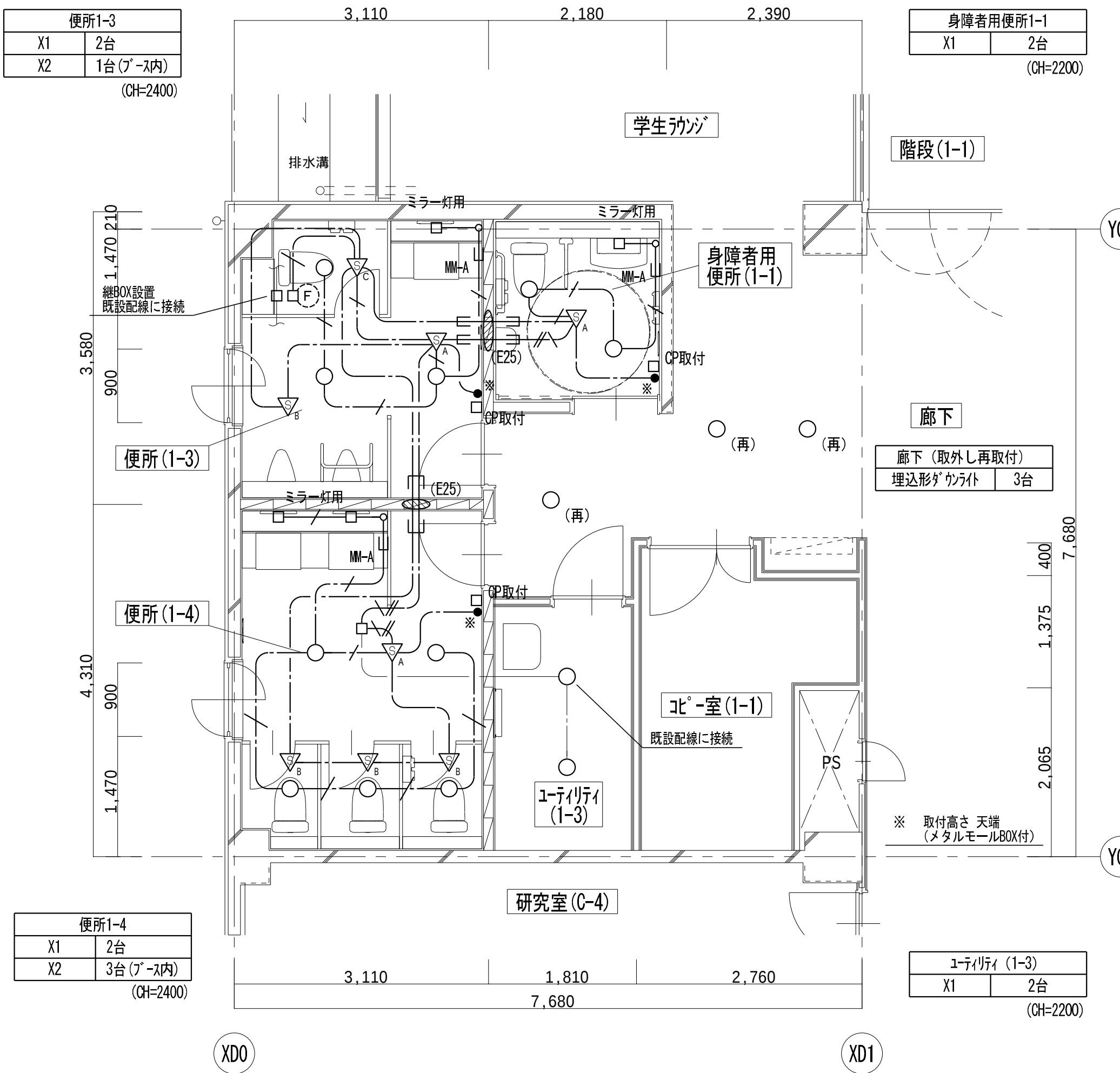
記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
⋮	埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・微動検知形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・微動検知形
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
▨	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)
□ CP取付	カバープレート取付
□	アウトレットボックス
⊠	ブルボックス 200 x 200 x 200
■	電灯分電盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	—— ——— ——— EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	—— ——— ——— EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
	—— ——— ——— EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）		
貫通穴はコンセント共用とする。		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
—— ——— ———	天井内隠蔽配管配線工事	—— ——— ——— 天井内ころがし配線工事
—— ——— ———	床内隠蔽配管配線工事	————— 露出配管工事
—————	ケーブルラック配線工事	



D3 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



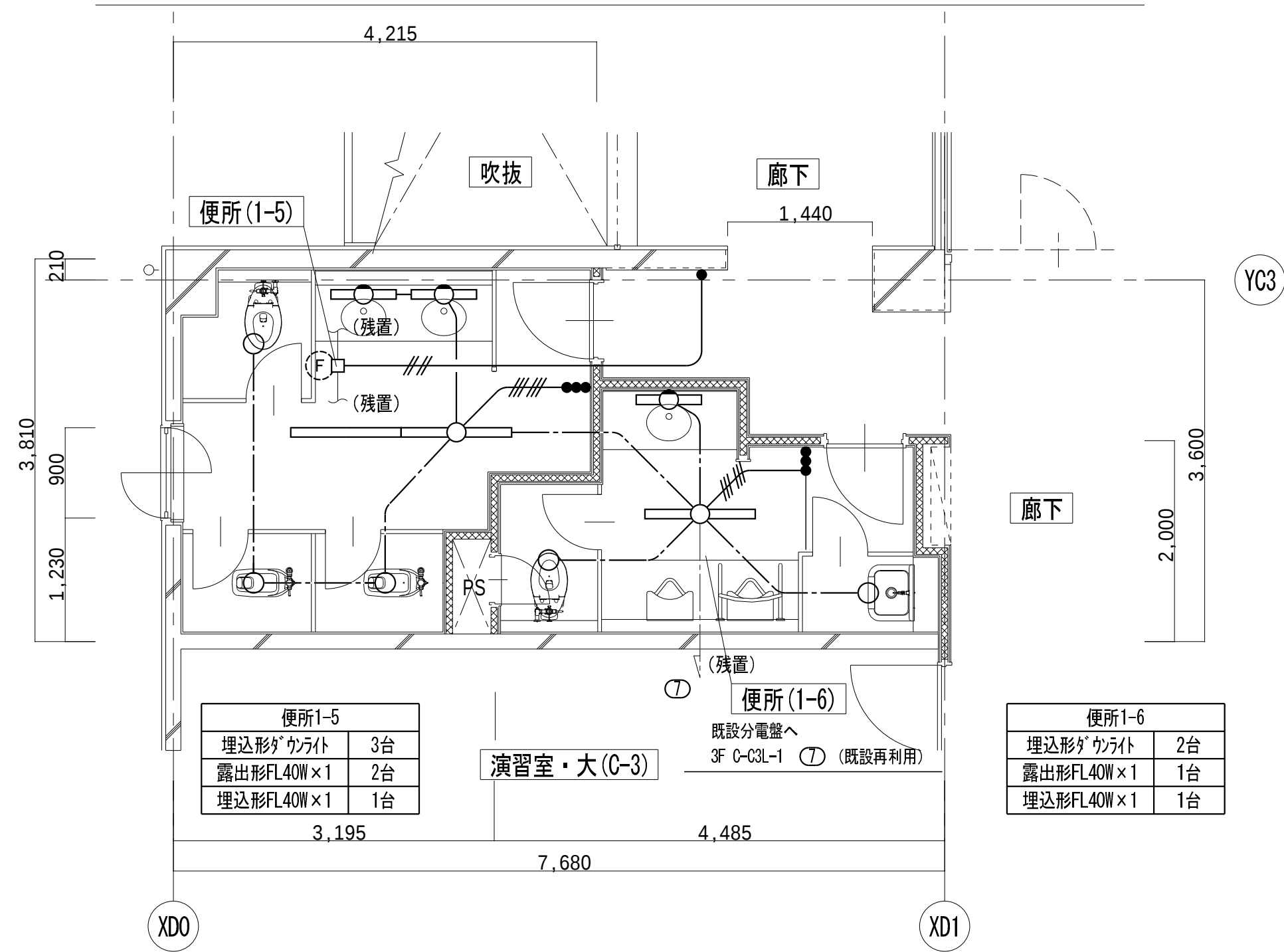
D3 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例		
記 号	名 称	
●	埋込スイッチ	1P15Ax1
⋮	埋込スイッチ	1P15Ax3
□	アウトレットボックス	
⊠	ブルボックス	
■	電灯分電盤	
(再)	取外し再取付を示す	
(残置)	残置を示す	

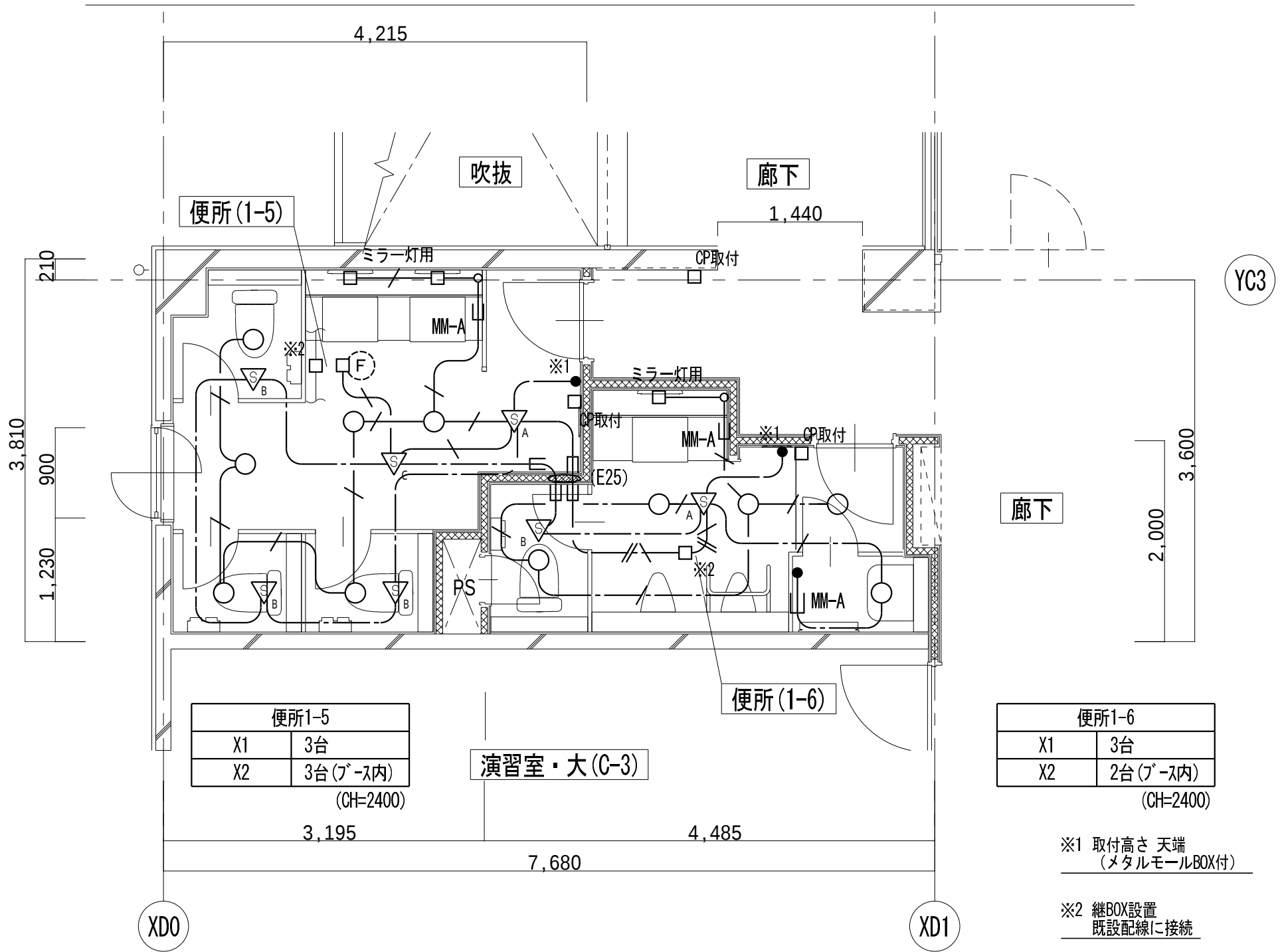
特 記 事 項		
電 灯 回 路	特記なき配管配線は下記とする。	
	――●―― VV-F 2.0-2C	(PF22)
	――●―― VV-F 2.0-3C	(PF22)
	――●―― VV-F 2.0-2C x2	(PF22)
	――●―― VV-F 2.0-3C x2	(PF22)x2
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
――●――	天井内隠蔽配管配線工事	――●―― 天井内ころがし配線工事
――●――	床内隠蔽配管配線工事	――●―― 露出配管工事
――●――	ケーブルラック配線工事	

凡 例		
記 号	名 称	
●	埋込型スイッチ	1P15Ax1 ネーム付
⋮	埋込型スイッチ	1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ	機器・8Aタイプ・微動検知形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機・微動検知形
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機・換気扇連動用・3系統連動形
	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)	
□ _{CP} 取付	カバープレート取付	
□	アウトレットボックス	
⊠	ブルボックス 200×200×200	
■	電灯分電盤(既設)	
(再)	取外し再取付を示す	

特 記 事 項		
電 灯 回 路	特記なき配管配線は下記とする。	
	――●―― EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	――●―― EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
	――●―― EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
貫通穴はコンセント共用とする。		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
――●――	天井内隠蔽配管配線工事	――●―― 天井内ころがし配線工事
――●――	床内隠蔽配管配線工事	――●―― 露出配管工事
――●――	ケーブルラック配線工事	



D3 3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



D3 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
●	埋込スイッチ 1P15Ax1
⋮	埋込スイッチ 1P15Ax3
□	アウトレットボックス
☒	プルボックス
■	電灯分電盤
(再)	取外し再取付を示す
(残置)	残置を示す

特 記 事 項

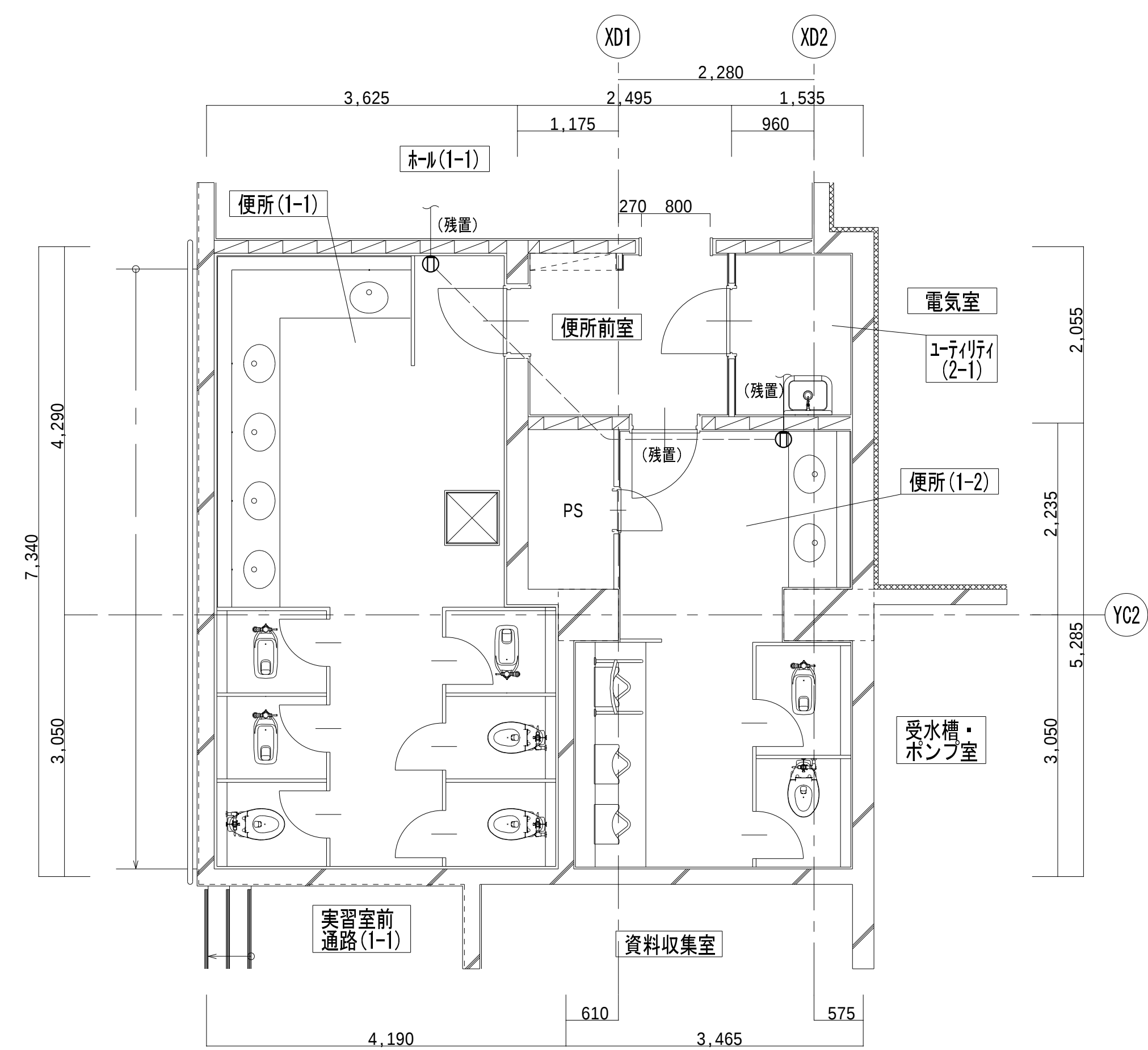
特記なき配管配線は下記とする。		
電 灯 回 路	——●—— VV-F 2.0-2C	(PF22)
	——●—— VV-F 2.0-3C	(PF22)
	——●—— VV-F 2.0-2C x2	(PF22)
	——●—— VV-F 2.0-3C x2	(PF22)x2
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
——●——	天井内隠蔽配管配線工事	——●—— 天井内ころがし配線工事
——●——	床内隠蔽配管配線工事	——●—— 露出配管工事
——●——	ケーブルリック配線工事	

凡 例

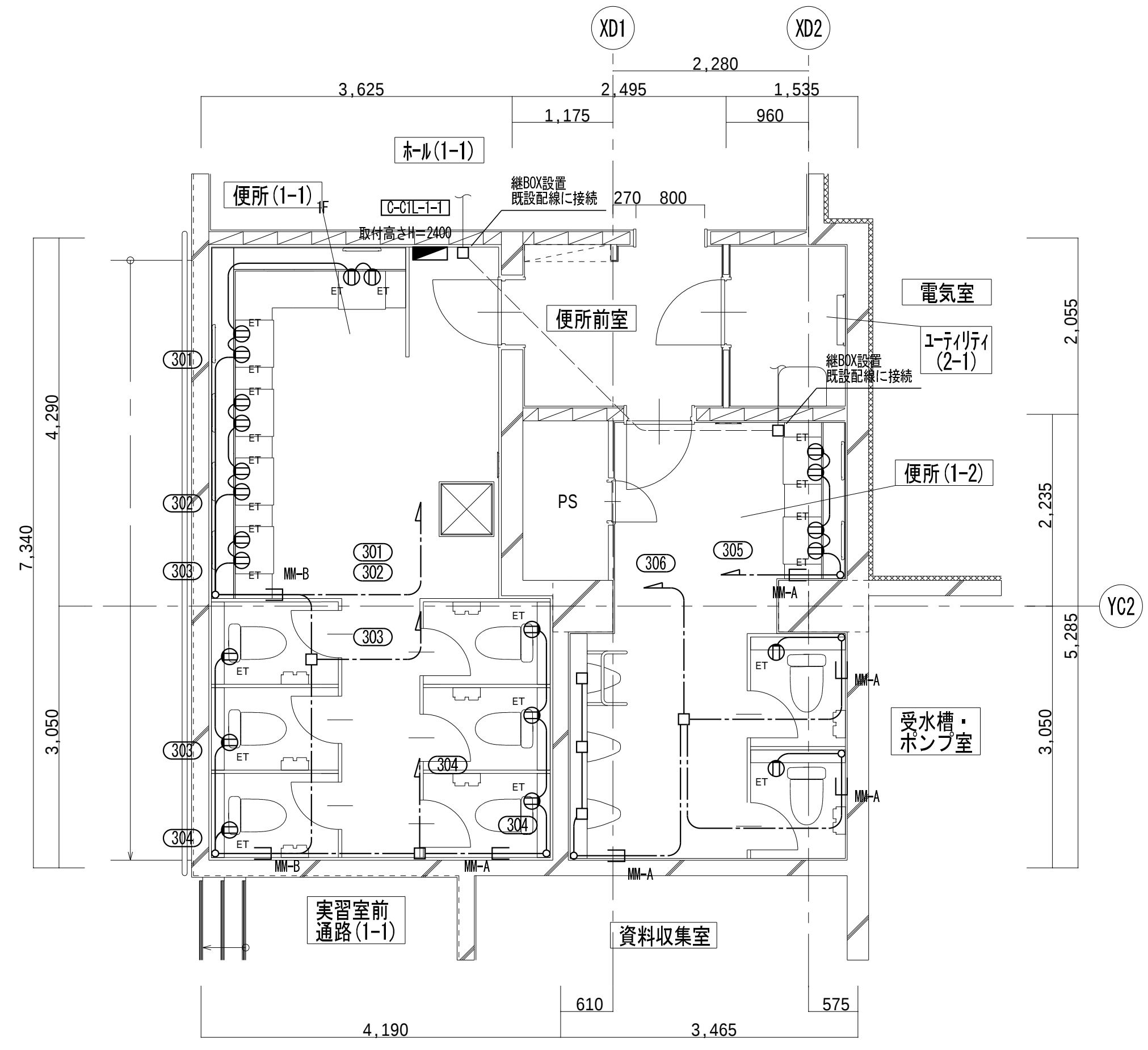
記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
⋮	埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親器・BAタイプ・微動検知形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・微動検知形
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
▨	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)
□ _{CP} 取付	カバープレート取付
□	アウトレットボックス
☒	プルボックス 200 x 200 x 200
■	電灯分電盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
電 灯 回 路	——●—— EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	——●—— EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
	——●—— EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
貫通穴はコンセント共用とする。		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
——●——	天井内隠蔽配管配線工事	——●—— 天井内ころがし配線工事
——●——	床内隠蔽配管配線工事	——●—— 露出配管工事
——●——	ケーブルリック配線工事	



D3 1階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



D3 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称	
①	防雨形コンセント (抜け止め)	2P15Ax1
① ²	露出コンセント	2P15Ax2
① ^{ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
① ^{2ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax2
① ^{EET}	露出コンセント (接地極接地端子付)	2P15Ax1
□	アウトレットボックス	
☒	プルボックス	
■	電灯分電盤	
(再)	取外し再取付を示す	
(残置)	残置を示す	

特 記 事 項

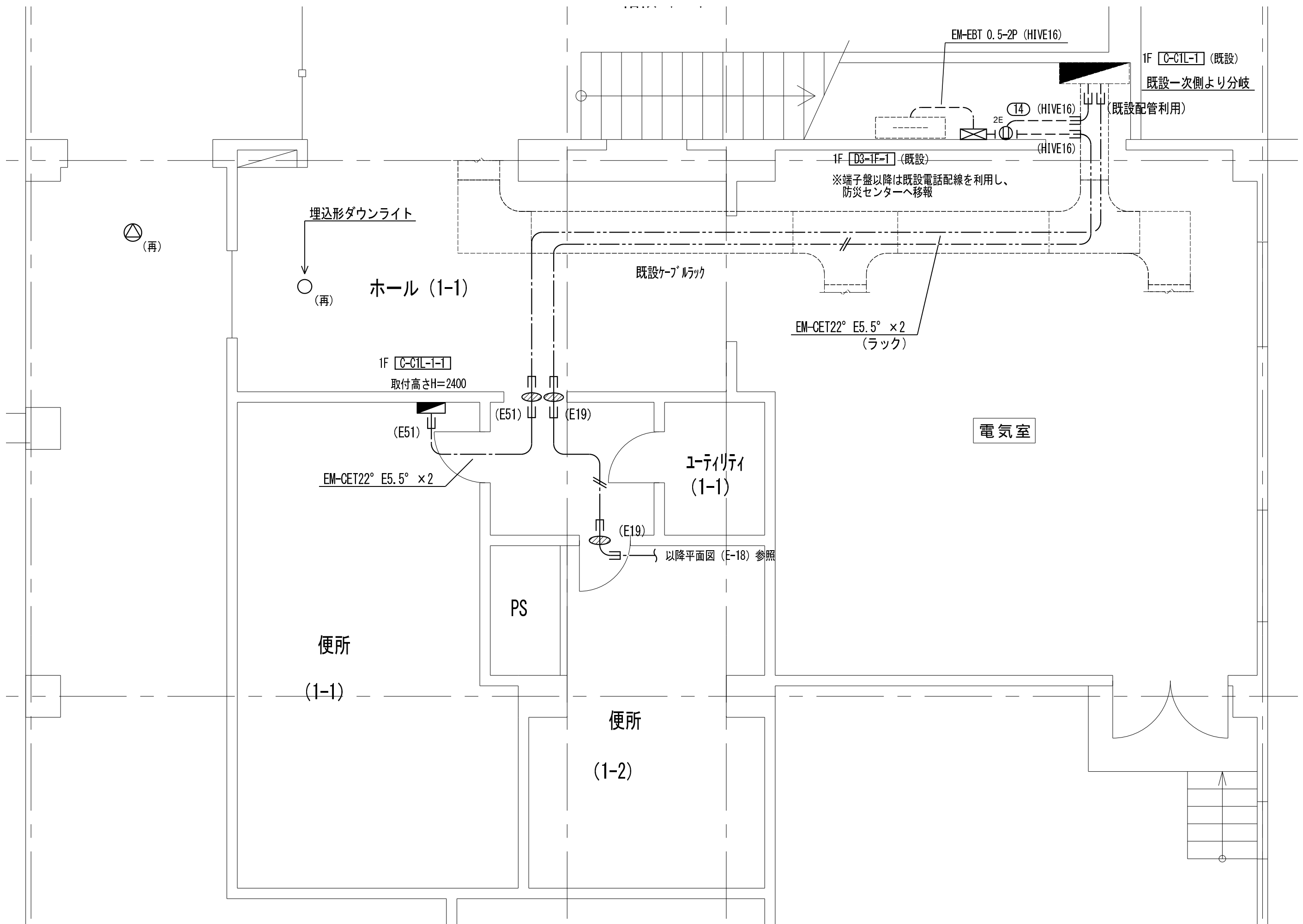
特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路	----- VVF 2.0-2C E2.0	(PF22)
	----- EM-EEF 2.0-3C	(PF22)
二重天井内配線はケーブルこごし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内こごし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	

凡 例

記 号	名 称	
① ^{ET}	埋込型コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
■	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)	
□	アウトレットボックス	
□ ^{CP} 取付	カバープレート取付	
☒	プルボックス 200 x 200 x 200	
■	電灯分電盤 (既設)	
(再)	取外し再取付を示す	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	----- EM-EEF 2.0-3C (1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルこごし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内こごし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	



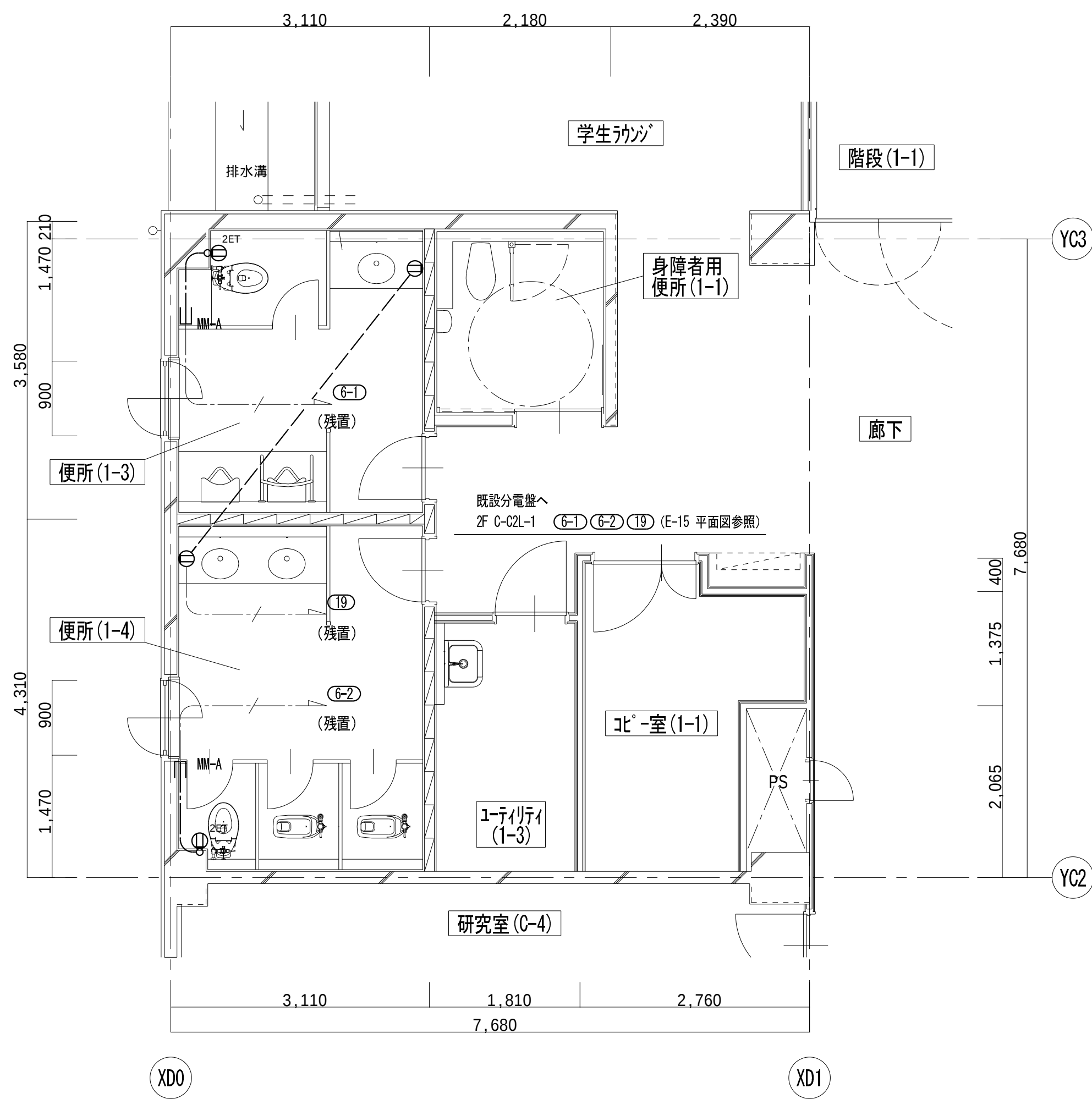
D3 1階平面図 (改修後) S = 1/50

凡 例

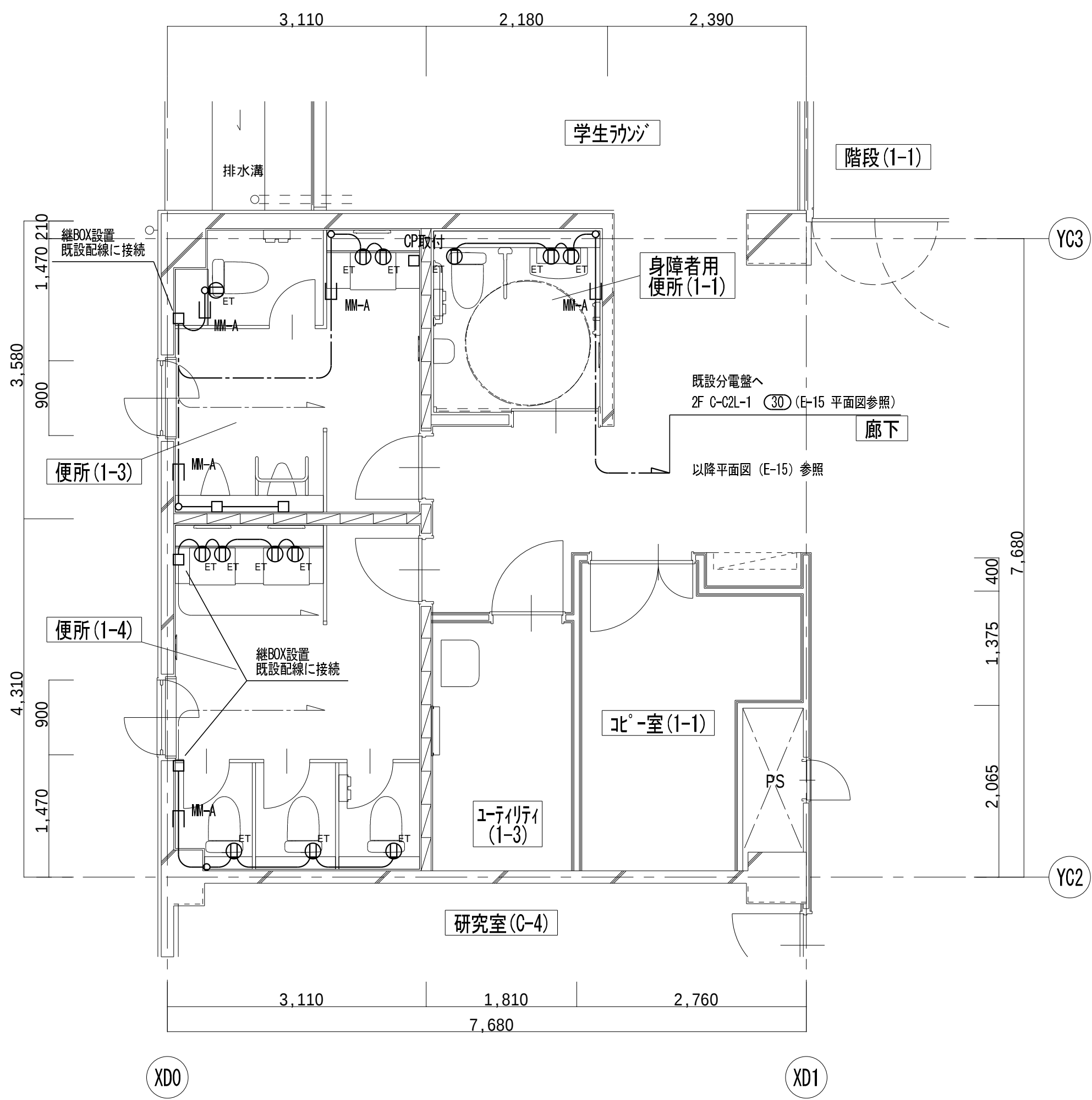
記 号	名 称
① ^{ET}	埋込型コンセント (接地端子付) 2P15Ax1
① ^{2E}	露出コンセント (接地極付) 2P15Ax2
⊙	天井埋込型スピーカー 3W
■ _E	通報用ボタン
⊠	緊急通報装置
⬮	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
⊠	ブルボックス 200 x 200 x 200
⬮	電灯分電盤 (新設)
⬮	電灯分電盤 (既設)
⬮	弱電端子盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	——— ——— ——— EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
呼 出 回 路	———  ——— EM-AE 0.9-2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルこらがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
———	天井内隠蔽配管配線工事	——— ——— 天井内こらがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	



D3 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



D3 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称	
①	防雨形コンセント (抜け止め)	2P15Ax1
① ²	露出コンセント	2P15Ax2
① ^{ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
① ^{2ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax2
① ^{EET}	露出コンセント (接地極接地端子付)	2P15Ax1
□	アウトレットボックス	
☒	プルボックス	
▀	電灯分電盤	
(再)	取外し再取付を示す	
(残置)	残置を示す	

特 記 事 項

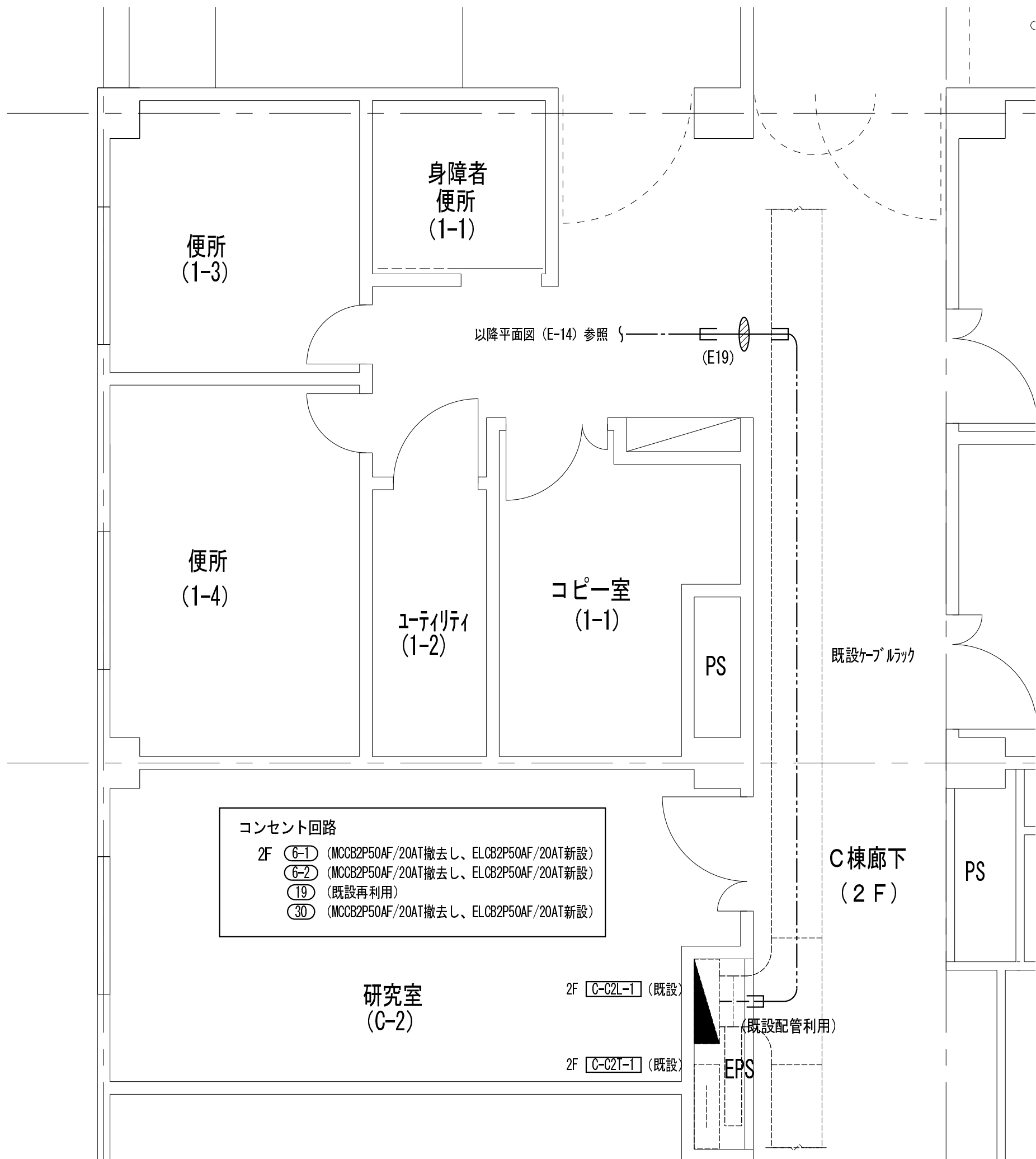
特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路	----- VVF 2.0-2C E2.0	(PF22)
	----- EM-EEF 2.0-3C	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内ころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	

凡 例

記 号	名 称	
① ^{ET}	埋込型コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
▨	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)	
□	アウトレットボックス	
□ ^{CP} 取付	カバープレート取付	
☒	プルボックス 200 x 200 x 200	
▀	電灯分電盤 (既設)	
(再)	取外し再取付を示す	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	----- EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び境界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内ころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	



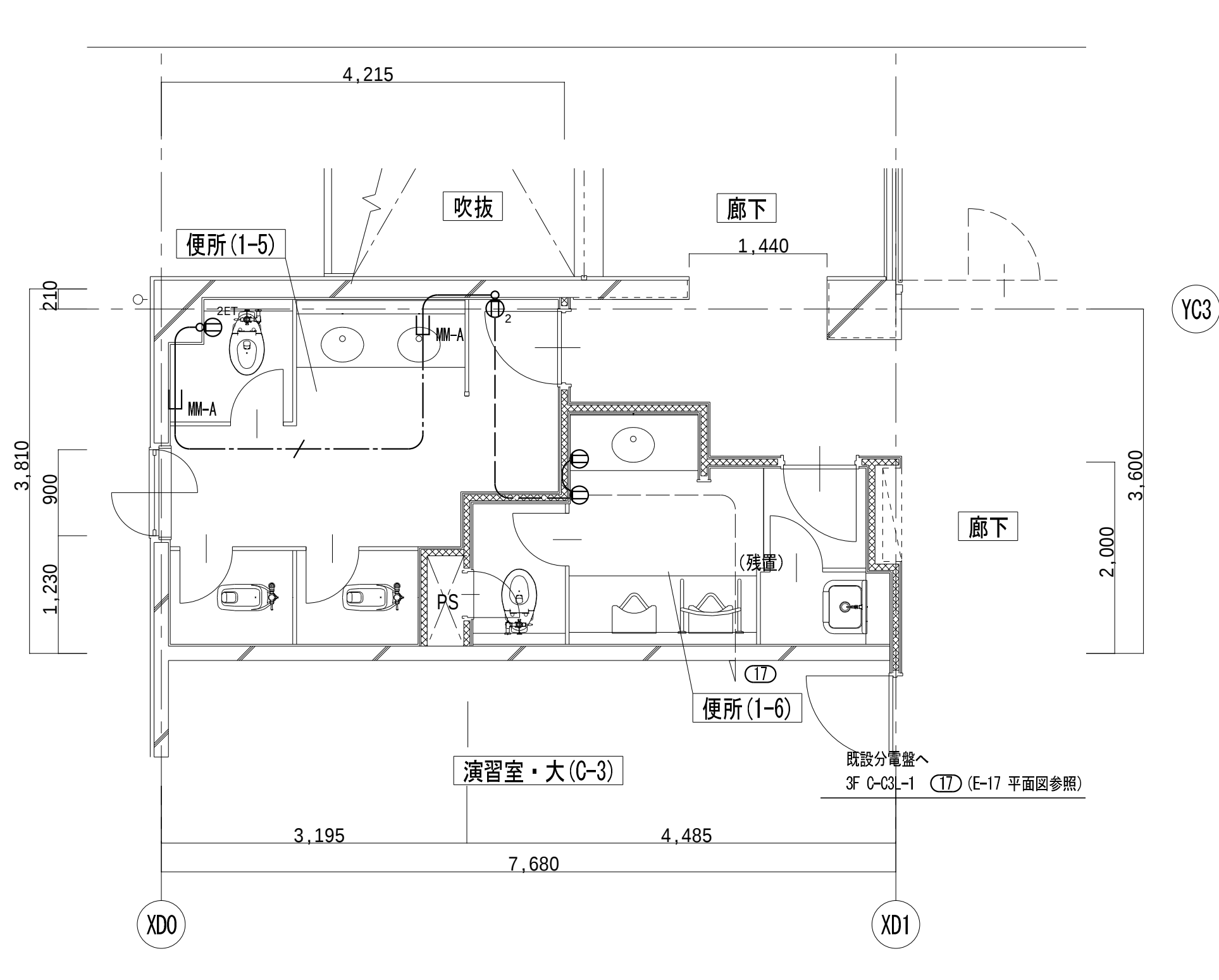
D3 2階平面図 (改修後) S = 1/50

凡 例

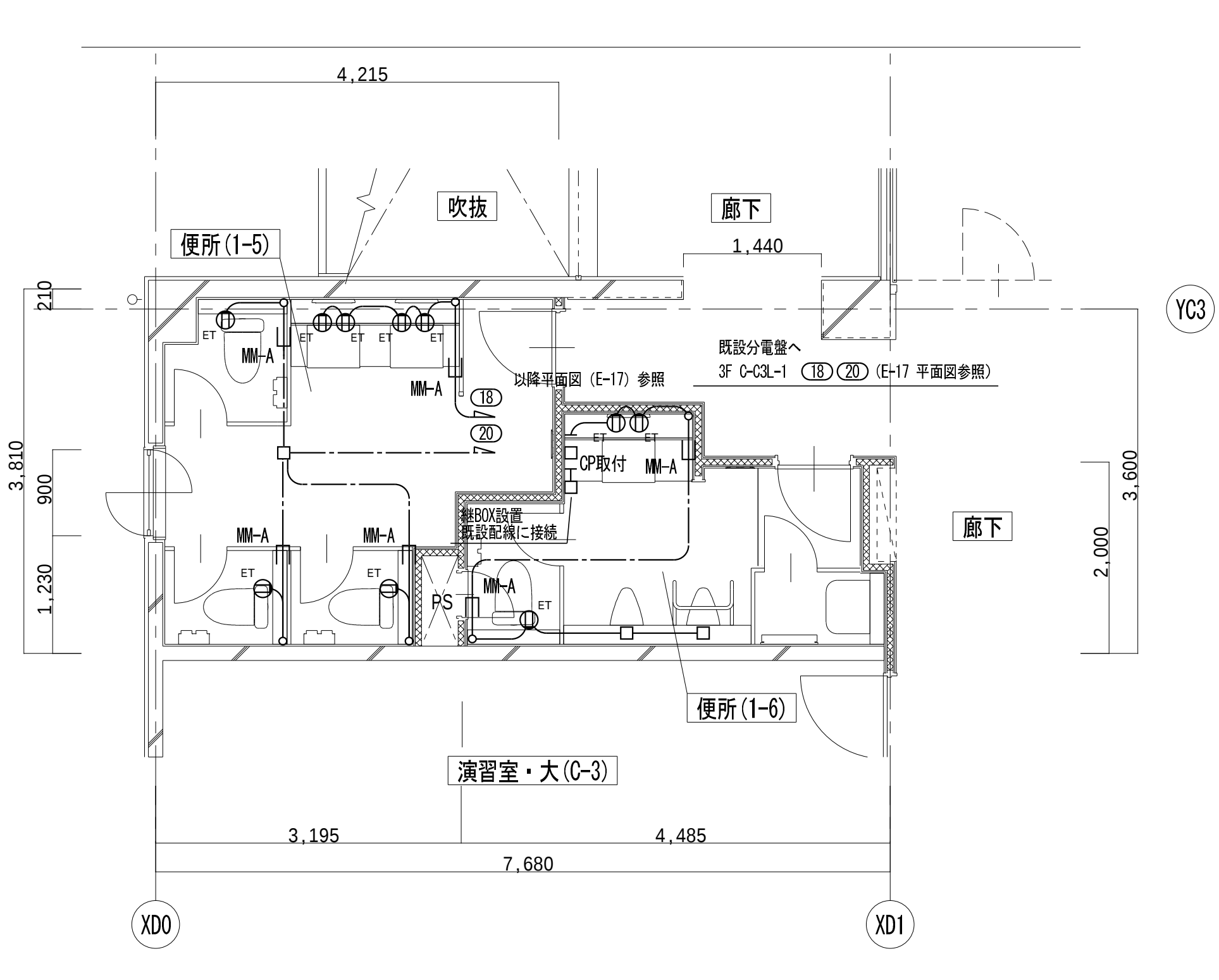
記 号	名 称
① ^{ET}	埋込型コンセント (接地端子付) 2P15Ax1
① ^{2E}	露出コンセント (接地極付) 2P15Ax2
②	天井埋込型スピーカー 3W
■ _E	通報用ボタン
⊠	緊急通報装置
⬮	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
⊠	ブルボックス 200 x 200 x 200
■	電灯分電盤 (新設)
■	電灯分電盤 (既設)
■	弱電端子盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
呼 出 回 路	EM-AE 0.9 - 2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
天井内隠蔽配管配線工事	天井内こがし配線工事	
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事	
ケーブルラック配線工事		



D3 3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



D3 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称	
①	防雨形コンセント (抜け止め)	2P15Ax1
① ²	露出コンセント	2P15Ax2
① ^{ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
① ^{2ET}	露出コンセント (接地端子付)	2P15Ax2
① ^{EET}	露出コンセント (接地極接地端子付)	2P15Ax1
□	アウトレットボックス	
☒	プルボックス	
▀	電灯分電盤	
(再)	取外し再取付を示す	
(残置)	残置を示す	

特 記 事 項

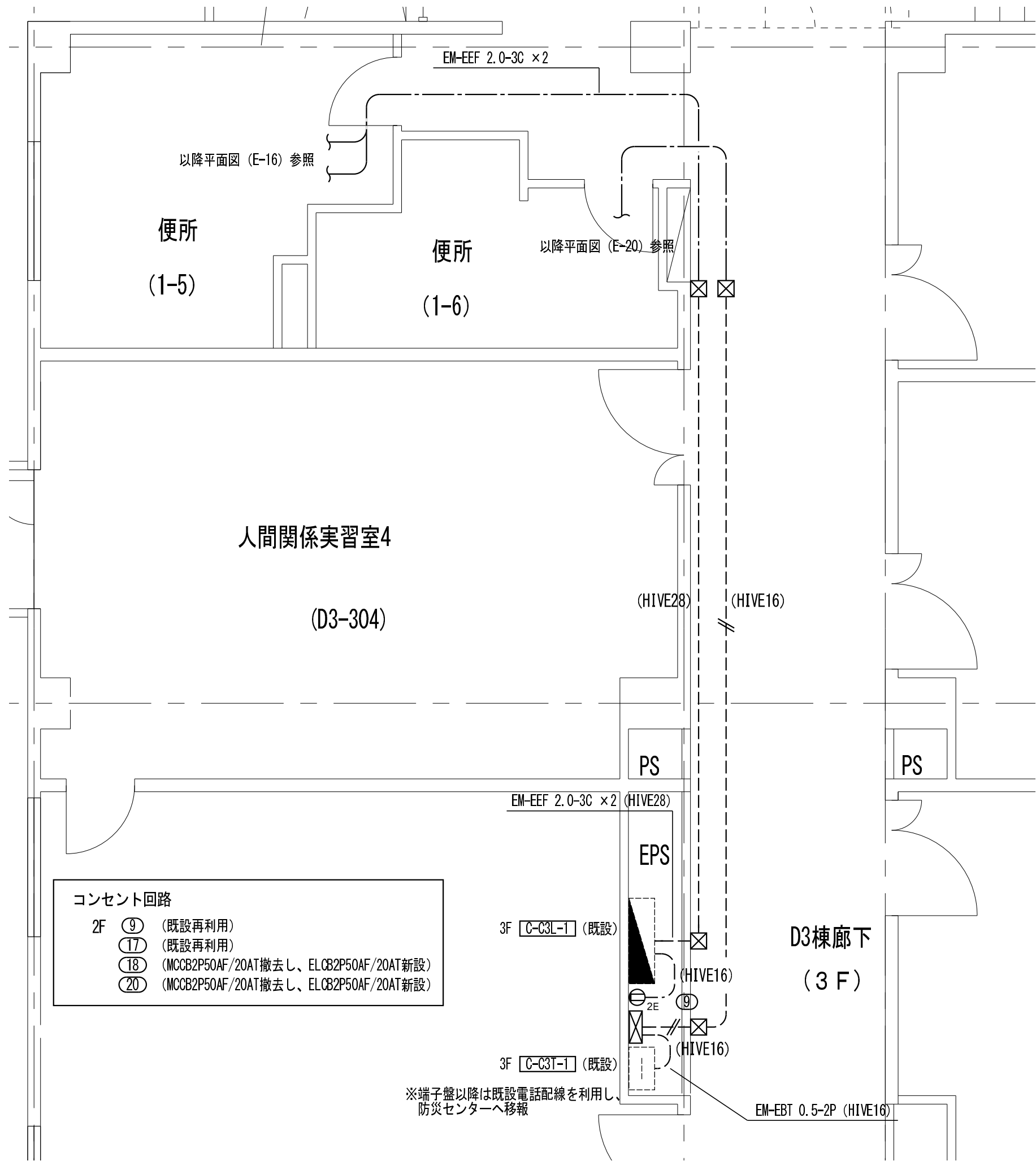
特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路	----- VVF 2.0-2C E2.0	(PF22)
	----- EM-EEF 2.0-3C	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内ころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	

凡 例

記 号	名 称	
① ^{ET}	埋込型コンセント (接地端子付)	2P15Ax1
▨	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)	
□	アウトレットボックス	
□ ^{CP} 取付	カバープレート取付	
☒	プルボックス 200 x 200 x 200	
▀	電灯分電盤 (既設)	
(再)	取外し再取付を示す	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	----- EM-EEF 2.0-3C (1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内ころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	----- 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	



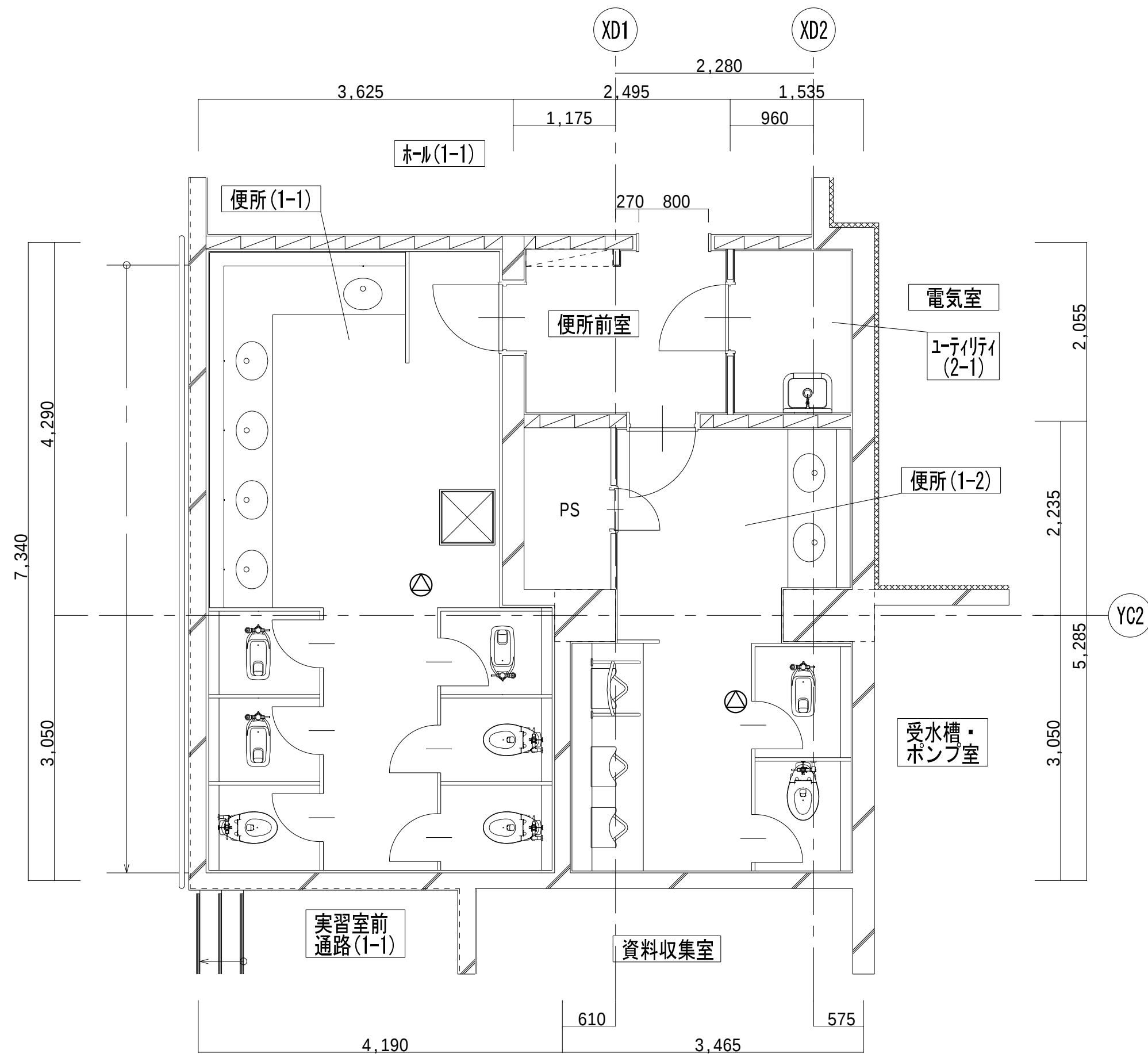
D3 3階平面図 (改修後) S = 1/50

凡 例

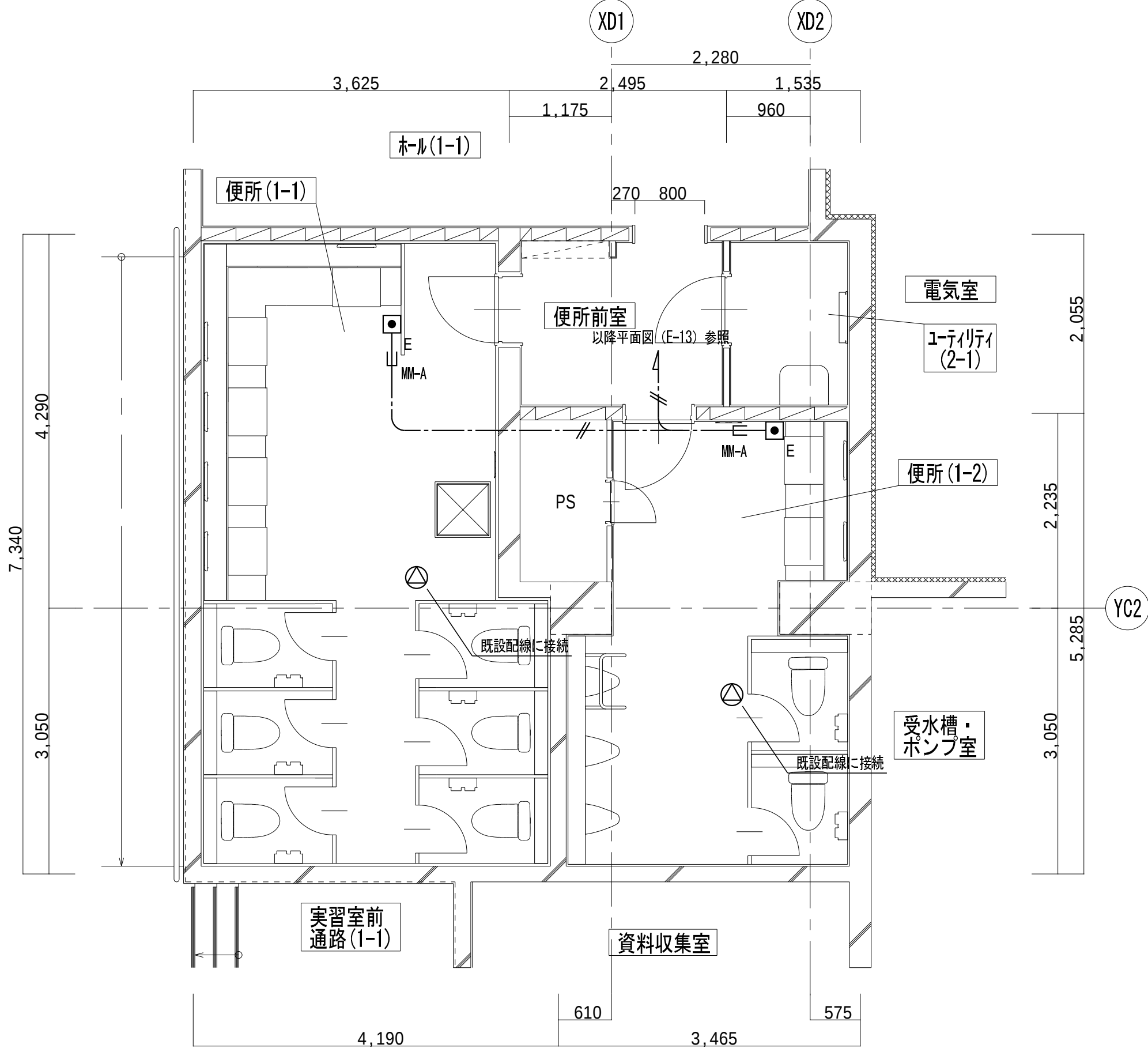
記 号	名 称
① ^{ET}	埋込型コンセント (接地端子付) 2P15Ax1
① ^{ZE}	露出コンセント (接地極付) 2P15Ax2
⬡	天井埋込型スピーカー 3W
■ _E	通報用ボタン
⊠	緊急通報装置
⬢	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
⊠	ブルボックス 200×200×200
■	電灯分電盤 (新設)
■	電灯分電盤 (既設)
⬢	弱電端子盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路	EM-EFF 2.0-3C(1E)	(PF22)
呼 出 回 路	EM-AE 0.9-2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
室内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
天井内隠蔽配管配線工事	天井内ころがし配線工事	
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事	
ケーブルラック配線工事		



D3 1階平面詳細図 (改修前) S = 1/50

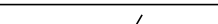


D3 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	廊下灯
	復旧ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W
	アウトレットボックス
	弱電端子盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

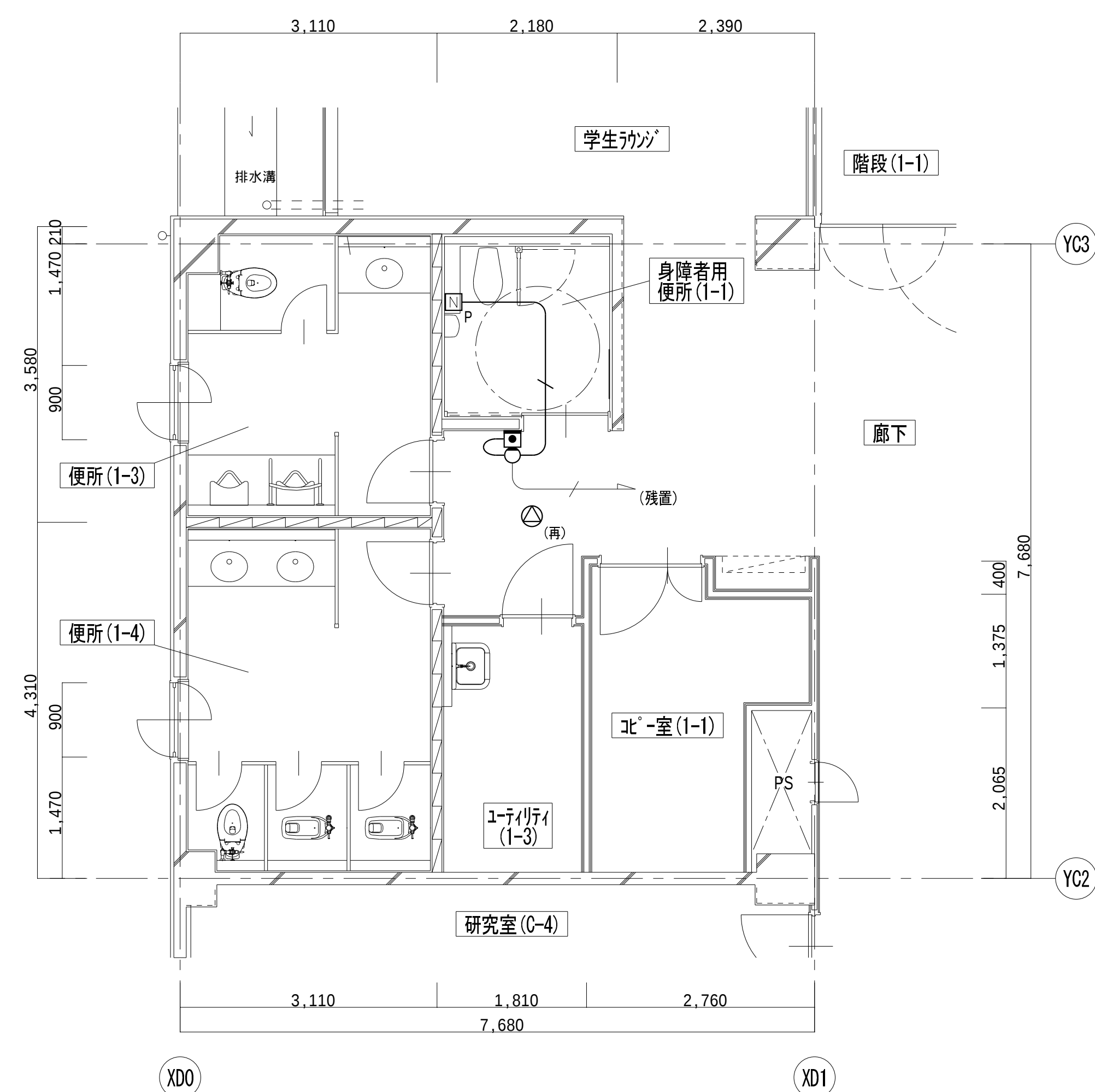
特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	 AE 1.2 × 2	(PF16)
	 AE 1.2 × 3	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	 天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

凡 例

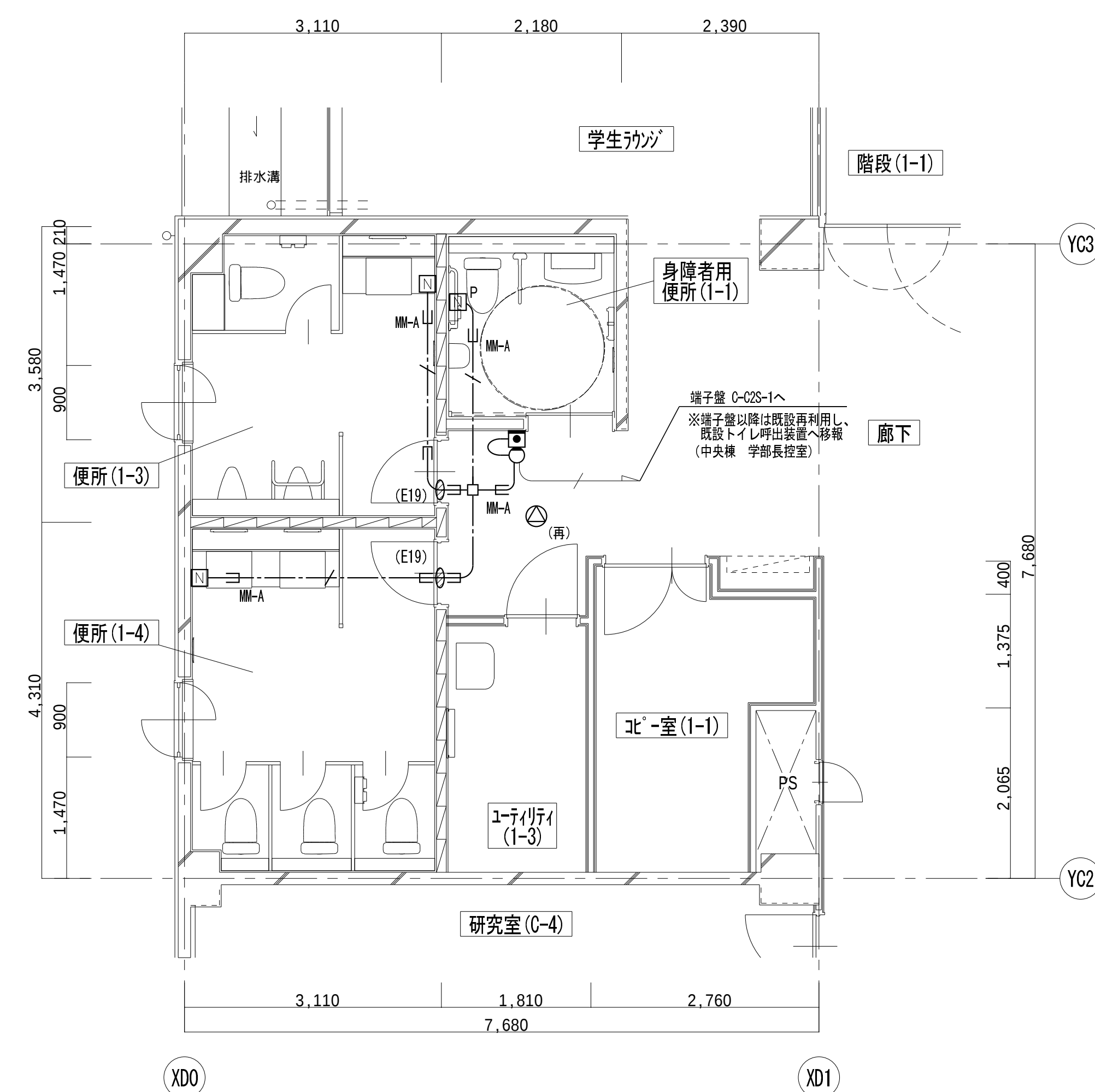
記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通報用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1・3V3・M)
	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	弱電端子盤(既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	EM-AE 1.2 - 2C	(PF16)
	EM-AE 1.2 - 3C	(PF16)
	EM-AE 0.9 - 2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	



D3 2階平面詳細図（改修前） S = 1/50



D3 2階平面詳細図（改修後） S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	廊下灯
	復旧ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W
	アウトレットボックス
	弱電端子盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
呼 出 回 路		AE 1.2 × 2 (PF16)
		AE 1.2 × 3 (PF16)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	天井内こしがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

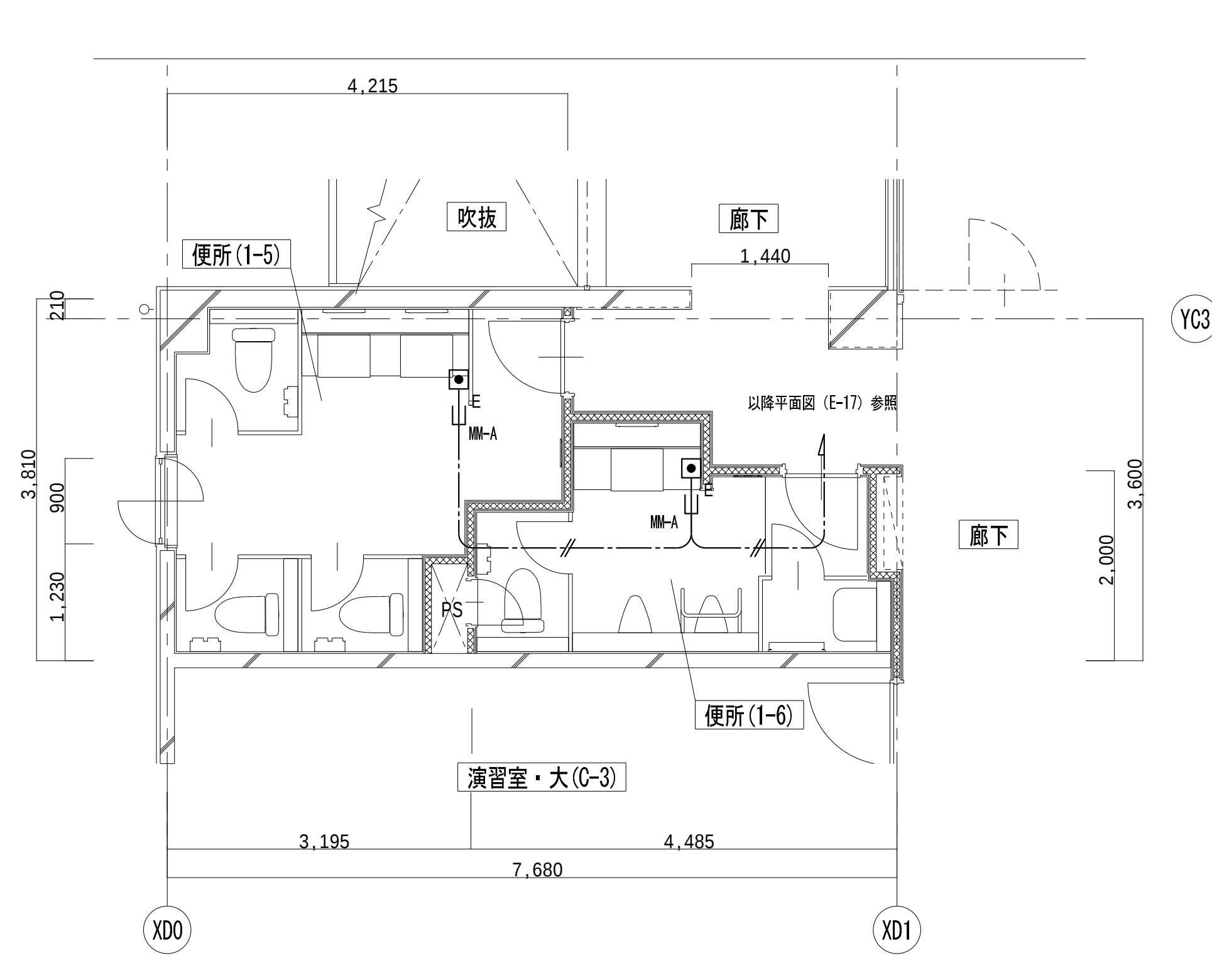
凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通報用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1・3V3・M)
	既設コンクリート・床貫通を示す（防火区画貫通処理含む）
	アウトレットボックス
	弱電端子盤（既設）
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路		EM-AE 1.2 - 2C (PF16)
		EM-AE 1.2 - 3C (PF16)
		EM-AE 0.9 - 2C (PF16)
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	天井内こしがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

--	--	--	--

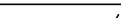


D3 3階平面詳細図（改修後） S = 1/50

凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出しボタン
 P	トイレ用呼出しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
 E	通報用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC ₆ H ₁ -3V ₃ -M)
	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	弱電端子盤(既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	 EM-AE 1.2 - 2C	(PF16)
	 EM-AE 1.2 - 3C	(PF16)
	 EM-AE 0.9 - 2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び境界貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
 天井内隠蔽配管配線工事	 天井内ころがし配線工事	
 床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事	
 ケーブル廊下配線工事		